



Copyright © 2022 NTT DATA INTRAMART CORPORATION

目次

- 1. 改訂情報
- 2. はじめに
 - 2.1. 本書の目的
 - 2.2. 対象読者
 - 2.3. 本書の構成
- 3. 概要
 - 3.1. Accel Studioとは
 - 3.2. Accel Studioでのアプリケーション開発
- 4. テンプレート一覧
 - 4.1. Accel Studioのテンプレート
 - 4.1.1. ベーステンプレート
 - 4.1.2. サンプルアプリケーション
 - 4.1.3. オプションテンプレート
- 5. テンプレート詳細
 - 5.1. ベーステンプレート
 - 5.1.1. マスタメンテナンス
 - 5.1.2. マスタメンテナンス（マスタ参照機能付き）
 - 5.1.3. 新しくエンティティを作成する
 - 5.1.4. エンティティを選択する
 - 5.1.5. Excelファイルを利用する
 - 5.1.6. マスタメンテナンステンプレートに利用できるExcelファイルの詳細
 - 5.1.7. マスタメンテナンステンプレートのローコード仕様書
 - 5.1.8. シンプルなワークフロー
 - 5.2. サンプルアプリケーションテンプレート
 - 5.2.1. 打刻アプリ
 - 5.2.2. 在庫管理
 - 5.2.3. タスク管理
 - 5.2.4. スプレッドシート回覧ワークフロー
 - 5.2.5. 顧客管理
 - 5.2.6. 社内FAQ管理
 - 5.2.7. 休暇申請ワークフロー
 - 5.2.8. 自己紹介
 - 5.2.9. メール配信ワークフロー
 - 5.3. オプションテンプレート
 - 5.3.1. ファイルアップロード
 - 5.3.2. CSVインポート
 - 5.3.3. CSVエクスポート
 - 5.3.4. ガントチャート
- 6. Accel Studio アプリケーション作成 アシスタント
- 7. アシスタント自動補完機能
 - 7.1. マスタメンテナンス
 - 7.1.1. アシスタント自動補完機能の利用条件
 - 7.1.2. 自動補完できる入力項目
 - 7.1.3. 自動補完できない入力項目
 - 7.2. シンプルなワークフロー
 - 7.2.1. アシスタント自動補完機能の利用条件
 - 7.2.2. 自動補完できる入力項目
 - 7.2.3. 自動補完できない入力項目
 - 7.3. スプレッドシート型一覧
 - 7.3.1. アシスタント自動補完機能の利用条件
 - 7.3.2. 自動補完できる入力項目
 - 7.3.3. 自動補完できない入力項目
 - 7.4. 空のアプリケーション
 - 7.4.1. アシスタント自動補完機能の利用条件
 - 7.4.2. 自動補完できる入力項目
 - 7.4.3. 自動補完できない入力項目

- 8. 付録

- 8.1. IM-BloomMaker前処理
 - 8.1.1. ユーザコンテンツの権限確認
 - 8.1.2. 画面種別の判別処理

変更年月日	変更内容
2022-06-01	初版
2022-06-30	第2版 下記を追加・変更しました。 <ul style="list-style-type: none">■ 「テンプレート一覧」ページに「Office 365連携テンプレート」を追加。
2022-12-01	第3版 下記を追加・変更しました。 <ul style="list-style-type: none">■ 「テンプレート詳細」ページを追加。■ 「テンプレート一覧」ページのテンプレートのカテゴリ名を変更。
2023-04-01	第4版 下記を追加しました。 <ul style="list-style-type: none">■ 「テンプレート詳細」ページに「サンプルアプリケーションテンプレート」ページを追加。■ 「付録」ページを追加。■ 「IM-BloomMaker前処理」ページを追加。■ 「Adobe Sign」の製品名の変更に伴い、ドキュメント内の製品名記載を「Adobe Acrobat Sign」に変更。
2023-10-02	第5版 下記を変更しました。 <ul style="list-style-type: none">■ 「ガントチャート」ページを追加。■ 「在庫管理」ページを更新。■ 「スプレッドシート回覧ワークフロー」ページを更新。■ 「顧客管理」ページを更新。
2023-10-31	第6版 下記を変更しました。 <ul style="list-style-type: none">■ 「テンプレート一覧」ページからAccel-Mart Quick対応テンプレートについての記載を削除。<ul style="list-style-type: none">■ Accel-Mart Quickで利用可能なテンプレートについては、「Accel-Mart Quick サービス仕様書」を参照してください。
2024-04-01	第7版 下記を追加しました。 <ul style="list-style-type: none">■ 「テンプレート詳細」ページに「マスタメンテナンス」ページを追加。■ 「テンプレート詳細」ページに「マスタメンテナンステンプレートに利用できるExcelファイルの詳細」ページを追加。■ 「テンプレート詳細」ページに「マスタメンテナンステンプレートのローコード仕様書」ページを追加。
2024-10-01	第8版 下記を変更しました。 <ul style="list-style-type: none">■ アプリケーション作成画面のUI刷新に伴い、以下テンプレートのスクリーンショットを更新<ul style="list-style-type: none">■ 「マスタメンテナンス」テンプレート■ 「顧客管理」テンプレート■ 「スプレッドシート回覧ワークフロー」テンプレート■ 「CSVエクスポート」テンプレート
2025-04-01	第9版 下記を変更しました。 <ul style="list-style-type: none">■ 「Accel Studio アプリケーション作成 アシスタント」ページを追加。■ 「マスタメンテナンステンプレートのローコード仕様書」、「新しくエンティティを作成する」に主キーの自動採番の仕様について追記。■ 以下テンプレートのアプリケーション作成画面の項目設定で、使用できない辞書項目のDatabaseのデータ型について追記。<ul style="list-style-type: none">■ 「マスタメンテナンス」テンプレート「新しくエンティティを作成する」ページ■ 「スプレッドシート回覧ワークフロー」テンプレート■ 「顧客管理」テンプレート

変更年月日	変更内容
2025-10-01	<p>第10版 下記を変更しました。</p> <ul style="list-style-type: none">■ 「マスタメンテナンス」テンプレート「新しくエンティティを作成する」ページの使用できない辞書項目のDatabaseのデータ型にDATETIMEを除外するよう修正。■ 「マスタメンテナンス」テンプレート「マスタメンテナンステンプレートのローコード仕様書」ページの検索条件（下限・上限）をクリアする一覧画面のアクションに日時型の記述を追加。■ 「ベーステンプレート」ページに、「シンプルなワークフロー」ページを追加。■ 「テンプレート一覧」ページに、業務テンプレートのIM-BloomMakerのコンテンツ種別について追記。

本書の目的

本書は、Accel Studioで利用できるテンプレートの概要の説明を行います。

対象読者

本書では次の開発者を対象としています。

- Accel Studioで開発を行う方

本書の構成

本書は次の章で構成されています。

- [概要](#)

本書およびAccel Studioでのアプリケーション開発の概要について説明します。

- [テンプレート一覧](#)

Accel Studioで利用できるテンプレートの概要を一覧で紹介します。

- [テンプレート詳細](#)

Accel Studioで利用できるテンプレートの詳細を説明します。

- [付録](#)

Accel Studio で利用できるテンプレートについての補足事項です。

概要

Accel Studioとは

Accel Studioはintra-martの統合的なローコード開発ツールです。

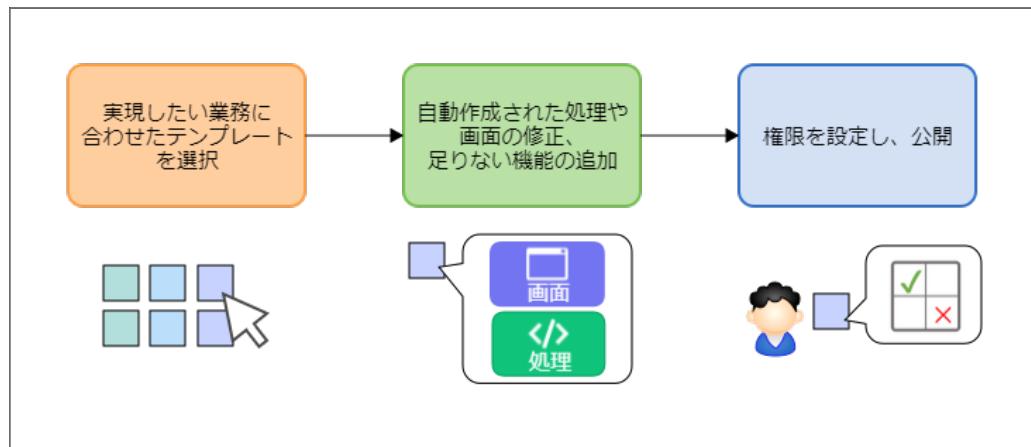
テンプレートを元にアプリケーションを自動で作成し、作成した画面や処理を一つのアプリケーションとして管理できます。

製品標準では、「サイトマップ」→「Accel Studio」→「アプリケーション一覧」から利用できます。

Accel Studioでのアプリケーション開発

Accel Studioでのアプリケーション開発は、intra-mart Accel Platform上で動作するIM-BloomMakerやIM-LogicDesignerなどを組み合わせて行います。

Accel Studioでのアプリケーション開発の流れは以下の通りです。



テンプレートを利用することにより、アプリケーションに必要なデータベースや処理、画面などが自動で作成されるため、手軽にアプリケーション開発を始められます。

テンプレートは、以下の画像のような一覧から選択できます。

業務テンプレート一覧

シンプルなワークフロー (imds) は、IM-BloomMakerの [コンテンツ種別](#) が imds で作成されます。
その他のベーステンプレートとサンプルアプリケーションは、全て [Bulma Theme Colored](#) で作成されます。
IM-BloomMakerの認可設定で特定のコンテンツ種別のみを許可している場合、対応していないコンテンツ種別の基準テンプレートではビルドエラーが発生します。

ベーステンプレート

Accel Studio でアプリケーションを作成する際のテンプレートです。
シンプルな機能で構成されているため、Accel Studio で初めて操作される方にはこちらのテンプレートをおすすめします。

マスタメンテナンス 任意のマスター情報の登録、更新、参照、削除を行えるアプリケーションを作成するテンプレートです。「新しいエンティティを作成」「[Excelファイルを利用]」のいずれかを選択して作成します。	シンプルなワークフロー ワークフローに必要な基本的な設定を備えたアプリケーションを作成するテンプレートです。ワークフローの開始のひな形としても利用できます。	シンプルなワークフロー (imds) ワークフローに必要な基本的な設定を備えたテンプレートを imds 形式のファイルとしてエクスポートすることができます。ワークフローの開始のひな形としても利用できます。	スプレッドシート型一覧 スプレッドシート型の一覧のテンプレートで Excel のテーブルののような扱い方を提供します。また、一般データを xlsx 形式のファイルとしてエクスポートすることができます。※このテンプレートは IM-Spreadsheet が含まれていない環境では利用できません。	空のアプリケーション 空のアプリケーションを作成します。
--	---	---	---	---------------------------------

サンプルアプリケーション

簡単的なアプリケーションとして、そのまま利用できるテンプレートです。
作成された画面・処理をカスタマイズすることで、ニーズに沿ったアプリケーションにもできます。

打刻アプリ 出退勤の打刻ができるアプリケーションを作成します。	在庫管理 バーコードを使用した在庫管理アプリケーションのテンプレートです。※このテンプレートはバーコード生成が含まれていない環境では利用できません。	タスク管理 タスクの登録、担当者、レビュー、ステータスを管理するアプリケーションを作成するテンプレートです。	スプレッドシート回覧ワークフロー スプレッドシートを使用した回覧を行うワークフローのテンプレートです。※このテンプレートは IM-Spreadsheet が含まれていない環境では利用できません。	顧客管理 顧客情報と担当者情報を合わせて簡単に管理するためのアプリケーションのテンプレートです。
------------------------------------	---	---	--	---

Accel Studioのテンプレート

Accel Studioのテンプレートは、アプリケーションに必要なデータベースや処理、画面などを自動で作成します。

Accel Studioのテンプレートは大きく分けて「ベーステンプレート」、「サンプルアプリケーション」、「オプションテンプレート」の3種類があります。

作成したいアプリケーションに適したテンプレートを選択し、利用してください。

テンプレートは、製品標準では、「サイトマップ」→「Accel Studio」→「業務テンプレート一覧」から利用できます。



注意

Accel-Mart Quickで利用可能なテンプレートは、「[Accel-Mart Quick サービス仕様書](#)」を参照してください。



注意

2025 Autumn(Lilac)から新たに「「シンプルなワークフロー（imds）」テンプレート」が追加され、業務テンプレートの画面コンテンツ種別が「Bulma Theme Colored」「imds」の2種類となりました。

「シンプルなワークフロー（imds）」は、IM-BloomMakerのコンテンツ種別が「imds」で作成されます。

その他のベーステンプレートとサンプルアプリケーションは、全て「Bulma Theme Colored」で作成されます。



コラム

初期設定では、「テナント管理者」または「Accel Studio管理者」ロールを持ったユーザのみ、Accel Studioが利用できるように権限設定を行っています。

「Accel Studio管理者」ロールは、2022 Winter(Freesia)から利用可能です。



コラム

Accel-Mart Quickでは、「Accel-Mart Quick アプリケーション管理者」、およびその上位ロールである「Accel-Mart Quickシステム管理者」がAccel Studioを利用できます。

Accel-Mart Quickのロールについての詳細は、「[Accel-Mart Quick チュートリアルガイド](#)」を参照してください。

ベーステンプレート

アプリケーションのひな型として利用しやすいテンプレートです。

基本的なデータ操作やワークフローなど汎用性の高いテンプレートですので、様々なアプリケーションに柔軟に対応可能です。

シンプルな機能で構成されているため、Accel Studio で初めて開発する方向けのテンプレートです。

「ベーステンプレート」の一覧は以下の通りです。



マスタメンテナンス

任意のマスタ情報の登録、更新、参照、削除が行えるアプリケーションを作成するテンプレートです。

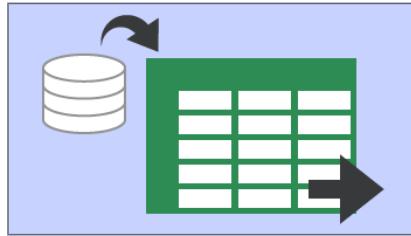
「新しくエンティティを作成」「エンティティを選択」「Excelファイルを利用」のいずれかを選択して作成します。



シンプルなワークフロー

ワークフローに必要な基本的な設定を備えたアプリケーションを作成するテンプレートです。

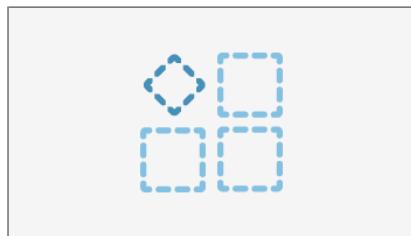
ワークフローの開発のひな形としても利用できます。



スプレッドシート型一覧

Excelテーブルのような一覧画面を作成するテンプレートです。

※このテンプレートは「IM-Spreadsheet」が含まれていない環境では利用できません。



空のアプリケーション

空のアプリケーションを作成します。

このテンプレートでは画面や処理などの作成は行いません。

コラム

intra-mart Accel Platform環境においては、各テンプレートは特定のリリースバージョン以降から利用できます。

以下のテンプレートは **2021 Winter(Dandelion)** から利用可能です。

- マスタメンテナンス
- シンプルなワークフロー
- スプレッドシート型一覧
- 空のアプリケーション

サンプルアプリケーション

そのままでも簡易的なアプリケーションとして利用できるようなテンプレートです。

作成された画面・処理をカスタマイズすることで、ニーズに沿ったアプリケーションにもできます。

「サンプルアプリケーション」の一覧は以下の通りです。



打刻アプリ

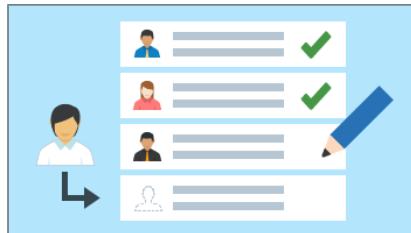
モバイル端末やPCから出退勤の打刻を行い、その履歴を参照できるアプリケーションです。



在庫管理

バーコードを利用して商品・備品の在庫管理ができるアプリケーションです。

※このテンプレートは「バーコード生成」が含まれていない環境では利用できません。



タスク管理

タスクの登録、担当者への割り振り、レビューの設定、タスクの進捗管理などが行えるアプリケーションです。



スプレッドシート回覧ワークフロー

スプレッドシートやExcelで作成した資料等を回覧するワークフローです。

※このテンプレートは「IM-Spreadsheet」が含まれていない環境では利用できません。



顧客管理

顧客情報と担当者情報を合わせて簡単に管理するためのアプリケーションです。



社内FAQ管理

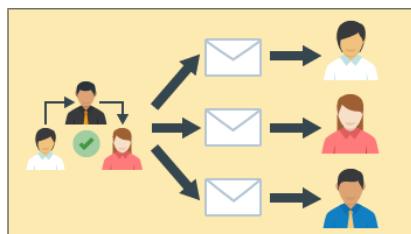
社内でよくある質問とその回答を簡単に管理するためのアプリケーションです。

**休暇申請ワークフロー**

ワークフローで休暇申請を承認し、承認されたメンバーの休暇予定を皆で共有できるアプリケーションです。

**自己紹介**

チームメンバーのプロフィールの登録・共有ができるアプリケーションです。

**メール配信ワークフロー**

事前に登録した宛先にメールを配信するアプリケーションです。

配信前にワークフローによる承認を行います。

**SharePoint回覧ワークフロー**

周知事項などの文書を、ワークフローで対象者に回覧させるアプリケーションです。

回覧した文書、添付ファイルを、SharePointに自動保存します。

※このテンプレートは「外部システム連携機能 - Office 365 連携」が含まれていない環境では利用できません。



コラム

intra-mart Accel Platform 環境においては、各テンプレートは特定のリリースバージョン以降から利用できます。

以下のテンプレートは、**2021 Winter(Dandelion)** から利用可能です。

- 打刻アプリ
- 在庫管理
- タスク管理
- スプレッドシート回覧ワークフロー

以下のテンプレートは、**2022 Spring(Eustoma)** から利用可能です。

- 顧客管理
- 社内FAQ管理
- 休暇申請ワークフロー
- 自己紹介
- メール配信ワークフロー

以下のテンプレートは、**2022 Winter(Freesia)** から利用可能です。

- SharePoint回覧ワークフロー

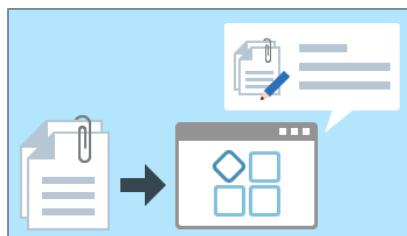
オプションテンプレート

作成したアプリケーションに機能を追加できるテンプレートです。

このテンプレートからアプリケーションを作成することも可能です。

※ 基本的な機能を含まないため Accel Studio での開発経験がある方向けのテンプレートです。

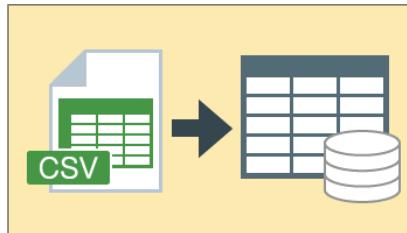
「オプションテンプレート」の一覧は以下の通りです。



ファイルアップロード

IM-BloomMaker のファイルアップロードエレメントを利用した、ファイルアップロード処理を作成します。

このテンプレートでは画面資材は作成されません。



CSVインポート

CSV形式のファイルをインポートする処理を作成します。

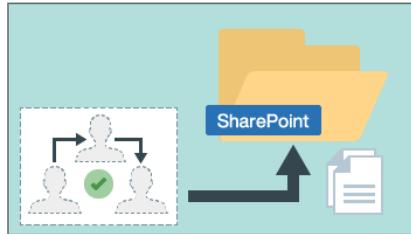
このテンプレートでは画面資材は作成されません。



CSVエクスポート

CSV形式でファイルをエクスポートする処理を作成します。

このテンプレートでは画面資材は作成されません。

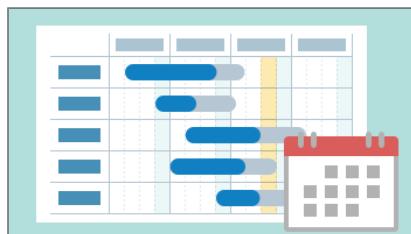


SharePoint保存ロジック

ワークフロー完了後に SharePoint に添付ファイルを保存する処理を作成します。

このテンプレートではワークフローは作成されません。

※このテンプレートは「外部システム連携機能 - Office 365 連携」が含まれていない環境では利用できません。



ガントチャート

指定した開始・終了日をもとにガントチャートを表示するテンプレートです。

データの取得部分を変更することで利用できます。※アプリケーション作成時点ではサンプルデータが表示されます。



コラム

intra-mart Accel Platform 環境においては、各テンプレートは特定のリリースバージョン以降から利用できます。

以下のテンプレートは、**2022 Winter(Freesia)** から利用可能です。

- ファイルアップロード
- CSVインポート
- CSVエクスポート
- SharePoint保存ロジック

以下のテンプレートは、**2023 Autumn(Hollyhock)** から利用可能です。

- ガントチャート

各テンプレートの詳細については、以下のリンクをクリックしてください。

ベーステンプレート

基本的な機能を備えたアプリケーションを作成できるテンプレートです。

マスタメンテナンス

このページでは「マスタメンテナンス」テンプレートの概要、アプリケーション作成手順、画面イメージ、操作方法について解説します。

目次

- 「マスタメンテナンス」テンプレートとは
- 「マスタメンテナンス」テンプレートの利用方法
 - アプリケーションの作成手順
 - アプリケーションのアクセス手順
 - アプリケーションの画面イメージと操作方法

「マスタメンテナンス」テンプレートとは



「マスタメンテナンス」テンプレートは、マスタ情報を登録・編集・参照できるアプリケーションです。

コラム

「マスタメンテナンス」テンプレートは2021 Winter(Dandelion)からご利用いただけます。

明細の設定については、2022 Spring(Eustoma)からご利用いただけます。

参照項目設定を行うことで、マスタ参照機能付きのアプリケーションも作成できます。

会場コード

ka006	会場名
ka007	△△ホール
ka008	xx文化センター
ka009	○○Hall
ka010	○○劇場
ka011	△△公会堂
ka012	xxシティホール

会場

会場コード ka010 会場名 ○○ドーム

i コラム

「マスタメンテナンス」テンプレートのマスタ参照機能を活用したアプリケーション作成は2024 Spring(Iris)からご利用いただけます。詳しくは「[マスタメンテナンス（マスタ参照機能付き）](#)」をご確認ください。

「マスタメンテナンス」テンプレートの利用方法

「マスタメンテナンス」テンプレートを利用したアプリケーションの作成手順と「マスタメンテナンス」アプリケーションの操作方法をご紹介します。

アプリケーションの作成手順

「マスタメンテナンス」テンプレートを利用してアプリケーションを作成する手順についてご紹介します。

マスタメンテナンスの作成方法は「新しくエンティティを作成」「エンティティを選択」「Excelファイルを利用」のいずれかを選択します。

アプリケーション作成

業務テンプレート一覧

ベーステンプレート

マスタメンテナンス

任意のマスタ情報の登録、除く行えるアプリケーションテンプレートです。「新しく作成」「エンティティを選択」「Excelファイルを利用」のいずれかを選択します。

マスタメンテナンスの作成方法を選択してください。

新しくエンティティを作成（初めての方はこちら）

エンティティを選択

Excelファイルを利用

インポート

サンプルアプリケーション

簡単なアプリケーションとして、そのまま利用できるテンプレートです。

i コラム

「Excelファイルを利用」は2024 Spring(Iris)からご利用いただけます。

「新しくエンティティを作成」では、エンティティを作成しそれを利用してアプリケーションを作成できます。初めての方や、利用したいエンティティを作成していない方は選択してください。

「エンティティを選択」では、既存のエンティティを利用してアプリケーションを作成できます。利用したいエンティティを作成済みの方は選択してください。

「Excelファイルを利用」では、Excelファイルのデータを元にアプリケーションを作成できます。アプリケーション化したいExcelファイルを持っている方は選択してください。

作成方法を選択し、それぞれの手順に従ってアプリケーションを作成してください。

- 新しくエンティティを作成する場合

- エンティティを選択する場合
- Excelファイルを利用する場合

アプリケーションのアクセス手順

作成したアプリケーションへアクセスする方法をご紹介します。

「マスタメンテナンス」テンプレートから作成されるアプリケーションは、「一覧画面」を起点として操作することを想定しています。

以下では「一覧画面」へのアクセス手順について説明します。

- 「テンプレートビルトジョブ - 詳細」画面から遷移する
- 画面のURLを取得する

「テンプレートビルトジョブ - 詳細」画面から遷移する

「テンプレートビルトジョブ - 詳細」画面はアプリケーション作成完了後に表示されます。

「テンプレートビルトジョブ - 詳細」画面のステータスが「COMPLETE」と表示されたら、「作成された「一覧画面」へはこちらの詳細アイコンから遷移できます。」の欄にある  をクリックしてください。

ビルトジョブID	8h50coituxijpi	テンプレート名	マスタメンテナンス
ステータス	COMPLETE	作成者ユーザコード	tenant
作成日時	2024/03/14 16:33:00		

出力日時 メッセージ 詳細

- 2024/03/14 16:33:00 生成するリソースのIDを自動設定します。
- 2024/03/14 16:33:00 一時ディレクトリに IM-LogicDesigner インポート資材を作成しました。
- 2024/03/14 16:33:01 一時ディレクトリに IM-BloomMaker インポート資材を作成しました。
- 2024/03/14 16:33:02 自動生成された IM-LogicDesigner 資材をインポートしました。
- 2024/03/14 16:33:06 自動生成された IM-BloomMaker 資材をインポートしました。
- 2024/03/14 16:33:06 **作成された「一覧画面」へはこちらの詳細アイコンから遷移できます。** 
- 2024/03/14 16:33:08 アプリケーションの作成が完了しました。 
- 2024/03/14 16:33:08 アプリケーション認可設定で テナント管理者, Accel Studio 管理者 にアクセス許可が設定されました。 

コラム

「テンプレートビルトジョブ - 詳細」画面は、「サイトマップ」→「Accel Studio」→「アプリケーション作成」→「テンプレートビルトジョブ」に遷移し、作成したアプリケーションの「詳細」をクリックすることで表示できます。

画面のURLを取得する

「マスタメンテナンス」テンプレートから作成したアプリケーションは「一覧画面」「登録画面」「編集画面」「参照画面」のそれぞれに画面URLが定義されています。

「サイトマップ」→「Accel Studio」→「アプリケーション一覧」で、「自動生成されたアプリケーション」カテゴリを選択します。

作成したアプリケーションを選択し、遷移したいカードにホバーをしてください。

表示されたURLアイコンをクリックすることで、URLがクリップボードにコピーされます。

The screenshot shows the Accel Studio application management interface. On the left is a vertical sidebar with icons for Home, Applications, Help, and Products. The main area has a header with tabs for Application Management (selected), Resources, Permissions, Log, Settings, and Exit. Below the header is a search bar and a 'Resources to Add' button. The main content area displays a list of resources for the 'master_maintenance' application, each with a preview icon, name, description, and a 'More' button. One resource, 'master_maintenance 一覧画面', is highlighted with a red border.

画面	公開URL	ロジック	ワークフロー	データ定義	ユーティリティ	ドキュメント	操作
画面コンテンツ (ID: im-bloommaker://contents/master_maintenance-list)							...
master_maintenance 一覧画面							tenant 2時間前
「マスタメンテナンス」テンプレートから作成された一覧画面のコンテンツです。							
画面コンテンツ (ID: im-bloommaker://contents/master_maintenance-crud)							...
master_maintenance 登録・編集・参照画面							tenant 2時間前
「マスタメンテナンス」テンプレートから作成された登録・編集・参照画面のコンテンツです。							
画面URL (ID: im-bloommaker://routes/master_maintenance-register)							...
master_maintenance 登録画面							tenant 2時間前
「マスタメンテナンス」テンプレートから作成された登録画面のルーティング定義です。							
画面URL (ID: im-bloommaker://routes/master_maintenance-refer)							...
master_maintenance 参照画面							tenant 2時間前
「マスタメンテナンス」テンプレートから作成された参照画面のルーティング定義です。							
画面URL (ID: im-bloommaker://routes/master_maintenance-list)							...
master_maintenance 一覧画面							tenant 2時間前
「マスタメンテナンス」テンプレートから作成された一覧画面のルーティング定義です。							
画面URL (ID: im-bloommaker://routes/master_maintenance-edit)							...
master_maintenance 編集画面							tenant 2時間前
「マスタメンテナンス」テンプレートから作成された編集画面のルーティング定義です。							

i コラム

取得したURLは、初期設定では「テナント管理者」または「Accel Studio管理者」ロールを持ったユーザのみアクセス可能です。任意のユーザに対して、利用を許可したい場合の設定方法は、「[Accel Studio アプリケーション管理機能 仕様書](#)」 - 「[Accel Studio アプリケーション認可設定](#)」をご確認ください。

i コラム

作成したアプリケーションをグローバルメニューに追加したい場合は、グローバルナビ設定をご利用ください。グローバルナビの設定方法は、「[ファーストステップガイド](#)」 - 「[管理者が一般ユーザ向けのメニューを作成する](#)」をご確認ください。

アプリケーションの画面イメージと操作方法

「マスタメンテナンス」テンプレートから作成されるアプリケーションは、「一覧画面」を起点として操作することを想定しています。

一覧画面

「一覧画面」では、登録したデータを閲覧できます。

The screenshot shows the 'master_maintenance' application's list view page. The page title is 'マスタメンテナンス 一覧画面'. It features a search bar and a 'New Creation' button. Below is a table with columns: 编集 (Edit), 商品コード (Product Code), 商品名 (Product Name), 商品カテゴリ (Category), 仕入れ先 (Supplier), and 詳細 (Details). The table lists 12 items, each with an edit icon and a details icon. At the bottom, there are navigation buttons for pages and a footer showing '6ページ中 1 ページ目 > >>' and '20 105件中 1 - 20 を表示'.

編集	商品コード	商品名	商品カテゴリ	仕入れ先	詳細
	C001	クリアファイル	雑貨	□□会社	
	M001	マグカップ	雑貨	○○会社	
	P001	パーカー	服	△△会社	
	S001	Tシャツ	服	○○会社	
	S002	イラストTシャツ	服	○○会社	
	S003	半袖Tシャツ	服	○○会社	
	T001	トートバッグ	雑貨	xx会社	
	T002	スポーツタオル	雑貨	○○会社	
	T003	トレーナー	服	○○会社	
	U001	うちわ	雑貨	△△会社	
	U002	ポーチ	雑貨	xx会社	
	U003	キャンディー	食品	○○会社	

画面左上の検索ボタンをクリックすると、検索欄を表示させることができます。

検索欄からデータを絞り込みできます。

検索(絞込み中) ▼

商品コード	商品名	商品カテゴリ	仕入れ先	詳細
	トートバッグ	雑貨	xx会社	

+ 新規作成

商品名
トートバッグ

商品カテゴリ

仕入れ先

クリア 検索

1 ページ中 1 ページ目 > 20 1 件中 1 - 1 を表示

i コラム

検索欄に表示される項目は、事前にIM-Repositoryで検索条件に設定した項目のみです。

登録画面

「新規作成」ボタンから「登録画面」に遷移します。

マスタメンテナンス
一覧画面

+ 新規作成

編集	商品コード	商品名	商品カテゴリ	仕入れ先	詳細
	C001	クリアファイル	雑貨	□□会社	
	M001	マグカップ	雑貨	○○会社	
	P001	パーカー	服	△△会社	
	S001	Tシャツ	服	○○会社	
	S002	イラストTシャツ	服	○○会社	
	S003	半袖Tシャツ	服	○○会社	
	T001	トートバッグ	雑貨	xx会社	
	T002	スポーツタオル	雑貨	○○会社	
	T003	トレーナー	服	○○会社	
	U001	うちわ	雑貨	△△会社	
	U002	ポーチ	雑貨	xx会社	
	U003	キャンディー	食品	○○会社	

6 ページ中 1 ページ目 > 20 105 件中 1 - 20 を表示

「登録画面」では任意の情報を設定できます。

商品コード*

商品名

商品カテゴリ

仕入れ先

SKU

+ 追加

SKU*	色	サイズ	価格

登録

編集画面

「一覧画面」で任意のデータの編集ボタンを選択すると、選択したデータの「編集画面」に遷移します。

商品コード*

S001

商品名

Tシャツ

商品カテゴリ

服

仕入れ先

○○会社

SKU

+ 追加

SKU*	色	サイズ	価格
1	白	S	2000
2	白	M	2000
3	白	L	2000

更新 削除

画面右下の鍵アイコンは排他制御エレメントです。

鍵アイコンをクリックして排他制御を有効にすると、他のユーザは編集ができない状態になり、編集の衝突を防ぐことができます。

参照画面

「一覧画面」で任意のデータの参照ボタンを選択すると、選択したデータの「参照画面」に遷移します。

商品コード*

S001

商品名

Tシャツ

商品カテゴリ

服

仕入れ先

○○会社

SKU

SKU*	色	サイズ	価格
1	白	S	2000
2	白	M	2000
3	白	L	2000



コラム

事前に設定を行うことで、マスタ参照機能付きのアプリケーションを作成できます。

詳しくは「[マスタメンテナンス（マスタ参照機能付き）](#)」をご確認ください。

会場コード

ka006

ka007

ka008

ka009

ka010

ka011

ka012

会場名

△△ホール

xx文化センター

○○Hall

□□劇場

○○ドーム

△△公会堂

xxシティホール

会場コード

ka010

会場名

○○ドーム

マスタメンテナンス（マスタ参照機能付き）

このページではマスタ参照機能付きのマスタメンテナンスアプリケーションの概要、アプリケーション作成手順、画面イメージ、操作方法について解説します。

目次

- [マスタメンテナンス（マスタ参照機能付き）とは](#)
- [「マスタメンテナンス」テンプレートのマスタ参照機能を活用した利用方法](#)
 - [アプリケーションの作成手順](#)
 - [アプリケーションのアクセス手順](#)
 - [アプリケーションの画面イメージと操作方法](#)

マスタメンテナンス（マスタ参照機能付き）とは

会場コード

ka006	会場名	△△ホール
ka007	xx文化センター	
ka008	○○Hall	
ka009	□□劇場	
ka010	○○ドーム	
ka011	△△公会堂	
ka012	xxシティホール	

会場名

会場コード ka010 会場名 ○○ドーム

「マスタメンテナンス」テンプレートにマスタの参照機能を追加したアプリケーションです。

参照項目設定を行うことでアプリケーションを作成できます。



コラム

「マスタメンテナンス」テンプレートのマスタ参照機能を活用したアプリケーション作成は2024 Spring(Iris)からご利用いただけます。

「マスタメンテナンス」テンプレートのマスタ参照機能を活用した利用方法

「マスタメンテナンス」テンプレートを利用したマスタ参照機能付きアプリケーションの作成手順と操作方法をご紹介します。

アプリケーションの作成手順

アプリケーションを作成するには、IM-Repositoryにて事前設定を行う必要があります。

事前設定

参照元エンティティと、参照先エンティティ または 参照先テーブルを用意してください。

参照元エンティティに対し、データ定義の参照項目設定を行います。

参照項目設定については、「[IM-Repository ユーザ操作ガイド](#)」 - 「[参照項目設定](#)」をご確認ください。

また、参照項目設定を行う際は、【参照先ごとの注意事項】を確認してください。



注意

【参照先ごとの注意事項】

エンティティを参照する

- 結合条件は、参照元・参照先で同一の辞書項目を指定してください
 - 異なる辞書項目を設定した場合、アプリケーションは正常に作成されません
- 参照先エンティティに検索機能を付けるには設定が必要です
 - 参照先エンティティの「[データ定義](#)」設定から、検索条件に指定した項目のみ検索ができます

テーブルを参照する

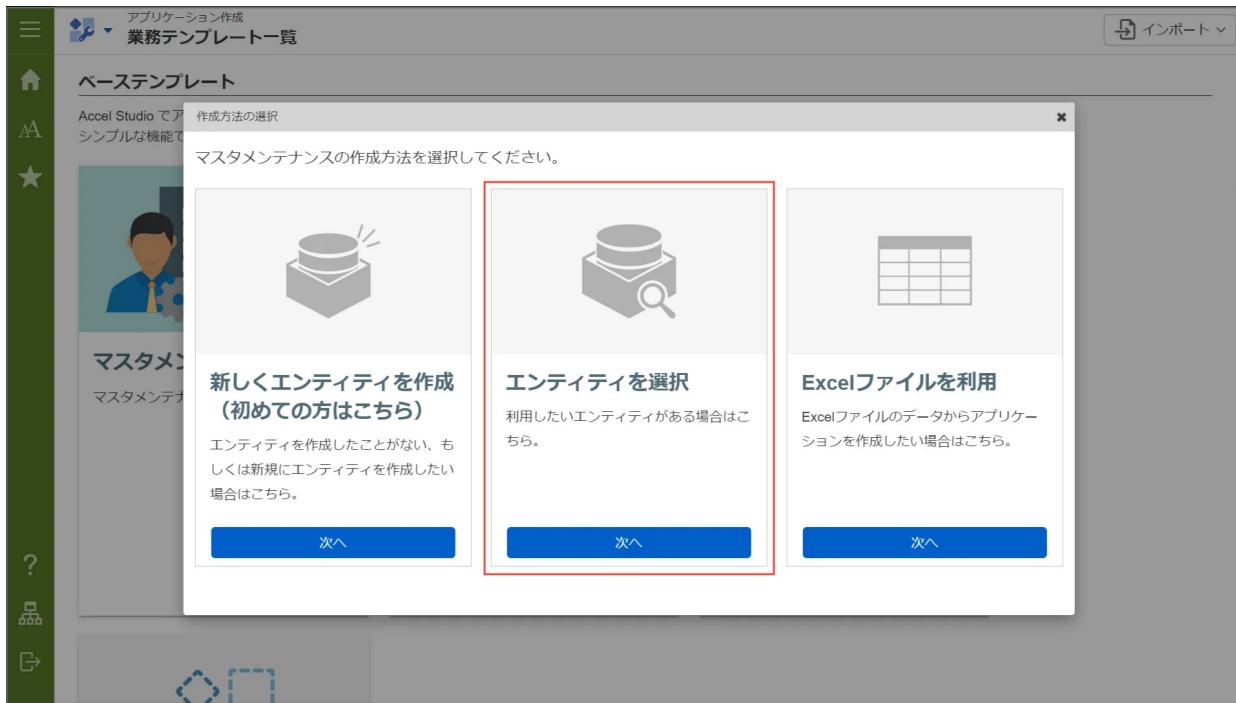
- 参照項目・結合条件とともに、参照元エンティティ項目と参照先カラムのデータ型が一致している必要があります
 - データ型が一致しない場合、アプリケーションは正常に動作しないことがあります
- 参照先テーブルのすべてのカラムで検索が可能です
 - 表示形式が「テキストボックス」「複数行テキストボックス」の場合は部分一致検索、それ以外は完全一致検索としてアプリケーションが作成されます

共通マスタを参照する

- 「マスタメンテナンス」テンプレート（マスタ参照機能付き）は「[共通マスタを参照する](#)」機能に対応していません
 - 「共通マスタを参照する」から参照項目設定したエンティティを利用してした場合、関連項目はマスタ参照する形ではなく、通常の項目としてアプリケーションが作成されます
 - 共通マスタの参照を行いたい場合は、参照したいテーブルに対して「[テーブルを参照する](#)」設定を行ったエンティティでアプリケーションを作成してください

「マスタメンテナンス」テンプレートを利用してアプリケーションを作成する手順についてご紹介します。

「エンティティを選択」から参照元エンティティを選択し、マスタメンテナンス（マスタ参照機能付き）アプリケーションを作成します。



詳細な手順は下記のページをご確認ください。

[「エンティティを選択」して作成する](#)

アプリケーションのアクセス手順

作成したアプリケーションへアクセスする方法をご紹介します。

「マスタメンテナンス」テンプレートから作成されるアプリケーションは、「一覧画面」を起点として操作することを想定しています。

以下では「一覧画面」へのアクセス手順について説明します。

- [「テンプレートビルトジョブ - 詳細」画面から遷移する](#)
- [画面のURLを取得する](#)

「テンプレートビルトジョブ - 詳細」画面から遷移する

「テンプレートビルトジョブ - 詳細」画面はアプリケーション作成完了後に表示されます。

「テンプレートビルトジョブ - 詳細」画面のステータスが「COMPLETE」と表示されたら、「作成された「一覧画面」へはこちらの詳細アイコンから遷移できます。」の欄にある をクリックしてください。



コラム

「テンプレートビルドジョブ - 詳細」画面は、「サイトマップ」→「Accel Studio」→「アプリケーション作成」→「テンプレートビルドジョブ」に遷移し、作成したアプリケーションの「詳細」をクリックすることで表示できます。

画面のURLを取得する

「マスタメンテナンス」テンプレートから作成したアプリケーションは「一覧画面」「登録画面」「編集画面」「参照画面」のそれぞれに画面URLが定義されています。

「サイトマップ」→「Accel Studio」→「アプリケーション一覧」で、「自動生成されたアプリケーション」カテゴリを選択します。

作成したアプリケーションを選択し、遷移したいカードにホバーしてください。

表示されたURLアイコンをクリックすることで、URLがクリップボードにコピーされます。



画面コンテンツ (ID: im-blooomaker://contents/master_maintenance_refer-list)	マスタ参照機能付き「マスタメンテナンス」一覧画面	...
画面コンテンツ (ID: im-blooomaker://contents/master_maintenance_refer-crud)	マスタ参照機能付き「マスタメンテナンス」登録・編集・参照画面	...
画面URL (ID: im-blooomaker://routes/master_maintenance_refer-register)	マスタ参照機能付き「マスタメンテナンス」登録画面	...
画面URL (ID: im-blooomaker://routes/master_maintenance_refer-refer)	マスタ参照機能付き「マスタメンテナンス」参照画面	...
画面URL (ID: im-blooomaker://routes/master_maintenance_refer-list)	マスタ参照機能付き「マスタメンテナンス」一覧画面	...
画面URL (ID: im-blooomaker://routes/master_maintenance_refer-edit)	マスタ参照機能付き「マスタメンテナンス」編集画面	...

コラム

取得したURLは、初期設定では「テナント管理者」または「Accel Studio管理者」ロールを持ったユーザのみアクセス可能です。任意のユーザに対して、利用を許可したい場合の設定方法は、「[Accel Studio アプリケーション管理機能 仕様書](#)」 - 「[Accel Studio アプリケーション認可設定](#)」をご確認ください。

コラム

作成したアプリケーションをグローバルメニューに追加したい場合は、グローバルナビ設定をご利用ください。| グローバルナビの設定方法は、「[ファーストステップガイド](#)」 - 「[管理者が一般ユーザ向けのメニューを作成する](#)」をご確認ください。

アプリケーションの画面イメージと操作方法

「マスタメンテナンス」テンプレートから作成されるアプリケーションは、「一覧画面」を起点として操作することを想定しています。

一覧画面

「一覧画面」では、登録したデータを閲覧できます。

編集	イベントコード	イベント名	開催日	会場名	会場コード	詳細
	2023Autumn	2023年秋のマーケット	2023/10/10	xx文化センター	ka007	
	2023Winter	2023年冬キャンペーン	2023/12/13	○○Hall	ka008	
	2024Autumn	2024年秋フェスティバル	2024/11/01	xx文化センター	ka007	
	2024Special	2024年特別イベント	2024/03/20	xxシティホール	ka012	
	2024Spring	2024年春フェスタ	2024/04/01	○○ドーム	ka010	
	2024Summer	2024年夏祭り	2024/07/31	△△体育館	ka004	
	2024Winter	2024年冬キャンペーン	2024/01/15	□□劇場	ka009	
	2025Autumn	2025年秋のマーケット	2025/10/28	○○Hall	ka008	
	2025Special	2025年特別イベント	2025/06/15	△△公会堂	ka011	
	2025Spring	2025年春イベント	2025/04/04	□□劇場	ka009	
	2025Summer	2025年夏祭り	2025/08/11	△△体育館	ka004	
	2025Winter	2025年冬イベント	2025/12/20	xxドーム	ka002	

1 ページ中 1 ページ目 > 20 12 件中 1 - 12 を表示

画面左上の検索ボタンをクリックすると、検索欄を表示させることができます。

検索欄から任意のデータを絞り込みできます。

参照項目の検索も可能です。

イベントコード	イベント名	開催日	会場名	会場コード	詳細
2023Autumn	2023年秋のマーケット	2023/10/10	xx文化センター	ka007	
2024Autumn	2024年秋フェスティバル	2024/11/01	xx文化センター	ka007	

1 ページ中 1 ページ目 > 20 2 件中 1 - 2 を表示

i コラム

検索欄に表示される項目は、事前にIM-Repositoryで検索条件に設定した項目のみです。

登録画面

「新規作成」ボタンから「登録画面」に遷移します。

編集	イベントコード	イベント名	開催日	会場名	会場コード	詳細
	2023Autumn	2023年秋のマーケット	2023/10/10	xx文化センター	ka007	
	2023Winter	2023年冬キャンペーン	2023/12/13	○○Hall	ka008	
	2024Autumn	2024年秋フェスティバル	2024/11/01	xx文化センター	ka007	
	2024Special	2024年特別イベント	2024/03/20	xxシティホール	ka012	
	2024Spring	2024年春フェスタ	2024/04/01	○○ドーム	ka010	
	2024Summer	2024年夏祭り	2024/07/31	△△体育館	ka004	
	2024Winter	2024年冬キャンペーン	2024/01/15	□□劇場	ka009	
	2025Autumn	2025年秋のマーケット	2025/10/28	○○Hall	ka008	
	2025Special	2025年特別イベント	2025/06/15	△△公会堂	ka011	
	2025Spring	2025年春イベント	2025/04/04	□□劇場	ka009	
	2025Summer	2025年夏祭り	2025/08/11	△△体育館	ka004	
	2025Winter	2025年冬イベント	2025/12/20	xxドーム	ka002	

「登録画面」では任意の情報を設定できます。

項目の並び順は通常のマスタメンテナンスと異なります。
マスタメンテナンス（マスタ参照機能付き）では、参照先ごとに項目がグループ化されて表示されます。

「登録画面」では任意の情報を設定できます。

項目の並び順は通常のマスタメンテナンスと異なります。
マスタメンテナンス（マスタ参照機能付き）では、参照先ごとに項目がグループ化されて表示されます。

参照ボタンから、参照マスターの一覧画面をダイアログで確認できます。

検索欄からデータを絞り込むことも可能です。

マスタ参照機能付き「マスタメンテナンス」
登録画面

イベントコード*

イベント名

開催日 年 /月/日

会場

会場コード	会場名

販売品

SKU

商品コード	SKU	色	サイズ

データは0件です。

会場

会場コード	会場名
ka001	○○野球場
ka002	××ドーム
ka003	□□競技場
ka004	△△体育館
ka005	××体育館
ka006	△△ホール
ka007	
ka008	
ka009	

1 ページ中 1 ページ

SKUs

ダイアログで任意のデータを選択すると、選択したデータが登録画面に反映されます。

会場コード	会場名
ka006	△△ホール
ka007	xx文化センター
ka008	○○Hall
ka009	□□劇場
ka010	○○ドーム
ka011	△△公会堂
ka012	xxシティホール

1 ページ中 1 ページ目 > 20 12 件中 1 - 12 を表示

会場

参照 クリア

会場コード ka010 会場名 ○○ドーム

販売品

追加

SKU



コラム

Input Areaコンテナに配置している、非表示の「見出しレベル3」エレメントには結合条件の1つ目のデータが設定されています。

このエレメントに任意のデータを設定し、表示/非表示プロパティにチェックをつけることで、テーブルヘッダのように利用することができます。

会場			
会場		会場名	
参照 クリア			
会場コード	ka010	会場名	○○ドーム
住所	東京都新宿区	キャバ	3000人
駐車場	400台	公式サイト	

アプリケーション画面の編集はコンテンツ編集画面から行います。

コンテンツ編集画面へは、アプリケーション管理画面からアクセスできます。

編集画面

「一覧画面」で任意のデータの編集ボタンを選択すると、選択したデータの「編集画面」に遷移します。

編集画面でも登録画面と同様に、参照ボタンからマスタの参照を行うことができます。

マスタ参照機能付き「マスタメンテナンス」
編集画面

「*」は必須項目です。

イベントコード*	2024Spring
イベント名	2024年春フェスタ
開催日	2024/04/01

会場

参照 クリア

会場コード	ka010	会場名	○○ドーム
-------	-------	-----	-------

販売品

追加

SKU				
商品コード	SKU	色	サイズ	
U001	1	白	FREE	
U001	2	黒	FREE	

更新 削除

青柳辰巳

画面右下の鍵アイコンは排他制御エレメントです。

鍵アイコンをクリックして排他制御を有効にすると、他のユーザは編集ができない状態になり、編集の衝突を防ぐことができます。

参照画面

マスタ参照機能付き「マスタメンテナンス」
詳細画面

「*」は必須項目です。

イベントコード*	2024Spring
イベント名	2024年春フェスタ
開催日	2024/04/01

会場

会場コード	ka010	会場名	○○ドーム
-------	-------	-----	-------

販売品

SKU			
商品コード	SKU	色	サイズ
U001	1	白	FREE
U001	2	黒	FREE

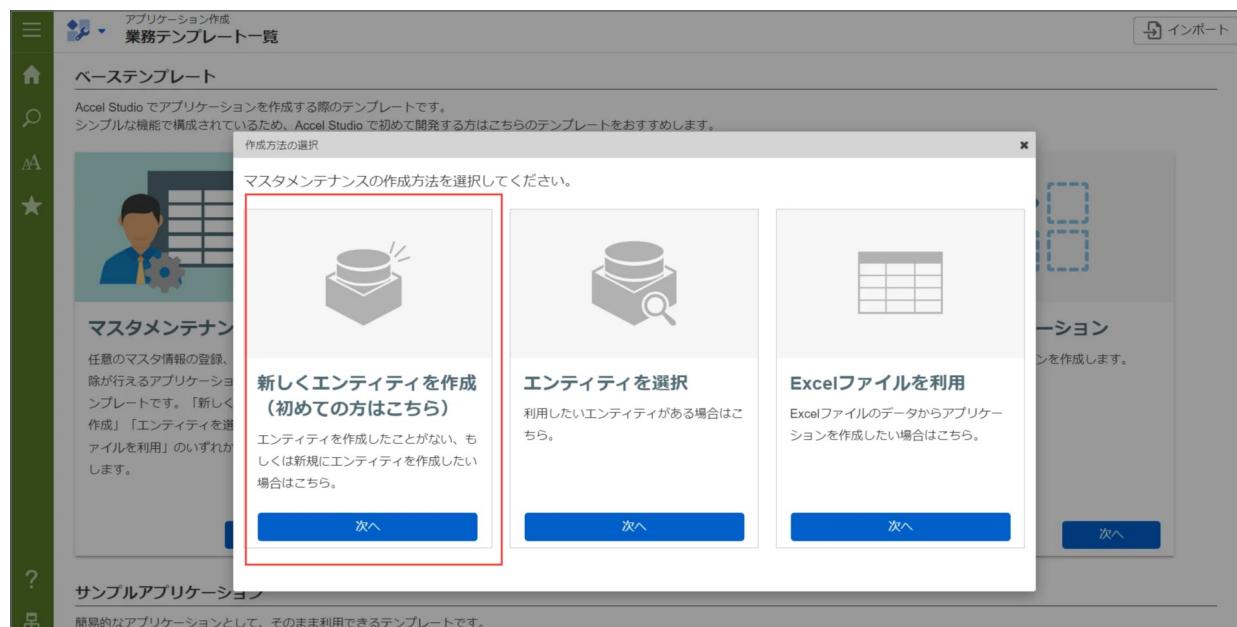
1. アプリケーション作成画面への遷移

Accel Studioの「業務テンプレート一覧」から「マスタメンテナンス」テンプレートを選択します。

Accel Studioの「業務テンプレート一覧」は、「サイトマップ」→「Accel Studio」→「業務テンプレート一覧」から遷移できます。



マスタメンテナンスの作成方法は「新しくエンティティを作成」を選択します。



2. アプリケーションのIDや名称などの設定

「マスタメンテナンス」テンプレートを選択し、アプリケーション情報の設定画面が表示されたら、アプリケーションのIDや名称などを設定します。

設定した基本情報は、各処理や画面の名称、IDなどに利用されます。

アプリケーション情報*

扱うデータの定義*

明細データの利用指定

その他情報の指定*

アプリケーションID* ⓘ
半角英数字、- (ハイフン)、_ (アンダースコア) で入力してください。

アプリケーション名* ⓘ

説明 ⓘ

扱うデータの定義

① 作成するアプリケーションで扱うエンティティの定義（テーブルおよびカラム）を作成します。
扱うデータの定義で指定したエンティティ情報をもとにアプリケーションの各画面が生成されます。

基本情報

詳細に設定する

アプリケーション作成

3. 扱うデータの定義

「新しくエンティティを作成」する場合は、アプリケーション作成時に作成されるエンティティの情報を元に、マスタメンテナンスアプリケーションの各画面が生成されます。

この項目ではメインエンティティを作成します。

「詳細に設定する」トグルのオン・オフを切り替えることで、設定可能な項目が変わります。



コラム

「詳細に設定する」トグルは2024 Autumn(Jasmine)からご利用いただけます。

「詳細に設定する」トグルをオフにする場合、最低限の項目のみ入力します。すぐにアプリケーションを作成したい場合に選択してください。
「詳細に設定する」トグルをオンにする場合、全ての項目を入力します。エンティティの設定を詳細に行いたい場合に選択してください。

- 「詳細に設定する」トグルをオフにする場合
- 「詳細に設定する」トグルをオンにする場合

アプリケーション情報*

扱うデータの定義*

明細データの利用指定

その他情報の指定*

扱うデータの定義

① 作成するアプリケーションで扱うエンティティの定義（テーブルおよびカラム）を作成します。
扱うデータの定義で指定したエンティティ情報をもとにアプリケーションの各画面が生成されます。

基本情報

詳細に設定する
データベース種別を変更するなど、エンティティの設定を詳細に行う場合は、詳細設定を有効にしてください。

エンティティ名* ⓘ

エンティティに紐づくテーブル名* ⓘ
ヘルプアイコンから入力規則を確認できます。

主キーの自動採番設定 ⓘ
 主キーの自動採番を利用する

項目設定 ⓘ

デフォルトカテゴリの設定 ⓘ
マスタメンテナンス

+ 追加 + 既存の辞書項目から選択 + 新規作成する辞書項目を参照

アプリケーション作成

「詳細に設定する」トグルをオフにする場合

アプリケーション情報*

扱うデータの定義*

明細データの利用指定

その他情報の指定*

基本情報

詳細に設定する
データベース種別を変更するなど、エンティティの設定を詳細に行う場合は、詳細設定を有効にしてください。

エンティティ名* [?]

エンティティに紐づくテーブル名* [?]
ヘルプアイコンから入力規則を確認できます。

主キーの自動採番設定 [?] 主キーの自動採番を利用する

項目設定 [?]

デフォルトカテゴリの設定 [?] マスタメンテナンス

+ 追加 + 既存の辞書項目から選択 + 新規作成する辞書項目を参照

表示名 *	詳細	物理名 *	データ型 *	表示形式 *	最大行数	主キ-
info エンティティ情報が登録されていません。						

アプリケーション作成

1. 扱うデータの定義

新しいエンティティを作成します。メインエンティティの名称を設定します。

2. データベースのテーブルに利用する名称の定義

入力された内容を保持するテーブルの名称を設定します。

エンティティ情報を元にデータベースのテーブルが作成され、「データ定義」機能で管理されます。

なお、「新しくエンティティを作成」する場合、既存のテーブルは設定いただけません。



コラム

「データ定義」機能については、「IM-Repository ユーザ操作ガイド」 - 「データ定義」をご確認ください。



コラム

「詳細に設定する」トグルをオフにする場合は、データベース種別は「TENANT」に設定されます。データベース種別を変更することはできません。

3. メインエンティティの項目の編集

「マスタメンテナンス」テンプレートはエンティティ項目を元に一覧画面などの各画面がアプリケーション作成時に生成されます。

テーブルにカラムを追加し、各項目を設定してください。

表示名 *	詳細	物理名 *	データ型 *	表示形式 *
商品コード	<input type="text"/> item_code	文字列	テキストボックス	
商品名	<input type="text"/> item_name	文字列	テキストボックス	
商品カテゴリ	<input type="text"/> item_category	文字列	プルダウン	
仕入れ先	<input type="text"/> supplier	文字列	テキストボックス	



コラム

詳細ボタンをクリックすると辞書項目新規作成ダイアログが開き、各項目の詳細設定が行えます。



コラム

「マスタメンテナンス」テンプレートは、作成するアプリケーションに検索機能を付けることができます。

検索機能を付ける場合、検索対象にしたい項目の「検索条件」にチェックを入れてください。

4. 明細データの利用指定

明細エンティティの数を指定します。

最大で5つの明細エンティティを作成できます。

マスタメンテナンス - 新規作成

明細データの利用指定

明細データの利用数: 0

その他情報の指定

IDの決定に利用する文字列*: 半角英数字、- (ハイフン)、_ (アンダースコア) を入力してください。

5. 扱う明細データの定義1

メインエンティティと同様に項目を編集します。

明細エンティティの主キーは、`sub_table_id`とメインエンティティの主キーが設定されます。

扱う明細データの定義1

エンティティ名*:

エンティティに紐づくテーブル名*:

項目設定

デフォルトカテゴリの設定
マスタメンテナンス
+ 追加 + 既存の辞書項目から選択 + 新規作成する辞書項目を参照
表示名* 詳細 物理名* データ型* 表示形式* 最大桁数 主キー 必須 削除
明細テーブルID sub_table_id 文字列 20 checked checked checked

その他情報の指定

IDの決定に利用する文字列*: 半角英数字、- (ハイフン)、_ (アンダースコア) を入力してください。

アプリケーション作成

扱う明細データの定義1 以降の明細データも、同様に設定を行うことができます。

「詳細に設定する」トグルをオフにする場合のデータ定義設定は以上です。

6. その他情報の指定

詳細に設定する場合

The screenshot shows the 'マスタメンテナンス - 新規作成' (Master Maintenance - New Creation) screen. The main area is titled '扱うデータの定義' (Definition of handled data). It includes sections for 'エンティティID' (Entity ID), 'エンティティ名' (Entity name), 'データベース種別' (Database type), and '主キーの自動採番設定' (Automatic primary key generation settings). A red box highlights the 'エンティティ名' input field and its validation message. Another red box highlights the 'データベース種別' section, which contains radio buttons for 'TENANT' and 'SHARED'. A third red box highlights the '主キーの自動採番設定' section, which contains a checkbox for '主キーの自動採番を利用する' (Use automatic primary key generation). At the bottom, there's a '項目設定' (Item Settings) section with a table for defining default categories.

1. 扱うデータの定義

新しいエンティティを作成します。メインエンティティのID、名称、カテゴリを設定します。

2. データベースのテーブルに利用する名称の定義

入力された内容を保持するテーブルの名称を設定します。

エンティティ情報を元にデータベースのテーブルが作成され、「データ定義」機能で管理されます。

なお、「新しくエンティティを作成」する場合、既存のテーブルは設定いただけません。



コラム

「データ定義」機能については、「IM-Repository ユーザ操作ガイド」 - 「データ定義」をご確認ください。

3. 主キーの自動採番

主キーの自動採番を利用すると、主キーを意識せずアプリケーションを利用できます。

アプリケーション作成画面において、項目設定内に主キーカラムを自動生成します。

また、生成されるアプリケーションの登録画面において主キーカラムが表示されず入力も不要です。

自動採番利用時の自動採番値には、「連番（文字列）を利用する」と「ランダムな文字列を利用する」が選択でき、生成されるアプリケーションの一部動作が異なります。

「連番（文字列）を利用する」を選択した場合

主キーの採番体系は「00000001」からの連番です。

項目が生成されるアプリケーションの登録画面には表示されませんが、編集画面および参照画面、一覧画面では表示されます。

生成資材に「自動採番」が含まれるようになり、生成されるアプリケーションにおけるデータ登録時に「00000001」からの連番を自動取得し、主キーの値として登録します。

「ランダムな文字列を利用する」を選択した場合

主キーの採番体系はランダムな英数字です。

生成されるアプリケーションの登録画面に加え、編集画面および参照画面、一覧画面でも表示されません。

生成されるアプリケーションにおけるデータ登録時にランダムな英数字を自動取得し、主キーの値として登録します。

主キーの自動採番設定

主キーの自動採番を利用する

自動採番する値

連番（文字列）を利用する

主キーの採番体系が「00000001」からの連番になります。編集・参照画面や一覧画面に表示したい場合に選択してください。

ランダムな文字列を利用する

主キーの採番体系がランダムな英数字になります。規則性がないため、登録・編集・参照画面および一覧画面に表示する必要がない場合に選択してください。



コラム

主キーの自動採番については、2025 Spring(Kamille)からご利用いただけます。

4. メインエンティティの項目の編集

intra-mart Accel Platform — Accel Studio テンプレートカタログ 第10版 2025-10-01

「マスタメンテナンス」テンプレートはエンティティ項目を元に一覧画面などの各画面がアプリケーション作成時に生成されます。

辞書項目を追加し、データ型を選択すると、データ型に合った画面の入力項目が補完されます。

なお、辞書項目のDatabaseのデータ型に「TIME」「BINARY」を設定した辞書項目またはエイリアスは使用できません。

The screenshot shows the 'Project Settings' section of the 'Master Maintenance' template. It includes fields for 'Display Name*', 'Physical Name*', 'Data Type*', and 'Display Format*' for columns like '商品コード' (Item Code), '商品名' (Item Name), '商品カテゴリ' (Item Category), and '仕入れ先' (Supplier). To the right, a preview area shows the mapped fields: '商品コード*' (Item Code), '商品名' (Item Name), '商品カテゴリ' (Item Category), and '仕入れ先' (Supplier).

主キーの自動採番を利用する設定を行った場合、項目一覧の先頭に主キー項目が自動でセットされ、他項目では主キーの設定が任意に設定できなくなります。

項目設定を途中まで行っている状態で主キーの自動採番を利用する設定を行った場合、設定中の主キー情報が破棄されます。



コラム

「マスタメンテナンス」テンプレートは、作成するアプリケーションに検索機能を付けることができます。

検索機能を付ける場合、検索対象にしたい項目の「検索条件」にチェックを入れてください。



コラム

「辞書項目の新規作成」から新規に辞書項目を作成した場合、辞書項目名を標準ロケールのみ登録できます。

各ロケールの内容をアプリケーションに反映したい場合は、事前に辞書項目を作成する必要があります。「IM-Repository

ユーザ操作ガイド」 - 「辞書項目を新規登録する」より各ロケールの辞書項目名を設定し、「既存の辞書項目から選択」してください。

4. 明細データの利用指定

明細エンティティの数を指定します。

最大で5つの明細エンティティを作成できます。

The screenshot shows the 'Master Maintenance' template configuration. Under 'Application Information', 'Master Maintenance' is selected. In the 'Detailed Data Usage' section, the 'Number of detailed data entries' is set to '0'. In the 'Other Information' section, there is a note about ID generation: 'This template uses IM-LogicDesigner and IM-BloomMaker resources to generate IDs automatically based on the logic defined in the template.' Below this, 'IM-LogicDesigner, IM-BloomMaker Resource Settings' are shown, including a checkbox for '决定する' (Decide) and a text input for 'ID决定用文字列' (Text string for ID decision) containing '_ (アンダースコア)'.

5. 扱う明細データの定義1

メインエンティティと同様に項目を編集します。

明細エンティティの主キーは、`sub_table_id`とメインエンティティの主キーが設定されます。

The screenshot shows the 'Create Application' interface. The main area is titled 'マスタメンテナンス - 新規作成' (Master Maintenance - New Creation). It displays several sections:

- Application Information**: Fields include 'Application Name*', 'Definition of Data*', 'Detailed Data Usage Specification', 'Definition of Detailed Data 1*', and 'Other Information Specified*'. A note at the top states: '① 作成するアプリケーションで扱う明細データを、IM-Repository から作成します。メインエンティティに紐づく子エンティティを、新規作成して利用します。'
- Basic Information**: Fields include 'Entity ID*' (with a note: '半角英数字、- (ハイフン)、_ (アンダースコア)、. (ドット)、@ (アットマーク)、+ (プラス)、! (エクスクラーメーション) で入力してください。'), 'Entity Name*', and 'Category* (Business Template Creation)'.
- Relationship Definition**: Fields include 'Entity Name to Associate with Table*', 'Relationship Type*', and 'Parent Entity Relationship Item' (with dropdowns for '商品コード' and '商品コード').
- Item Setting**: A table for 'Default Category Settings' with columns: 表示名*, 物理名*, データ型*, 表示形式*, 最大桁数, 主キー, 必須, 刪除. It lists two items: '商品コード' (item_cd, 文字列, 500) and '明細テーブルID' (sub_table_id, 文字列, 20).

扱う明細データの定義1 以降の明細データも、同様に設定を行うことができます。

6. その他情報の指定

作成されるアプリケーションに利用されるリソースのIDやルーティング情報を手動で決定できます。
チェックを入れないことを推奨します。

7. アプリケーション作成開始

アプリケーションの基本情報を入力したら「アプリケーション作成」ボタンをクリックしてください。
入力項目に不備が無ければ自動でアプリケーションの作成ができます。

アプリケーション作成

8. アプリケーション作成結果

アプリケーション作成が完了すると、ステータスが「COMPLETE」と表示されます。

The screenshot shows the 'Template Build Job - Details' screen. The main area is titled 'テンプレートビルトジョブ - 詳細' (Template Build Job - Details). It displays:

- Build Job Details**: Fields include 'Build Job ID' (8h50coiuaxijpi), 'Template Name' (テンプレート名), 'Creator User Code' (マスタメンテナンス), 'Status' (ステータス) set to 'COMPLETE' (with a green dot icon), and 'Creation Date' (作成日時) set to '2024/03/14 16:33:00'.
- Log Messages**: A table showing log entries with columns: 出力日時 (Output Date/Time) and メッセージ (Message). The messages are:
 - 2024/03/14 16:33:00 生成するリソースのIDを自動設定します。
 - 2024/03/14 16:33:00 一時ディレクトリに IM-LogicDesigner インポート資材を作成しました。
 - 2024/03/14 16:33:01 一時ディレクトリに IM-BloomMaker インポート資材を作成しました。
 - 2024/03/14 16:33:02 自動生成された IM-LogicDesigner 資材をインポートしました。
 - 2024/03/14 16:33:06 自動生成された IM-BloomMaker 資材をインポートしました。
 - 2024/03/14 16:33:06 作成された「一覧画面」へはこちらの詳細アイコンから遷移できます。
 - 2024/03/14 16:33:08 アプリケーションの作成が完了しました。
 - 2024/03/14 16:33:08 アプリケーション認可設定で テナント管理者 Accel Studio 管理者 にアクセス許可が設定されました。



コラム

作成したアプリケーションは、初期設定では「テナント管理者」または「Accel Studio管理者」ロールを持ったユーザのみ利用できます。

任意のユーザに対して、利用を許可したい場合の設定方法は、「[Accel Studio アプリケーション管理機能 仕様書](#)」 - 「[Accel Studio アプリケーション認可設定](#)」をご確認ください。

「新しくエンティティを作成する」を選択した場合のアプリケーションの作成手順は以上です。

[アプリケーションのアクセス手順](#)に進んでください。

エンティティを選択する

1. アプリケーション作成画面への遷移

Accel Studioの「業務テンプレート一覧」から「マスタメンテナンス」テンプレートを選択します。

Accel Studioの「業務テンプレート一覧」は、「サイトマップ」→「Accel Studio」→「業務テンプレート一覧」から遷移できます。

業務テンプレート一覧画面。左側メニューには「マスタメンテナンス」が選択されています。画面には4つのテンプレートが表示されています。

- マスタメンテナンス**: 任意のマスタ情報の登録、更新、参照、削除が行えるアプリケーションを作成するテンプレートです。「新しくエンティティを作成」「エンティティを選択」「Excelファイルを利用」のいずれかを選択して作成します。
- シンプルなワークフロー**: ワークフローに必要な基本的な設定を備えたアプリケーションを作成するテンプレートです。ワークフローの開発のひな形としても利用できます。
- スプレッドシート型一覧**: スpreadsheet型一覧のテンプレートではExcelのテーブルのような一覧画面を提供します。また、一覧データをxlsx形式のファイルとしてエクスポートすることもできます。※このテンプレートはIM-Spreadsheetが含まれていない環境では利用できません。
- 空のアプリケーション**: 空のアプリケーションを作成します。

マスタメンテナンスの作成方法は「エンティティを選択」を選択します。

マスタメンテナンスの作成方法を選択してください。3つのオプションがあります。

- 新しくエンティティを作成(初めての方はこちら)**: エンティティを作成したことがない、もしくは新規にエンティティを作成したい場合はこちら。
- エンティティを選択**: 利用したいエンティティがある場合はこちら。
- Excelファイルを利用**: Excelファイルのデータからアプリケーションを作成したい場合はこちら。

2. アプリケーションのIDや名称などの設定

「マスタメンテナンス」テンプレートを選択し、アプリケーション情報の設定画面が表示されたら、アプリケーションのIDや名称などを設定します。

設定した基本情報は、各処理や画面の名称、IDなどに利用されます。

アプリケーション情報*

扱うデータの定義*

その他情報の指定*

アプリケーションID* ⓘ
半角英数字、- (ハイフン)、_ (アンダースコア) で入力してください。

アプリケーション名* ⓘ

説明 ⓘ

扱うデータの定義

① 作成するアプリケーションで扱うエンティティの定義（テーブルおよびカラム）を指定します。
扱うデータの定義で指定したエンティティ情報をもとにアプリケーションの各画面が生成されます。
参照項目設定を行ったエンティティを選択した場合は、アプリケーションにマスタ参照機能が追加されます。

エンティティを選択

アプリケーション作成

3. 扱うデータの定義

「エンティティを選択」する場合は、選択されたエンティティの情報を元にマスタメンテナスアプリケーションの各画面が生成されます。
「エンティティを選択」から、アプリケーションで使用したいエンティティを選択してください。

アプリケーション情報*

扱うデータの定義*

その他情報の指定*

アプリケーションID* ⓘ
半角英数字、- (ハイフン)、_ (アンダースコア) で入力してください。

アプリケーション名* ⓘ

説明 ⓘ

扱うデータの定義

① 作成するアプリケーションで扱うエンティティの定義（テーブルおよびカラム）を指定します。
扱うデータの定義で指定したエンティティ情報をもとにアプリケーションの各画面が生成されます。
参照項目設定を行ったエンティティを選択した場合は、アプリケーションにマスタ参照機能が追加されます。

エンティティを選択

その他情報の指定

① このテンプレートでは、IM-LogicDesigner と IM-BloomMaker のリソースを新操作成し、アプリケーションを作成します。
IM-LogicDesigner と IM-BloomMaker で利用される各種IDやルーティング情報などを自動で決定するかを指定します。
自動で決定する場合は、「IDの決定に利用する文字列」が含まれた文字列が指定されます。

IM-LogicDesigner, IM-BloomMaker 資材の設定 ⓘ
□ リソースのIDやルーティング情報を手動で決定する

IDの決定に利用する文字列* ⓘ
半角英数字、- (ハイフン)、_ (アンダースコア) で入力してください。

アプリケーション作成



コラム

参照項目設定が行われているエンティティを選択した場合は、マスタ参照機能付きのアプリケーションが作成されます。
詳しくは「マスタメンテナス（マスタ参照機能付き）」をご確認ください。

1. メインエンティティの項目の編集

「マスタメンテナス」テンプレートはエンティティ項目を元に一覧画面などの各画面がアプリケーション作成時に生成されます。

項目設定 ⓘ					商品コード*	
表示名 *	詳細	物理名 *	データ型 *	表示形式 *	最大桁数	
商品コード	item_cd		文字列	テキストボックス	500	商品コード*
商品名	item_name		文字列	テキストボックス	500	商品カテゴリ
商品カテゴリ	item_category		文字列	プルダウン	500	商品名
仕入れ先	supplier		文字列	テキストボックス	500	仕入れ先



コラム

「マスタメンテナンス」テンプレートは作成するアプリケーションに検索機能を付けることができます。

検索条件の設定方法は、「IM-Repository ユーザ操作ガイド」 - 「データ定義」をご確認ください。

4. 明細データの利用指定

明細エンティティの数を指定します。

最大で5つの明細エンティティを作成できます。

アプリケーション作成
マスタメンテナンス - 新規作成

ア�플리케이션情報*

扱うデータの定義*

明細データの利用指定

その他情報の指定*

TENANT

エンティティに組づくテーブル名* ヘルプアイコンから入力規則を確認できます。

項目設定

表示名*	詳細	物理名*	データ型*	表示形式*	最大桁数	主キー	必須	検索条件	削除
商品コード	<input type="button" value="新規"/>	item_cd	文字列	テキストボックス	500	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
商品名	<input type="button" value="新規"/>	item_name	文字列	テキストボックス	500	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
商品カテゴリ	<input type="button" value="新規"/>	item_category	文字列	テキストボックス	500	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
仕入れ先	<input type="button" value="新規"/>	supplier	文字列	テキストボックス	500	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

明細データの利用指定

① 利用する明細データ数を指定します。

明細データの利用数
0

その他情報の指定

① このテンプレートでは、IM-LogicDesigner と IM-BloomMaker のリソースを新規作成し、アプリケーションを作成します。
IM-LogicDesigner と IM-BloomMaker で利用される各種IDやルーティング情報などを自動で決めるかを指定します。
自動で決定する場合は、「IDの決定に利用する文字列」が含まれた文字列が指定されます。

IM-LogicDesigner, IM-BloomMaker 資材の設定
 リソースのIDやルーティング情報を手動で決定する

IDの決定に利用する文字列*

アプリケーション作成



コラム

「エンティティを選択」で明細を利用するには、事前にサブエンティティ項目の設定を行う必要があります。

サブエンティティ項目の設定は、「IM-Repository ユーザ操作ガイド」 - 「関連項目」から行ってください。

5. 扱う明細データの定義1

メインエンティティと同様にエンティティを選択し、項目を編集します。

アプリケーション作成
マスタメンテナンス - 新規作成

明細データの利用指定

① 利用する明細データ数を指定します。

明細データの利用数
1

扱う明細データの定義1*

① 作成するアプリケーションで扱う明細データを、IM-Repository から指定します。
メインエンティティに紐づく子エンティティを、既存のサブエンティティから選択します。

子エンティティの選択* 
sample_master_maintenance_sub

基本情報

エンティティID* 
半角英数字、- (ハイphen)、_ (アンダースコア)、. (ドット)、@ (アットマーク)、+ (プラス)、! (エクスクラーメーション) で入力してください。
sample_master_maintenance_sample_master_maintenance_sub

サブエンティティ変数名* 
半角英数字、_ (アンダースコア) で入力してください。
sample_master_maintenance_sub_ENTITY_001

エンティティ名* 
sample_master_maintenance_sub

登録先エンティティカテゴリ* 
業務テンプレートから作成 

エンティティに紐づくテーブル名* 
ヘルプアイコンから入力規則を確認できます。
sample_master_maintenance_sub

親エンティティ名* 
sample_master_maintenance

多重度*
1:n

エンティティ関連項目* 
親エンティティ関連項目 子エンティティ関連項目

商品コード  商品コード 

項目設定 

表示名*	詳細	物理名*	データ型*	表示形式*	最大桁数	主キー	必須	削除
商品コード		item_cd	文字列		500	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
明細テーブルID		sub_table_id	文字列	テキストボックス 	20	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
有効開始日		valid_start_date	日付	日付 		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
商品価格		item_price	整数	数値ボックス 	9	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

アプリケーション作成

扱う明細データの定義1 以降の明細データも、同様に設定を行うことができます。



コラム

「マスタメンテナンス」テンプレートはsub_table_idを予約語として利用します。

JavaScript変数名がsub_table_idである項目は、明細において自動で採番されデータとして登録されます。

6. その他情報の指定

作成されるアプリケーションに利用されるリソースのIDやルーティング情報を手動で決定できます。
チェックを入れないことを推奨します。

7. アプリケーション作成開始

アプリケーションの基本情報を入力したら「アプリケーション作成」ボタンをクリックしてください。
入力項目に不備が無ければ自動でアプリケーションの作成ができます。

アプリケーション作成

8. アプリケーション作成結果

アプリケーション作成が完了すると、ステータスが「COMPLETE」と表示されます。

アプリケーション作成
テンプレートビルトジョブ - 詳細

ビルトジョブID	8h50coituxajipi	テンプレート名	マスタメンテナンス
ステータス	COMPLETE	作成者ユーザコード	tenant
作成日時	2024/03/14 16:33:00		

出力日時 メッセージ 詳細

- 2024/03/14 16:33:00 生成するリソースのIDを自動設定します。
- 2024/03/14 16:33:00 一時ディレクトリに IM-LogicDesigner インポート資材を作成しました。
- 2024/03/14 16:33:01 一時ディレクトリに IM-BloomMaker インポート資材を作成しました。
- 2024/03/14 16:33:02 自動生成された IM-LogicDesigner 資材をインポートしました。
- 2024/03/14 16:33:06 自動生成された IM-BloomMaker 資材をインポートしました。
- 2024/03/14 16:33:06 作成された「一覧画面」へはこちらの詳細アイコンから遷移できます。
- 2024/03/14 16:33:08 アプリケーションの作成が完了しました。
- 2024/03/14 16:33:08 アプリケーション認可設定で テナント管理者, Accel Studio 管理者 にアクセス許可が設定されました。



コラム

作成したアプリケーションは、初期設定では「テナント管理者」または「Accel Studio管理者」ロールを持ったユーザのみ利用できます。

任意のユーザに対して、利用を許可したい場合の設定方法は、「[Accel Studio アプリケーション管理機能 仕様書](#)」 - 「[Accel Studio アプリケーション認可設定](#)」をご確認ください。

「エンティティを選択する」を選択した場合のアプリケーションの作成手順は以上です。

「マスタメンテナンス」テンプレートを利用する方は [アプリケーションのアクセス手順](#) に進んでください。

「マスタメンテナンス」テンプレート（マスタ参照機能付き）を利用する方は [アプリケーションのアクセス手順](#) に進んでください。

Excelファイルを利用する



コラム

「マスタメンテナンス」テンプレートに利用できるExcelファイルの詳細については「[マスタメンテナンステンプレートに利用できるExcelファイルの詳細](#)」をご確認ください。

1. アプリケーション作成画面への遷移

Accel Studioの「業務テンプレート一覧」から「マスタメンテナンス」テンプレートを選択します。

Accel Studioの「業務テンプレート一覧」は、「サイトマップ」→「Accel Studio」→「業務テンプレート一覧」から遷移できます。

アプリケーション作成
業務テンプレート一覧

ベーステンプレート
Accel Studio でアプリケーションを作成する際のテンプレートです。
シンプルな機能で構成されているため、Accel Studio で初めて開発する方はこちらのテンプレートをおすすめします。



マスタメンテナンス

任意のマスタ情報の登録、更新、参照、削除が行えるアプリケーションを作成するテンプレートです。「新しくエンティティを作成」「エンティティを選択」「Excelファイルを利用」のいずれかを選択して作成します。

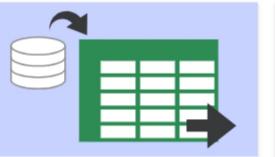
[次へ](#)



シンプルなワークフロー

ワークフローに必要な基本的な設定を備えたアプリケーションを作成するテンプレートです。ワークフローの開発のひな形としても利用できます。

[次へ](#)



スプレッドシート型一覧

スプレッドシート型一覧のテンプレートでは Excel のテーブルのような一覧画面を提供します。また、一覧データをxlsx形式のファイルとしてエクスポートすることもできます。※このテンプレートはIM-Spreadsheetが含まれていない環境では利用できません。

[次へ](#)

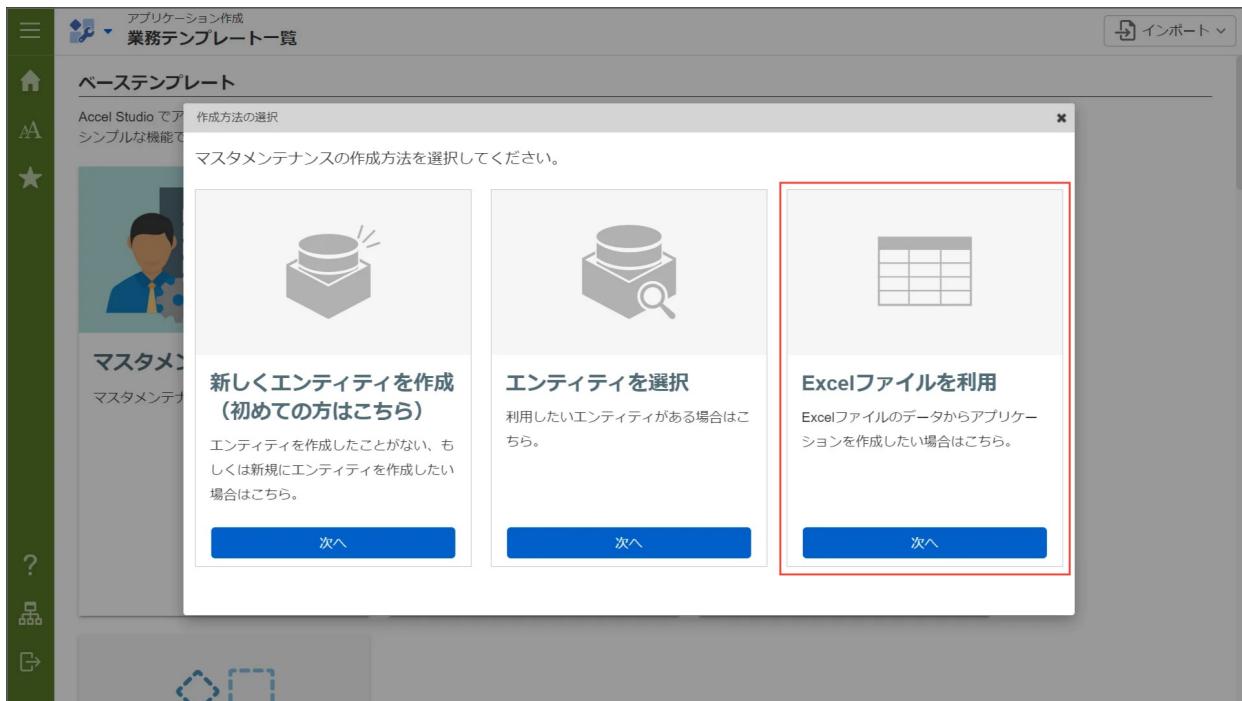


空のアプリケーション

空のアプリケーションを作成します。

[次へ](#)

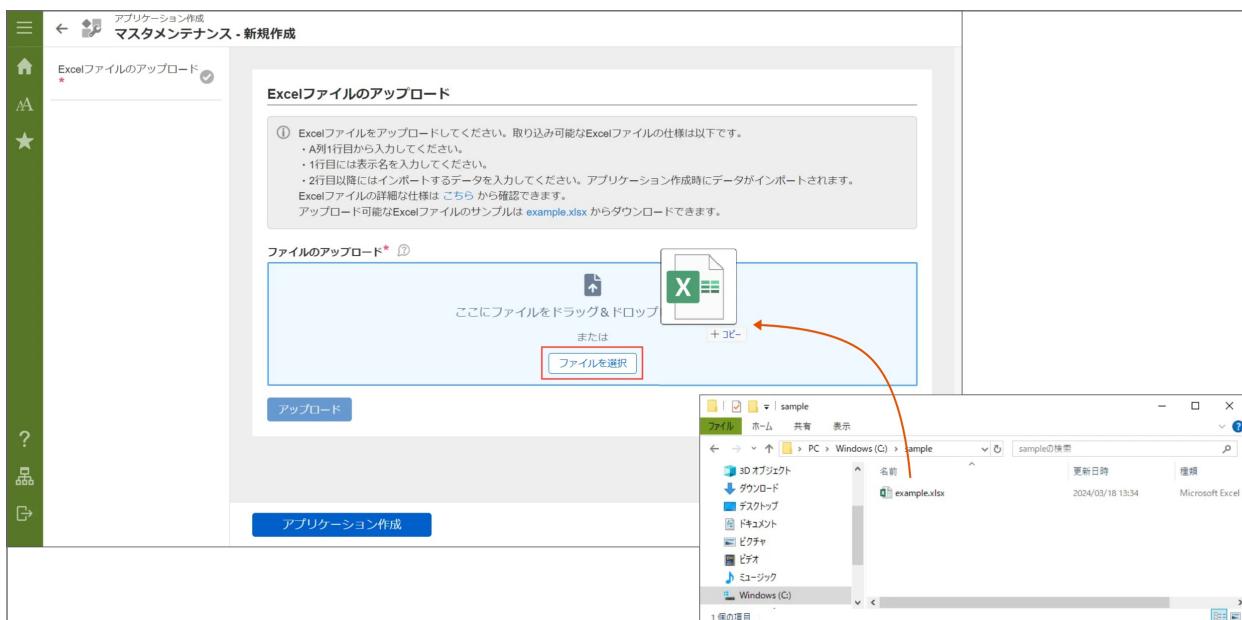
マスタメンテナンスの作成方法は「Excelファイルを利用」を選択します。



2. Excelファイルのアップロード

「マスタメンテナンス」テンプレートを選択し、アプリケーション情報の設定画面が表示されたら、アプリケーションにしたいExcelファイルをアップロードします。

ファイルをドラッグ＆ドロップまたは「ファイルを選択」ボタンからファイルを指定し、アップロードしてください。



Excelファイルのアップロード

① Excelファイルをアップロードしてください。取り込み可能なExcelファイルの仕様は以下です。

- ・A列1行目から入力してください。
- ・1行目には表示名を入力してください。
- ・2行目以降にはインポートするデータを入力してください。アプリケーション作成時にデータがインポートされます。

Excelファイルの詳細な仕様は [こちら](#) から確認できます。

アップロード可能なExcelファイルのサンプルは [example.xlsx](#) からダウンロードできます。

ファイルのアップロード*

ここにファイルをドラッグ & ドロップしてください
または

ファイルを選択

example.xlsx

アップロード

アプリケーション作成

ファイルのアップロード結果が表示されます。

Excelファイルのアップロード

① Excelファイルをアップロードしてください。取り込み可能なExcelファイルの仕様は以下です。

- ・A列1行目から入力してください。
- ・1行目には表示名を入力してください。
- ・2行目以降にはインポートするデータを入力してください。アプリケーション作成時にデータがインポートされます。

Excelファイルの詳細な仕様は [こちら](#) から確認できます。

アップロード可能なExcelファイルのサンプルは [example.xlsx](#) からダウンロードできます。

ファイルのアップロード*

ここにファイルをドラッグ & ドロップしてください
または

ファイルを選択

example.xlsx

アップロード

アップロード結果

アップロードに成功しました
41 行目まで読み取りました。

アプリケーション作成

3. アプリケーションのIDや名称などの設定

アプリケーションのIDや名称はExcelファイルの情報を元に自動入力されます。

自動入力された項目は変更可能です。

設定した基本情報は、各処理や画面の名称、IDなどに利用されます。

マスタメンテナンス - 新規作成

アプリケーション情報

① 作成する資材をまとめて1つのアプリケーションとして登録します。
作成するアプリケーション情報を入力してください。

アプリケーションID* ②
半角英数字、- (ハイフン)、_ (アンダースコア)で入力してください。
MASTER_MAINTENANCE_8h567qo9rph40xe

アプリケーション名* ②
example

説明 ②

扱うデータの定義

① Excelファイルから取得した情報を元にテンプレートを作成します。

アプリケーション作成

4. 扱うデータの定義

扱うデータの定義情報はExcelファイルの情報を元に自動入力されます。

自動入力された項目は変更可能です。

マスタメンテナンス - 新規作成

基本情報

エンティティID* ②
半角英数字、- (ハイフン)、_ (アンダースコア)、(ドット)、@ (アットマーク)、+ (プラス)、! (エクスクラーメーション)で入力してください。
MASTER_MAINTENANCE_8hjw07fa7x74pe8_ENTITY_000

エンティティ名* ②
sample

登録先エンティティカテゴリ* ②
業務テンプレートから作成

データベース種別 ②
 TENANT
 SHARED

エンティティに紐づくテーブル名* ②
master_maintenance_8hjw07fdex7

項目設定 ②

デフォルトカテゴリの設定 ②
マスタメンテナンス

表示名 *	詳細	物理名 *	データ型 *	表示形式 *	最大桁数	主キー	必須	検索条件	削除
連番		master_maintenance_8hjw	文字列	テキストボックス	1000	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
column1		master_maintenance_8hjw	文字列	テキストボックス	100	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
column2		master_maintenance_8hjw	整数	数値ボックス	3	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
column3		master_maintenance_8hjw	浮動小数点数	数値ボックス (小数あり)	6	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
column4		master_maintenance_8hjw	日付	日付		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
column5		master_maintenance_8hjw	真偽値	チェックボックス		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
column6		master_maintenance_8hjw	文字列	テキストボックス	100	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
column7		master_maintenance_8hjw	文字列	テキストボックス	100	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

アプリケーション作成

1. 扱うデータの定義

新しいエンティティを作成します。エンティティの名称を設定します。

2. データベースのテーブルに利用する名称の定義

入力された内容を保持するテーブルの名称を設定します。

エンティティ情報を元にデータベースのテーブルが作成され、「データ定義」機能で管理されます。



コラム

「データ定義」機能については、「IM-Repository ユーザ操作ガイド」 - 「データ定義」をご確認ください。

3. エンティティの項目の編集

「マスタメンテナンス」テンプレートはエンティティ項目を元に一覧画面などの各画面がアプリケーション作成時に生成されます。

i コラム

「マスタメンテナンス」テンプレートは作成するアプリケーションに検索機能を付けることができます。

「検索条件」にチェックが入っている項目を検索対象として扱います。Excelファイルのアップロード時は全ての項目にチェックが入っています。

検索対象にしたくない項目はチェックを外してください。

i コラム

2025 Spring(Kamille)から主キー項目は生成されるアプリケーションの登録画面に表示されなくなりました。

5. その他情報の指定

作成されるアプリケーションに利用されるリソースのIDやルーティング情報を手動で決定できます。

チェックを入れないことを推奨します。

6. アプリケーション作成開始

アプリケーションの基本情報を入力したら「アプリケーション作成」ボタンをクリックしてください。

入力項目に不備が無ければ自動でアプリケーションの作成ができます。

アプリケーション作成

7. アプリケーション作成結果

アプリケーション作成が完了すると、ステータスが「COMPLETE」と表示されます。

テンプレートビルジョブ - 詳細			
ビルジョブID	テンプレート名	作成者ユーザコード	
8hjypc81pwzize8	マスタメンテナンス	tenant	
ステータス	COMPLETE		
作成日時	2025/03/24 8:24:05		
出力日時	メッセージ	詳細	
2025/03/24 8:24:14	生成するリソースのIDを自動設定します。		
2025/03/24 8:24:18	一時ディレクトリに IM-LogicDesigner インポート資材を作成しました。		
2025/03/24 8:24:20	一時ディレクトリに IM-BloomMaker インポート資材を作成しました。		
2025/03/24 8:24:20	一時ディレクトリに Low-codeユーティリティ インポート資材を作成しました。		
2025/03/24 8:24:21	自動生成された IM-LogicDesigner 資材をインポートしました。		
2025/03/24 8:24:22	自動生成された IM-BloomMaker 資材をインポートしました。		
2025/03/24 8:24:23	自動生成された Low-codeユーティリティ 資材をインポートしました。		
2025/03/24 8:24:23	Excel ファイルのインポートを開始します。		
2025/03/24 8:24:23	Excel ファイルをインポートしました。		
2025/03/24 8:24:23	作成された「一覧画面」へはこちらの詳細アイコンから遷移できます。		
2025/03/24 8:24:25	アプリケーションの作成が完了しました。		
2025/03/24 8:24:25	アプリケーション認可設定で テナント管理者, Accel Studio 管理者 にアクセス許可が設定されました。		

i コラム

作成したアプリケーションは、初期設定では「テナント管理者」または「Accel Studio管理者」ロールを持ったユーザのみ利用できます。

任意のユーザに対して、利用を許可したい場合の設定方法は、「[Accel Studio アプリケーション管理機能 仕様書](#)」 - 「[Accel Studio アプリケーション認可設定](#)」をご確認ください。

「Excelファイルを利用する」を選択した場合のアプリケーションの作成手順は以上です。

Excelファイルを利用する場合は明細は使用できません。

アプリケーションのアクセス手順に進んでください。

マスタメンテナンステンプレートに利用できるExcelファイルの詳細

このページではマスタメンテナンステンプレートの作成時に利用可能なExcelファイルの詳細について解説します。

目次

- Excelファイルを利用したアプリケーションの作成の概要
- Excelファイルのルール
 - ファイルの形式
 - ワークシートの形式
 - ワークシート
 - セルの型について
 - その他の注意事項
 - アプリケーション作成画面で補完される内容

Excelファイルを利用したアプリケーションの作成の概要

Excelファイルを利用して、「マスタメンテナンス」テンプレートからアプリケーションを作成できます。

Excelファイルをアップロードすることでアプリケーションの作成時に必要な入力をExcelの内容から補います。

また、Excelのデータがインポートされた状態でアプリケーションが作成されます。



コラム

「マスタメンテナンス」テンプレートでExcelファイルを利用したアプリケーションの作成は2024 Spring(Iris)からご利用いただけます。

A	B	C	D	E	F	G	H
1 column1	column2	column3	column4	column5	column6	column7	
2 data1	1	1.11	2023/12/11	TRUE	aoyagi	tenant	
3 data2	2	2.22	2023/12/12	TRUE	hayashi	aoyagi	
4 data3	3	3.33	2023/12/13	TRUE	ueda	hayashi	
5 data4	4.44	4.44	2023/12/14	FALSE	maruyama	ueda	
6 data5	5	5.55	2023/12/15	FALSE	sekine	maruyama	
7 data6	6	6.66	2023/12/16	FALSE	terada	sekine	
8 data7	7	7.77	2023/12/17	TRUE	aoyagi	tenant	
9 data8	8	8.88	2023/12/18	TRUE	hayashi	aoyagi	
10 data9	9	9.99	2023/12/19	TRUE	ueda	hayashi	
11 data10	11.1	11.1	2023/12/20	FALSE	maruyama	ueda	
12 data11	11	12.21	2023/12/21	FALSE	sekine	maruyama	
13 data12	12	13.32	2023/12/22	FALSE	terada	sekine	
14 data13	13	14.43	2023/12/23	TRUE	aoyagi	tenant	
15 data14	14	15.54	2023/12/24	TRUE	hayashi	aoyagi	

Excelデータの定義

① Excelファイルから取得した情報でエンティティを作成します。
各部署毎ごとに詳細な設定が可能です。
扱うデータの定義で指定したエンティティ情報をもとにアプリケーションの各画面が生成されます。

基本情報

エンティティID* 半角英数字、ハイフン、_（アンダースコア）、.（ドット）、@（アットマーク）、+（プラス）、!（エクスクラメーション）で入力してください。
MASTER_MAINTENANCE_8hjg3bbk1y372rf_ENTITY_000

エンティティ名* sample

登録エンティティカテゴリ* 業務テンプレートごと作成

データベース種別 TENANT SHARED

エンティティに組み込むテーブル名* ヘルプアイコンから入力規則を確認できます。
master_maintenance_8hjg3bbk1y372rf_ENTITY_000

項目設定

デフォルトカテゴリの設定 マスタメンテナンス

表示名*	詳細	物理名*	データ型*	表示形式*	最大桁数	主キー	必須	検索条件	削除
連番	<input type="button" value="編集"/>	master_maintenance_8hjw	文字列	テキストボックス	1000	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
column1	<input type="button" value="編集"/>	master_maintenance_8hjw	文字列	テキストボックス	100	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
column2	<input type="button" value="編集"/>	master_maintenance_8hjw	整数	数値ボックス	3	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
column3	<input type="button" value="編集"/>	master_maintenance_8hjw	浮動小数点数	数値ボックス（小数あり）	6	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
column4	<input type="button" value="編集"/>	master_maintenance_8hjw	日付	日付		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
column5	<input type="button" value="編集"/>	master_maintenance_8hjw	真偽値	チェックボックス		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
column6	<input type="button" value="編集"/>	master_maintenance_8hjw	文字列	テキストボックス	100	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
column7	<input type="button" value="編集"/>	master_maintenance_8hjw	文字列	テキストボックス	100	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

アプリケーション作成

example

一覧画面

検索

編集	連番	column1	column2	column3	column4	column5	column6	column7	詳細
<input type="button" value="編集"/>	00000001	data1		1	1.11	2023/12/11	true	aoyagi	tenant
<input type="button" value="編集"/>	00000002	data2		2	2.22	2023/12/12	true	hayashi	aoyagi
<input type="button" value="編集"/>	00000003	data3		3	3.33	2023/12/13	true	ueda	hayashi
<input type="button" value="編集"/>	00000004	data4		0	4.44	2023/12/14	false	maruyama	ueda
<input type="button" value="編集"/>	00000005	data5		5	5.55	2023/12/15	false	sekine	maruyama

+ 新規作成

Excelファイルのルール

ご利用いただけるExcelファイルのルールについて解説します。

1行目にテーブルのカラム名、2行目以降に任意のデータを持つExcelファイルを読み取ることができます。

CSV形式のファイルのようなイメージのExcelファイルを利用してください。

The screenshot shows a Microsoft Excel spreadsheet titled "example.xlsx - Excel". The worksheet is named "sample". The data starts with a header row containing "column1" through "column7". Rows 2 through 15 are labeled "data1" through "data14" respectively, with each row containing 8 columns of data.

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	column1	column2	column3	column4	column5	column6	column7	
2	data1		1.11	2023/12/11	TRUE	aoyagi	tenant	
3	data2		2.22	2023/12/12	TRUE	hayashi	aoyagi	
4	data3		3.33	2023/12/13	TRUE	ueda	hayashi	
5	data4		4.44	2023/12/14	FALSE	maruyama	ueda	
6	data5		5.55	2023/12/15	FALSE	sekine	maruyama	
7	data6		6.66	2023/12/16	FALSE	terada	sekine	
8	data7		7.77	2023/12/17	TRUE	aoyagi	tenant	
9	data8		8.88	2023/12/18	TRUE	hayashi	aoyagi	
10	data9		9.99	2023/12/19	TRUE	ueda	hayashi	
11	data10		11.1	2023/12/20	FALSE	maruyama	ueda	
12	data11		12.21	2023/12/21	FALSE	sekine	maruyama	
13	data12		13.32	2023/12/22	FALSE	terada	sekine	
14	data13		14.43	2023/12/23	TRUE	aoyagi	tenant	
15	data14		15.54	2023/12/24	TRUE	hayashi	aoyagi	

Excelファイルを利用する場合のアプリケーション作成画面では、サンプルのExcelファイルをダウンロードできます。初めての方はサンプルのExcelファイルを利用して、アプリケーションを作成してみてください。

The screenshot shows the "マスター・テンプレート作成" (Master Template Creation) screen. It includes a section for "Excelファイルのアップロード" (Upload Excel file) with instructions and a file upload area. A note at the bottom indicates that the sample file "example.xlsx" can be downloaded.

Excelファイルのアップロード

① Excelファイルをアップロードしてください。取り込み可能なExcelファイルの仕様は以下です。
A列1行目から入力してください。
1行目には表示名を入力してください。
2行目以降にはインポートするデータを入力してください。アプリケーション作成時にデータがインポートされます。
Excelファイルの詳細な仕様は [こちら](#) から確認できます。
アップロード可能なExcelファイルのサンプルは [example.xlsx](#) からダウンロードできます。

ファイルのアップロード*

ここにファイルをドラッグ&ドロップしてください
または
[ファイルを選択]

[アップロード]

Excelファイルを読み取るためには、以下のルールが存在します。

ファイルの形式

- Excelファイルの拡張子は.xlsx形式のファイルのみ利用できます。.xls形式のファイルは利用できません。
- ファイルサイズが100MBを超えるファイルはアップロードできません。
- マクロやVBAを利用したExcelファイルは正しく読み取れない場合があります。

ワークシートの形式

- 読み取り対象のワークシートは一番目（一番左側）のワークシートです。
複数のワークシートが存在する場合でも、一番左のワークシートのみが読み取られます。

ワークシート

- A列1行目から入力してください。
- 1行目にカラム名を記載してください。
1行目はアプリケーションのカラム名として利用されます
 - 1行目のセルには文字列を入力してください。
 - 文字列以外のデータまたは空のセル場合、その一つ左の列までを読み取ります。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	column1	column2	column3	column4	column5	column6	column7	
2	data1		1	1.11	2023/12/11	TRUE	aoyagi	tenant
3	data2		2	2.22	2023/12/12	TRUE	hayashi	aoyagi
4	data3		3	3.33	2023/12/13	TRUE	ueda	hayashi
5	data4			4.44	2023/12/14	FALSE	maruyama	ueda
6	data5		5	5.55	2023/12/15	FALSE	sekine	maruyama
7	data6		6	6.66	2023/12/16	FALSE	terada	sekine
8	data7		7	7.77	2023/12/17	TRUE	aoyagi	tenant
9	data8		8	8.88	2023/12/18	TRUE	hayashi	aoyagi
10	data9		9	9.99	2023/12/19	TRUE	ueda	hayashi
11	data10			11.1	2023/12/20	FALSE	maruyama	ueda
12	data11		11	12.21	2023/12/21	FALSE	sekine	maruyama
13	data12		12	13.32	2023/12/22	FALSE	terada	sekine
14	data13		13	14.43	2023/12/23	TRUE	aoyagi	tenant
15	data14		14	15.54	2023/12/24	TRUE	hayashi	aoyagi

- 2行目以降にデータを入力してください。
2行目以降はアプリケーションのデータとして利用されます。
2行目以降にデータを持たない場合でもアプリケーションは作成されますが、データは持たない状態で作成されます。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	column1	column2	column3	column4	column5	column6	column7	
2	data1		1	1.11	2023/12/11	TRUE	aoyagi	tenant
3	data2		2	2.22	2023/12/12	TRUE	hayashi	aoyagi
4	data3		3	3.33	2023/12/13	TRUE	ueda	hayashi
5	data4			4.44	2023/12/14	FALSE	maruyama	ueda
6	data5		5	5.55	2023/12/15	FALSE	sekine	maruyama
7	data6		6	6.66	2023/12/16	FALSE	terada	sekine
8	data7		7	7.77	2023/12/17	TRUE	aoyagi	tenant
9	data8		8	8.88	2023/12/18	TRUE	hayashi	aoyagi
10	data9		9	9.99	2023/12/19	TRUE	ueda	hayashi
11	data10			11.1	2023/12/20	FALSE	maruyama	ueda
12	data11		11	12.21	2023/12/21	FALSE	sekine	maruyama
13	data12		12	13.32	2023/12/22	FALSE	terada	sekine
14	data13		13	14.43	2023/12/23	TRUE	aoyagi	tenant
15	data14		14	15.54	2023/12/24	TRUE	hayashi	aoyagi

- 2行目以降の同じ列のデータについては、セルの型が一致している必要があります。

例：A列の2行目以降は全て文字列型、B列の2行目以降は全て数値型…など

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	column1	column2	column3	column4	column5	column6	column7	
2	data1		1	1.11	2023/12/11	TRUE	aoyagi	tenant
3	data2		2	2.22	2023/12/12	TRUE	hayashi	aoyagi
4	data3		3	3.33	2023/12/13	TRUE	ueda	hayashi
5	data4			4.44	2023/12/14	FALSE	maruyama	ueda
6	data5		5	5.55	2023/12/15	FALSE	sekine	maruyama
7	data6		6	6.66	2023/12/16	FALSE	terada	sekine
8	data7		7	7.77	2023/12/17	TRUE	aoyagi	tenant
9	data8		8	8.88	2023/12/18	TRUE	hayashi	aoyagi
10	data9		9	9.99	2023/12/19	TRUE	ueda	hayashi
11	data10			11.1	2023/12/20	FALSE	maruyama	ueda
12	data11		11	12.21	2023/12/21	FALSE	sekine	maruyama
13	data12		12	13.32	2023/12/22	FALSE	terada	sekine
14	data13		13	14.43	2023/12/23	TRUE	aoyagi	tenant
15	data14		14	15.54	2023/12/24	TRUE	hayashi	aoyagi

セルの型について

- セルの型は入力されているデータやセルの書式設定を元に推測・補完されます。
- セルは以下の型で分類され、アプリケーション作成時の情報補完に利用されます。

セルの型	例	備考
文字列	「サンプル文字列」	
数値	「12345」「0.12345」	計算式の結果等で無限小数が存在する場合、「扱うデータの定義」で小数桁数が大きな値になることがあります。
日付	2024/04/01	セルが日付として読み込まれない場合、書式設定から「*2012/3/14」形式を指定してください。
真偽値	「TRUE」「FALSE」	
エラー	「=1/0」	計算の結果に問題がある場合や、セルの参照先が存在しない場合など
空白、空のセル		



コラム

日付のセルは書式設定によっては正しく日付のセルと読み取られない場合があります。

書式設定から日付の「2012/3/14」や「*2012/3/14」など他の書式に変更して再度アップロードしてください。



コラム

計算式の入ったセルは計算後の結果からセルの型が決定されます。

Excelファイルの読み取り時に計算式の結果が取得できない場合、そのセルは空のセルとして扱われます。

計算式の結果が取得できないセルを取得する方法として、計算式のセルをコピーして同じ箇所に計算後の値を貼り付ける方法があります。

- 計算式の結果の値をコピーしたいセルを選択してコピーします。
- 同じ箇所にペーストする際に右クリックメニューから貼り付けのオプションで「値」を選択することで計算式の結果をセルに記載できます。

その他の注意事項

- Excelファイルをアップロードすると、その内容がアプリケーション作成画面上に反映され編集可能な状態で表示されます。

intra-mart Accel Platform — Accel Studio テンプレートカタログ 第10版 2025-10-01

なお、「扱うデータの定義」の「エンティティ情報」については、可能な限りアップロードした内容を画面上で変更するのではなく、必要な修正をExcelファイルに行い、修正後のファイルを再度アップロードすることを推奨します。

扱うデータの定義を変更すると、データのインサートに失敗する可能性があります。

- Excelファイルから取得した辞書項目（エンティティ項目）に対しては主キーを設定できません。

主キー用の辞書項目が自動的に追加されるため、その項目をご利用ください。一部の設定は編集が可能です。

A	B	C	D	E	F	G	H
1 column1	column2	column3	column4	column5	column6	column7	
2 data1	1	1.11	2023/12/11	TRUE	aoyagi	tenant	
3 data2	2	2.22	2023/12/12	TRUE	hayashi	aoyagi	
4 data3	3	3.33	2023/12/13	TRUE	ueda	hayashi	
5 data4		4.44	2023/12/14	FALSE	maruyama	ueda	
6 data5	5	5.55	2023/12/15	FALSE	sekine	maruyama	
7 data6	6	6.66	2023/12/16	FALSE	terada	sekine	
8 data7	7	7.77	2023/12/17	TRUE	aoyagi	tenant	
9 data8	8	8.88	2023/12/18				
10 data9	9	9.99	2023/12/19				
11 data10		11.11	2023/12/20				
12 data11	11	12.21	2023/12/21				
13 data12	12	13.32	2023/12/22				
14 data13	13	14.43	2023/12/23				
15 data14	14	15.54	2023/12/24				

項目設定

表示名 *	詳細	物理名 *	データ型 *	表示形式 *	最大桁数	主キー	必須	検索条件	削除
連番		master_maintenance_8hjwv	文字列	テキストボックス	1000	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
column1		master_maintenance_8hjwv	文字列	テキストボックス	100	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
column2		master_maintenance_8hjwv	整数	数値ボックス	3	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
column3		master_maintenance_8hjwv	浮動小数点数	数値ボックス(小数あり)	6	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
column4		master_maintenance_8hjwv	日付	日付		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
column5		master_maintenance_8hjwv	真偽値	チェックボックス		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
column6		master_maintenance_8hjwv	文字列	テキストボックス	100	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
column7		master_maintenance_8hjwv	文字列	テキストボックス	100	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

アプリケーションを作成すると、主キーの辞書項目に「00000001」のような連番が設定されます。

主キー	column1	column2	column3	column4	column5	column6	column7	詳細
00000001	データ1		1	1.11	2023/12/11	true	aoyagi	tenant
00000002	データ2		2	2.22	2023/12/12	true	hayashi	aoyagi
00000003	データ3		3	3.33	2023/12/13	true	ueda	hayashi
00000004	データ4		0	4.44	2023/12/14	false	maruyama	ueda
00000005	データ5		5	5.55	2023/12/15	false	sekine	maruyama
00000006	データ6		6	6.66	2023/12/16	false	terada	sekine
00000007	データ7		7	7.77	2023/12/17	true	aoyagi	tenant
00000008	データ8		8	8.88	2023/12/18	true	hayashi	aoyagi
00000009	データ9		9	9.99	2023/12/19	true	ueda	hayashi
00000010	データ10		0	11.11	2023/12/20	false	maruyama	ueda
00000011	データ11		11	12.21	2023/12/21	false	sekine	maruyama
00000012	データ12		12	13.32	2023/12/22	false	terada	sekine

- Excelファイルの各列の情報をもとに「扱うデータの定義」の「エンティティ情報」に辞書項目が追加されます。

アプリケーション作成後に辞書項目の設定内容を変更する場合は、作成したアプリケーションのアプリケーション管理画面で「データ定義」欄から該当のエンティティを選択し、ヘッダの「辞書項目一覧」へ移動して設定の変更を行ってください。

- セル結合は非対応です。
- 画像やメディアファイルは非対応です。
- セルの幅や高さ、罫線の設定や太字などのセルの見た目の設定は無視されます。

アプリケーション作成画面で補完される内容

アプリケーション作成画面の各入力項目とExcelファイルの各列の情報の対応について解説します。
アップロードしていただいたExcelファイルの各列の情報をもとにアプリケーション作成画面の各入力項目が補完されます。
補完された内容を変更することは可能です。

アプリケーション作成画面 の入力項目		Excelファイルの情報 補完される内容	
アプリケーション情報	アプリケーションID	Excelファイルの内容に関係なく一意な文字列が補完されます。	
アプリケーション名	ファイル名	Excelファイルのファイル名がアプリケーション名として補完されます。	

アプリケーション作成画面

の入力項目

Excelファイルの情報 補完される内容

扱うデータの定義	エンティティID	Excelファイルの内容に関係なく一意な文字列が補完されます。
	エンティティ名	Excelファイルのシート名がエンティティ名として補完されます。
	登録先エンティティカテゴリ	「業務テンプレートから作成」カテゴリが指定されます。
	データベース種別	TENANTが指定されます。
	エンティティに紐づくテーブル名	Excelファイルの内容に関係なく一意な文字列が補完されます。
	登録先辞書項目カテゴリ	「マスタメンテナンス」カテゴリが指定されます。
	辞書項目ID	Excelファイルの内容に関係なく一意な文字列が補完されます。
	辞書項目名	Excelファイルの1行目の文字列で補完されます。
	データ型	2行目以降のセルの型 アップロード時点の内容から変更する場合はExcelファイルを修正して再度アップロードしてください。
	変数名	Excelファイルの内容に関係なく一意な文字列が補完されます。
	物理名	Excelファイルの内容に関係なく一意な文字列が補完されます。
	最大桁数	各列のデータに合わせ Excelファイルをインポートできる最大桁数が補完されます。 た数値
	小数桁数	各列のデータに合わせ Excelファイルをインポートできる小数桁数が補完されます。 た数値
	主キー設定	変更不可 主キーは設定できません。
	必須設定	一部変更可能 列内のデータに空のセルが存在する場合、必須設定は変更できません。
	並び替え	変更不可 並び替えできません。Excelファイルの列を並び替えて再度アップロードしてください。
	削除	変更不可 削除できません。Excelファイルの列を削除して再度アップロードしてください。

マスタメンテナンステンプレートのローコード仕様書

このページではマスタメンテナンステンプレートで作成された Accel Studio アプリケーションのローコード資材の仕様について説明します。

目次

- 全体構造
- 画面
 - 画面コンテンツ
- 公開URL
 - 画面URL
 - APIのURL
- ロジック
 - 登録処理
 - 参照処理
 - 編集処理
 - 削除処理
 - 一覧取得処理
- データ定義
- ユーティリティ
 - 採番定義

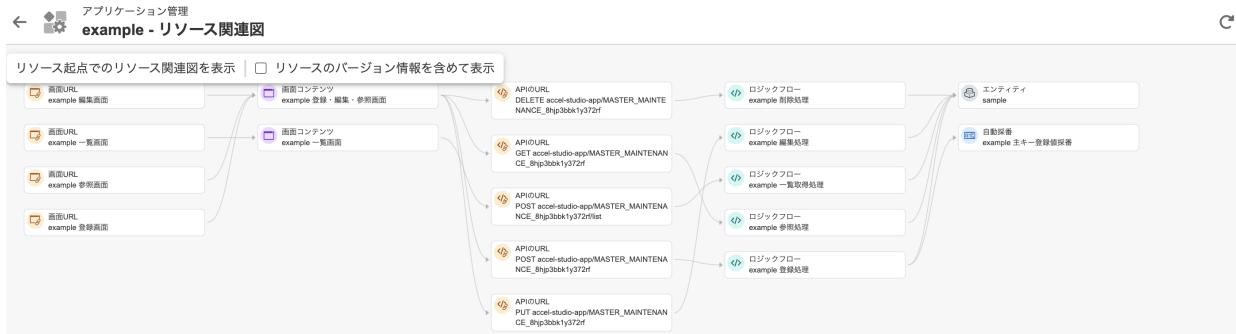
全体構造

マスタメンテナンステンプレートで作成された Accel Studio アプリケーションのローコード資材は以下で構成されます。

- 画面
 - 画面コンテンツ

- [一覧画面](#)
- [登録・編集・参照画面](#)
- [公開URL](#)
 - [画面URL](#)
 - [登録画面](#)
 - [編集画面](#)
 - [参照画面](#)
 - [一覧画面](#)
 - [APIのURL](#)
 - [POST accel-studio-app/{IDの決定に利用する文字列}](#)
 - [GET accel-studio-app/{IDの決定に利用する文字列}](#)
 - [PUT accel-studio-app/{IDの決定に利用する文字列}](#)
 - [DELETE accel-studio-app/{IDの決定に利用する文字列}](#)
 - [POST accel-studio-app/{IDの決定に利用する文字列}/list](#)
- [ロジック](#)
 - [登録処理](#)
 - [参照処理](#)
 - [編集処理](#)
 - [削除処理](#)
 - [一覧取得処理](#)
 - [データ定義](#)
 - [ユーティリティ](#)
 - [採番定義](#)

アプリケーションのリソース関連図は以下の通りです。



画面

マスタメンテナンステンプレートで作成された Accel Studio アプリケーションの画面は以下で構成されます。

- [画面コンテンツ](#)
 - [一覧画面](#)
 - [登録・編集・参照画面](#)

画面コンテンツ

画面コンテンツは IM-BloomMaker のコンテンツ定義です。

それぞれの画面コンテンツの詳細を以下で説明します。

一覧画面

概要

一覧画面はマスタデータを一覧表示する画面です。

一覧画面は以下の機能を持ちます。

- マスタデータの一覧表示
- マスタデータの検索
- アプリケーション作成時にエンティティ項目の「検索条件」列にチェックを入れた項目が検索条件として表示されます。

ページ

一覧画面のページは以下の通りです。

ページ	説明
Main Page	サイドメニュー コンテナに Overall ページを埋め込みます。 このページが画面に表示されます。
Overall	一覧画面の全体を構成します。
Header	一覧画面のヘッダを構成します。
Table Operation	一覧画面のテーブル操作を構成します。
Search Condition	一覧画面の検索条件を構成します。
Table	一覧画面のテーブルを構成します。

変数

一覧画面の変数は以下の通りです。一部を抜粋しています。

```
{
  "state": { // 画面の状態を管理する変数
    "tableData": [], // 一覧画面のテーブルデータを管理する変数
    "transitionRequestParameter": {}, // 画面遷移時のリクエストパラメータを管理する変数
    "clickedCell": { // 一覧から選択した行の情報を管理する変数
      "index": null,
      "key": null
    },
    "pagination": { // ページング情報を管理する変数
      "total": null, // 一覧の総件数
      "rowPerPage": null, // 1ページあたりの表示件数
      "current": null // 現在のページ
    },
    "condition": { // 検索、ソート条件を管理する変数
      "searchCondition": {}, // 検索条件の値を管理する変数
      "sortCondition": [ // ソート条件を管理する変数。リッチテーブルエレメントに指定します。
        {
          "key": null, // ソート対象。辞書項目IDを指定します。
          "order": null // ソート順。昇順の場合は「asc」、降順の場合は「desc」を指定します。
        }
      ],
      "isOpenedCondition": false // 検索条件エリアの表示状態を管理する変数
    },
    "prePagination": { // ページング処理時に前回のページング情報を管理する変数
      "current": null
    },
    "isFiltered": false // 検索中かを管理する変数
  },
  "endPoint": { // API のエンドポイントを管理する変数。エンドポイントごとにリクエストパラメータとレスポンスデータを管理します。
    "list": { // 一覧取得処理のエンドポイント
      "responseData": { // 一覧取得処理のレスポンスデータ
        "data": {
          "records": [], // 一覧のデータを管理する変数
          "total": null
        }
      },
      "requestParameter": { // 一覧取得処理のリクエストパラメータ
        "limit": null, // 1ページあたりの表示件数
        "offset": null, // 取得開始位置
        "searchCondition": {}, // 検索条件
        "sortCondition": [] // ソート条件
      }
    }
  },
  "headerRowString": {}, // 一覧画面のヘッダの文字列を管理する変数。リッチテーブルエレメントに指定します。
  "columnSettings": {} // 一覧画面のテーブルの列設定を管理する変数。リッチテーブルエレメントに指定します。
}
```

定数

一覧画面の定数は以下の通りです。一部を抜粋しています。

```
{
  "screenUrl": { // 画面遷移時のURLを管理する定数
    "register": "accel-studio-app/%IDの決定に利用する文字列%/register", // 登録画面のURL
    "edit": "accel-studio-app/%IDの決定に利用する文字列%/edit", // 編集画面のURL
    "refer": "accel-studio-app/%IDの決定に利用する文字列%/refer" // 参照画面のURL
  },
  "iconKey": { // アイコンのキーを管理する定数。編集、参照画面への遷移ボタンに使用します。
    "edit": "_edit",
    "refer": "_refer"
  },
  "initCondition": { // 変数の初期化値を管理する定数
    "sortCondition": [ // ソート条件を管理する変数の初期化値
      {
        "key": null,
        "order": null
      }
    ],
    "searchCondition": {}, // 検索条件の値を管理する変数の初期化値
    "limit": 20, // 1ページあたりの表示件数の初期化値
    "offset": 0 // 取得開始位置の初期化値
  },
  "dropdownKeys": [ // プルダウンの選択肢のキーを管理する定数。プルダウン項目の場合に一覧にvalueではなくlabelを表示するために使用します。
    {
      "itemName": "%プルダウン項目の辞書項目ID%",
      "enumeration": "%プルダウン項目の辞書項目ID%"
    }
  ],
  "enumerationList": {} // プルダウンの選択肢を管理する定数。プルダウン項目は画面に表示する文字列(label)と内部に持つ値(value)を持ちます。
}
}
```

アクション

一覧画面のアクションは以下の通りです。

アクション	説明
初期描画時	ページ読み込み時に実行されるアクションです。 ソート条件、検索条件を初期化し、一覧データを取得アクションを実行します。
一覧データを取得	一覧データを取得します。 プルダウンの項目がある場合、valueの値が取得されるため、labelの値を設定します。 検索条件が設定されているかどうかを判断し、検索中かを管理する変数isFilteredを設定します。
登録画面へ遷移	登録画面に遷移します。
編集画面へ遷移	編集画面に遷移します。
参照画面へ遷移	参照画面に遷移します。
編集/参照アイコンが押されたとき	一覧から選択した行の情報を管理する変数に設定し、編集/参照画面に遷移します。 編集/参照アイコンが押されたときのイベントにこのアクションを設定します。
検索ボタンが押されたとき	検索条件を設定し、一覧データを取得アクションを実行します。 現在ページ(current)を1ページ目に、取得開始位置(offset)を0に設定します。 検索ボタンが押されたときのイベントにこのアクションを設定します。
検索条件をクリア	検索条件を初期化用の定数initConditionの値で初期化します。
リッチテーブルのinteractiveNavigationEventを実行したとき	リッチテーブルのinteractiveNavigationEventに指定するアクションです。 リッチテーブルの部品を操作した際に実行されるアクションです。
ページング/ソート処理	ページングの場合は取得開始位置(offset)を設定します。 ソートの場合はソート条件を設定し、取得開始位置(offset)を0に設定し、現在ページ(current)を1ページ目に設定します。
%日付型/日時型の項目% の検索条件（下限）をクリア	検索条件エリアの日付/時刻入力項目（下限）のクリアを行います。
%日付型/日時型の項目% の検索条件（上限）をクリア	検索条件エリアの日付/時刻入力項目（上限）のクリアを行います。
検索エリアの表示/非表示を切り替え	検索条件エリアの表示/非表示を切り替えます。

登録・編集・参照画面

登録・編集・参照画面はマスタデータの登録・編集・参照を行う画面です。

登録・編集・参照画面は以下の機能を持ちます。

- マスタデータの登録・編集・参照・削除

ページ

ページ	説明
Main Page	サイドメニューにOverallページを埋め込みます。 このページが画面に表示されます。
Overall	登録・編集・参照画面の全体を構成します。
Header	登録・編集・参照画面のヘッダを構成します。
Input Area	登録・編集・参照画面の入力エリア（入力フォーム）を構成します。
Button Area	「登録」ボタン、「更新」「削除」ボタンを表示します。

変数

登録・編集・参照画面の変数は以下の通りです。一部を抜粋しています。

```
{
  "state": { // 画面の状態を管理する変数
    "entity": {}, // エンティティのデータを管理する変数
    "confirmResult": false // 確認ダイアログの結果を管理する変数
    "isChanged": false, // 画面の入力値が変更されたかを管理する変数。trueの場合、画面左上の戻るアイコンをクリックした時に確認ダイアログを表示します。
    "isLocked": false, // 排他制御エレメントのロック状態を管理する変数。trueの場合、各項目の編集を制限します。
    "key": {} // 主キーの値を管理する変数
  },
  "endPoint": { // APIのエンドポイントを管理する変数。エンドポイントごとにリクエストパラメータとレスポンスデータを管理します。
    "refer": { // 参照処理のエンドポイント
      "responseData": { // 参照処理のレスポンスデータ
        "entity": {}
      },
      "requestParameter": {} // 参照処理のリクエストパラメータ
    },
    "edit": { // 編集処理のエンドポイント
      "requestParameter": {} // 編集処理のリクエストパラメータ
      "entity": {}
    }
  },
  "register": { // 登録処理のエンドポイント
    "requestParameter": {} // 登録処理のリクエストパラメータ
    "entity": {}
  },
  "responseData": { // 登録処理のレスポンスデータ
    "duplicate": null // 登録処理の重複チェック結果
  },
  "delete": { // 削除処理のエンドポイント
    "requestParameter": {} // 削除処理のリクエストパラメータ
  },
  "businessKey": {} // 排他制御エレメントに使用する一意なキーを管理する変数
}
```

定数

登録・編集・参照画面の定数は以下の通りです。一部を抜粋しています。

```
{
  "mode": { // 画面のURLで使用するモードを管理する定数
    "register": "register", // 登録画面のモード
    "refer": "refer", // 参照画面のモード
    "edit": "edit" // 編集画面のモード
  },
  "screenUrl": { // 画面遷移時のURLを管理する定数
    "list": "accel-studio-app/%IDの決定に利用する文字列%/list" // 一覧画面のURL
  },
  "enumerationList": { // プルダウンの選択肢を管理する定数。プルダウン項目は画面に表示する文字列 (label) と内部に持つ値 (value) を持ちます。
    "%プルダウン項目の辞書項目ID%": { // プルダウンの項目
      "label": [], // プルダウンの表示文字列
      "value": [] // プルダウンの内部値
    }
  }
}
```

入力

登録・編集・参照画面の入力は以下の通りです。

```
{
  "__mode__": "register", // 画面のモードを画面のURLの前処理から受け取る変数
  "%主キーの項目%": null // 一覧画面から選択されたマスタデータの主キーの値
}
```

アクション

登録・編集・参照画面のアクションは以下の通りです。

アクション	説明
初期描画時	ページ読み込み時に実行されるアクションです。 画面のモードを画面のURLの前処理から受け取り、画面の表示を変更します。
一覧画面へ遷移	一覧画面に遷移します。
登録ボタンが押されたとき	入力値を検証し、エラーがなければ登録処理を実行します。 明細エンティティはマスタとなるエンティティのサブエンティティとして定義されています。 明細エンティティには画面に表示されていない項目の「sub_table_id」が含まれます。 「sub_table_id」は明細エンティティの主キーです。 「sub_table_id」に連番を設定して登録処理を実行します。 ※「sub_table_id」が存在しないサブエンティティを指定された場合、これらの処理は作成されません。
更新ボタンが押されたとき	入力値を検証し、エラーがなければ更新処理を実行します。 登録ボタンが押されたときと同様に明細エンティティの「sub_table_id」に連番を設定して更新処理を実行します。 「sub_table_id」は登録時に設定された値に関係なく、更新時には連番を設定します。 ※「sub_table_id」が存在しないサブエンティティを指定された場合、これらの処理は作成されません。
削除ボタンが押されたとき	削除処理を実行し、一覧画面に遷移します。
戻るボタンが押されたとき	入力値が変更されている場合、確認ダイアログを表示します。 確認ダイアログで「はい」を選択した場合、一覧画面に遷移します。 入力値が変更されていない場合は、確認ダイアログを表示せずに一覧画面に遷移します。
入力フォームの値を編集したとき	入力値が変更された場合、戻るボタンが押されたときに確認ダイアログを表示するための変数をtrueに設定します。 全ての入力項目に対して「入力値変更時」のイベントにこのアクションを設定します。
明細 %明細エンティティ% の追加ボタンが押されたとき	明細エンティティの行を追加します。
明細 %明細エンティティ% の削除ボタンが押されたとき	明細エンティティの行を削除します。

公開URL

マスタメンテナンステンプレートで作成された Accel Studio アプリケーションの公開URLは以下で構成されます。

- [画面URL](#)
- [登録画面](#)

- [編集画面](#)
- [参照画面](#)
- [一覧画面](#)
- [APIのURL](#)
 - [POST accel-studio-app/{IDの決定に利用する文字列}](#)
 - [GET accel-studio-app/{IDの決定に利用する文字列}](#)
 - [PUT accel-studio-app/{IDの決定に利用する文字列}](#)
 - [DELETE accel-studio-app/{IDの決定に利用する文字列}](#)
 - [POST accel-studio-app/{IDの決定に利用する文字列}/list](#)

画面URL

画面URLは IM-BloomMaker のルーティング定義です。

それぞれの画面のURLの詳細を以下で説明します。

登録画面

登録画面のURLには前処理が設定されています。

前処理はJavaプログラムで実装されています。

登録画面の前処理はパラメータ「`_mode_`」を追加し、値を「"register"」に設定します。

画面コンテンツ「登録・編集・参照画面」の入力値で「`_mode_`」の値を評価し、「"register"」の場合に画面の表示を変更します。

編集画面

編集画面のURLには前処理が設定されています。

前処理はJavaプログラムで実装されています。

編集画面の前処理はパラメータ「`_mode_`」を追加し、値を「"edit"」に設定します。

画面コンテンツ「登録・編集・参照画面」の入力値で「`_mode_`」の値を評価し、「"edit"」の場合に画面の表示を変更します。

参照画面

参照画面のURLには前処理が設定されています。

前処理はJavaプログラムで実装されています。

参照画面の前処理はパラメータ「`_mode_`」を追加し、値を「"refer"」に設定します。

画面コンテンツ「登録・編集・参照画面」の入力値で「`_mode_`」の値を評価し、「"refer"」の場合に画面の表示を変更します。

一覧画面

一覧画面のURLには前処理が設定されていません。

APIのURL

APIのURLは IM-LogicDesigner のロジックフロールーティング定義です。

それぞれのAPIのURLの詳細を以下で説明します。

`POST accel-studio-app/{IDの決定に利用する文字列}`

マスタデータの登録を行うAPIのURLです。

`GET accel-studio-app/{IDの決定に利用する文字列}`

マスタデータの取得を行うAPIのURLです。

`PUT accel-studio-app/{IDの決定に利用する文字列}`

マスタデータの更新を行うAPIのURLです。

`DELETE accel-studio-app/{IDの決定に利用する文字列}`

マスタデータの削除を行うAPIのURLです。

`POST accel-studio-app/{IDの決定に利用する文字列}/list`

マスタデータの一覧を取得するAPIのURLです。

一覧の取得はソート、ページング、検索条件に対応しています。

ロジック

ロジックは IM-LogicDesigner のロジックフローリー定義です。

マスタメンテナンステンプレートで作成された Accel Studio アプリのロジックは以下で構成されます。

- [登録処理](#)
- [参照処理](#)

- [編集処理](#)
- [削除処理](#)
- [一覧取得処理](#)

登録処理

登録処理はマスタデータの登録を行う処理です。

IM-Repository のエンティティの登録処理を呼び出して登録を行います。

参照処理

参照処理はマスタデータの参照を行う処理です。

IM-Repository のエンティティの参照処理を呼び出して参照を行います。

編集処理

編集処理はマスタデータの編集を行う処理です。

IM-Repository のエンティティの編集処理を呼び出して編集を行います。

削除処理

削除処理はマスタデータの削除を行う処理です。

IM-Repository のエンティティの削除処理を呼び出して削除を行います。

一覧取得処理

一覧取得処理はマスタデータの一覧取得を行う処理です。

IM-Repository のエンティティの一覧取得処理を呼び出して一覧取得を行います。

一覧取得処理はソート、ページング、検索条件に対応しています。

検索条件はアプリケーション作成時にエンティティ項目の「検索条件」列にチェックを入れた項目が検索条件として表示されます。

アプリケーションの作成後に検索条件を追加する場合は、 IM-Repository のエンティティのデータ定義から検索条件を追加してください。



コラム

IM-LogicDesigner の IM-Repository に関するタスクについては、「[IM-Repository](#)」をご確認ください。

データ定義

マスタメンテナンステンプレートで作成された Accel Studio アプリケーションのデータ定義はアプリケーション作成時に指定したデータ定義です。



コラム

「データ定義」機能については、「[IM-Repository ユーザ操作ガイド](#)」 - 「データ定義」をご確認ください。

ユーティリティ

マスタメンテナンステンプレートで作成された Accel Studio アプリケーションのユーティリティは以下で構成されます。

- [採番定義](#)
- [主キー採番](#)

採番定義

採番定義は Low-codeユーティリティ の採番定義です。

詳細を以下で説明します。

主キー採番

概要

主キー採番は、アプリケーションの作成方法により生成されます。

[新しくエンティティを作成する場合](#) は、主キーの自動採番を利用し、その採番値に連番（文字列）を利用する場合に生成されます。

[エンティティを選択する場合](#) は、生成されません。

[Excel ファイルを利用する場合](#) は、必ず生成されます。

生成されるアプリケーションのデータ登録時に「00000001」からの連番を自動取得し、主キーの値として登録します。

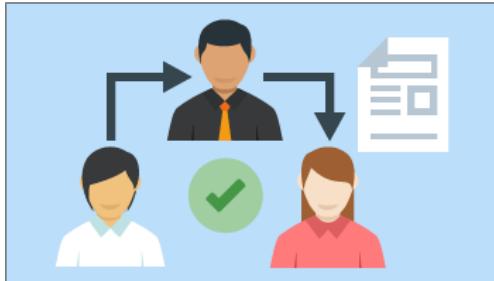
シンプルなワークフロー

このページでは「シンプルなワークフロー」テンプレートの概要、アプリケーション作成手順、画面イメージや操作方法について解説します。

目次

- 「シンプルなワークフロー」テンプレートとは
- 「シンプルなワークフロー」テンプレートの利用方法
 - アプリケーションの作成手順
 - アプリケーションのアクセス手順
 - ワークフロー申請画面

「シンプルなワークフロー」テンプレートとは



「シンプルなワークフロー」テンプレートは、ワークフローに必要な基本的な設定を備えたアプリケーションです。ワークフローの開発のひな形としても利用できます。

日報アプリケーション

タイトル*			
日報*			
提出日	年 /月/日 □		
申請者			
承認コメント			
承認者			

作業内容

① 追加		② 削除			
#	<input type="checkbox"/>	プロジェクト*	作業*	稼働時間*	備考
1	<input type="checkbox"/>				
2	<input type="checkbox"/>				



注意

「シンプルなワークフロー」と「シンプルなワークフロー(imds)」の2種類が存在します。

「シンプルなワークフロー(imds)」はIM-BloomMakerの [コンテンツ種別](#) が「imds」で作成されます。「シンプルなワークフロー」はコンテンツ種別「Bulma Theme Colored」で作成されます。



コラム

2025 Autumn(Lilac)から新たに「シンプルなワークフロー(imds)」が追加されました。

このページに掲載している画像は、「シンプルなワークフロー(imds)」を選択した場合の画像を使用しています。

「シンプルなワークフロー」テンプレートの利用方法

「シンプルなワークフロー」テンプレートを利用したアプリケーションの作成手順と「シンプルなワークフロー」アプリケーションの操作方法をご紹介します。

アプリケーションの作成手順

「シンプルなワークフロー(imds)」テンプレートを利用してアプリケーションを作成する手順についてご紹介します。

1. アプリケーション作成画面への遷移

Accel Studioの「業務テンプレート一覧」から「シンプルなワークフロー (imds)」テンプレートを選択します。

Accel Studioの「業務テンプレート一覧」は、「サイトマップ」→「Accel Studio」→「業務テンプレート一覧」から遷移できます。



2. アプリケーションのIDや名称などの設定

アプリケーションのIDや名称などを設定します。設定した基本情報は、各処理や画面の名称、IDなどに利用されます。

アプリケーション情報*	<input checked="" type="checkbox"/>
扱うデータの定義*	<input checked="" type="checkbox"/>
明細データの利用指定	
ワークフロー情報の入力*	<input checked="" type="checkbox"/>
その他情報の指定*	<input checked="" type="checkbox"/>

アプリケーション情報

① 作成する資材をまとめて1つのアプリケーションとして登録します。
作成するアプリケーション情報を入力してください。

アプリケーションID* ⓘ
半角英数字、 - (ハイフン)、 _ (アンダースコア) で入力してください。

アプリケーション名* ⓘ

説明 ⓘ

扱うデータの定義

① 作成するアプリケーションで扱うエンティティの定義 (テーブルおよびカラム) を作成します。
扱うデータの定義で指定したエンティティ情報をもとにアプリケーションの各画面が生成されます。

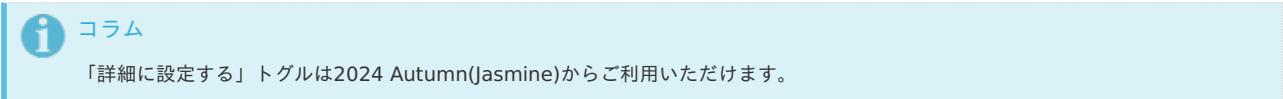
基本情報

アプリケーション作成

3. 扱うデータの定義

この項目ではメインエンティティを作成します。

「詳細に設定する」トグルのオン・オフを切り替えることで、設定可能な項目が変わります。



「詳細に設定する」トグルをオフにする場合、最低限の項目のみ入力します。すぐにアプリケーションを作成したい場合に選択してください。

「詳細に設定する」トグルをオンにする場合、全ての項目を入力します。エンティティの設定を詳細に行いたい場合に選択してください。

- 「詳細に設定する」トグルをオフにする場合
- 「詳細に設定する」トグルをオンにする場合

「詳細に設定する」トグルをオフにする場合

アプリケーション情報*

扱うデータの定義*

明細データの利用指定

ワークフロー情報の入力*

その他情報の指定*

扱うデータの定義

① 作成するアプリケーションで扱うエンティティの定義（テーブルおよびカラム）を作成します。扱うデータの定義で指定したエンティティ情報をもとにアプリケーションの各画面が生成されます。

基本情報

詳細に設定する
データベース種別を変更するなど、エンティティの設定を詳細に行う場合は、詳細設定を有効にしてください。

エンティティ名*

エンティティに組づくテーブル名*

項目設定

デフォルトカテゴリの設定 シンプルなワークフロー

表示名*	詳細	物理名*	データ型*	表示形式*	最大桁数	主キー	必須	削除
ユーザデータID	user_data_id	文字列	テキストボックス	20	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

アプリケーション作成

「詳細に設定する」トグルをオフにする場合

アプリケーション情報*

扱うデータの定義*

明細データの利用指定

ワークフロー情報の入力*

その他情報の指定*

扱うデータの定義

① 作成するアプリケーションで扱うエンティティの定義（テーブルおよびカラム）を作成します。扱うデータの定義で指定したエンティティ情報をもとにアプリケーションの各画面が生成されます。

基本情報

詳細に設定する
データベース種別を変更するなど、エンティティの設定を詳細に行う場合は、詳細設定を有効にしてください。

エンティティ名*

エンティティに組づくテーブル名*

項目設定

デフォルトカテゴリの設定 シンプルなワークフロー

表示名*	詳細	物理名*	データ型*	表示形式*	最大桁数	主キー	必須	削除
ユーザデータID	user_data_id	文字列	テキストボックス	20	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

アプリケーション作成

1. 扱うデータの定義

新しいエンティティを作成します。メインエンティティの名称を設定します。

2. データベースのテーブルに利用する名称の定義

入力された内容を保持するテーブルの名称を設定します。

エンティティ情報を元にデータベースのテーブルが作成され、「データ定義」機能で管理されます。

なお、既存のテーブルは設定いただけません。



コラム

「データ定義」機能については、「IM-Repository ユーザ操作ガイド」 - 「データ定義」をご確認ください。



コラム

「詳細に設定する」トグルをオフにする場合は、データベース種別は「TENANT」に設定されます。データベース種別を変更することはできません。

3. メインエンティティの項目の編集

エンティティ項目を元に画面がアプリケーション作成時に生成されます。

メインエンティティの主キーは、ユーザデータIDが設定されます。

テーブルにカラムを追加し、各項目を設定してください。

項目設定		新規作成						
デフォルトカテゴリーの設定		新規作成する辞書項目を参照						
+ 追加 + 既存の辞書項目から選択 + 新規作成する辞書項目を参照								
表示名 *	詳細	物理名 *	データ型 *	表示形式 *	最大桁数	主キー	必須	削除
ユーザーデータID		user_data_id	文字列	テキストボックス	20	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
タイトル		title	文字列	テキストボックス	1000	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
日報		daily_report	文字列	複数行テキストボックス	20000	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
提出日		submission_date	日付	日付		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
申請者		applicant	文字列	テキストボックス	1000	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
承認コメント		approval_comment	文字列	複数行テキストボックス	20000	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
承認者		approver	文字列	テキストボックス	1000	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>



詳細ボタンをクリックすると辞書項目新規作成ダイアログが開き、各項目の詳細設定が行えます。

4. 明細データの利用指定

明細エンティティの数を指定します。

最大で5つの明細エンティティを作成できます。

アプリケーション作成		新規作成																																													
シンプルなワークフロー (imds) - 新規作成																																															
アプリケーション情報*																																															
扱うデータの定義*																																															
明細データの利用指定																																															
ワークフロー情報の入力*																																															
その他情報の指定*																																															
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="8">シンプルなワークフロー</th> </tr> <tr> <th colspan="2">+ 追加 + 既存の辞書項目から選択 + 新規作成する辞書項目を参照</th> <th colspan="6"></th> </tr> <tr> <td>表示名 *</td> <td>詳細</td> <td>物理名 *</td> <td>データ型 *</td> <td>表示形式 *</td> <td>最大桁数</td> <td>主キー</td> <td>必須</td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ユーザーデータID</td> <td></td> <td>user_data_id</td> <td>文字列</td> <td>テキストボックス</td> <td>20</td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>タイトル</td> <td></td> <td>title</td> <td>文字列</td> <td>テキストボックス</td> <td>1000</td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> </tr> </tbody> </table>								シンプルなワークフロー								+ 追加 + 既存の辞書項目から選択 + 新規作成する辞書項目を参照								表示名 *	詳細	物理名 *	データ型 *	表示形式 *	最大桁数	主キー	必須	ユーザーデータID		user_data_id	文字列	テキストボックス	20	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	タイトル		title	文字列	テキストボックス	1000	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
シンプルなワークフロー																																															
+ 追加 + 既存の辞書項目から選択 + 新規作成する辞書項目を参照																																															
表示名 *	詳細	物理名 *	データ型 *	表示形式 *	最大桁数	主キー	必須																																								
ユーザーデータID		user_data_id	文字列	テキストボックス	20	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>																																								
タイトル		title	文字列	テキストボックス	1000	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>																																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="8">明細データの利用指定</th> </tr> <tr> <td colspan="8">① 利用する明細データ数を指定します。</td> </tr> <tr> <td colspan="8"> <table border="1"> <tr> <td>明細データの利用数</td> <td>0</td> </tr> </table> </td> </tr> </thead> </table>								明細データの利用指定								① 利用する明細データ数を指定します。								<table border="1"> <tr> <td>明細データの利用数</td> <td>0</td> </tr> </table>								明細データの利用数	0														
明細データの利用指定																																															
① 利用する明細データ数を指定します。																																															
<table border="1"> <tr> <td>明細データの利用数</td> <td>0</td> </tr> </table>								明細データの利用数	0																																						
明細データの利用数	0																																														
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="8">ワークフロー情報の入力</th> </tr> <tr> <td colspan="8">① ワークフローを作成するための情報を指定します。 既存のルートをコピーして利用するか、新規でルートを作成して利用します。</td> </tr> <tr> <td colspan="8"> <table border="1"> <tr> <td>ルート作成方法</td> <td> <input type="radio"/> 新規にルートを作成する 申請、承認のみを行う直線型のルートを新規作成します。 </td> <td> <input type="radio"/> 既存のルートをコピーして作成する 既存ルートをコピーしてルートを作成します。ルート名とバージョン期間以外の設定がコピーされます。 </td> </tr> </table> </td> </tr> </thead> </table>								ワークフロー情報の入力								① ワークフローを作成するための情報を指定します。 既存のルートをコピーして利用するか、新規でルートを作成して利用します。								<table border="1"> <tr> <td>ルート作成方法</td> <td> <input type="radio"/> 新規にルートを作成する 申請、承認のみを行う直線型のルートを新規作成します。 </td> <td> <input type="radio"/> 既存のルートをコピーして作成する 既存ルートをコピーしてルートを作成します。ルート名とバージョン期間以外の設定がコピーされます。 </td> </tr> </table>								ルート作成方法	<input type="radio"/> 新規にルートを作成する 申請、承認のみを行う直線型のルートを新規作成します。	<input type="radio"/> 既存のルートをコピーして作成する 既存ルートをコピーしてルートを作成します。ルート名とバージョン期間以外の設定がコピーされます。													
ワークフロー情報の入力																																															
① ワークフローを作成するための情報を指定します。 既存のルートをコピーして利用するか、新規でルートを作成して利用します。																																															
<table border="1"> <tr> <td>ルート作成方法</td> <td> <input type="radio"/> 新規にルートを作成する 申請、承認のみを行う直線型のルートを新規作成します。 </td> <td> <input type="radio"/> 既存のルートをコピーして作成する 既存ルートをコピーしてルートを作成します。ルート名とバージョン期間以外の設定がコピーされます。 </td> </tr> </table>								ルート作成方法	<input type="radio"/> 新規にルートを作成する 申請、承認のみを行う直線型のルートを新規作成します。	<input type="radio"/> 既存のルートをコピーして作成する 既存ルートをコピーしてルートを作成します。ルート名とバージョン期間以外の設定がコピーされます。																																					
ルート作成方法	<input type="radio"/> 新規にルートを作成する 申請、承認のみを行う直線型のルートを新規作成します。	<input type="radio"/> 既存のルートをコピーして作成する 既存ルートをコピーしてルートを作成します。ルート名とバージョン期間以外の設定がコピーされます。																																													
<button>アプリケーション作成</button>																																															

5. 扱う明細データの定義1

メインエンティティと同様に項目を編集します。

明細エンティティの主キーは、ユーザデータIDと明細テーブルIDが設定されます。

アプリケーション作成		新規作成																																																					
シンプルなワークフロー (imds) - 新規作成																																																							
アプリケーション情報*																																																							
扱うデータの定義*																																																							
明細データの利用指定																																																							
扱う明細データの定義1*																																																							
ワークフロー情報の入力*																																																							
その他情報の指定*																																																							
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="8">扱う明細データの定義1</th> </tr> <tr> <td colspan="8">① 作成するアプリケーションで扱う明細データを、IM-Repository から指定します。 新規でメインエンティティに紐づく子エンティティを作成して利用します。</td> </tr> <tr> <td colspan="8"> <table border="1"> <tr> <td>エンティティ名*</td> <td colspan="7"><input type="text"/></td> </tr> <tr> <td>エンティティに紐づくテーブル名*</td> <td colspan="7"><input type="text"/></td> </tr> <tr> <td colspan="8">ヘルプアイコンから入力規則を確認できます。</td> </tr> </table> </td> </tr> </thead> </table>								扱う明細データの定義1								① 作成するアプリケーションで扱う明細データを、IM-Repository から指定します。 新規でメインエンティティに紐づく子エンティティを作成して利用します。								<table border="1"> <tr> <td>エンティティ名*</td> <td colspan="7"><input type="text"/></td> </tr> <tr> <td>エンティティに紐づくテーブル名*</td> <td colspan="7"><input type="text"/></td> </tr> <tr> <td colspan="8">ヘルプアイコンから入力規則を確認できます。</td> </tr> </table>								エンティティ名*	<input type="text"/>							エンティティに紐づくテーブル名*	<input type="text"/>							ヘルプアイコンから入力規則を確認できます。							
扱う明細データの定義1																																																							
① 作成するアプリケーションで扱う明細データを、IM-Repository から指定します。 新規でメインエンティティに紐づく子エンティティを作成して利用します。																																																							
<table border="1"> <tr> <td>エンティティ名*</td> <td colspan="7"><input type="text"/></td> </tr> <tr> <td>エンティティに紐づくテーブル名*</td> <td colspan="7"><input type="text"/></td> </tr> <tr> <td colspan="8">ヘルプアイコンから入力規則を確認できます。</td> </tr> </table>								エンティティ名*	<input type="text"/>							エンティティに紐づくテーブル名*	<input type="text"/>							ヘルプアイコンから入力規則を確認できます。																															
エンティティ名*	<input type="text"/>																																																						
エンティティに紐づくテーブル名*	<input type="text"/>																																																						
ヘルプアイコンから入力規則を確認できます。																																																							
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="8">項目設定</th> </tr> <tr> <th colspan="2">デフォルトカテゴリーの設定</th> <th colspan="6">新規作成する辞書項目を参照</th> </tr> <tr> <td colspan="2">+ 追加 + 既存の辞書項目から選択 + 新規作成する辞書項目を参照</td> <td colspan="6"></td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>表示名 *</td> <td>詳細</td> <td>物理名 *</td> <td>データ型 *</td> <td>表示形式 *</td> <td>最大桁数</td> <td>主キー</td> <td>必須</td> </tr> <tr> <td>ユーザーデータID</td> <td></td> <td>user_data_id</td> <td>文字列</td> <td>テキストボックス</td> <td>20</td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>明細テーブルID</td> <td></td> <td>sub_table_id</td> <td>文字列</td> <td>テキストボックス</td> <td>20</td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> </tr> </tbody> </table>								項目設定								デフォルトカテゴリーの設定		新規作成する辞書項目を参照						+ 追加 + 既存の辞書項目から選択 + 新規作成する辞書項目を参照								表示名 *	詳細	物理名 *	データ型 *	表示形式 *	最大桁数	主キー	必須	ユーザーデータID		user_data_id	文字列	テキストボックス	20	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	明細テーブルID		sub_table_id	文字列	テキストボックス	20	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
項目設定																																																							
デフォルトカテゴリーの設定		新規作成する辞書項目を参照																																																					
+ 追加 + 既存の辞書項目から選択 + 新規作成する辞書項目を参照																																																							
表示名 *	詳細	物理名 *	データ型 *	表示形式 *	最大桁数	主キー	必須																																																
ユーザーデータID		user_data_id	文字列	テキストボックス	20	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>																																																
明細テーブルID		sub_table_id	文字列	テキストボックス	20	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>																																																
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="8">ワークフロー情報の入力</th> </tr> <tr> <td colspan="8"><button>アプリケーション作成</button></td> </tr> </thead> </table>								ワークフロー情報の入力								<button>アプリケーション作成</button>																																							
ワークフロー情報の入力																																																							
<button>アプリケーション作成</button>																																																							

扱う明細データの定義1 以降の明細データも、同様に設定を行なうことができます。

「詳細に設定する」トグルをオフにする場合のデータ定義設定は以上です。

4. ワークフロー情報の入力 に進んでください。

「詳細に設定する」トグルをオンにする場合

アプリケーション作成
シンプルなワークフロー (imds) - 新規作成

拡張データの定義*

明細データの利用指定

拡張明細データの定義*

ワークフロー情報の入力*

その他情報の指定*

拡張データの定義で指定したエンティティ情報をもとにアプリケーションの各画面が生成されます。

詳細に設定する
データベース種別を変更するなど、エンティティの設定を詳細に行う場合は、詳細設定を有効にしてください。

エンティティID* 半角英数字、- (ハイphen)、_ (アンダースコア)、. (ドット)、@ (アットマーク)、+ (プラス)、! (エクスクラメーション) で入力してください。

エンティティ名*

登録先エンティティカテゴリ* **TENANT**

データベース種別 **TENANT**

エンティティに組むテーブル名* ヘルプアイコンから入力規則を確認できます。

項目設定

デフォルトカテゴリの設定 シンプルなワークフロー

+ 追加 + 品存の辞書項目から選択 + 新規作成する辞書項目を参照

表示名*	詳細	物理名*	データ型*	表示形式*	最大桁数	主キー	必須	削除
ユーザデータID		user_data_id	文字列	テキストボックス	20	□	□	□

アプリケーション作成

1. 拠うデータの定義

新しいエンティティを作成します。メインエンティティのID、名称、カテゴリを設定します。

メインエンティティの主キーは、ユーザデータIDが設定されます。

2. データベースのテーブルに利用する名称の定義

入力された内容を保持するテーブルの名称を設定します。

エンティティ情報を元にデータベースのテーブルが作成され、「データ定義」機能で管理されます。

なお、「新しくエンティティを作成」する場合、既存のテーブルは設定いただけません。



コラム

「データ定義」機能については、「IM-Repository ユーザ操作ガイド」 - 「データ定義」をご確認ください。

3. メインエンティティの項目の編集

エンティティ項目を元に画面がアプリケーション作成時に生成されます。

辞書項目を追加し、データ型を選択すると、データ型に合った画面の入力項目が補完されます。

なお、辞書項目のDatabaseのデータ型に「TIME」「DATETIME」「BINARY」を設定した辞書項目、または、エイリアスは使用できません。

項目設定	
デフォルトカテゴリの設定 シンプルなワークフロー	
+ 追加	+ 品存の辞書項目から選択
+ 新規作成する辞書項目を参照	
表示名*	詳細 物理名*
ユーザデータID	user_data_id 文字列
タイトル	title 文字列
日報	daily_report 文字列
提出日	submission_date 日付
申請者	applicant 文字列
承認コメント	approval_comment 文字列
承認者	approver 文字列

タイトル*	□
日報*	□
提出日	年 / 月 / 日 □
申請者	□
承認コメント	□
承認者	□



コラム

「追加」ボタンから新規に辞書項目を作成する場合、辞書項目名を標準ロケールのみ登録できます。

各ロケールの内容をアプリケーションに反映したい場合は、事前に辞書項目を作成する必要があります。「IM-Repository ユーザ操作ガイド」 - 「辞書項目を新規登録する」より各ロケールの辞書項目名を設定し、「既存の辞書項目から選択」してください。

4. 明細データの利用指定

明細エンティティの数を指定します。

最大で5つの明細エンティティを作成できます。

シンプルなワークフロー (imds) - 新規作成

アプリケーション情報*

扱うデータの定義*

明細データの利用指定

ワークフロー情報の入力*

その他情報の指定*

シンプルなワークフロー

+ 追加 + 既存の辞書項目から選択 + 新規作成する辞書項目を参照

表示名*	詳細	物理名*	データ型*	表示形式*	最大桁数	主キー	必須	削除
ユーザデータID		user_data_id	文字列	テキストボックス	20	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
タイトル		title	文字列	テキストボックス	1000	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

明細データの利用指定

① 利用する明細データ数を指定します。

明細データの利用数
0

ワークフロー情報の入力

① ワークフローを作成するための情報を指定します。
既存のルートをコピーして利用するか、新規でルートを作成して利用します。

ルート作成方法

新規にルートを作成する
申請、承認のみを行う直線型のルートを新規作成します。

既存のルートをコピーして作成する
既存ルートをコピーしてルートを作成します。ルート名とバージョン期間以外の設定がコピーされます。

アプリケーション作成

5. 扱う明細データの定義1

メインエンティティと同様に項目を編集します。

明細エンティティの主キーは、ユーザデータIDと明細テーブルIDが設定されます。

扱う明細データの定義1

① 作成するアプリケーションで扱う明細データを、IM-Repository から指定します。
新規でメインエンティティに紐づく子エンティティを作成して利用します。

基本情報

エンティティID* 半角英数字、- (ハイフン)、_ (アンダースコア)、. (ドット)、@ (アットマーク)、+ (プラス)、! (エクスクラーメーション) で入力してください。

サブエンティティ変数名* 半角英数字、_ (アンダースコア) で入力してください。

エンティティ名*

登録先エンティティカテゴリ* 業務テンプレートから作成

エンティティに紐づくテーブル名* ヘルプアイコンから入力規則を確認できます。

親エンティティ名* 多重度* 1:n

エンティティ関連項目* 親エンティティ関連項目 子エンティティ関連項目 ユーザデータID ユーザデータID

項目設定

デフォルトカテゴリの設定 シンプルなワークフロー

+ 追加 + 既存の辞書項目から選択 + 新規作成する辞書項目を参照

表示名*	詳細	物理名*	データ型*	表示形式*	最大桁数	主キー	必須	削除
ユーザデータID		user_data_id	文字列	テキストボックス	20	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
明細テーブルID		sub_table_id	文字列	テキストボックス	20	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

アプリケーション作成

扱う明細データの定義1 以降の明細データも、同様に設定を行うことができます。

4. ワークフロー情報の入力

ワークフローを作成するための情報を指定します。

1. ルート作成方法

既存のルートをコピーして利用するか、新規でルートを作成して利用します。この項目は必須です。

アプリケーション情報*

扱うデータの定義*

明細データの利用指定

ワークフロー情報の入力*

その他情報の指定*

明細データの利用数
0

ワークフロー情報の入力

① ワークフローを作成するための情報を指定します。
既存のルートをコピーして利用するか、新規でルートを作成して利用します。

ルート作成方法

新規にルートを作成する
申請、承認のみを行う直線型のルートを新規作成します。

既存のルートをコピーして作成する
既存ルートをコピーしてルートを作成します。ルート名とバージョン期間以外の設定がコピーされます。

その他情報の指定

① このテンプレートでは、IM-LogicDesigner と IM-BloomMaker、IM-Workflow のリソースを新規作成し、アプリケーションを作成します。
ここでは IM-Workflow を除いた各リソースで利用されるIDやルーティング情報などを自動で決定するかを指定します。
自動で決定する場合は、「IDの決定に利用する文字列」が含まれた文字列などが指定されます。

IM-LogicDesigner, IM-BloomMaker 資材の設定 [?](#)
 リソースのIDやルーティング情報を手動で決定する

IDの決定に利用する文字列* [?](#)
半角英数字、- (ハイフン)、_ (アンダースコア) で入力してください。

アプリケーション作成

1. 既存のルートをコピーして作成する

既存のルートをコピーしてルートを新規作成します。ルート名とバージョン期間以外のルート選択肢画面で選択した設定がコピーされます。

アプリケーション情報*

扱うデータの定義*

明細データの利用指定

ワークフロー情報の入力*

その他情報の指定*

ワークフロー情報の入力

① ワークフローを作成するための情報を指定します。
既存のルートをコピーして利用するか、新規でルートを作成して利用します。

ルート作成方法

既存のルートをコピーして作成する
既存ルートをコピーしてルートを作成します。ルート名とバージョン期間以外の設定がコピーされます。

利用開始日* [?](#)
2025/09/18

コピー元のルート* [?](#)
ルートを選択

コピー先のルート名* [?](#)

IM-Workflow 資材の設定 [?](#)
 リソースのIDを手動で決定する

添付ファイル設定 [?](#)
 添付ファイルを利用する
 承認時に添付ファイルの追加削除を許可する

承認時の添付ファイル設定 [?](#)
 承認時に添付ファイルの追加削除を許可する

アプリケーション作成

2. 新規にルートを作成する

申請・承認のみを行う直線型のルートを新規作成します。

アプリケーション作成 シンプルなワークフロー (imds) - 新規作成

ワークフロー情報の入力

① ワークフローを作成するための情報を指定します。
既存のルートをコピーして利用するか、新規でルートを作成して利用します。

ルート作成方法

新規にルートを作成する
申請、承認のみを行う直線型のルートを新規作成します。

既存のルートをコピーして作成する
既存ルートをコピーしてルートを作成します。ルート名とバージョン期間以外の設定がコピーされます。

利用開始日 * ②
2025/09/17

処理対象者の設定 ②
 処理対象者を指定する

IM-Workflow資材の設定 ②
 リソースのIDを手動で決定する

添付ファイル設定 ②
 添付ファイルを利用する

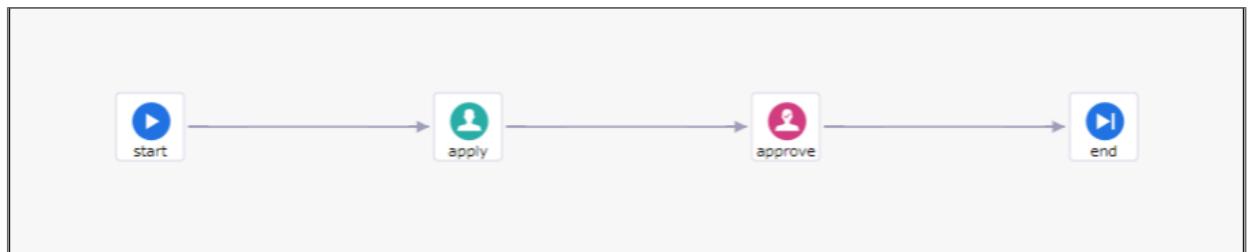
承認時の添付ファイル設定 ②
 承認時に添付ファイルの追加/削除を許可する

その他情報の指定

① このテンプレートでは、IM-LogicDesigner と IM-BloomMaker、IM-Workflow のリソースを新規作成し、アプリケーションを作成します。

アプリケーション作成

テンプレートから作成されるフローは「申請」と「承認」が用意されています。



1. 利用開始日

ワークフローの利用が可能となる日付を指定します。この項目は必須です。

2. 処理対象者の設定

「処理対象者を指定する」を選択すると、申請対象者と承認対象者をユーザ、または、ロールで指定できます。

セレクトボックスから「ユーザ」、または、「ロール」を選択し、「追加」から任意の処理対象者を指定します。

アプリケーション作成後に変更が可能です。

アプリケーション作成 シンプルなワークフロー (imds) - 新規作成

ワークフロー情報の入力

① ワークフローを作成するための情報を指定します。
既存のルートをコピーして利用するか、新規でルートを作成して利用します。

ルート作成方法

新規にルートを作成する
申請、承認のみを行う直線型のルートを新規作成します。

既存のルートをコピーして作成する
既存ルートをコピーしてルートを作成します。ルート名とバージョン期間以外の設定がコピーされます。

利用開始日 * ②
2025/09/17

処理対象者の設定 ②
 処理対象者を指定する

申請対象者の指定方法 ※申請対象者の申請一覧画面にワークフローが表示されるようになります。 ②
ユーザ

申請対象者 (ユーザ指定) * ②
+ 追加 ✖ すべて削除

承認対象者の指定方法 ②
ロール

承認対象者 (ロール指定) * ②
+ 追加 ✖ すべて削除

IM-Workflow資材の設定 ②
 リソースのIDを手動で決定する

アプリケーション作成

i コラム

申請対象者に指定されたユーザ、または、ロールを所持したユーザのワークフロー「申請一覧」画面に作成されたワークフローが表示されます。

アプリケーション作成時に処理対象者を指定していない場合、作成されたワークフローはどのユーザの「申請一覧」画面にも表示されません。

「申請一覧」画面は、「サイトマップ」→「ワークフロー」→「一覧」→「申請一覧」から遷移できます。

「申請一覧」画面については、「IM-Workflow ユーザ操作ガイド」 - 「申請一覧」をご確認ください。

3. IM-Workflow資材の設定

ワークフローのコンテンツ定義、ルート定義、フロー定義の各IDを手動で入力する場合に利用します。

4. 添付ファイル設定

チェックを入れると、申請画面でファイルの添付が可能です。

5. 承認時の添付ファイル設定

チェックを入れると、承認時に添付ファイルの追加、または、削除が可能です。

5. その他情報の指定

作成されるアプリケーションに利用されるリソースのIDやルーティング情報を手動で決定できます。

チェックを入れないことを推奨します。

6. アプリケーション作成開始

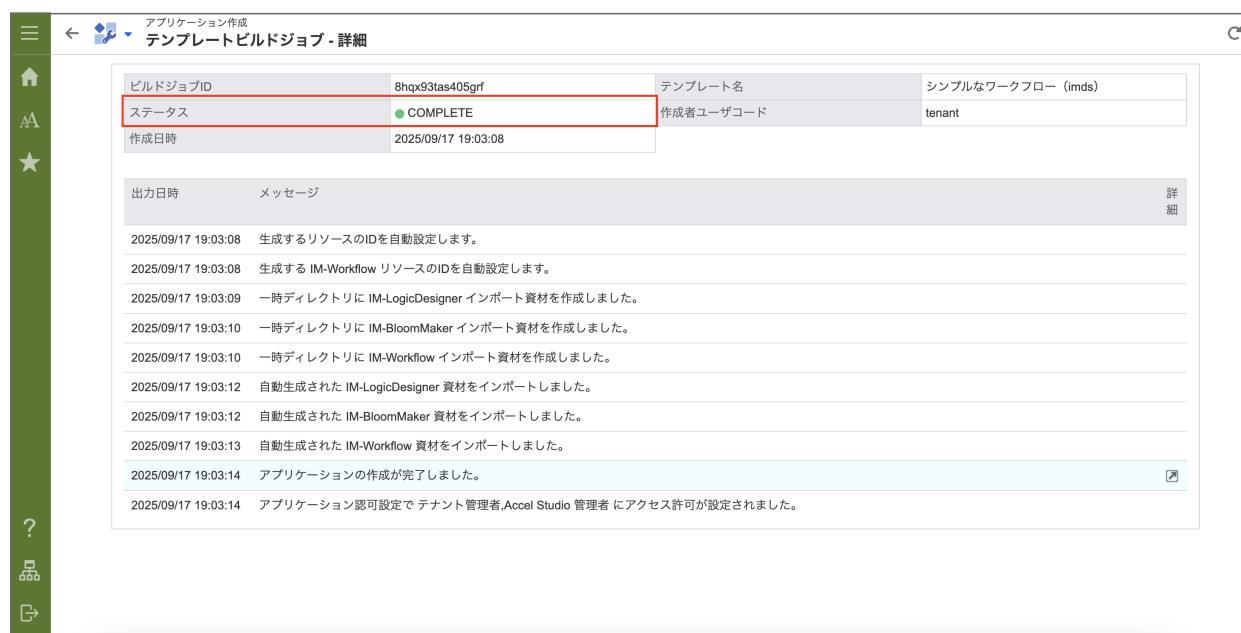
アプリケーションの基本情報と、テーブル名を入力したら「アプリケーション作成」ボタンをクリックしてください。

入力項目に不備が無ければ自動でアプリケーションの作成ができます。

アプリケーション作成

7. アプリケーション作成結果

アプリケーション作成が完了すると、ステータスが「COMPLETE」と表示されます。



The screenshot shows the 'Template Build Job - Details' screen. At the top, there is a header with a back arrow, a refresh icon, and the title 'テンプレートビルトジョブ - 詳細'. Below the header, there is a table with the following data:

ビルトジョブID	8hqx93tas405grf	テンプレート名	シンプルなワークフロー (imds)
ステータス	COMPLETE	作成者ユーザコード	tenant
作成日時	2025/09/17 19:03:08		

Below the table, there is a log section with the following entries:

- 2025/09/17 19:03:08 生成するリソースのIDを自動設定します。
- 2025/09/17 19:03:08 生成するIM-WorkflowリソースのIDを自動設定します。
- 2025/09/17 19:03:09 一時ディレクトリにIM-LogicDesignerインポート資材を作成しました。
- 2025/09/17 19:03:10 一時ディレクトリにIM-BloomMakerインポート資材を作成しました。
- 2025/09/17 19:03:10 一時ディレクトリにIM-Workflowインポート資材を作成しました。
- 2025/09/17 19:03:12 自動生成されたIM-LogicDesigner資材をインポートしました。
- 2025/09/17 19:03:12 自動生成されたIM-BloomMaker資材をインポートしました。
- 2025/09/17 19:03:13 自動生成されたIM-Workflow資材をインポートしました。
- 2025/09/17 19:03:14 アプリケーションの作成が完了しました。
- 2025/09/17 19:03:14 アプリケーション認可設定でテナント管理者, Accel Studio管理者にアクセス許可が設定されました。

i コラム

作成したアプリケーションは、初期設定では「テナント管理者」、または、「Accel Studio管理者」ロールを持ったユーザのみ利用できます。

任意のユーザに対して、利用を許可したい場合の設定方法は、「Accel Studio アプリケーション管理機能 仕様書」 - 「Accel Studio アプリケーション認可設定」をご確認ください。

アプリケーションのアクセス手順

作成したアプリケーションへアクセスする方法をご紹介します。

i コラム

テンプレートから作成されたワークフローは、アプリケーション作成時に指定した処理対象者の「申請一覧」画面に表示されます。

「申請一覧」画面は、「サイトマップ」→「ワークフロー」→「一覧」→「申請一覧」から遷移できます。

ワークフローのフロー名は、アプリケーション名と同様の文字列で作成されます。

「申請一覧」画面については、「IM-Workflow ユーザ操作ガイド」 - 「申請一覧」をご確認ください。

「テンプレートビルトジョブ - 詳細」画面から遷移する

「テンプレートビルトジョブ - 詳細」画面はアプリケーション作成完了後に表示されます。

「テンプレートビルトジョブ - 詳細」画面のステータスが「COMPLETE」と表示されたら、「アプリケーションの作成が完了しました。」の欄にある[]をクリックしてください。

ビルトジョブID	8hqx93tas405grf	テンプレート名	シンプルなワークフロー (imds)
ステータス	COMPLETE	作成者ユーザコード	tenant
作成日時	2025/09/17 19:03:08		
出力日時	メッセージ	詳細	
2025/09/17 19:03:08	生成するリソースのIDを自動設定します。		
2025/09/17 19:03:08	生成する IM-Workflow リソースのIDを自動設定します。		
2025/09/17 19:03:09	一時ディレクトリに IM-LogicDesigner インポート資材を作成しました。		
2025/09/17 19:03:10	一時ディレクトリに IM-BloomMaker インポート資材を作成しました。		
2025/09/17 19:03:10	一時ディレクトリに IM-Workflow インポート資材を作成しました。		
2025/09/17 19:03:12	自動生成された IM-LogicDesigner 資材をインポートしました。		
2025/09/17 19:03:12	自動生成された IM-BloomMaker 資材をインポートしました。		
2025/09/17 19:03:13	自動生成された IM-Workflow 資材をインポートしました。		
2025/09/17 19:03:14	アプリケーションの作成が完了しました。	[]	
2025/09/17 19:03:14	アプリケーション認可設定でテナント管理者, Accel Studio 管理者にアクセス許可が設定されました。		

i コラム

「テンプレートビルトジョブ - 詳細」画面は、「サイトマップ」→「Accel Studio」→「アプリケーション作成」→「テンプレートビルトジョブ」に遷移し、作成したアプリケーションの「詳細」をクリックすることで表示できます。

i コラム

取得したURLは、初期設定では「テナント管理者」、または、「Accel Studio管理者」ロールを持ったユーザのみアクセス可能です。

任意のユーザに対して、利用を許可したい場合の設定方法は、「Accel Studio アプリケーション管理機能 仕様書」 - 「Accel Studio アプリケーション認可設定」をご確認ください。

i コラム

作成したアプリケーションをグローバルメニューに追加したい場合は、グローバルナビ設定をご利用ください。

グローバルナビの設定方法は、「ファーストステップガイド」 - 「管理者が一般ユーザ向けのメニューを作成する」をご確認ください。

ワークフロー申請画面

テンプレートから作成されるワークフローの申請画面について説明します。

アプリケーション名と同様のフロー名で作成されたワークフローは、「申請一覧」画面から申請できます。

「申請一覧」画面は、「サイトマップ」→「ワークフロー」→「一覧」→「申請一覧」から遷移できます。

日報アプリケーション

タイトル*	<input type="text"/>
日報*	<input type="text"/>
提出日	年 /月/日 <input type="text"/>
申請者	<input type="text"/>
承認コメント	<input type="text"/>
承認者	<input type="text"/>

作業内容

#	<input type="checkbox"/>	プロジェクト*	作業*	稼働時間*	備考
1	<input type="checkbox"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
2	<input type="checkbox"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

サンプルアプリケーションテンプレート

ビルトしていただくことで、すぐに利用することも可能なテンプレートです。
カスタマイズによって、更に使いやすいアプリケーションとしていただくことも可能です。

打刻アプリ

このページでは「打刻アプリ」テンプレートの概要、アプリケーション作成手順、画面イメージ、操作方法と活用例について解説します。

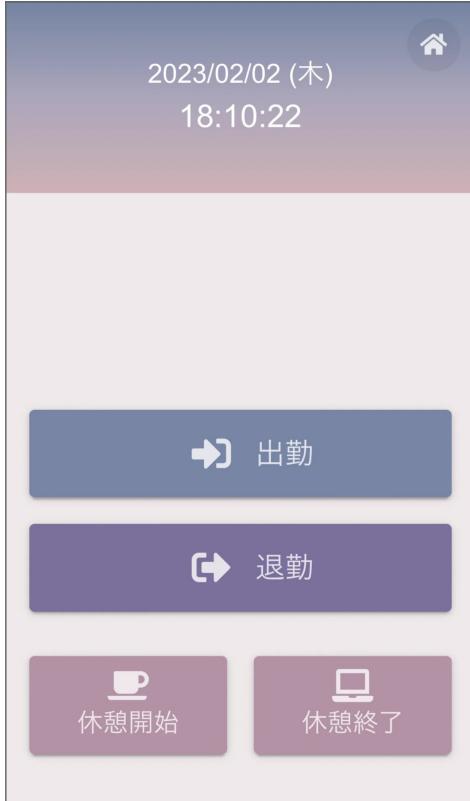
目次

- 「打刻アプリ」テンプレートとは
- 「打刻アプリ」テンプレートの利用方法
 - アプリケーションの作成手順
 - アプリケーションのアクセス手順
 - アプリケーションの画面イメージと操作方法
 - テンプレートの活用例

「打刻アプリ」テンプレートとは



「打刻アプリ」テンプレートは、モバイル端末やPCから出退勤の打刻を行い、その履歴を参照できるアプリケーションです。



コラム

「打刻アプリ」テンプレートは2021 Winter(Dandelion)から利用できます。

「打刻アプリ」テンプレートの利用方法

「打刻アプリ」テンプレートを利用したアプリケーションの作成手順と「打刻アプリ」アプリケーションの操作方法をご紹介します。

アプリケーションの作成手順

「打刻アプリ」テンプレートを利用してアプリケーションを作成する手順についてご紹介します。

1. アプリケーション作成画面への遷移

Accel Studioの「業務テンプレート一覧」から「打刻アプリ」テンプレートを選択します。

Accel Studioの「業務テンプレート一覧」は、「サイトマップ」→「Accel Studio」→「業務テンプレート一覧」から遷移できます。



2. アプリケーションのIDや名称などの設定

「打刻アプリ」テンプレートを選択し、アプリケーション情報の設定画面が表示されたら、アプリケーションのIDや名称などを設定します。

設定した基本情報は、各処理や画面の名称、IDなどに利用されます。

アプリケーション情報

① 作成する資材をまとめて1つのアプリケーションとして登録します。
作成するアプリケーション情報を入力してください。

アプリケーションID* (半角英数字、 - (ハイフン)、 _ (アンダースコア) で入力してください。)

アプリケーション名* (入力欄)

説明 (入力欄)

ボラデータの定義

① 作成するアプリケーションで利用するテーブルを新規作成します。
テーブル名を指定してください。

アプリケーション作成

3. データベースのテーブルに利用する名称の定義

次に、作成するアプリケーションで扱うデータベースのテーブルに利用する名称を定義します。

ここでは、ユーザの情報と打刻情報を保持するテーブルの名称を設定します。

なお、「打刻アプリ」テンプレートでは、既存のテーブルはご利用いただけません。

ボラデータの定義

① 作成するアプリケーションで利用するテーブルを新規作成します。
テーブル名を指定してください。

テーブル名* (ヘルプアイコンから入力規則を確認できます。)

管理者の設定

① 打刻アプリの管理者は、アプリケーションを利用する全ユーザの打刻記録を参照できます。
管理者の権限は指定したロールに対して付与できます。

管理者権限を付与するロール* (追加、すべて削除)

その他情報の指定

① このテンプレートでは、IM-LogicDesigner と IM-BloomMaker のリソースを新規作成し、アプリケーションを作成します。
IM-LogicDesigner と IM-BloomMaker で利用される各種IDやルーティング情報などを自動で決定するかを指定します。

アプリケーション作成

4. 管理者の設定

「打刻アプリ」テンプレートは、管理者の権限を付与するロールを指定します。

ここで設定したロールのいずれかを所持するユーザは、作成した「打刻アプリ」アプリケーションを利用する全ユーザの打刻記録を参照できます。

管理者の設定

① 打刻アプリの管理者は、アプリケーションを利用する全ユーザの打刻記録を参照できます。
管理者の権限は指定したロールに対して付与できます。

管理者権限を付与するロール* (追加、すべて削除)

その他情報の指定

① このテンプレートでは、IM-LogicDesigner と IM-BloomMaker のリソースを新規作成し、アプリケーションを作成します。
IM-LogicDesigner と IM-BloomMaker で利用される各種IDやルーティング情報などを自動で決定するかを指定します。
自動で決定する場合は、「IDの決定に利用する文字列」が含まれた文字列が指定されます。

IM-LogicDesigner, IM-BloomMaker 資材の設定 (リソースのIDやルーティング情報を手動で決定する)

IDの決定に利用する文字列* (半角英数字、 - (ハイフン)、 _ (アンダースコア) で入力してください。)

アプリケーション作成



コラム

「打刻アプリ」の管理者権限は、指定したロールに対して付与できます。

管理者権限を付与するために新規でロールを作成する場合や、特定のユーザに既存のロールを付与する場合は、「テナント管理者操作ガイド」 - 「ロールを設定する」をご確認ください。

5. その他情報の指定

作成されるアプリケーションに利用されるリソースのIDやルーティング情報を手動で決定できます。
チェックを入れないことを推奨します。

6. アプリケーション作成開始

アプリケーションの基本情報と、テーブル名を入力したら「アプリケーション作成」ボタンをクリックしてください。
入力項目に不備が無ければ自動でアプリケーションの作成ができます。

アプリケーション作成

7. アプリケーション作成結果

アプリケーション作成が完了すると、ステータスが「COMPLETE」と表示されます。

ビルドジョブID	8gokgzyqz5rbcu	テンプレート名	打刻アプリ
ステータス	COMPLETE	作成者ユーザコード	tenant
作成日時	2023/01/25 11:14:16		

出力日時	メッセージ	詳細
2023/01/25 11:14:16	生成するリソースのIDを自動設定します。	
2023/01/25 11:14:16	一時ディレクトリに IM-LogicDesigner インポート資材を作成しました。	
2023/01/25 11:14:16	一時ディレクトリに IM-BloomMaker インポート資材を作成しました。	
2023/01/25 11:14:16	アプリケーションで利用するテーブルを新規作成しました。	
2023/01/25 11:14:16	CREATE TABLE "timecard" ("record_id" varchar(100), "user_cd" varchar(100), "record_type" varchar(100), "record_time" timestamp, PRIMARY KEY ("record_id"))	
2023/01/25 11:14:17	自動生成された IM-LogicDesigner 資材をインポートしました。	
2023/01/25 11:14:17	自動生成された IM-BloomMaker 資材をインポートしました。	
2023/01/25 11:14:17	作成された「打刻画面」へはこちらの詳細アイコンから遷移できます。	
2023/01/25 11:14:17	作成された「一覧画面」へはこちらの詳細アイコンから遷移できます。	
2023/01/25 11:14:19	アプリケーションの作成が完了しました。	
2023/01/25 11:14:19	アプリケーション認可設定で テナント管理者, Accel Studio 管理者 にアクセス許可が設定されました。	

アプリケーションのアクセス手順

作成したアプリケーションへアクセスする方法をご紹介します。

以下では「打刻画面」または「一覧画面」へのアクセス手順について説明します。

- 「テンプレートビルトジョブ - 詳細」画面から遷移する
- 画面のURLを取得する

「テンプレートビルトジョブ - 詳細」画面から遷移する

「テンプレートビルトジョブ - 詳細」画面はアプリケーション作成完了後に表示されます。

「テンプレートビルトジョブ - 詳細」画面のステータスが「COMPLETE」と表示されたら、「作成された「打刻画面」へはこちらの詳細アイコンから遷移できます。」の欄にある をクリックしてください。

テンプレート名: tenant

出力日時	メッセージ	詳細
2023/01/25 11:14:16	生成するリソースのIDを自動設定します。	
2023/01/25 11:14:16	一時ディレクトリに IM-LogicDesigner インポート資材を作成しました。	
2023/01/25 11:14:16	一時ディレクトリに IM-BloomMaker インポート資材を作成しました。	
2023/01/25 11:14:16	アプリケーションで利用するテーブルを新規作成しました。	
2023/01/25 11:14:16	CREATE TABLE "timecard" ("record_id" varchar(100), "user_cd" varchar(100), "record_type" varchar(100), "record_time" timestamp, PRIMARY KEY ("record_id"))	
2023/01/25 11:14:17	自動生成された IM-LogicDesigner 資材をインポートしました。	
2023/01/25 11:14:17	自動生成された IM-BloomMaker 資材をインポートしました。	
2023/01/25 11:14:17	作成された「打刻画面」へはこれらの詳細アイコンから遷移できます。	
2023/01/25 11:14:17	作成された「一覧画面」へはこれらの詳細アイコンから遷移できます。	
2023/01/25 11:14:19	アプリケーションの作成が完了しました。	
2023/01/25 11:14:19	アプリケーション認可設定で テナント管理者, Accel Studio 管理者 にアクセス許可が設定されました。	



コラム

「テンプレートビルジョブ - 詳細」画面は、「サイトマップ」→「Accel Studio」→「アプリケーション作成」→「テンプレートビルジョブ」に遷移し、作成したアプリケーションの「詳細」をクリックすることで表示できます。

画面のURLを取得する

「打刻アプリ」テンプレートから作成したアプリケーションは「打刻画面」「一覧画面」のそれぞれに画面URLが定義されています。

「サイトマップ」→「Accel Studio」→「アプリケーション一覧」で、「自動生成されたアプリケーション」カテゴリを選択します。作成したアプリケーションを選択し、遷移したいカードにホバーしてください。

表示されたURLアイコンをクリックすることで、URLがクリップボードにコピーされます。

打刻アプリ - 詳細

画面 URL ロジック ワークフロー データ定義 ユーティリティ +

画面コンテンツ (ID: im-bloommaker://contents/time_card-register)
打刻アプリ 打刻画面
「打刻アプリ」テンプレートから作成された打刻画面のコンテンツです。
tenant 0時間前

画面コンテンツ (ID: im-bloommaker://contents/time_card-list)
打刻アプリ 打刻一覧画面
「打刻アプリ」テンプレートから作成された打刻一覧画面のコンテンツです。
tenant 0時間前

画面URL (ID: im-bloommaker://routes/time_card-list)
打刻アプリ 打刻一覧画面
「打刻アプリ」テンプレートから作成された打刻一覧画面のルーティング定義です。
tenant 0時間前

画面URL (ID: im-bloommaker://routes/time_card-register)
打刻アプリ 打刻画面
「打刻アプリ」テンプレートから作成された打刻画面のルーティング定義です。
tenant 0時間前

APIのURL (ID: im-logic://routes/accel-studio-app/time_card/register/POST)
POST accel-studio-app/time_card/register
tenant 0時間前

APIのURL (ID: im-logic://routes/accel-studio-app/time_card/list/GET)
GET accel-studio-app/time_card/list
tenant 0時間前

APIのURL (ID: im-logic://routes/accel-studio-app/time_card/getTime/GET)

i コラム

取得したURLは、初期設定では「テナント管理者」または「Accel Studio管理者」ロールを持ったユーザのみアクセス可能です。

任意のユーザに対して、利用を許可したい場合の設定方法は、「[Accel Studio アプリケーション管理機能 仕様書](#)」 - 「[Accel Studio アプリケーション認可設定](#)」をご確認ください。

i コラム

作成したアプリケーションをグローバルメニューに追加したい場合は、グローバルナビ設定をご利用ください。

グローバルナビの設定方法は、「[ファーストステップガイド](#)」 - 「[管理者が一般ユーザ向けのメニューを作成する](#)」をご確認ください。

アプリケーションの画面イメージと操作方法

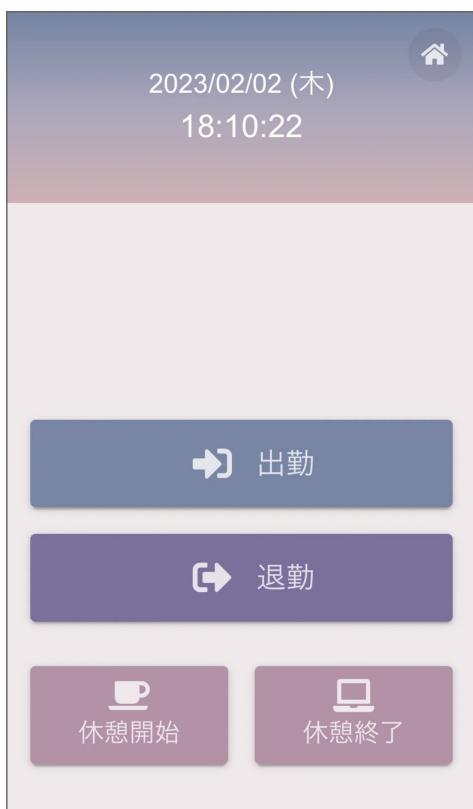
「打刻アプリ」テンプレートから作成されるアプリケーションは、「打刻画面」または「一覧画面」を起点として操作することを想定しています。

打刻画面

「打刻画面」では、「出勤」ボタンから出勤時間、「退勤」ボタンから退勤時間を記録できます。

また、「休憩開始」ボタンから休憩開始時間、「休憩終了」ボタンから休憩終了時間を記録できます。

右上の  からは、intra-mart Accel Platformのホーム画面に遷移します。

**一覧画面**

「一覧画面」では、アプリケーション利用ユーザは自身の打刻記録を閲覧できます。

画面右側の絞り込み条件では、打刻種別、対象期間を絞り込みできます。

打刻種別
出勤
退勤
休憩終了
休憩開始
休憩終了
休憩開始
出勤
退勤
休憩終了
休憩開始
出勤
退勤

打刻日時
2023/01/31 10:00:00
2023/01/30 18:02:00
2023/01/30 13:00:00
2023/01/30 12:00:00
2023/01/30 9:50:00
2023/01/27 19:00:00
2023/01/27 13:00:00
2023/01/27 12:00:00
2023/01/27 10:00:00
2023/01/26 18:03:00

打刻種別
 出勤 退勤 休憩開始 休憩終了
期間
年/月/日 [] ○ - 年/月/日 [] ○
検索 クリア

一方、管理者に指定されたロールを所持するユーザはすべてのユーザの打刻した記録を閲覧できます。
画面右側の絞り込み条件では、ユーザ、組織、打刻種別、期間を絞り込めます。

ユーザ名	組織	打刻種別	打刻日時
青柳辰巳	サンプル課 1 1	休憩開始	2023/01/27 12:00:00
上田辰男	サンプル課 2 2	出勤	2023/01/27 10:00:00
間根千香	サンプル課 1 2	出勤	2023/01/27 9:28:00
青柳辰巳	サンプル課 1 1	出勤	2023/01/27 9:20:00
林政義	サンプル課 2 1	出勤	2023/01/27 9:00:00
上田辰男	サンプル課 2 2	退勤	2023/01/26 20:00:00
林政義	サンプル課 2 1	退勤	2023/01/26 19:00:00
青柳辰巳	サンプル課 1 1	退勤	2023/01/26 18:30:00
間根千香	サンプル課 1 2	退勤	2023/01/26 18:30:00
青柳辰巳	サンプル課 1 1	休憩終了	2023/01/26 13:00:00

ユーザ名
組織
打刻種別
 出勤 退勤 休憩開始 休憩終了
期間
年/月/日 [] ○ - 年/月/日 [] ○
検索 クリア

コラム

「打刻アプリ」の管理者権限は指定したロールに対して付与されます。

アプリケーション作成後に他のロールへ管理者権限を付与したい場合は、以下の手順に従って操作を行ってください。

1. 作成したアプリケーションの「アプリケーション構成情報」画面に遷移し、「ロジック」タブからロジックフロー「一覧取得処理」を選択して「ロジックフロー定義編集」画面※1を開きます。
2. 「定数設定」ボタンから「roleId」を編集し、管理者権限を付与するロールのロールIDを指定※2してください。

※1 このロジックフローの定数「roleId」に指定したロールが、管理者権限を持ちます。

※2 複数指定する場合はカンマ区切りで指定できます。

テンプレートの活用例

「打刻アプリ」テンプレートを活用したアプリケーションの例をご紹介します。

例：勤務時間管理アプリケーション

打刻時に、作業カテゴリや作業内容を入力できるようにすることで、各作業を管理するアプリケーションを作成できます。

打刻画面

- ・作業カテゴリと作業内容を入力して打刻ができます。
- ・出勤・退勤ではなく開始・終了にすることで、より詳細な作業管理に使用することもできます。



一覧画面

- ・出勤打刻と退勤打刻から、作業時間を閲覧できます。
- ・当月の稼働状況をグラフで閲覧できます。
- ・各作業を絞って表示できます。

ユーザ名	組織	打刻種別	作業カテゴリ	打刻日時	作業時間	
上田辰男	サンプル課 2	退勤	研究開発費	要件C	2023/01/26 20:00:00	10
林政義	サンプル課 1	退勤	研究開発費	要件B	2023/01/26 19:00:00	8.5
青柳慶巳	サンプル課 1	退勤	人件費	学習	2023/01/26 18:30:00	7.5
闇根千香	サンプル課 1 2	退勤	研究開発費	要件A	2023/01/26 18:30:00	7.5
吉川一哉	サンプル部門 0 1	退勤	販売促進費	要件D	2023/01/26 17:00:00	7
闇根千香	サンプル課 1 2	出勤	研究開発費	要件A	2023/01/26 10:00:00	
吉川一哉	サンプル部門 0 1	出勤	販売促進費	要件D	2023/01/26 10:00:00	
青柳慶巳	サンプル課 1 1	出勤	人件費	学習	2023/01/26 10:00:00	
林政義	サンプル課 2	出勤	研究開発費	要件B	2023/01/26 9:30:00	
上田辰男	サンプル課 2	出勤	研究開発費	要件C	2023/01/26 9:00:00	

在庫管理

このページでは「在庫管理」テンプレートの概要、アプリケーション作成手順、画面イメージと操作方法について解説します。

目次

- 「在庫管理」テンプレートとは
- 「在庫管理」テンプレートの利用方法
 - アプリケーションの作成手順
 - アプリケーションのアクセス手順
 - アプリケーションの画面イメージと操作方法

「在庫管理」テンプレートとは



「在庫管理」テンプレートは、商品の在庫数を管理するアプリケーションです。

商品の情報にバーコードまたはQRコードを登録・生成できます。また、登録したコードを読み取り、商品在庫数を更新できます。

バーコードとQRコードはどちらか一方のみ使用でき、アプリケーション作成時に指定します。

このテンプレートは「バーコード生成」モジュールが含まれていない環境では利用できません。

商品名	商品管理コード	単価	在庫数	在庫率
インデックスホルダー	index_holder	200	11	36.6 %
ウェットタオル	wet_towel	100	3	30.0 %
オリジナルペーパータオル (200枚入り)	original_paper_towel_200	140	140	70.0 %
オリジナルペーパータオル (枚入り)				
カップ (カラフル)				
カップ (黒)				
カラーホルダー (A4)				
クリアファイル (A3)				
クリアファイル (A4)				
コピー用紙 (A3)				
コピー用紙 (A4)				

**在庫管理サンプル
在庫数更新画面**

商品を検索する
在庫数を変更する商品を検索します。

検索方法は、「完全一致検索」です。
検索条件に入力した文字列と大文字小文字、全角半角が完全に一致する商品を検索します。

商品管理コード
バーコード
QRコード
検索
クリア

検索条件を入力してください。

250	250
20	sample_code
15	閉じる
200	16
200	19
200	38
4000	13
3500	65.0 %
20	66.6 %

商品名
商品管理コード
単価
数
率
検索
クリア

i コラム

「在庫管理」テンプレートは2021 Winter(Dandelion)から利用できます。

i コラム

「バーコード生成」モジュールが含まれていない環境では、アプリケーション作成時にビルトエラーとなり、アプリケーションの作成に失敗します。

「在庫管理」テンプレートの利用方法

「在庫管理」テンプレートを利用したアプリケーションの作成手順と「在庫管理」アプリケーションの操作方法をご紹介します。

アプリケーションの作成手順

「在庫管理」テンプレートを利用してアプリケーションを作成する手順についてご紹介します。

1. アプリケーション作成画面への遷移

Accel Studioの「業務テンプレート一覧」から「在庫管理」テンプレートを選択します。

Accel Studioの「業務テンプレート一覧」は、「サイトマップ」→「Accel Studio」→「業務テンプレート一覧」から遷移できます。



2. アプリケーションのIDや名称などの設定

「在庫管理」テンプレートを選択し、アプリケーション情報の設定画面が表示されたら、アプリケーションのIDや名称などを設定します。設定した基本情報は、各処理や画面の名称、IDなどに利用されます。

The screenshot shows the 'Application Creation' screen for the 'Inventory Management' template. It includes fields for 'Application ID' (必填), 'Application Name' (必填), and 'Description'. Below these are sections for defining 'Data Types' and 'Application Options'. A sidebar on the left lists other tenant management options like Top, Workflow, Item-BIS, BPM, and Samples.

3. データベースのテーブルに利用する名称の定義

次に、作成するアプリケーションで扱うデータベースのテーブルに利用する名称を定義します。

ここでは、商品の情報を保持するテーブルの名称を設定します。

なお、「在庫管理」テンプレートでは、既存のテーブルはご利用いただけません。

任意でテーブルにカラムを追加し、商品の情報を追加できます。追加したカラムは商品情報として「編集画面」から編集できます。

アプリケーション作成
在庫管理 - 新規作成

① 作成するアプリケーションで使うデータを指定します。
それぞれのテーブル名には異なるものも入力する必要があります。

テーブル生成の設定 ②
□ テーブルを自動生成する

データベース種別 ③
TENANT ▾

テーブル名 ④
ヘルプアイコンから入力規則を確認できます。

テーブル情報* ⑤
+ 追加

物理名	表示名	データ型	表示形式	主キー	必須	削除
item_cd	Item CD	文字列	テキストボックス	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
item_name	Item Name	文字列	テキストボックス	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
barcode1	Barcode 1	文字列	テキストボックス	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
barcode2	Barcode 2	文字列	テキストボックス	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
unit_price	Unit Price	浮動小数点数	数値ボックス (小数あり)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
current_stock	Current Stock	浮動小数点数	数値ボックス (小数あり)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
max_stock	Maximum Stock	浮動小数点数	数値ボックス (小数あり)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
create_user_cd	Create User Code	文字列	テキストボックス	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
create_date	Create Date	日付	日付	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
record_user_cd	Record User Code	文字列	テキストボックス	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
record_date	Record Date	日付	日付	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

アプリケーションのオプション指定

アプリケーション作成



コラム

テーブル情報に標準で設定されている各項目の表示名は、多言語化対応が行われ、各画面に表示されます。
新規で追加した項目については、多言語化されずに標準ロケールにのみ設定されます。

4. アプリケーションのオプション指定

「在庫管理」テンプレートは、商品の情報にバーコードまたはQRコードを登録・生成できます。
バーコードとQRコードはどちらか一方のみ使用できます。

アプリケーション作成
在庫管理 - 新規作成

① 作成するアプリケーションの機能を選択します。
使用する機能を選択してください。

コード種別 ②
バーコード ▾

その他情報の指定

③ このテンプレートでは、IM-LogicDesigner と IM-BloomMaker のリソースを新規作成し、アプリケーションを作成します。
IM-LogicDesigner と IM-BloomMaker で利用される各種IDやルーティング情報などを自動で決定するかを指定します。
自動で決定する場合は、「IDの決定に利用する文字列」が含まれた文字列が指定されます。

IM-LogicDesigner, IM-BloomMaker 資材の設定 ④
□ リソースのIDやルーティング情報を手動で決定する

IDの決定に利用する文字列* ⑤
半角英数字、- (ハイフン)、_ (アンダースコア) を入力してください。

アプリケーション作成

5. その他情報の指定

作成されるアプリケーションに利用されるリソースのIDやルーティング情報を手動で決定できます。
チェックを入れないことを推奨します。

6. アプリケーション作成開始

アプリケーションの基本情報と、テーブル名を入力したら「アプリケーション作成」ボタンをクリックしてください。
入力項目に不備が無ければ自動でアプリケーションの作成ができます。

アプリケーション作成

7. アプリケーション作成結果

アプリケーション作成が完了すると、ステータスが「COMPLETE」と表示されます。

出力日時	メッセージ	詳細
2023/09/04 14:34:01	生成するリソースのIDを自動設定します。	
2023/09/04 14:34:02	一時ディレクトリに IM-LogicDesigner インポート資材を作成しました。	
2023/09/04 14:34:03	一時ディレクトリに IM-BloomMaker インポート資材を作成しました。	
2023/09/04 14:34:03	アプリケーションで利用するテーブルを新規作成しました。	
2023/09/04 14:34:03	CREATE TABLE "inventory_controller_sample" ("item_cd" VARCHAR(100), "item_name" VARCHAR(1000), "barcode1" VARCHAR(1000), "barcode2" VARCHAR(1000), "unit_price" DECIMAL(18,5), "current_stock" DECIMAL(10,0), "max_stock" DECIMAL(10), "create_user_cd" VARCHAR(100), "create_date" TIMESTAMP, "record_user_cd" VARCHAR(100), "record_date" TIMESTAMP, PRIMARY KEY ("item_cd"))	
2023/09/04 14:34:04	自動生成された IM-LogicDesigner 資材をインポートしました。	
2023/09/04 14:34:29	自動生成された IM-BloomMaker 資材をインポートしました。	
2023/09/04 14:34:29	作成された「在庫一覧画面」へはこちらの詳細アイコンから遷移できます。	詳細
2023/09/04 14:34:29	作成された「在庫数更新画面」へはこちらの詳細アイコンから遷移できます。	詳細
2023/09/04 14:34:33	アプリケーションの作成が完了しました。	
2023/09/04 14:34:33	アプリケーション認可段階で テナント管理者 Accel Studio 管理者 にアクセス許可が設定されました。	



コラム

作成したアプリケーションは、初期設定では「テナント管理者」または「Accel Studio管理者」ロールを持ったユーザのみ利用できます。

任意のユーザに対して、利用を許可したい場合の設定方法は、「[Accel Studio アプリケーション管理機能 仕様書](#)」 - 「[Accel Studio アプリケーション認可設定](#)」をご確認ください。

アプリケーションのアクセス手順

作成したアプリケーションへアクセスする方法をご紹介します。

「在庫管理」テンプレートから作成されるアプリケーションは、「在庫一覧画面」または「在庫数更新画面」を起点として操作することを想定しています。

以下では「在庫一覧画面」または「在庫数更新画面」へのアクセス手順について説明します。

- 「テンプレートビルトジョブ - 詳細」画面から遷移する
- [画面のURLを取得する](#)

「テンプレートビルトジョブ - 詳細」画面から遷移する

「テンプレートビルトジョブ - 詳細」画面はアプリケーション作成完了後に表示されます。

「テンプレートビルトジョブ - 詳細」画面のステータスが「COMPLETE」と表示されたら、「作成された「在庫一覧画面」へはこちらの詳細アイコンから遷移できます。」の欄にある をクリックしてください。

The screenshot shows the 'Template Build Job - Details' screen in the Accel Studio application. At the top, there's a header bar with application icons and a back arrow. Below the header, a table provides detailed information about the build job:

ビルトジョブID	8qxdvysquu61cds	テンプレート名	在庫管理
ステータス	COMPLETE	作成者ユーザコード	tenant
作成日時	2023/09/04 14:33:54		

Below the table, a log of events is listed:

- 2023/09/04 14:34:01 生成するリソースのIDを自動設定します。
- 2023/09/04 14:34:02 一時ディレクトリに IM-LogicDesigner インポート資材を作成しました。
- 2023/09/04 14:34:03 一時ディレクトリに IM-BloomMaker インポート資材を作成しました。
- 2023/09/04 14:34:03 アプリケーションで利用するテーブルを新規作成しました。
- 2023/09/04 14:34:03 CREATE TABLE "inventory_controller_sample" ("item_cd" VARCHAR(1000), "item_name" VARCHAR(1000), "barcode1" VARCHAR(1000), "barcode2" VARCHAR(1000), "unit_price" DECIMAL(18,5), "current_stock" DECIMAL(10), "max_stock" DECIMAL(10), "create_user_cd" VARCHAR(100), "create_date" TIMESTAMP, "record_user_cd" VARCHAR(100), "record_date" TIMESTAMP, PRIMARY KEY ("item_cd"))
- 2023/09/04 14:34:04 自動生成された IM-LogicDesigner 資材をインポートしました。
- 2023/09/04 14:34:29 作成された「在庫一覧画面」へはこちらの詳細アイコンから遷移できます。
- 2023/09/04 14:34:29 作成された「在庫数更新画面」へはこちらの詳細アイコンから遷移できます。
- 2023/09/04 14:34:33 アプリケーションの作成が完了しました。
- 2023/09/04 14:34:33 アプリケーション認可設定で テナント管理者 Accel Studio 管理者にアクセス許可が設定されました。

コラム

「テンプレートビルトジョブ - 詳細」画面は、「サイトマップ」→「Accel Studio」→「アプリケーション作成」→「テンプレートビルトジョブ」に遷移し、作成したアプリケーションの「詳細」をクリックすることで表示できます。

画面のURLを取得する

「在庫管理」テンプレートから作成したアプリケーションは「在庫一覧画面」「在庫編集画面」「在庫登録画面」「在庫数更新画面」のそれぞれに画面URLが定義されています。

「サイトマップ」→「Accel Studio」→「アプリケーション一覧」で、「自動生成されたアプリケーション」カテゴリを選択します。

作成したアプリケーションを選択し、遷移したいカードにホバーしてください。

表示されたURLアイコンをクリックすることで、URLがクリップボードにコピーされます。

The screenshot shows the Accel Studio application management interface. On the left, there's a vertical sidebar with icons for navigation and search. The main area has a header with application management and inventory management tabs, and various filter and search options. Below the header is a search bar and a 'Search Options' dropdown. The main content area displays a list of templates, each with a preview icon, name, description, and a 'More' button. One template, 'Inventory Management Inventory List View', is highlighted with a red box and a red-bordered 'More' button.

画面コンテンツ (ID: im-bloommaker://contents/inventory_control-crud)	在庫管理 登録・編集画面	tenant 0時間前
画面コンテンツ (ID: im-bloommaker://contents/inventory_control-stock)	在庫管理 在庫数更新画面	tenant 0時間前
画面コンテンツ (ID: im-bloommaker://contents/inventory_control-list)	在庫管理 在庫一覧画面	tenant 0時間前
画面URL (ID: im-bloommaker://routes/inventory_control-list)	在庫管理 在庫一覧画面	tenant 0時間前
画面URL (ID: im-bloommaker://routes/inventory_control-register)	在庫管理 在庫登録画面	tenant 0時間前
画面URL (ID: im-bloommaker://routes/inventory_control-stock)	在庫管理 在庫数更新画面	tenant 0時間前

i コラム

取得したURLは、初期設定では「テナント管理者」または「Accel Studio管理者」ロールを持ったユーザのみアクセス可能です。任意のユーザに対して、利用を許可したい場合の設定方法は、「[Accel Studio アプリケーション管理機能 仕様書](#)」 - 「[Accel Studio アプリケーション認可設定](#)」をご確認ください。

i コラム

作成したアプリケーションをグローバルメニューに追加したい場合は、グローバルナビ設定をご利用ください。グローバルナビの設定方法は、「[ファーストステップガイド](#)」 - 「[管理者が一般ユーザ向けのメニューを作成する](#)」をご確認ください。

アプリケーションの画面イメージと操作方法

「在庫管理」テンプレートから作成されるアプリケーションは、「在庫一覧画面」または「在庫数更新画面」を起点として操作することを想定しています。

下記ではアプリケーション作成時の「アプリケーションのオプション指定」で「バーコード」を選択した場合の操作を説明します。「QRコード」を選択した場合でも同様の機能が利用できます。

在庫一覧画面

「在庫一覧画面」では、登録した商品を閲覧できます。

アプリケーション作成時に任意で追加した商品の情報は、一覧には表示されません。

在庫管理サンプル 在庫一覧						
+ 新規作成						
商品名	商品管理コード	単価	在庫数	在庫率	操作	
インデックスホルダー	index_holder	200	11	36.6 %		
ウェットタオル	wet_towel	100	3	30.0 %		
オリジナルペーパータオル (200枚入り)	original_paper_towel_200	140	140	70.0 %		
オリジナルペーパータオル (400枚入り)	original_paper_towel_400	250	250	83.3 %		
カップ (カラフル)	cup_colorful	20	10	10.0 %		
カップ (黒)	cup_black	15	10	10.0 %		
カラーホルダー (A4)	color_holder_a4	200	16	53.3 %		
クリアファイル (A3)	clear_file_a3	200	19	19.0 %		
クリアファイル (A4)	clear_file_a4	200	38	38.0 %		
コピー用紙 (A3)	copy_paper_a3	4000	13	65.0 %		
コピー用紙 (A4)	copy_paper_a4	3500	20	66.6 %		
コピー用紙 (A5)	copy_paper_a5	3000	18	60.0 %		
コピー用紙 (B4)	copy_paper_b4	3200	12	60.0 %		
コピー用紙 (B5)	copy_paper_b5	3500	18	90.0 %		
スティックのり	stick_glue	100	9	90.0 %		
ティッシュ (ポケット)	tissue_pocket	300	10	10.0 %		
ティッシュ (箱)	tissue_box	500	5	50.0 %		
ペーパープレート (小)	paper_plate_small	10	100	50.0 %		
ペーパープレート (大)	paper_plate_big	10	10	33.3 %		
ボールペン (黒)	ballpoint_black	100	31	31.0 %		
ボールペン (赤)	ballpoint_red	100	14	28.0 %		
ホワイトボードマーカー (黒)	white_board_marker_black	100	5	50.0 %		
前へ	1	2	3	4	5	6
	7	...	206	次へ		
1 - 50 / 10296						

画面右側の絞り込み条件では、「商品名」や「商品管理コード」「単価」「在庫数」「在庫率」から商品を絞り込みできます。なお、アプリケーション作成時に任意で追加した項目での絞り込み機能は組み込まれていません。

在庫管理サンプル
在庫一覧

+ 新規作成

商品名	商品管理コード	単価	在庫数	在庫率
付箋 (小)	fusen_small	400	10	33.3 %
付箋 (大)	fusen_big	700	10	50.0 %

商品名
付箋

商品管理コード
fusen_small

単価
400 ~ 700

在庫数
10 ~ 10

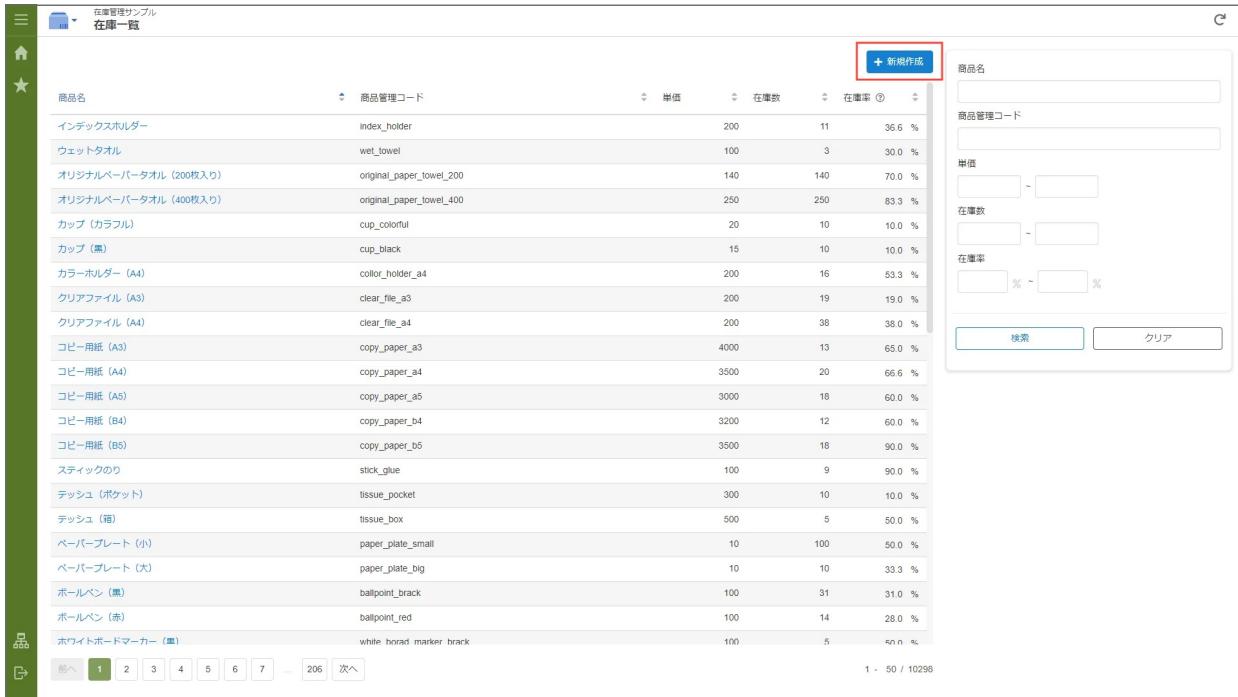
在庫率
33.3 % ~ 50.0 %

検索 クリア

在庫登録画面

「在庫登録画面」では、商品の登録ができます。

「在庫一覧画面」の「新規作成」ボタンから「在庫登録画面」に遷移できます。



商品名	商品管理コード	単価	在庫数	在庫率
インデックスホルダー	index_holder	200	11	36.6 %
ウェットタオル	wet_towel	100	3	30.0 %
オリジナルペーパータオル（200枚入り）	original_paper_towel_200	140	140	70.0 %
オリジナルペーパータオル（400枚入り）	original_paper_towel_400	250	250	83.3 %
カップ（カラフル）	cup_colorful	20	10	10.0 %
カップ（黒）	cup_black	15	10	10.0 %
カラーホルダー（A4）	color_holder_a4	200	16	53.3 %
クリアファイル（A3）	clear_file_a3	200	19	19.0 %
クリアファイル（A4）	clear_file_a4	200	38	38.0 %
コピー用紙（A3）	copy_paper_a3	4000	13	65.0 %
コピー用紙（A4）	copy_paper_a4	3500	20	66.6 %
コピー用紙（A5）	copy_paper_a5	3000	18	60.0 %
コピー用紙（B4）	copy_paper_b4	3200	12	60.0 %
コピー用紙（B5）	copy_paper_b5	3500	18	90.0 %
スティックのり	stick_glue	100	9	90.0 %
ティッシュ（ポケット）	tissue_pocket	300	10	10.0 %
ティッシュ（箱）	tissue_box	500	5	50.0 %
ペーパープレート（小）	paper_plate_small	10	100	50.0 %
ペーパープレート（大）	paper_plate_big	10	10	33.3 %
ボールペン（黒）	ballpoint_black	100	31	31.0 %
ボールペン（赤）	ballpoint_red	100	14	28.0 %
ホワイトボードマーカー（黒）	white_board_marker_black	100	5	5.0 %

商品一覧

商品登録

検索

クリア

次へ

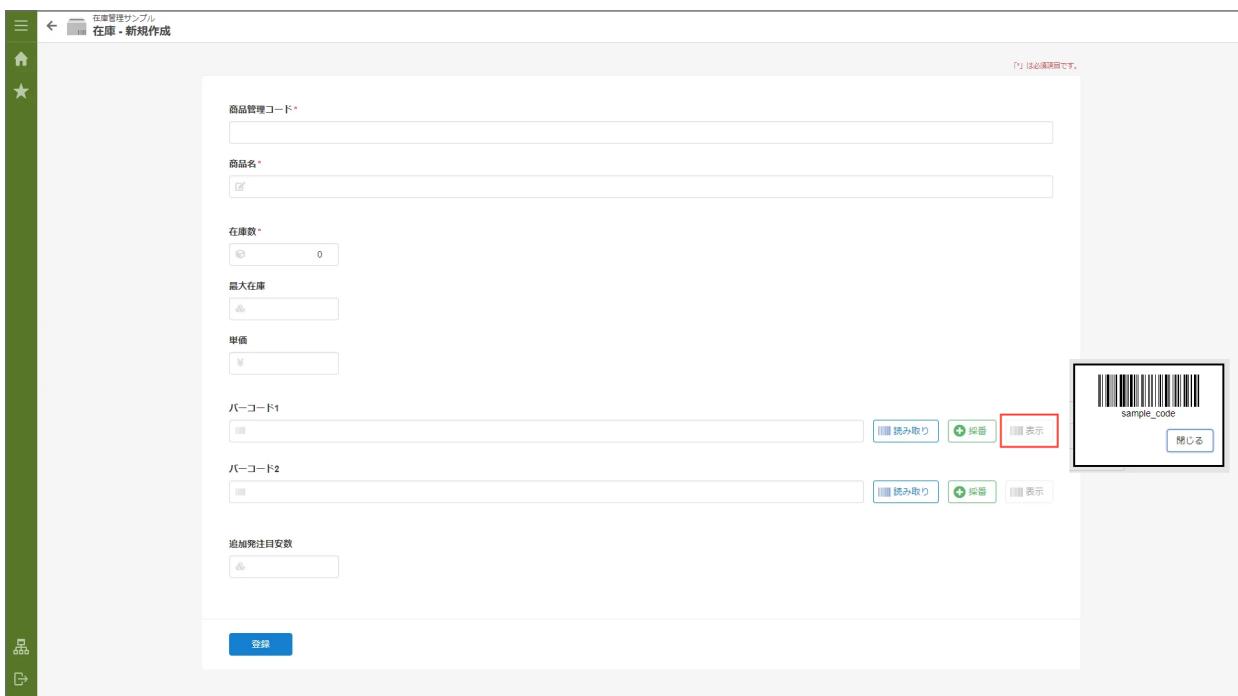
「バーコード1」 「バーコード2」には商品のバーコードを登録できます。

「読み取り」を選択するとカメラが起動します。商品のバーコードを読み取り、文字列を取得できます。

「採番」を選択すると一意な文字列を生成します。商品にバーコードが無い場合にご利用ください。

「表示」を選択すると入力された文字列から作成されるバーコードを表示します。

表示されたバーコードは画像として保存できるため、印刷して商品に貼り付けるなどの利用が可能です。



商品管理コード*

商品名*

在庫数*

最大在庫

単価

バーコード1

バーコード2

追加宛名注文数

登録

読み取り

採番

表示

sample_code

閉じる



コラム

カメラが搭載されていない端末では、「読み取り」機能は利用できません。



コラム

「読み取り」機能を利用する場合、httpsでのアクセスが必要です。

詳しくは、「IM-BloomMaker for Accel Platform 2022 Winter リリースノート」 - 「バーコードリーダー、QRコードリーダーエレメントを利用する場合、httpsでのアクセスが必要です。」をご確認ください。

アプリケーション作成時に任意で追加した商品の情報は、「バーコード2」の下部に配置されます。

商品管理コード*

商品名*

在庫数*

最大在庫

単価

バーコード1

バーコード2

追加宛注目安数

登録

在庫編集画面

「在庫編集画面」では、商品情報の編集ができます。

商品管理コード*

fusen_small

商品名*

付箋 (小)

在庫数*

最大在庫

単価

バーコード1

バーコード2

追加宛注目安数

作成日時: 2023/08/23 11:45 作成者: 青柳辰巳
更新日時: 2023/08/24 15:36 更新者: 青柳辰巳

青柳辰巳

更新 削除

画面右下の南京錠アイコンは排他制御エレメントです。

南京錠アイコンをクリックして排他制御を有効にすると、他のユーザは編集ができない状態になり、編集の衝突を防ぐことができます。

青柳辰巳が画面を制御しているとき、青柳辰巳のアイコン周囲が青く変化します。

商品管理コード*
fusen_small

商品名*
付箋 (小)

在庫数*
10

最大在庫
30

単価
400

バーコード1
4ceef91bad2a7

バーコード2
e3a23ab1a389

追加発注目安数
400

作成日時: 2023/08/23 11:45 作成者: 青柳辰巳
更新日時: 2023/08/24 15:36 更新者: 青柳辰巳

青柳辰巳 丸山益男

同画面にアクセスしている丸山益男からは、青柳辰巳が画面を制御していること、入力欄およびボタンが非活性になっていることが確認できます。なお、バーコード表示ボタンは排他制御の対象外です。

商品管理コード*
fusen_small

商品名*
付箋 (小)

在庫数*
10

最大在庫
30

単価
400

バーコード1
4ceef91bad2a7

バーコード2
e3a23ab1a389

追加発注目安数
400

作成日時: 2023/08/23 11:45 作成者: 青柳辰巳
更新日時: 2023/08/24 15:36 更新者: 青柳辰巳

青柳辰巳 丸山益男

在庫数更新画面

「在庫数更新画面」では、商品在庫の増減を入力して在庫数を更新できます。

「在庫数更新画面」は項目を入力すると下部に次の入力内容が表示されます。下記を順番に入力してください。

1. 商品を検索

商品管理コードを入力、または「読み取り」からバーコードを読み取って入力し、「検索」を選択します。

2. 在庫の増減を入力

増減する数値を入力し、「在庫増（入荷・補充）」または「在庫減（出荷・消費）」を選択します。

3. 確認して更新

最終的な在庫を確認して「更新」を選択します。

1 商品を検索する
在庫数を変更する商品を検索します。

検索方法は、「完全一致検索」です。
検索条件に入力した文字列と大文字小文字、全角半角が完全に一致する商品を検索します。

商品管理コード
 sample_item_002

バーコード
 4cee91bad2a7

検索条件を入力してください。

2 在庫の増減を変更する
検索結果を確認し、増減する在庫を変更します。

商品名
 付箋（小）
 商品名（カナ）
 フゼン ショウ

現在の在庫

増減する在庫 **必須**

増減する在庫は必須です。

3 更新
最終的な在庫を確認し、更新します。

最終的な在庫

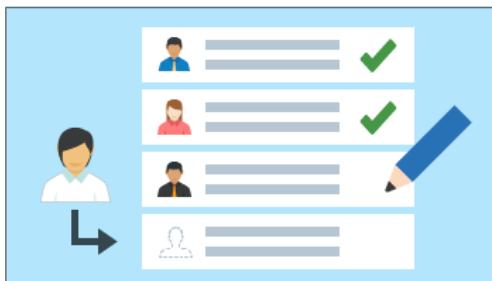
タスク管理

このページでは「タスク管理」テンプレートの概要、アプリケーション作成手順、画面イメージ、操作方法と活用例について解説します。

目次

- 「タスク管理」テンプレートとは
- 「タスク管理」テンプレートの利用方法
 - アプリケーションの作成手順
 - アプリケーションのアクセス手順
 - アプリケーションの画面イメージと操作方法
 - テンプレートの活用例

「タスク管理」テンプレートとは



「タスク管理」テンプレートは、タスクのステータスや担当者、レビュー等を登録、管理するアプリケーションです。

そのまま日々の業務のタスク管理に利用したり、情報のやり取りをする掲示板のようにカスタマイズすることで、社内コミュニケーションにも利用できます。

The screenshot shows the 'Task Management' template interface. On the left, there's a sidebar with icons for Home, Back, and Favorites. The main area has two tabs: '一覧表示' (List View) and '内グラフ表示' (Graph View). The 'List View' tab is active, displaying a table of tasks with columns for #, タイトル (Title), ステータス (Status), 優先度 (Priority), 担当者 (Owner), レビュー者 (Reviewer), 進捗率 (Progress Rate), 期日 (Due Date), and 作成日 (Created Date). A search bar at the top right allows filtering by title, status, priority, owner, reviewer, due date, and creation date. Below the table is a green sidebar with icons for 'タスク一覧' (Task List), 'IM-BloomMaker', and 'IM-BloomMakerで一覧画面を作成します' (Create a list view using IM-BloomMaker). The 'Graph View' tab shows a pie chart titled 'タスクの割合' (Task Distribution) with the following data:

状態	割合
未了	61.6%
着手中	13.5%
終了	4.5%
新規	4.5%
レビュー待ち	4.5%
保留	4.5%
未登録	4.5%



コラム

「タスク管理」テンプレートは2021 Winter(Dandelion)から利用できます。

「タスク管理」テンプレートの利用方法

「タスク管理」テンプレートを利用したアプリケーションの作成手順と「タスク管理」アプリケーションの操作方法をご紹介します。

アプリケーションの作成手順

「タスク管理」テンプレートを利用してアプリケーションを作成する手順についてご紹介します。

1. アプリケーション作成画面への遷移

Accel Studioの「業務テンプレート一覧」から「タスク管理」テンプレートを選択します。

Accel Studioの「業務テンプレート一覧」は、「サイトマップ」→「Accel Studio」→「業務テンプレート一覧」から遷移できます。

The screenshot shows the 'Business Template Catalog' interface. It displays a grid of application templates, each with a preview image and a 'Next' button. The 'Task Management' template is highlighted with a red border. Other visible templates include 'Attendance Management', 'Warehouse Management', 'Spreadsheet Workflows', 'Customer Management', 'Internal FAQ Management', 'Leave Application Workflow', 'Self-introduction', 'Email Configuration Workflow', and 'SharePoint Workflows'.

2. アプリケーションのIDや名称などの設定

「タスク管理」テンプレートを選択し、アプリケーション情報の設定画面が表示されたら、アプリケーションのIDや名称などを設定します。

設定した基本情報は、各処理や画面の名称、IDなどに利用されます。

アプリケーション情報

データの保存先*

説明

データの保存先

テーブル生成の設定

タスク情報テーブル名*

担当者情報テーブル名*

レビュー情報テーブル名*

アプリケーション作成

3. データベースのテーブルに利用する名称の定義

次に、作成するアプリケーションで扱うデータベースのテーブルに利用する名称を定義します。ここでは、タスク情報と担当者情報、レビュー情報を保持するテーブルの名称を設定します。なお、「タスク管理」テンプレートでは、既存のテーブルはご利用いただけません。

データの保存先

テーブル生成の設定

タスク情報テーブル名*

担当者情報テーブル名*

レビュー情報テーブル名*

その他情報の指定

IM-LogicDesigner, IM-BloomMaker 資材の設定

IDの決定に利用する文字列*

アプリケーション作成

4. その他情報の指定

作成されるアプリケーションに利用されるリソースのIDやルーティング情報を手動で決定できます。チェックを入れないことを推奨します。

5. アプリケーション作成開始

アプリケーションの基本情報と、テーブル名を入力したら「アプリケーション作成」ボタンをクリックしてください。入力項目に不備が無ければ自動でアプリケーションの作成ができます。

アプリケーション作成

6. アプリケーション作成結果

アプリケーション作成が完了すると、ステータスが「COMPLETE」と表示されます。

アプリケーション作成
テンプレートビルトジョブ - 詳細

ビルトジョブID	8ppgb1gmdodbbc	テンプレート名	タスク管理
ステータス	COMPLETE	作成者ユーザコード	tenant
作成日時	2023/02/16 17:56:06		

出力日時 メッセージ 詳細

- 2023/02/16 17:56:07 生成するリソースのIDを自動設定します。
- 2023/02/16 17:56:07 一時ディレクトリに IM-LogicDesigner インポート資材を作成しました。
- 2023/02/16 17:56:08 一時ディレクトリに IM-BloomMaker インポート資材を作成しました。
- 2023/02/16 17:56:08 アプリケーションで利用するテーブルを新規作成しました。
- 2023/02/16 17:56:08 自動生成された IM-LogicDesigner 資材をインポートしました。
- 2023/02/16 17:56:09 自動生成された IM-BloomMaker 資材をインポートしました。
- 2023/02/16 17:56:09 作成された「一覧画面」へはこれらの詳細アイコンから遷移できます。
- 2023/02/16 17:56:10 アプリケーションの作成が完了しました。
- 2023/02/16 17:56:10 アプリケーション認可設定で テナント管理者 Accel Studio 管理者 にアクセス許可が設定されました。



コラム

作成したアプリケーションは、初期設定では「テナント管理者」または「Accel Studio管理者」ロールを持ったユーザのみ利用できます。
任意のユーザに対して、利用を許可したい場合の設定方法は、「[Accel Studio アプリケーション管理機能 仕様書](#)」 - 「[Accel Studio アプリケーション認可設定](#)」をご確認ください。

アプリケーションのアクセス手順

作成したアプリケーションへアクセスする方法をご紹介します。

「タスク管理」テンプレートから作成されるアプリケーションは、「タスク一覧画面」を起点として操作することを想定しています。
以下では「タスク一覧画面」へのアクセス手順について説明します。

- 「テンプレートビルトジョブ - 詳細」画面から遷移する
- 画面のURLを取得する

「テンプレートビルトジョブ - 詳細」画面から遷移する

「テンプレートビルトジョブ - 詳細」画面はアプリケーション作成完了後に表示されます。

「テンプレートビルトジョブ - 詳細」画面のステータスが「COMPLETE」と表示されたら、「作成された「一覧画面」へはこれらの詳細アイコンから遷移できます。」の欄にある をクリックしてください。

アプリケーション作成
テンプレートビルトジョブ - 詳細

ビルトジョブID	8ppgb1gmdodbbc	テンプレート名	タスク管理
ステータス	COMPLETE	作成者ユーザコード	tenant
作成日時	2023/02/16 17:56:06		

出力日時 メッセージ 詳細

- 2023/02/16 17:56:07 生成するリソースのIDを自動設定します。
- 2023/02/16 17:56:07 一時ディレクトリに IM-LogicDesigner インポート資材を作成しました。
- 2023/02/16 17:56:08 一時ディレクトリに IM-BloomMaker インポート資材を作成しました。
- 2023/02/16 17:56:08 アプリケーションで利用するテーブルを新規作成しました。
- 2023/02/16 17:56:08 自動生成された IM-LogicDesigner 資材をインポートしました。
- 2023/02/16 17:56:09 自動生成された IM-BloomMaker 資材をインポートしました。
- 2023/02/16 17:56:09 作成された「一覧画面」へはこれらの詳細アイコンから遷移できます。
- 2023/02/16 17:56:10 アプリケーションの作成が完了しました。
- 2023/02/16 17:56:10 アプリケーション認可設定で テナント管理者 Accel Studio 管理者 にアクセス許可が設定されました。



コラム

「テンプレートビルトジョブ - 詳細」画面は、「サイトマップ」→「Accel Studio」→「アプリケーション作成」→「テンプレートビルトジョブ」に遷移し、作成したアプリケーションの「詳細」をクリックすることで表示できます。

画面のURLを取得する

「タスク管理」テンプレートから作成したアプリケーションは「タスク登録画面」「タスク一覧画面」「タスク編集画面」のそれぞれに画面URLが定義されています。

「サイトマップ」→「Accel Studio」→「アプリケーション一覧」で、「自動生成されたアプリケーション」カテゴリを選択します。

作成したアプリケーションを選択し、遷移したいカードにホバーしてください。

表示されたURLアイコンをクリックすることで、URLがクリップボードにコピーされます。

The screenshot shows the 'Application Management - Details' screen for the 'Task Management' application. It lists several routes and their definitions:

- 画面コンテンツ (ID: im-bloommaker://contents/task_app-crud)**: タスク管理 タスク登録・編集画面. Description: 「タスク管理」テンプレートから作成されたタスク登録・編集画面のコンテンツです. Created by tenant 0時間前.
- 画面コンテンツ (ID: im-bloommaker://contents/task_app-list)**: タスク管理 タスク一覧画面. Description: 「タスク管理」テンプレートから作成されたタスク一覧画面のコンテンツです. Created by tenant 0時間前.
- 画面URL (ID: im-bloommaker://routes/task_app-edit)**: タスク管理 タスク編集画面. Description: 「タスク管理」テンプレートから作成されたタスク編集画面のルーティング定義です. Created by tenant 0時間前.
- 画面URL (ID: im-bloommaker://routes/task_app-list)**: タスク管理 タスク一覧画面. Description: 「タスク管理」テンプレートから作成されたタスク一覧画面のルーティング定義です. Created by tenant 0時間前. This row is highlighted with a red box and has a copy icon (a clipboard with a double arrow) also highlighted with a red box.
- 画面URL (ID: im-bloommaker://routes/task_app-register)**: タスク管理 タスク登録画面. Description: 「タスク管理」テンプレートから作成されたタスク登録画面のルーティング定義です. Created by tenant 0時間前.
- APIのURL (ID: im-logic://routes/accel-studio-app/task_app/PUT)**: PUT accel-studio-app/task_app. Description: APIのルーティング定義です. Created by tenant 0時間前.



コラム

取得したURLは、初期設定では「テナント管理者」または「Accel Studio管理者」ロールを持ったユーザのみアクセス可能です。任意のユーザに対して、利用を許可したい場合の設定方法は、「[Accel Studio アプリケーション管理機能 仕様書](#)」 - 「[Accel Studio アプリケーション認可設定](#)」をご確認ください。



コラム

作成したアプリケーションをグローバルメニューに追加したい場合は、グローバルナビ設定をご利用ください。グローバルナビの設定方法は、「[ファーストステップガイド](#)」 - 「[管理者が一般ユーザ向けのメニューを作成する](#)」をご確認ください。

アプリケーションの画面イメージと操作方法

「タスク管理」テンプレートから作成されるアプリケーションは、「タスク一覧画面」を起点として操作することを想定しています。

タスク一覧画面

「タスク一覧画面」では、「一覧表示」タブをクリックすることで一覧表示に、「円グラフ表示」タブをクリックすることで円グラフ表示に切り替えることができます。



コラム

「円グラフ表示」への切り替え機能は2023 Spring(Gerbera)から利用できます。

intra-mart Accel Platform — Accel Studio テンプレートカタログ 第10版 2025-10-01

「一覧表示」では、画面上部の「新規作成」ボタンから「タスク登録画面」に、タスクのタイトルをクリックすることで「タスク編集画面」にそれぞれ遷移できます。

「一覧表示」では、表示されているテーブルヘッダをクリックすることで、並び順の変更も可能です。

#	タイトル	ステータス	優先度	担当者	レビュー	進歩率	期日	作成日
264	アプリケーションのデザイン調整を行います。	着手中	高め	青柳原巳	上田原男, 片山恵	60	2023/02/27	2023/02/01 11:00
263	アプリケーションに機能を追加します。	却下	低め			0	2023/02/24	2023/02/01 10:00
262	アプリケーションのドキュメントを作成します。	新規	普通	青柳原巳	上田原男	0	2023/03/16	2023/01/06 17:00
261	結合試験での不具合を修正します。	新規	普通	青柳原巳	上田原男	0	2023/03/08	2023/01/06 16:00
260	結合試験を行います。	着手待ち	普通	青柳原巳	上田原男	0	2023/03/03	2023/01/06 14:00
259	結合試験項目書を作成します。	保留	普通	青柳原巳	上田原男	40	2023/03/01	2023/01/06 11:00
258	単体試験での不具合を修正します。	レビュー待ち	緊急	青柳原巳	上田原男	80	2023/02/28	2023/01/06 11:00
257	単体試験を行います。	終了	普通	青柳原巳	上田原男	100	2023/02/24	2023/01/06 10:00
256	単体試験項目書を作成します。	終了	普通	青柳原巳	上田原男	100	2023/02/20	2023/01/06 10:00
255	IM-BloomMakerで詳細画面を作成します。	終了	普通	上田原男	青柳原巳	100	2023/02/21	2023/01/03 12:00
254	IM-BloomMakerで一覧画面を作成します。	終了	高め	上田原男	青柳原巳	100	2023/02/17	2023/01/03 11:00
253	IM-LogicDesignerで一覧表示処理を作成します。	終了	低め	青柳原巳	上田原男	100	2023/02/20	2023/01/03 11:00
252	IM-LogicDesignerで登録処理を作成します。	終了	普通	青柳原巳	上田原男	100	2023/01/30	2023/01/03 10:00
251	IM-LogicDesignerで削除処理を作成します。	終了	普通	青柳原巳	上田原男	100	2023/01/27	2023/01/02 16:00
250	IM-LogicDesignerで帳票処理を作成します。	終了	普通	青柳原巳	上田原男	100	2023/01/26	2023/01/01 18:00
249	IM-LogicDesignerで登録処理を作成します。	終了	高め	上田原男	青柳原巳	100	2023/01/25	2023/01/01 17:00
248	アプリケーション資材の実装を行います。	終了	普通	青柳原巳	上田原男	100	2023/02/03	2023/01/01 16:00
247	工数の見積もりを行います。	終了	普通	青柳原巳	上田原男	100	2023/01/24	2023/01/01 15:00
246	アプリケーションの仕様書を作成します。	終了	普通	青柳原巳	上田原男	100	2023/01/24	2023/01/01 14:00
245	アプリケーション資材の設計を行います。	終了	普通	青柳原巳	上田原男	100	2023/01/23	2023/01/01 13:00
244	アプリケーションの要件定義を行います。	終了	普通	青柳原巳	上田原男	100	2023/01/18	2023/01/01 11:00

1 - 50 / 264

「円グラフ表示」では、ステータスごとにタスクの割合を円グラフとして確認できます。

円グラフの下にある凡例をクリックすることで、円グラフ上の項目の表示/非表示を切り替えることができます。

タスクの割合

ステータス	割合
終了	63.64%
着手中	9.09%
新規	9.09%
着手待ち	4.55%
レビュー待ち	4.55%
却下	4.55%
保留	4.55%

● 終了 ● 着手中 ● 新規 ● 着手待ち ● レビュー待ち ● 却下 ● 保留

タスク登録画面

「タスク登録画面」では、タスクの登録ができます。

「ステータス」や「優先度」、「期日」などタスク管理に必要な項目を設定し、「担当者」や「レビュー」をIM-共通マスターに登録されたユーザから設定できます。

タスク編集画面

「タスク編集画面」では、タスクの編集と削除ができます。

履歴・コメント機能でコメントの入力やファイルの添付ができ、レビューの証跡を残したり担当者同士の作業報告などもできます。

i コラム

履歴・コメント機能については、「[履歴・コメントモジュールユーザ操作ガイド](#)」をご確認ください。

テンプレートの活用例

「タスク管理」テンプレートを活用したアプリケーションの例をご紹介します。

例：おすすめランチを紹介するアプリケーション

アプリケーションの各項目名を変更することで、ジャンルごとのおすすめランチを紹介するアプリケーションを作成できます。

一覧表示

- ・一覧テーブルの表示項目を減らしています。
- ・「タイトル」を「店名」、「ステータス」を「ジャンル」、「優先度」を「予算」、「進捗率」を「おすすめ度」に変更しています。

おすすめランチ紹介
おすすめランチ一覧

一覧表示 円グラフ表示

+ 新規作成

#	店名	ジャンル	予算	おすすめ度	作成日
7	◇◇◇店	カフェ・スイーツ	¥1000 ~ 1999	80	2023/02/17 17:13
6	◆◆◆店	すし・魚料理	¥3000 ~	90	2023/02/17 17:13
5	△△△店	ラーメン・麺類	¥500 ~ 999	75	2023/02/17 17:11
4	▲▲▲店	イタリアン	¥1000 ~ 1999	60	2023/02/17 17:10
3	△△△△店	中華	¥1000 ~ 1999	50	2023/02/17 17:09
2	★★★店	洋食・西洋料理	¥2000 ~ 2999	70	2023/02/17 17:08
1	◆◆◆◆店	和食・日本料理	¥1000 ~ 1999	80	2023/02/17 16:54

店名
 詳細

ジャンル
 和食・日本料理 洋食・西洋料理 中華
 イタリアン ラーメン・麺類 すし・魚料理
 カフェ・スイーツ

予算
 ¥500 ~ 999 ¥1000 ~ 1999 ¥2000 ~ 2999
 ¥3000 ~

検索 クリア

前へ 1 次へ 1 ~ 7 / 7

円グラフ表示

- ・ジャンルごとに占める割合を確認できます。

おすすめランチ紹介
おすすめランチ一覧

一覧表示 円グラフ表示

ジャンルの割合

和食・日本料理 14.29%
洋食・西洋料理 14.29%
中華 14.29%
イタリアン 14.29%
ラーメン・麺類 14.29%
すし・魚料理 14.29%
カフェ・スイーツ 14.29%

店名
 詳細

ジャンル
 和食・日本料理 洋食・西洋料理 中華
 イタリアン ラーメン・麺類 すし・魚料理
 カフェ・スイーツ

予算
 ¥500 ~ 999 ¥1000 ~ 1999 ¥2000 ~ 2999
 ¥3000 ~

検索 クリア

例：社内の周知情報を展開するアプリケーション

編集の行えない参照画面を作成し、登録や更新が行えるユーザを制限することで、社内の周知情報を展開するアプリケーションを作成できます。

- ・参照画面ではボタンを非表示に設定し、入力用のエレメントを読み取り専用にしています。
- ・周知に必要な項目については削除しています。

社内掲示板

社内掲示板 - 参照

タイトル
社内掲示板アプリケーションを作成しました。

詳細
お疲れ様です。
社内掲示板アプリケーションを作成いたしました。
このアプリケーションでは、以下の機能を使用することができます。
・周知情報の登録・参照
・コメント入力機能
ようくお願ひいたします。

#1

コメントを入力してください。

添付ファイル

履歴 (1)

青柳原巳
「タスク管理」テンプレートから「社内掲示板」アプリケーションを作成しました。
2023/02/20 13:47:07

作成日時: 2023/02/20 13:26 作成者: 青柳原巳 (aoyagi)
更新日時: 2023/02/20 13:51 更新者: 青柳原巳 (aoyagi)

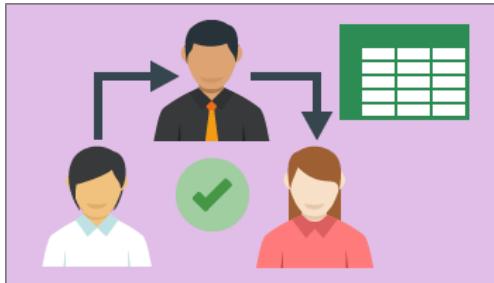
スプレッドシート回覧ワークフロー

このページでは「スプレッドシート回覧ワークフロー」テンプレートの概要、アプリケーション作成手順、画面イメージと操作方法について解説します。

目次

- 「スプレッドシート回覧ワークフロー」テンプレートとは
- 「スプレッドシート回覧ワークフロー」テンプレートの利用方法
 - アプリケーションの作成手順
 - アプリケーションの画面イメージと操作方法

「スプレッドシート回覧ワークフロー」テンプレートとは



「スプレッドシート回覧ワークフロー」テンプレートは、申請内容にスプレッドシートを利用したワークフローを作成できるアプリケーションです。

このテンプレートは「IM-Spreadsheet」が含まれていない環境では利用できません。

The screenshot shows the Accel Studio interface for creating a workflow. On the left, there's a process diagram with nodes: start, apply, approve, and end. Below it is a node list with four entries: '開始ノード start', '申請ノード apply' (assigned to 青柳 葵巳), '承認ノード approve' (assigned to 上田 広男), and '終了ノード end'. On the right, there are configuration panels for '画面' (Screens) and '処理' (Handling). The '画面' panel shows 'PC/スマートフォン' settings for various steps. The '処理' panel includes sections for '設定情報表示' (Information Display), '案件開始処理' (Case Start), '案件終了処理' (Case End), '未完了案件削除処理' (Incomplete Case Deletion), and '完了案件削除処理' (Completed Case Deletion).



コラム

「スプレッドシート回覧ワークフロー」テンプレートは2021 Winter(Dandelion)から利用できます。



コラム

「IM-Spreadsheet」のライセンスについては、「IM-Spreadsheet for Accel Platform リリースノート」 - 「ライセンスについて」をご確認ください。

「スプレッドシート回覧ワークフロー」テンプレートの利用方法

「スプレッドシート回覧ワークフロー」テンプレートを利用したアプリケーションの作成手順と「スプレッドシート回覧ワークフロー」アプリケーションの操作方法をご紹介します。

アプリケーションの作成手順

「スプレッドシート回覧ワークフロー」テンプレートを利用してアプリケーションを作成する手順についてご紹介します。

1. アプリケーション作成画面への遷移

Accel Studioの「業務テンプレート一覧」から「スプレッドシート回覧ワークフロー」テンプレートを選択します。

Accel Studioの「業務テンプレート一覧」は、「サイトマップ」→「Accel Studio」→「業務テンプレート一覧」から遷移できます。

The screenshot shows the 'Business Template List' page in Accel Studio. It displays ten different workflow templates as cards, each with an icon and a brief description. The 'Spreadsheet View Workflow' template is highlighted in red. Other visible templates include 'Clock-in Application', 'Inventory Management', 'Task Management', 'Customer Management', 'FAQ Management', 'Leave Application Workflow', 'Self-introduction', 'Email Distribution Workflow', and 'SharePoint View Workflow'.

2. アプリケーションのIDや名称などの設定

「スプレッドシート回覧ワークフロー」テンプレートを選択し、アプリケーション情報の設定画面が表示されたら、アプリケーションのIDや名称などを設定します。

設定した基本情報は、各処理や画面の名称、IDなどに利用されます。「アプリケーション名」は自動で作成されるワークフローのフロー名に設定

スプレッドシート回覧ワークフロー - 新規作成

アプリケーション情報*

扱うデータの定義*

ワークフロー情報の入力*

その他情報の指定*

アプリケーション情報

① 作成する資材をまとめて1つのアプリケーションとして登録します。
作成するアプリケーション情報を入力してください。

アプリケーションID* ⓘ
半角英数字、 - (ハイフン)、 _ (アンダースコア)で入力してください。

アプリケーション名* ⓘ

説明 ⓘ

扱うデータの定義

アプリケーション作成

3. 扱うデータの定義

「スプレッドシート回覧ワークフロー」テンプレートはアプリケーション作成時に作成されるエンティティの情報を元に、ワークフローの申請画面が生成されます。

この項目ではエンティティを作成し、データベースの名称を設定します。

「詳細に設定する」トグルのオン・オフを切り替えることで、設定可能な項目が変わります。



コラム

「詳細に設定する」トグルは2024 Autumn(Jasmine)からご利用いただけます。

「詳細に設定する」トグルをオフにする場合、最低限の項目のみ入力します。すぐにアプリケーションを作成したい場合に選択してください。
「詳細に設定する」トグルをオンにする場合、全ての項目を入力します。エンティティの設定を詳細に行いたい場合に選択してください。

- 「詳細に設定する」トグルをオフにする場合
- 「詳細に設定する」トグルをオンにする場合

スプレッドシート回覧ワークフロー - 新規作成

アプリケーション情報*

扱うデータの定義*

ワークフロー情報の入力*

その他情報の指定*

基本情報

詳細に設定する
データベース種別を変更するなど、エンティティの設定を詳細に行う場合は、詳細設定を有効にしてください。

エンティティ名* ⓘ

テーブル名* ⓘ
ヘルプアイコンから入力規則を確認できます。

項目設定 ⓘ

デフォルトカテゴリの設定 ⓘ
スプレッドシート回覧ワークフロー

表示名*	物理名*	データ型*	表示形式*	最大桁数	主キー	必須	削除
ユーザデータID	user_data_id	文字列	テキストボックス	20	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
スプレッドシートデータ	spread_data	長い文字列	テキストボックス	10485760	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
タイトル	title	文字列	テキストボックス	1000	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

アプリケーション作成

「詳細に設定する」トグルをオフにする場合

Powered by intra-mart
©2012 NTT DATA INTRAMART CORPORATION

1. データの定義

新しいエンティティを作成します。エンティティの名称を設定します。

2. データベースのテーブルに利用する名称の定義

入力された内容を保持するテーブルの名称を設定します。

エンティティ情報を元にデータベースのテーブルが作成され、「データ定義」機能で管理されます。

なお、「スプレッドシート回覧ワークフロー」テンプレートでは、既存のテーブルはご利用いただけません。



コラム

「データ定義」機能については、「IM-Repository ユーザ操作ガイド」 - 「データ定義」をご確認ください。



コラム

「詳細に設定する」トグルをオフにする場合は、データベース種別は「TENANT」に設定されます。データベース種別を変更することはできません。

3. エンティティの項目の編集

「スプレッドシート回覧ワークフロー」テンプレートはエンティティ項目を元にワークフローの申請画面の入力フォームがアプリケーション作成時に生成されます。

初期状態ではテキストボックスの「タイトル」とスプレッドシートが用意されています。「ユーザデータID」は内部で使用する項目です。

任意でテーブルにカラムを追加し、申請の情報を追加できます。追加したカラムは「申請画面」から編集できます。

表示名*	詳細	物理名*	データ型*	表示形式*	最大桁数	主キー	必須	削除
ユーザデータID		user_data_id	文字列	テキストボックス	20	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
スプレッドシートデータ		spread_data	長い文字列	テキストボックス	10485760	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
タイトル		title	文字列	テキストボックス	1000	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

「詳細に設定する」トグルをオフにする場合の「扱うデータの定義」の設定は以上です。

4. ワークフロー情報の入力

「詳細に設定する」トグルをオンにする場合

スプレッドシート回覧ワークフロー - 新規作成

① 作成するアプリケーションで扱うエンティティの定義（テーブルおよびカラム）を作成します。
扱うデータの定義を指定したエンティティ情報をもとにアプリケーションの各画面が生成されます。

エンティティID* 半角英数字、- (ハイフン)、_ (アンダースコア)、. (ドット)、@ (アットマーク)、+ (プラス)、! (エクスクラーメーション) で入力してください。

エンティティ名*

エンティティカテゴリ選択* 業務テンプレートから作成

データベース種別 TENANT SHARED

テーブル名* ヘルプアイコンから入力規則を確認できます。

項目設定	デフォルトカテゴリの設定							
<input type="text"/> スプレッドシート回覧ワークフロー								
<input type="button" value="追加"/>	<input type="button" value="既存の辞書項目から選択"/>							
表示名*	詳細	物理名*	データ型*	表示形式*	最大行数	主キー	必須	削除
ユーザデータID	<input type="text"/>	user_data_id	文字列	テキストボックス	20	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
スプレッドシートデータ	<input type="text"/>	spread_data	長い文字列	テキストボックス	10485760	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
タイトル	<input type="text"/>	title	文字列	テキストボックス	1000	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

1. エンティティの定義

新しいエンティティを作成します。エンティティのID、名称、カテゴリを設定します。

2. データベースのテーブルに利用する名称の定義

入力された内容を保持するテーブルの名称を設定します。

エンティティ情報を元にデータベースのテーブルが作成され、「データ定義」機能で管理されます。

なお、「スプレッドシート回覧ワークフロー」テンプレートでは、既存のテーブルはご利用いただけません。



「データ定義」機能については、「IM-Repository ユーザ操作ガイド」 - 「データ定義」をご確認ください。

3. エンティティ項目の編集

「スプレッドシート回覧ワークフロー」テンプレートはエンティティ項目を元にワークフローの申請画面の入力フォームがアプリケーション作成時に生成されます。

初期状態ではテキストボックスの「タイトル」とスプレッドシートが用意されています。「ユーザデータID」は内部で使用する項目です。

項目設定	表示名*	詳細	物理名*	データ型*	表示形式*	最大行数	主キー	必須	削除
<input type="text"/> ユーザデータID	<input type="text"/>	user_data_id	文字列	テキストボックス	20	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
スプレッドシートデータ	<input type="text"/>	spread_data	長い文字列	テキストボックス	10485760	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
タイトル	<input type="text"/>	title	文字列	テキストボックス	1000	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

タイトル

スプレッドシートを全画面で開く

申請 一時保存

エンティティ項目を追加した場合、データ型に合った画面の入力項目がアプリケーション作成時に追加されます。

なお、辞書項目のDatabaseのデータ型に「TIME」「DATETIME」「BINARY」を設定した辞書項目またはエイリアスは使用できません。

項目設定		データ型								表示形式								最大桁数		主キー		必須		削除			
表示名*	詳細	物理名*	データ型*	表示形式*																							
ユーザーデータID		user_data_id	文字列	テキストボックス	20	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																				
スプレッドシートデータ		spread_data	長い文字列	テキストボックス	10485760	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
タイトル		title	文字列	テキストボックス	1000	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
TEXT		text	文字列	テキストボックス	500	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
INTEGER		integer	整数	テキストボックス	9	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
LONG		long	整数	テキストボックス	9	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
BIGINT		bigrinteger	整数	テキストボックス	9	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
FLOAT		float	整数	テキストボックス	9	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
DOUBLE		double	整数	テキストボックス	9	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
BIGDECIMAL		bigdecimal	整数	テキストボックス	9	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
DATE		date	日付	日付	500	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
LONGTEXT		longtext	文字列	テキストボックス	500	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
BOOLEAN		boolean	真偽値	チェックボックス	500	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
Alias of TEXT		text	文字列	テキストボックス	500	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

i コラム

「辞書項目の新規作成」から新規に辞書項目を作成した場合、辞書項目名を標準ロケールのみ登録できます。

各ロケールの内容をアプリケーションに反映したい場合は、事前に辞書項目を作成する必要があります。「IM-Repository ユーザ操作ガイド」 - 「辞書項目を新規登録する」より各ロケールの辞書項目名を設定し、「既存の辞書項目から選択」してください。

4. ワークフロー情報の入力

作成するアプリケーションで扱うワークフローの利用開始日、処理対象者を指定します。

ワークフロー情報の入力

① 作成するアプリケーションで扱うワークフローの利用開始日と申請対象者、承認対象者を指定します。
また、利用されるIDを指定します。
指定した申請対象者に該当するユーザは、ワークフローの申請が可能になります。
指定した承認対象者に該当するユーザは、ワークフローの承認者になります。対象者のうち1名が承認した時点で案件は承認済となります。
IDを自動で決定する場合は、ランダムに生成された文字列が利用されます。

利用開始日*

2023/02/07

処理対象者の設定

スプレッドシートの設定

承認者がスプレッドシートを編集可能にする

履歴・コメント機能

履歴・コメント機能を使用する

IM-Workflow資材の設定

リソースのIDを手動で決定する

その他情報の指定

① このテンプレートでは、IM-LogicDesigner と IM-BloomMaker、IM-Workflow のリソースを新規作成し、アプリケーションを作成します。
ここでは IM-Workflow を除いた各リソースで利用されるIDやルーティング情報などを自動で決定するかを指定します。
自動で決定する場合は、「IDの決定に利用する文字列」が含まれた文字列が指定されます。

アプリケーション作成

1. 利用開始日

ワークフローの利用が可能となる日付を指定します。この項目は必須です。

2. 処理対象者の設定

「処理対象者を指定する」を選択すると、申請対象者と承認対象者をユーザまたはロールで指定できます。

セレクトボックスから「ユーザ」または「ロール」を選択し、「追加」から任意の処理対象者を指定します。

The screenshot shows the 'Application Creation' section of the Accel Studio interface. On the left, there's a sidebar with icons for Home, Application Information, Data Source, Workflow Information, and Other Information. The main area has a title 'Spreadsheet Sheet Review Workflow - New Creation'. It includes sections for 'Workflow Information Input' (with notes about creating applications, specifying start dates, and selecting users or roles), 'User Assignment Settings' (with a note that checked users will be assigned to the workflow), 'Assignment Method' (selecting 'User'), 'Role Selection Method' (selecting 'Role'), 'Spreadsheet Sheet Settings' (checkbox for 'Assignees can edit spreadsheets'), 'History and Comment Function' (checkbox for 'Use history and comment function'), 'IM-Workflow Material Settings' (checkbox for 'Manually input ID'), and a large blue 'Application Creation' button at the bottom.

i コラム

申請対象者に指定されたユーザまたはロールを所持したユーザのワークフロー「申請一覧」画面に作成されたワークフローが表示されます。

アプリケーション作成時に処理対象者を指定していない場合、作成されたワークフローはどのユーザの「申請一覧」画面にも表示されません。

「申請一覧」画面は、「サイトマップ」→「ワークフロー」→「一覧」→「申請一覧」から遷移できます。

「申請一覧」画面については、「IM-Workflow ユーザ操作ガイド」 - 「申請一覧」をご確認ください。

3. スプレッドシートの設定

承認者がスプレッドシートを編集可能にする場合に指定します。

指定しない場合、承認者はスプレッドシートを編集できず、参照のみできます。

4. 履歴・コメント機能

履歴・コメント機能を使用する場合は指定します。

i コラム

履歴・コメント機能については、「履歴・コメントモジュールユーザ操作ガイド」をご確認ください。

5. IM-Workflow資材の設定

ワークフローのコンテンツ定義、ルート定義、フロー定義の各IDを手動で入力する場合に利用します。

5. その他情報の指定

作成されるアプリケーションに利用されるリソースのIDやルーティング情報を手動で決定できます。

チェックを入れないことを推奨します。

6. アプリケーション作成開始

アプリケーションの基本情報を入力したら「アプリケーション作成」ボタンをクリックしてください。

入力項目に不備が無ければ自動でアプリケーションの作成ができます。

アプリケーション作成

7. アプリケーション作成結果

アプリケーション作成が完了すると、ステータスが「COMPLETE」と表示されます。

ビルドジョブID	8qp3ad9asd1ve4vb	テンプレート名	スプレッドシート回観ワークフロー
ステータス	COMPLETE	作成者ユーザコード	tenant
作成日時	2023/02/07 15:16:16		
出力日時	メッセージ	詳細	
2023/02/07 15:16:16	生成するリソースのIDを自動設定します。		
2023/02/07 15:16:16	生成する IM-Workflow リソースのIDを自動設定します。		
2023/02/07 15:16:17	一時ディレクトリに IM-LogicDesigner インポート資材を作成しました。		
2023/02/07 15:16:17	一時ディレクトリに IM-BloomMaker インポート資材を作成しました。		
2023/02/07 15:16:17	一時ディレクトリに IM-Workflow インポート資材を作成しました。		
2023/02/07 15:16:18	自動生成された IM-LogicDesigner 資材をインポートしました。		
2023/02/07 15:16:20	自動生成された IM-BloomMaker 資材をインポートしました。		
2023/02/07 15:16:20	自動生成された IM-Workflow 資材をインポートしました。		
2023/02/07 15:16:21	アプリケーションの作成が完了しました。	□	
2023/02/07 15:16:21	アプリケーション認可設定で テナント管理者, Accel Studio 管理者 にアクセス許可が設定されました。		

i コラム

作成したアプリケーションは、初期設定では「テナント管理者」または「Accel Studio管理者」ロールを持ったユーザのみ利用できます。

任意のユーザに対して、利用を許可したい場合の設定方法は、「[Accel Studio アプリケーション管理機能 仕様書](#)」 - 「[Accel Studio アプリケーション認可設定](#)」をご確認ください。

ワークフローの処理対象者を変更したい場合は、「IM-Workflow 管理者操作ガイド」 - 「ルート詳細を設定する」をご確認ください。

アプリケーションの画面イメージと操作方法

「スプレッドシート回覧ワークフロー」テンプレートから作成されるワークフローについて説明します。

i コラム

「メール配信ワークフロー」テンプレートから作成されたワークフローは、アプリケーション作成時に指定した処理対象者の「申請一覧」画面に表示されます。

ワークフローのフロー名は、アプリケーション名と同様の文字列で作成されます。

「申請一覧」画面は、「サイトマップ」→「ワークフロー」→「一覧」→「申請一覧」から遷移できます。

「申請一覧」画面については、「IM-Workflow ユーザ操作ガイド」 - 「申請一覧」をご確認ください。

ワークフロー申請画面

アプリケーション作成時に作成したエンティティの情報に基づいて画面の項目が生成されます。

エンティティ項目に変更を加えていない場合、「タイトル」とスプレッドシートが入力可能な申請画面が生成されます。

「スプレッドシートを全画面で開く」ボタンをクリックすると、新しいタブにスプレッドシートが表示されます。

タイトル 必填

スプレッドシートを全画面で開く

1	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18										

Sheet1

申請 一時保存

ファイル ホーム 挿入 データ 表示 設定

フォント 配置 数値 セル型

A1

1	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
2																				
3																				
4																				
5																				
6																				
7																				
8																				
9																				
10																				
11																				
12																				
13																				
14																				
15																				
16																				
17																				
18																				
19																				
20																				

Sheet1

準備完了 100%

全画面でスプレッドシートを編集しているとき、元の申請画面は操作できません。

スプレッドシートの変更内容を保存すると、全画面のスプレッドシートは閉じて申請画面に戻ります。

スプレッドシート: 出発地プラン

Title

title

スプレッドシートを全画面で開く

1	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
2	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
3	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
4	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
5	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
6	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
7	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
8	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
9	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
10	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
11	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
12	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
13	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
14	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33
15	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34
16	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35
17	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36
18	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37
19	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38
20	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39
21																				
22																				
23																				
24																				
25																				
26																				
27																				
28																				
29																				

Sheet1

処理

コメントを入力してください。

準備完了 100%

このページでは「顧客管理」テンプレートの概要、アプリケーション作成手順、画面イメージ、操作方法と活用例について解説します。

目次

- 「顧客管理」テンプレートとは
- 「顧客管理」テンプレートの利用方法
 - アプリケーションの作成手順
 - アプリケーションのアクセス手順
 - アプリケーションの画面イメージと操作方法
 - テンプレートの活用例

「顧客管理」テンプレート とは



「顧客管理」テンプレートは、顧客の会社情報、相手先担当者情報と自社担当者情報を合わせて管理できるアプリケーションです。顧客情報の管理ができるほか、コメント機能を用いることで簡易的な営業日報アプリケーションとしてもご利用いただけます。

The screenshot shows the Accel Studio interface for creating a Customer Management template. It includes sections for Company Information (会社情報), Contact Persons (相手先担当者), and Notes (備考). The Company Information section contains fields for Company Name (会社名), Address (住所), and Remarks (備考). The Contact Persons section lists two individuals: 生田一哉 (Izumi Ueda) and 片山聰 (Aki Katayama), each with their respective details like department (所属) and phone number (電話番号). The Notes section contains several messages from users like 上田辰男 (Takeshi Ueda) and 青柳辰巳 (Takeshi Aoyagi) discussing project details and file attachments.



コラム

「顧客管理」テンプレートは2022 Spring(Eustoma)からご利用いただけます。

「顧客管理」テンプレートの利用方法

「顧客管理」テンプレートを利用したアプリケーションの作成手順と「顧客管理」アプリケーションの操作方法をご紹介します。

アプリケーションの作成手順

「顧客管理」テンプレートを利用してアプリケーションを作成する手順についてご紹介します。

1. アプリケーション作成画面への遷移

Accel Studioの「業務テンプレート一覧」から「顧客管理」テンプレートを選択します。

Accel Studioの「業務テンプレート一覧」は、「サイトマップ」→「Accel Studio」→「業務テンプレート一覧」から遷移できます。



2. アプリケーションのIDや名称などの設定

「顧客管理」テンプレートを選択し、アプリケーション情報の設定画面が表示されたら、アプリケーションのIDや名称などを設定します。設定した基本情報は、各処理や画面の名称、IDなどに利用されます。

メニューリスト	アプリケーション作成
tenant	← 顧客管理 - 新規作成
Top	アプリケーション情報*
Workflow	顧客データの定義*
IM-BIS	相手先担当者データの定義*
テナント管理	自社担当者データの定義*
BPM	その他情報の指定*
サンプル	

3. 顧客データの定義

「顧客管理」テンプレートはアプリケーション作成時に作成されるエンティティの情報を元に、顧客管理アプリケーションの各画面が生成されます。

この項目では顧客情報、相手先担当者情報、自社担当者情報を管理する3つのエンティティを作成し、各エンティティから作成されるテーブルの名称を設定します。

「詳細に設定する」トグルのオン・オフを切り替えることで、設定可能な項目が変わります。



コラム

「詳細に設定する」トグル2024 Autumn(Jasmine)からご利用いただけます。

「詳細に設定する」トグルをオフにする場合、最低限の項目のみ入力します。すぐにアプリケーションを作成したい場合に選択してください。
「詳細に設定する」トグルをオンにする場合、全ての項目を入力します。エンティティの設定を詳細に行いたい場合に選択してください。

- 「詳細に設定する」トグルをオフにする場合
- 「詳細に設定する」トグルをオンにする場合

アプリケーション作成
顧客管理 - 新規作成

顧客データの定義

① 作成するアプリケーションで扱うエンティティの定義（テーブルおよびカラム）を作成します。
扱うデータの定義で指定したエンティティ情報をもとにアプリケーションの各画面が生成されます。
顧客情報、相手先担当者情報、自社担当者情報の各エンティティID・テーブル名には異なるものを入力する必要があります。

基本情報

詳細に設定する

顧客エンティティ名 *

顧客テーブル名 *
ヘルプアイコンから入力規則を確認できます。

項目設定

デフォルトカテゴリの設定

顧客管理	検索							
+ 追加	+ 廃止の辞書項目から選択							
表示名 *	詳細	物理名 *	データ型 *	表示形式 *	最大桁数	主キー	必須	削除
会社ID	<input type="button" value="編集"/>	company_id	文字列	テキストボックス	100	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
会社名	<input type="button" value="編集"/>	company_name	文字列	テキストボックス	1000	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
会社検索名	<input type="button" value="編集"/>	company_search_name	文字列	テキストボックス	1000	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
郵便番号	<input type="button" value="編集"/>	zip_code	文字列	テキストボックス	50	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
住所	<input type="button" value="編集"/>	address	文字列	複数行テキストボックス	1000	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
電話番号	<input type="button" value="編集"/>	telephone_number	文字列	テキストボックス	50	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
備考	<input type="button" value="編集"/>	notes	文字列	複数行テキストボックス	1000	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
作成者ユーザコード	<input type="button" value="編集"/>	create_user_cd	文字列	テキストボックス	100	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
作成日時	<input type="button" value="編集"/>	create_date	日時	<input type="button" value="編集"/>	100	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
更新者ユーザコード	<input type="button" value="編集"/>	record_user_cd	文字列	テキストボックス	100	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
更新日時	<input type="button" value="編集"/>	record_date	日時	<input type="button" value="編集"/>	100	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

アプリケーション作成

「詳細に設定する」トグルをオフにする場合

アプリケーション情報*

顧客データの定義*

相手先担当者データの定義*

自社担当者データの定義*

その他情報の指定*

顧客データの定義

① 作成するアプリケーションで扱うエンティティの定義（テーブルおよびカラム）を作成します。
扱うデータの定義で指定したエンティティ情報をもとにアプリケーションの各画面が生成されます。
顧客情報、相手先担当者情報、自社担当者情報の各エンティティID・テーブル名には異なるものを入力する必要があります。

基本情報

詳細に設定する
データベース種別を変更するなど、エンティティの設定を詳細に行う場合は、詳細設定を有効にしてください。

顧客エンティティ名* [?]

顧客テーブル名* [?]

項目設定 [?]

デフォルトカテゴリの設定 [?]

顧客管理

+ 追加 + 岐存の辞書項目から選択

表示名 *	詳細	物理名 *	データ型 *	表示形式 *	最大桁数	主キー	必須	削除
会社ID	<input type="text"/>	company_id	文字列	テキストボックス	100	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
会社名	<input type="text"/>	company_name	文字列	テキストボックス	1000	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
会社検索名	<input type="text"/>	company_search_name	文字列	テキストボックス	1000	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
郵便番号	<input type="text"/>	zip_code	文字列	テキストボックス	50	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
住所	<input type="text"/>	address	文字列	複数行テキストボックス	1000	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
電話番号	<input type="text"/>	telephone_number	文字列	テキストボックス	50	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
備考	<input type="text"/>	notes	文字列	複数行テキストボックス	1000	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
作成者ユーザコード	<input type="text"/>	create_user_cd	文字列	テキストボックス	100	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
作成日時	<input type="text"/>	create_date	日時	<input type="text"/>	100	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
更新者ユーザコード	<input type="text"/>	record_user_cd	文字列	テキストボックス	100	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
更新日時	<input type="text"/>	record_date	日時	<input type="text"/>	100	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

アプリケーション作成

1. 顧客データの定義

新しいエンティティを作成します。顧客エンティティの名称を設定します。

2. データベースのテーブルに利用する名称の定義

入力された内容を保持するテーブルの名称を設定します。

エンティティ情報を元にデータベースのテーブルが作成され、「データ定義」機能で管理されます。

なお、「顧客管理」テンプレートでは、既存のテーブルはご利用いただけません。



コラム

「データ定義」機能については、「IM-Repository ユーザ操作ガイド」 - 「データ定義」をご確認ください。



コラム

「詳細に設定する」トグルをオフにする場合は、データベース種別は「TENANT」に設定されます。データベース種別を変更することはできません。

3. 顧客エンティティの項目の編集

「顧客管理」テンプレートはエンティティ項目を元に顧客一覧画面などの各画面がアプリケーション作成時に生成されます。

初期状態ではテキストボックスの「会社名」「会社検索名」「郵便番号」などの顧客情報に必要な項目が用意されています。「会社ID」は内部で使用する項目です。

任意でテーブルにカラムを追加し、顧客の情報を追加できます。追加したカラムは顧客情報として「編集画面」から編集できます。

項目設定							会社情報						
デフォルトカテゴリの設定		新規登録		表示名*			会社名*						
顧客管理				詳細			データ型*	表示形式*	最大桁数	主キー	必須	削除	会社検索名(フリガナ)
+ 追加		既存の登録項目から選択					company_id	文字列	テキストボックス	100	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	電話番号
							company_name	文字列	テキストボックス	1000	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	郵便番号
							company_search_name	文字列	テキストボックス	1000	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	住所
							zip_code	文字列	テキストボックス	50	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	備考
							address	文字列	複数行テキストボックス	1000	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
							telephone_number	文字列	テキストボックス	50	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
							notes	文字列	複数行テキストボックス	1000	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
							create_user_cd	文字列	テキストボックス	100	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
							create_date	日時		100	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
							record_user_cd	文字列	テキストボックス	100	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
							record_date	日時		100	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

4. 相手先担当者データの定義

新しいエンティティを作成します。相手先担当者エンティティの名称を設定します。

また、入力された内容を保持するテーブルの名称を設定します。

← アプリケーション作成
顧客管理 - 新規作成

- アプリケーション情報*
- 顧客データの定義*
- 相手先担当者データの定義*
- 自社担当者データの定義*
- その他情報の指定*

相手先担当者データの定義

相手先担当者エンティティ名*

相手先担当者テーブル名*
ヘルプアイコンから入力規則を確認できます。

自社担当者データの定義

自社担当者エンティティ名*

自社担当者テーブル名*
ヘルプアイコンから入力規則を確認できます。

その他情報の指定

① このテンプレートでは、IM-LogicDesigner と IM-BloomMaker のリソースを新規作成し、アプリケーションを作成します。
IM-LogicDesigner と IM-BloomMaker で利用される各種IDやルーティング情報などを自動で決定するかを指定します。
自動で決定する場合は、「IDの決定に利用する文字列」が含まれた文字列が指定されます。

IM-LogicDesigner, IM-BloomMaker資料の設定
 リソースのIDやルーティング情報を手動で決定する

IDの決定に利用する文字列*
半角英数字、- (ハイフン)、_ (アンダースコア) で入力してください。

アプリケーション作成

5. 自社担当者データの定義

自社担当者データも同様に、エンティティの名称、入力された内容を保持するテーブルの名称を設定します。

← アプリケーション作成
顧客管理 - 新規作成

- アプリケーション情報*
- 顧客データの定義*
- 相手先担当者データの定義*
- 自社担当者データの定義*
- その他情報の指定*

相手先担当者データの定義

相手先担当者エンティティ名*

相手先担当者テーブル名*
ヘルプアイコンから入力規則を確認できます。

自社担当者データの定義

自社担当者エンティティ名*

自社担当者テーブル名*
ヘルプアイコンから入力規則を確認できます。

その他情報の指定

① このテンプレートでは、IM-LogicDesigner と IM-BloomMaker のリソースを新規作成し、アプリケーションを作成します。
IM-LogicDesigner と IM-BloomMaker で利用される各種IDやルーティング情報などを自動で決定するかを指定します。
自動で決定する場合は、「IDの決定に利用する文字列」が含まれた文字列が指定されます。

IM-LogicDesigner, IM-BloomMaker資料の設定
 リソースのIDやルーティング情報を手動で決定する

IDの決定に利用する文字列*
半角英数字、- (ハイフン)、_ (アンダースコア) で入力してください。

アプリケーション作成

「詳細に設定する」トグルをオフにする場合の「顧客データの定義」の設定は以上です。

4. その他情報の指定

「詳細に設定する」トグルをオンにする場合

表示名*	物理名*	データ型*	表示形式*	最大桁数	主キー	必須	削除
会社ID	company_id	文字列	テキストボックス	100	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
会社名	company_name	文字列	テキストボックス	1000	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
会社検索名	company_search_name	文字列	テキストボックス	1000	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
郵便番号	zip_code	文字列	テキストボックス	50	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

1. 顧客データの定義

新しいエンティティを作成します。顧客エンティティのID、名称、カテゴリを設定します。

2. データベースのテーブルに利用する名称の定義

入力された内容を保持するテーブルの名称を設定します。

エンティティ情報を元にデータベースのテーブルが作成され、「データ定義」機能で管理されます。

なお、「顧客管理」テンプレートでは、既存のテーブルはご利用いただけません。



コラム

「データ定義」機能については、「[IM-Repository ユーザ操作ガイド](#)」 - 「データ定義」をご確認ください。

3. 顧客エンティティの項目の編集

「顧客管理」テンプレートはエンティティ項目を元に顧客一覧画面などの各画面がアプリケーション作成時に生成されます。

初期状態ではテキストボックスの「会社名」「会社検索名」「郵便番号」などの顧客情報に必要な項目が用意されています。「会社ID」は内部で使用する項目です。

エンティティ項目を追加した場合、データ型に合った画面の入力項目がアプリケーション作成時に追加されます。

なお、辞書項目のDatabaseのデータ型に「TIME」「DATETIME」「BINARY」を設定した辞書項目またはエイリアスは使用できません。

TEXT	text	文字列	テキストボックス
INTEGER	integer	整数	数値ボックス
LONG	long	浮動小数点数	数値ボックス（小数あり）
BIGINTEGER	biginteger	浮動小数点数	数値ボックス（小数あり）
FLOAT	float	浮動小数点数	数値ボックス（小数あり）
DOUBLE	double	浮動小数点数	数値ボックス（小数あり）
BIGDECIMAL	bigdecimal	浮動小数点数	数値ボックス（小数あり）
DATE	date	日付	日付
LONGTEXT	longtext	文字列	テキストボックス
BOOLEAN	boolean	真偽値	チェックボックス
Alias as TEXT	text	文字列	テキストボックス
TEXT			
INTEGER			
LONG			
BIGINTEGER			
FLOAT			
DOUBLE			
BIGDECIMAL			
DATE		年 /月/日	
LONGTEXT			
BOOLEAN			
□ BOOLEAN			

i コラム

「辞書項目の新規作成」から新規に辞書項目を作成した場合、辞書項目名を標準ロケールのみ登録できます。

各ロケールの内容をアプリケーションに反映したい場合は、事前に辞書項目を作成する必要があります。「IM-Repository ユーザ操作ガイド」 - 「辞書項目を新規登録する」より各ロケールの辞書項目名を設定し、「既存の辞書項目から選択」してください。

4. 相手先担当者データの定義

新しいエンティティを作成します。相手先担当者エンティティのID、名称、カテゴリを設定します。

また、入力された内容を保持するテーブルの名称を設定します。

アプリケーション情報*

顧客データの定義*

相手先担当者データの定義*

自社担当者データの定義*

その他情報の指定*

更新日時 record_date 日時

100

相手先担当者データの定義

相手先担当者エンティティID* (必填)
半角英数字、- (ハイフン)、_ (アンダースコア)、. (ドット)、@ (アットマーク)、+ (プラス)、! (エクスクラーメーション)で入力してください。

相手先担当者エンティティ名* (必填)

相手先担当者エンティティカテゴリ選択* (必填)
業務テンプレートから作成

データベース種別 (必填)
 TENANT
 SHARED

相手先担当者テーブル名* (必填)
ヘルプアイコンから入力規則を確認できます。

自社担当者データの定義

自社担当者エンティティID* (必填)
半角英数字、- (ハイフン)、_ (アンダースコア)、. (ドット)、@ (アットマーク)、+ (プラス)、! (エクスクラーメーション)で入力してください。

自社担当者エンティティ名* (必填)

自社担当者エンティティカテゴリ選択* (必填)
業務テンプレートから作成

データベース種別 (必填)
 TENANT
 SHARED

自社担当者テーブル名* (必填)
ヘルプアイコンから入力規則を確認できます。

その他情報の指定

アプリケーション作成

5. 自社担当者データの定義

自社担当者データも同様に、エンティティID、名称、カテゴリ、入力された内容を保持するテーブルの名称を設定します。

アプリケーション情報*

顧客データの定義*

相手先担当者データの定義*

自社担当者データの定義*

その他情報の指定*

更新日時 record_date 日時 100

相手先担当者エンティティID*

相手先担当者エンティティ名*

相手先担当者エンティティカテゴリ選択*

データベース種別

TENANT

SHARED

自社担当者テーブル名*

自社担当者エンティティID*

自社担当者エンティティ名*

自社担当者エンティティカテゴリ選択*

データベース種別

TENANT

SHARED

自社担当者テーブル名*

アプリケーション作成

4. その他情報の指定

作成されるアプリケーションに利用されるリソースのIDやルーティング情報を手動で決定できます。
チェックを入れないことを推奨します。

5. アプリケーション作成開始

アプリケーションの基本情報を入力したら「アプリケーション作成」ボタンをクリックしてください。
入力項目に不備が無ければ自動でアプリケーションの作成ができます。

アプリケーション作成

6. アプリケーション作成結果

アプリケーション作成が完了すると、ステータスが「COMPLETE」と表示されます。

← アプリケーション作成 テンプレートビルトジョブ - 詳細

ビルトジョブID	8gpfyld3izhqm0m3	テンプレート名	顧客管理
ステータス	COMPLETE	作成者ユーザコード	tenant
作成日時	2023/02/16 12:01:14		

出力日時 メッセージ 詳細

- 2023/02/16 12:01:14 生成するリソースのIDを自動設定します。
- 2023/02/16 12:01:16 一時ディレクトリに IM-LogicDesigner インポート資材を作成しました。
- 2023/02/16 12:01:17 一時ディレクトリに IM-BloomMaker インポート資材を作成しました。
- 2023/02/16 12:01:17 自動生成された IM-LogicDesigner 資材をインポートしました。
- 2023/02/16 12:01:22 自動生成された IM-BloomMaker 資材をインポートしました。
- 2023/02/16 12:01:22 作成された「顧客一覧画面」へはこれらの詳細アイコンから遷移できます。
- 2023/02/16 12:01:25 アプリケーションの作成が完了しました。
- 2023/02/16 12:01:25 アプリケーション認可設定で テナント管理者,Accel Studio 管理者 にアクセス許可が設定されました。



コラム

作成したアプリケーションは、初期設定では「テナント管理者」または「Accel Studio管理者」ロールを持ったユーザのみ利用できます。

任意のユーザに対して、利用を許可したい場合の設定方法は、「[Accel Studio アプリケーション管理機能 仕様書](#)」 - 「[Accel Studio アプリケーション認可設定](#)」をご確認ください。

アプリケーションのアクセス手順

作成したアプリケーションへアクセスする方法をご紹介します。

「顧客管理」テンプレートから作成されるアプリケーションは、「顧客一覧画面」を起点として操作することを想定しています。

以下では「顧客一覧画面」へのアクセス手順について説明します。

- 「テンプレートビルトジョブ - 詳細」画面から遷移する
- 画面のURLを取得する

「テンプレートビルトジョブ - 詳細」画面から遷移する

「テンプレートビルトジョブ - 詳細」画面はアプリケーション作成完了後に表示されます。

「テンプレートビルトジョブ - 詳細」画面のステータスが「COMPLETE」と表示されたら、「作成された「顧客一覧画面」へはこれらの詳細アイコンから遷移できます。」の欄にある をクリックしてください。

← アプリケーション作成 テンプレートビルトジョブ - 詳細

ビルトジョブID	8gpfyld3izhqm0m3	テンプレート名	顧客管理
ステータス	COMPLETE	作成者ユーザコード	tenant
作成日時	2023/02/16 12:01:14		

出力日時 メッセージ 詳細

- 2023/02/16 12:01:14 生成するリソースのIDを自動設定します。
- 2023/02/16 12:01:16 一時ディレクトリに IM-LogicDesigner インポート資材を作成しました。
- 2023/02/16 12:01:17 一時ディレクトリに IM-BloomMaker インポート資材を作成しました。
- 2023/02/16 12:01:17 自動生成された IM-LogicDesigner 資材をインポートしました。
- 2023/02/16 12:01:22 自動生成された IM-BloomMaker 資材をインポートしました。
- 2023/02/16 12:01:22 作成された「顧客一覧画面」へはこれらの詳細アイコンから遷移できます。
- 2023/02/16 12:01:25 アプリケーションの作成が完了しました。
- 2023/02/16 12:01:25 アプリケーション認可設定で テナント管理者,Accel Studio 管理者 にアクセス許可が設定されました。



コラム

「テンプレートビルドジョブ - 詳細」画面は、「サイトマップ」→「Accel Studio」→「アプリケーション作成」→「テンプレートビルドジョブ」に遷移し、作成したアプリケーションの「詳細」をクリックすることで表示できます。

画面のURLを取得する

「顧客管理」テンプレートから作成したアプリケーションは「顧客一覧画面」「顧客登録画面」「顧客編集画面」のそれぞれに画面URLが定義されています。

「サイトマップ」→「Accel Studio」→「アプリケーション一覧」で、「自動生成されたアプリケーション」カテゴリを選択します。

作成したアプリケーションを選択し、遷移したいカードにホバーしてください。

表示されたURLアイコンをクリックすることで、URLがクリップボードにコピーされます。

The screenshot shows the 'Application Management' section of the Accel Studio interface. The left sidebar has icons for Home, Applications, Favorites, Help, and Global Navigation. The main area is titled '顧客管理 - 詳細' (Customer Management - Details). It lists several resources:

- 画面コンテンツ (ID: im-blooomaker://contents/client_management-list)**: 'client_management 一覧画面'. Description: '顧客管理' テンプレートから作成された一覧画面のコンテンツです. Created by tenant 0時間前.
- 画面コンテンツ (ID: im-blooomaker://contents/client_management-crud)**: 'client_management 登録・編集画面'. Description: '顧客管理' テンプレートから作成された登録・編集画面のコンテンツです. Created by tenant 0時間前.
- 画面URL (ID: im-blooomaker://routes/client_management-register)**: 'client_management 顧客登録画面'. Description: '顧客管理' テンプレートから作成された登録画面のルーティング定義です. Created by tenant 0時間前.
- 画面URL (ID: im-blooomaker://routes/client_management-edit)**: 'client_management 顧客編集画面'. Description: '顧客管理' テンプレートから作成された編集画面のルーティング定義です. Created by tenant 0時間前.
- 画面URL (ID: im-blooomaker://routes/client_management-list)**: 'client_management 顧客一覧画面'. Description: '顧客管理' テンプレートから作成された一覧画面のルーティング定義です. This item is highlighted with a red box around its icon and description. Created by tenant 0時間前.
- APIのURL (ID: im-logic://routes/accel-studio-app/client_management/POST)**: 'POST accel-studio-app/client_management'. Description: '顧客登録' API endpoint. Created by tenant 0時間前.



コラム

取得したURLは、初期設定では「テナント管理者」または「Accel Studio管理者」ロールを持ったユーザのみアクセス可能です。任意のユーザに対して、利用を許可したい場合の設定方法は、「[Accel Studio アプリケーション管理機能 仕様書](#)」 - 「[Accel Studio アプリケーション認可設定](#)」をご確認ください。



コラム

作成したアプリケーションをグローバルメニューに追加したい場合は、グローバルナビ設定をご利用ください。グローバルナビの設定方法は、「[ファーストステップガイド](#)」 - 「[管理者が一般ユーザ向けのメニューを作成する](#)」をご確認ください。

アプリケーションの画面イメージと操作方法

「顧客管理」テンプレートから作成されるアプリケーションは、「顧客一覧画面」を起点として操作することを想定しています。

顧客一覧画面

「顧客一覧画面」では、登録した会社を閲覧できます。

会社名 電話番号 郵便番号 住所 備考

■■■株式会社 (■■■カブシ キガイシャ)	00-0000-0000	000-0000	△△県△△市△△町1丁目1-16	訪問の前には必ず■■ プロジェクトについて の資料を参照してください。
△△△△株式会社 (△△△△ カブシキガイシャ)	00-0000-0000	000-0000	○○県○○市○○町1丁目1-25	主担当を青柳さんに引 継ぎ中です。
△△△株式会社 (△△△カブ シキガイシャ)	00-0000-0000	000-0000	△△県△△市△△町1丁目1-11	本社の場所が2023年 10月に移動されるそう です。移動先が分かり 次第、こちらのデータ も更新をお願いいたし ます。
▼▼▼▼株式会社 (▼▼▼▼ カブシキガイシャ)	00-0000-0000	000-0000	○○県○○市○○町1丁目1-14	訪問の際には受付で相 手先担当者以外にも林 さんにご連絡お願いい たします。
▽▽▽▽株式会社 (▽▽▽▽ カブシキガイシャ)	00-0000-0000	000-0000	△△県△△市△△町1丁目1-13	受付は2階にありま す。案内とは違うので 注意してください。

前へ 1 ... 4 5 6 7 8 ... 11 次へ 251 - 300 / 548

会社情報

会社名
会社検索名 (フリガナ)
電話番号
住所
備考

相手先担当者

検索 クリア

画面右側の絞り込み条件では、「会社名」や「電話番号」「住所」「備考」「相手先担当者」「自社担当者」から会社を絞り込みできます。
なお、アプリケーション作成時に任意で追加した項目での絞り込み機能は組み込まれていません。

会社名 電話番号 郵便番号 住所 備考

■■■株式会社 (■■■カブシキガイ シャ)	00-0000-0000	000-0000	△△県△△市△△町1丁目1- 16	訪問の前には必ず■■ プロジェクトについて の資料を参照してく ださい。
------------------------------	--------------	----------	----------------------	---

前へ 1 次へ 1 - 1 / 1

会社情報

会社名
会社検索名 (フリガナ)
電話番号
住所
備考

検索 クリア

顧客登録画面

「新規作成」ボタンから「顧客登録画面」に遷移します。

会社名 電話番号 郵便番号 住所 備考

■■■■株式会社 (■■■■カブシ キガイシャ)	00-0000-0000	000-0000	△△県△△市△△町1丁目1-16	訪問の前には必ず■■ プロジェクトについて の資料を参照してください。
△△△△株式会社 (△△△△ カブシキガイシャ)	00-0000-0000	000-0000	〇〇県〇〇市〇〇町1丁目1-25	主担当を青柳さんに引 継ぎ中です。
△△△株式会社 (△△△カブ シキガイシャ)	00-0000-0000	000-0000	△△県△△市△△町1丁目1-11	本社の場所が2023年 10月に移動されるそう です。移動先が分かり 次第、こちらのデータ も更新をお願いいたし ます。
▼▼▼▼株式会社 (▼▼▼▼ カブシキガイシャ)	00-0000-0000	000-0000	〇〇県〇〇市〇〇町1丁目1-14	訪問の際には受付で相 手先担当者以外にも林 さんにご連絡お願いい たします。
▽▽▽▽株式会社 (▽▽▽▽ カブシキガイシャ)	00-0000-0000	000-0000	△△県△△市△△町1丁目1-13	受付は2階にあります。 案内とは違うので 注意してください。

新規作成

会社情報

会社名
会社検索名 (フリガナ)
電話番号
住所
備考

相手先担当者

検索
クリア

前へ 1 ... 4 5 6 7 8 ... 11 次へ

251 - 300 / 548

「顧客登録画面」では「会社名」や「電話番号」「住所」「相手先担当者」など顧客情報の管理に必要な情報を設定できます。
アプリケーション作成時に任意で追加した項目は、「備考」の下に表示されます。

← 顧客管理
顧客 - 新規作成

「*」は必須項目です。

会社情報

会社名 *

会社検索名（フリガナ）

電話番号

郵便番号

住所

備考

失注案件数

相手先担当者

+ 相手先担当者を追加する

追加

担当者名 *

所属

役職

メールアドレス

電話番号

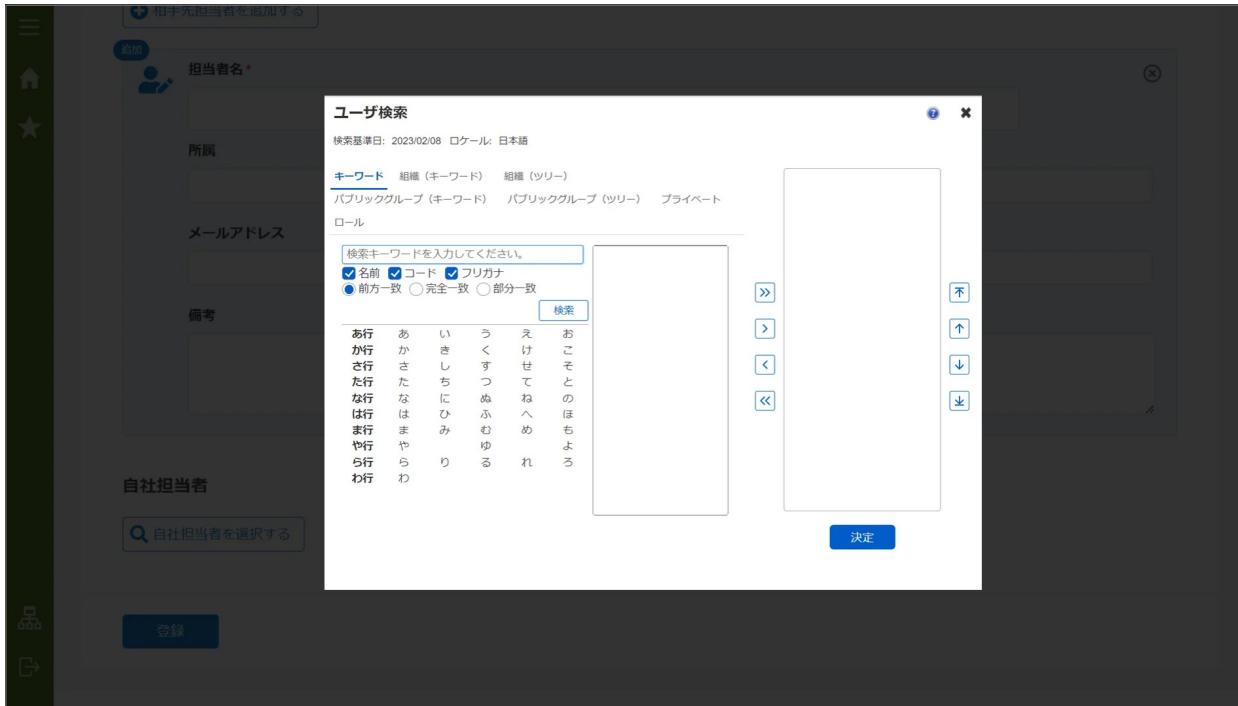
備考

自社担当者

Q 自社担当者を選択する

登録

また、「自社担当者」はIM-共通マスタに登録されたユーザから設定できます。



顧客編集画面

「顧客一覧画面」で会社を選択すると、選択した会社の「顧客編集画面」に遷移します。

会社名	電話番号	郵便番号	住所	備考
■■■株式会社 (■■■カブシ キガイシャ)	00-0000-0000	000-0000	△△県△△市△△町1丁目1-16	訪問の前には必ず■■ プロジェクトについて の資料を参照してください。
△△△△株式会社 (△△△△ カブシキガイシャ)	00-0000-0000	000-0000	○○県○○市○○町1丁目1-25	主担当を青柳さんに引 継ぎ中です。
△△△株式会社 (△△△カブ シキガイシャ)	00-0000-0000	000-0000	△△県△△市△△町1丁目1-11	本社の場所が2023年 10月に移動されるそ うです。移動先が分かり 次第、こちらのデータ も更新をお願いいたし ます。
▼▼▼▼株式会社 (▼▼▼▼ カブシキガイシャ)	00-0000-0000	000-0000	○○県○○市○○町1丁目1-14	訪問の際には受付で相 手先担当者以外にも林 さんにご連絡お願いい たします。
▽▽▽▽株式会社 (▽▽▽▽ カブシキガイシャ)	00-0000-0000	000-0000	△△県△△市△△町1丁目1-13	受付は2階にありま す。案内とは違うので 注意してください。

会社情報

会社名
会社検索名 (フリガナ)
電話番号
住所
備考

相手先担当者

検索
クリア

「顧客編集画面」では、顧客情報の修正や追加ができます。

また、画面右側には履歴・コメント機能が用意されています。

コメントの入力やファイルの添付ができるため、簡易的な営業日報として活用したり、担当者同士の報告もできます。

会社情報

会社名 *
■■■株式会社

会社検索名 (フリガナ)
■■■カブシキガイシャ

電話番号
00-0000-0000

郵便番号

コメントを入力してください。

履歴 (9)

- 上田辰男
- 青柳さん
お疲れ様です。
ご提案ありがとうございます。
そのようにしていただけると大変助かります。
お手数ですが、お願いできますか。よろしく

添付ファイル (2)

000-0000

住所
△△県△△市△△町1丁目1-16

備考
訪問の前には必ず■■プロジェクトについての資料を参照してください。

相手先担当者

[+ 相手先担当者を追加する](#)

	担当者名*	生田一哉	×
所属	役職	マーケティング本部	一般社員
メールアドレス	電話番号	ikuta@example.com	00-0000-0000
備考 2022年度からの主担当者様です。毎週火曜日と水曜日の15~16時は定期会議でお電話をとるのが難しいそうです。注意してください。			

	担当者名*	片山聰	×
所属	役職	マーケティング本部	上級主任
メールアドレス	電話番号	katayama@example.com	00-0000-0000
備考 主担当を生田さんに引き継ぎ中です。			

自社担当者

[Q 自社担当者を選択する](#)

青柳辰巳 aoyagi	<input checked="" type="checkbox"/> 主担当
備考 ■■株式会社のシステム移行プロジェクトをメインで担当しています。	

林政義 hayashi	<input type="checkbox"/> 主担当
備考 当該プロジェクト初期からのメンバーです。現在は他の案件を担当しているため、青柳さんのフォローとしてミーティングなどに参加しています。	

作成日時: 2022/10/16 19:44 作成者: 林政義
更新日時: 2023/02/16 22:17 更新者: 上田辰男

[更新](#) [削除](#)

くお願いいたします。
2023/02/17 15:41:26

青柳辰巳
上田さん
お疲れ様です。
現状ご希望されている資料はありません。
ですが、次回の訪問で〇〇製品についてのご要望などお問い合わせすることは可能だと思います。いかがでしょうか。

2023/02/17 13:50:39

上田辰男
開発本部の上田です。
〇〇製品の新規機能開発にあたって、■■■■
社さんにご意見お伺いしたいと考えている
のですが、そういう資料をお持ちでしょうか。
よろしくお願いいたします。

2023/02/17 13:38:19

青柳辰巳
本日の部内会議の議事録を作成いたしました。
林さんからはレビューをすでにいただ
いております。

添付ファイルを登録しました。

[↓ ■■■ システム移行案件
部内会議第三回.docx](#)
28.76KB

2023/01/12 17:15:16

青柳辰巳
林さん
レビューありがとうございます。

2022/11/30 18:42:11

林政義
青柳さん
議事録ありがとうございます。レビューいたしました。良いと思います。こちらで先
方に共有をお願いいたします。

2022/11/30 18:33:00

青柳辰巳
本日の案件会議の議事録を作成いたしました。
ご確認をお願いいたします。

添付ファイルを登録しました。

[↓ ■■■ システム移行案件
会議第一回.docx](#)
28.76KB

2022/11/30 15:40:18

林政義
青柳さん
とんでもないです。わからないことなどあ
れば、気軽にお声がけください。よろしく
お願いいたします。

2022/11/17 13:40:23

青柳辰巳
林さん
本日は引継ぎにお時間いただき、ありがと
うございました。よろしくお願いいたします。

2022/11/17 13:30:12

コラム

履歴・コメント機能については、「[履歴・コメントモジュールユーザ操作ガイド](#)」をご確認ください。

テンプレートの活用例

「顧客管理」テンプレートを利用したアプリケーションの例をご紹介します。

例：業務担当者管理アプリ

既存項目を「業務名」「担当者」「関係者」などに修正して活用することで、情報連携と進捗報告を一括で行えるアプリケーションを作成できます。

118

← 業務管理 業務・編集

「*」は必須項目です。

業務情報

業務名*
備品購入

業務検索名（フリガナ）
ビ Hinコウニュウ

備考
以下の個数より少くなったら発注します。
・コピー用紙：1000枚
・ボールペン：200本

関係者

+ 関係者を追加する

関係者名*
上田辰男

所属
総務チーム

役職
一般社員

メールアドレス
uedat@example.jp

電話番号
000-0000-0000

備考
2019~2020年度の担当です。毎週火曜日14時~15時は会議でメール返せません。

担当者

検索する

青柳辰巳 aoyagi
主担当
備考
2021年からの担当です。

林政義 hayashi
主担当
備考
2020~2021年の担当です。現在青柳さんに引き継ぎ中です。

作成日: 2021/10/14 16:42 作成者: 上田辰男
更新日: 2023/03/07 16:45 更新者: 林政義

[更新](#) [削除](#)

コメントを入力してください。

履歴 (10)

添付ファイル

上田辰男
@青柳さん
発注ありがとうございます。
紙コップが届いていたので棚にいれておきました！
2022/12/19 21:51:09

青柳辰巳
@林さん
ご連絡ありがとうございます。
2022年12月15日
紙コップを50個×5セット発注しました。
2022/12/15 13:15:36

林政義
@青柳さん
お疲れ様です。
来週の忘年会のために紙コップを50個×5セ
ットで発注していただけますか。よろしく
お願いいたします。
2022/12/14 10:49:24

青柳辰巳
2022年11月29日
コピー用紙を1000枚発注しました。
2022/11/29 21:48:27

青柳辰巳
2022年7月19日
ボールペンを200本発注しました。
2022/07/19 15:11:08

青柳辰巳
2022年5月12日
コピー用紙を1000枚発注しました。
2022/05/12 14:08:42

青柳辰巳
@上田さん
ご連絡ありがとうございます。
2022年3月24日
紙コップを50個×5セット発注しました。
2022/03/24 15:30:21

上田辰男
紙コップがなくなっていました。
50個×5セットで発注お願いできますか？
2022/03/22 10:46:16

社内FAQ管理

このページでは「社内FAQ管理」テンプレートの概要、アプリケーション作成手順、画面イメージ、操作方法と活用例について解説します。

目次

- 「社内FAQ管理」テンプレートとは
- 「社内FAQ管理」テンプレートの利用方法
 - アプリケーションの作成手順
 - アプリケーションのアクセス手順
 - アプリケーションの画面イメージと操作方法
 - テンプレートの活用例



「社内FAQ管理」テンプレートは、社内でよくある質問とその回答を簡単に管理するアプリケーションです。データにカテゴリをつけて管理できるテンプレートの一例としても利用できます。

The screenshot shows a list of frequently asked questions (FAQs) and a detailed view of one specific question. The list includes:

- FAQタイトル: リンク集ポートレットの表示が遅い場合があります。 (Category: ポータル, Updated by: tenant, Date: 2023/02/15 16:00)
- IM-WorkflowポートレットおよびAccel Collaborationポートレットをポータルに配置しても内容が表示されません。 (Category: ポータル, Updated by: tenant, Date: 2023/02/15 16:00)
- IMBoxの画面表示時にエラーメッセージが表示され、IMBoxの機能を利用できません。 (Category: IMBox, Updated by: tenant, Date: 2023/02/15 16:00)
- ジョブネットのインポートでジョブが2重に登録される場合があります。 (Category: ジョブスケジューラ, Updated by: IM-Juggling, Date: 2023/02/15 16:00)
- IM-Juggling の WAR ファイル作成時のビルドウィザード操作が進められません。 (Category: IM-Juggling, Updated by: IM-LogicDesigner, Date: 2023/02/15 16:00)
- Date型の値から文字列に変換を行う際の日付フォーマットの年指定についてのご注意事項 (Category: IM-LogicDesigner, Updated by: IM-Workflow, Date: 2023/02/15 16:00)
- 申請ノードのアクション処理や後処理で「システム案件ID (imwSystemMatterId)」を取得する方法はありますか? (Category: IM-Workflow, Updated by: IM-Workflow, Date: 2023/02/15 16:00)
- IM-Workflowとドキュメントワークフロー(BPW)は同一環境で利用できますか (Category: IM-Workflow, Updated by: IM-Workflow, Date: 2023/02/15 16:00)
- 申請ノードに独自に作成した処理対象者プラグインを設定することはできますか (Category: IM-Workflow, Updated by: IM-Workflow, Date: 2023/02/15 16:00)
- IM-Workflow REST API は Basic 認証で利用できますか? (Category: IM-Workflow, Updated by: IM-Workflow, Date: 2023/02/15 16:00)
- IM-Workflow REST API を外部システムから呼び出す方法を教えてください。 (Category: IM-Workflow, Updated by: IM-Workflow, Date: 2023/02/15 16:00)
- 上位アップデートバージョンの環境からエクスポートしたものを、下級バージョンの環境へインポートする手順 (Category: IM-Workflow, Updated by: IM-Workflow, Date: 2023/02/15 16:00)

The detailed view for the first question is expanded, showing:

- 【発生条件】: システム管理者「ポータル設定」の「リンク集ポートレットICON表示」が「表示する」に設定されている場合 (初期インストール時のデフォルト値)。
- 【原因】: リンク集に設定されているURLからICON情報を取得します。この時に、URLにICON情報が存在しない場合に時間が要します。
- 【対応方法】: システム管理者「ポータル設定」の「リンク集ポートレットICON表示」を「表示しない」に変更します。URLからICON情報を取得する処理が行われないことで事象を回避することができます。

Category: ポータル, Updated by: tenant, Date: 2023/02/14 14:28, Author: tenant

作成日時: 2023/02/14 14:28 作成者: tenant
更新日時: 2023/02/15 16:00 更新者: tenant

コラム

「社内FAQ管理」テンプレートは2022 Spring(Eustoma)から利用できます。

「社内FAQ管理」テンプレートの利用方法

「社内FAQ管理」テンプレートを利用したアプリケーションの作成手順と「社内FAQ管理」アプリケーションの操作方法をご紹介します。

アプリケーションの作成手順

「社内FAQ管理」テンプレートを利用してアプリケーションを作成する手順についてご紹介します。

1. アプリケーション作成画面への遷移

Accel Studioの「業務テンプレート一覧」から「社内FAQ管理」テンプレートを選択します。

Accel Studioの「業務テンプレート一覧」は、「サイトマップ」→「Accel Studio」→「業務テンプレート一覧」から遷移できます。



2. アプリケーションのIDや名称などの設定

「社内FAQ管理」テンプレートを選択し、アプリケーション情報の設定画面が表示されたら、アプリケーションのIDや名称などを設定します。設定した基本情報は、各処理や画面の名称、IDなどに利用されます。

The screenshot shows the 'Create Application' form for 'Intra-FAQ Management'. The left sidebar shows the navigation menu. The main form has the following sections:

- Application Information**:
 - Application ID***:
 - Application Name***:
 - Description**:
- Setting Up Data Tables**:
 - Data Table Creation Settings**: テーブルを自動生成する
 - Data Table Prefix**: TENANT
 - FAQ Table Name***:
- Buttons**: アプリケーション作成

3. データベースのテーブルに利用する名称の定義

次に、作成するアプリケーションで扱うデータベースのテーブルに利用する名称を定義します。

ここでは、FAQの情報を保持するテーブルと、FAQのカテゴリ情報を保持するテーブルの名称を設定します。

なお、「社内FAQ管理」テンプレートでは、既存のテーブルはご利用いただけません。

任意でテーブルにカラムを追加し、FAQの情報を追加できます。追加したカラムはFAQ情報として「FAQ編集画面」から編集できます。

The screenshot shows the 'FAQ Management - New Application Creation' template in Accel Studio. The interface includes sections for application information, data table definitions, and a preview of the generated code.

Application Information:

- Application Name: FAQ Management
- Description: 社内FAQ管理 - 新規作成
- Category: アプリケーション情報*
- Target Data: 投げデータの定義*
- Other Information: その他情報の指定

Data Table Definitions:

- FAQ Table Definition:** A table with columns: faq_id, faq_title, faq_content, category_cd, is_open, create_user_cd, create_date, record_user_cd, record_date. Primary key: faq_id.
- FAQ Category Table Definition:** A table with columns: category_cd, category_name, notes, sort_key. Primary key: category_cd.

Code Preview:

```

CREATE TABLE `faq` (
    `faq_id` int(10) unsigned NOT NULL AUTO_INCREMENT,
    `faq_title` varchar(100) NOT NULL,
    `faq_content` text NOT NULL,
    `category_cd` varchar(10) NOT NULL,
    `is_open` int(1) NOT NULL,
    `create_user_cd` varchar(10) NOT NULL,
    `create_date` timestamp NOT NULL DEFAULT CURRENT_TIMESTAMP,
    `record_user_cd` varchar(10) NOT NULL,
    `record_date` timestamp NOT NULL DEFAULT CURRENT_TIMESTAMP,
    PRIMARY KEY (`faq_id`)
) ENGINE=InnoDB DEFAULT CHARSET=utf8mb4;

CREATE TABLE `category` (
    `category_cd` varchar(10) NOT NULL,
    `category_name` varchar(100) NOT NULL,
    `notes` text NOT NULL,
    `sort_key` decimal(10,0) NOT NULL,
    PRIMARY KEY (`category_cd`)
) ENGINE=InnoDB DEFAULT CHARSET=utf8mb4;

```

Buttons:

- FAQ Table Definition
- FAQ Category Table Definition
- Application Creation



コラム

テーブル情報に標準で設定されている各項目の表示名は、多言語化対応が行われ、各画面に表示されます。
新規で追加した項目については、多言語化されずに標準ロケールにのみ設定されます。

4. その他情報の指定

作成されるアプリケーションに利用されるリソースのIDやルーティング情報を手動で決定できます。
チェックを入れないことを推奨します。

5. アプリケーション作成開始

アプリケーションの基本情報と、テーブル名を入力したら「アプリケーション作成」ボタンをクリックしてください。
入力項目に不備が無ければ自動でアプリケーションの作成ができます。

アプリケーション作成

6. アプリケーション作成結果

アプリケーション作成が完了すると、ステータスが「COMPLETE」と表示されます。

The screenshot shows the build log details for the application creation process. It includes a summary table and a log of events.

ビルドジョブID	ステータス	テンプレート名	作成者ユーザコード	内FAQ管理
8gp4wla0jdzbcvb	COMPLETE		tenant	
作成日時	2023/02/08 18:26:08			

Log Details:

- 2023/02/08 18:26:08 生成するリソースのIDを自動設定します。
- 2023/02/08 18:26:08 一時ディレクトリに IM-LogicDesigner インポート資材を作成しました。
- 2023/02/08 18:26:09 一時ディレクトリに IM-BloomMaker インポート資材を作成しました。
- 2023/02/08 18:26:09 アプリケーションで利用するテーブルを新規作成しました。
- 2023/02/08 18:26:09 CREATE TABLE `faq`(`faq_id` int(10) unsigned NOT NULL AUTO_INCREMENT, `faq_title` varchar(100) NOT NULL, `faq_content` text NOT NULL, `category_cd` varchar(10) NOT NULL, `is_open` int(1) NOT NULL, `create_user_cd` varchar(10) NOT NULL, `create_date` timestamp NOT NULL DEFAULT CURRENT_TIMESTAMP, `record_user_cd` varchar(10) NOT NULL, `record_date` timestamp NOT NULL DEFAULT CURRENT_TIMESTAMP, PRIMARY KEY(`faq_id`)) ENGINE=InnoDB DEFAULT CHARSET=utf8mb4;
- 2023/02/08 18:26:09 `record_user_cd` VARCHAR(10), `record_date` TIMESTAMP PRIMARY KEY(`faq_id`)); CREATE TABLE `faq_1_category`(`category_cd` varchar(10) NOT NULL, `category_name` varchar(100) NOT NULL, `notes` varchar(1000) NOT NULL, `sort_key` decimal(10,0) NOT NULL);
- 2023/02/08 18:26:09 `category_cd` VARCHAR(10), `category_name` VARCHAR(100), `notes` VARCHAR(1000), `sort_key` DECIMAL(10,0), `is_deleted` INTEGER, `create_user_cd` VARCHAR(100), `create_date` TIMESTAMP, `record_user_cd` VARCHAR(100), `record_date` TIMESTAMP PRIMARY KEY(`category_cd`))
- 2023/02/08 18:26:09 自動生成された IM-LogicDesigner 資材をインポートしました。
- 2023/02/08 18:26:17 自動生成された IM-BloomMaker 資材をインポートしました。
- 2023/02/08 18:26:17 作成された「カテゴリー観察面」へこちらの詳細アイコンから遷移できます。カテゴリーを作成するとFAQを作成できるようになります。
- 2023/02/08 18:26:17 作成された「FAQ一覧画面」へこちらの詳細アイコンから遷移できます。こちらの一覧画面には公開されているFAQのみ表示されます。
- 2023/02/08 18:26:20 アプリケーションの作成が完了しました。
- 2023/02/08 18:26:20 アプリケーション認可設定で テナント管理者 Accel Studio 管理者 にアクセス許可が設定されました。



コラム

作成したアプリケーションは、初期設定では「テナント管理者」または「Accel Studio管理者」ロールを持ったユーザのみ利用できます。

任意のユーザに対して、利用を許可したい場合の設定方法は、「[Accel Studio アプリケーション管理機能 仕様書](#)」 - 「[Accel Studio アプリケーション認可設定](#)」をご確認ください。

アプリケーションのアクセス手順

作成したアプリケーションへアクセスする方法をご紹介します。

「社内FAQ管理」テンプレートから作成されるアプリケーションは、「カテゴリー一覧画面」または「FAQ一覧画面」を起点として操作することを想定しています。

以下では「カテゴリー一覧画面」または「FAQ一覧画面」へのアクセス手順について説明します。

- 「テンプレートビルトジョブ - 詳細」画面から遷移する
- [画面のURLを取得する](#)

「テンプレートビルトジョブ - 詳細」画面から遷移する

「テンプレートビルトジョブ - 詳細」画面はアプリケーション作成完了後に表示されます。

「テンプレートビルトジョブ - 詳細」画面のステータスが「COMPLETE」と表示されたら、「作成された「カテゴリー一覧画面」へはこちらの詳細アイコンから遷移できます。」の欄にある をクリックしてください。

The screenshot shows the 'Template Build Job - Details' screen. At the top, it displays the build job ID (8gp4wta0jdzbcvb), template name ('社内FAQ管理'), and creator ('tenant'). The status is shown as 'COMPLETE'. Below this, there's a log table with columns for '出力日時' (Output Date/Time) and 'メッセージ' (Message). The log entries are:

- 2023/02/08 18:26:08 生成するリソースの値を自動設定します。
- 2023/02/08 18:26:08 一時ディレクトリに IM-LogicDesigner インポート資材を作成しました。
- 2023/02/08 18:26:09 一時ディレクトリに IM-BloomMaker インポート資材を作成しました。
- 2023/02/08 18:26:09 アプリケーションで利用するテーブルを新規作成しました。
- 2023/02/08 18:26:09 CREATE TABLE "faq_1" ("faq_id" VARCHAR(100), "faq_title" VARCHAR(1000), "faq_content" VARCHAR(1000), "category_cd" VARCHAR(100), "is_open" INTEGER, "create_user_cd" VARCHAR(100), "create_date" TIMESTAMP, "record_user_cd" VARCHAR(100), "record_date" TIMESTAMP, PRIMARY KEY ("faq_id")); CREATE TABLE "faq_1_category" ("category_cd" VARCHAR(100), "category_name" VARCHAR(100), "notes" VARCHAR(1000), "sort_key" DECIMAL(10), "is_deleted" INTEGER, "create_user_cd" VARCHAR(100), "create_date" TIMESTAMP, "record_user_cd" VARCHAR(100), "record_date" TIMESTAMP, PRIMARY KEY ("category_cd"))
- 2023/02/08 18:26:09 自動生成された IM-LogicDesigner 資材をインポートしました。
- 2023/02/08 18:26:17 作成された「カテゴリー一覧画面」へはこちらの詳細アイコンから遷移できます。カテゴリーを作成するとFAQを作成できるようになります。
- 2023/02/08 18:26:17 作成された「FAQ一覧画面」へはこちらの詳細アイコンから遷移できます。こちらの一覧画面には公開されているFAQのみ表示されます。
- 2023/02/08 18:26:20 アプリケーションの作成が完了しました。
- 2023/02/08 18:26:20 アプリケーション認可設定で テナント管理者 Accel Studio 管理者 にアクセス許可が設定されました。



コラム

「テンプレートビルトジョブ - 詳細」画面は、「サイトマップ」→「Accel Studio」→「アプリケーション作成」→「テンプレートビルトジョブ」に遷移し、作成したアプリケーションの「詳細」をクリックすることで表示できます。

画面のURLを取得する

「社内FAQ管理」テンプレートから作成したアプリケーションはすべての画面に画面URLが定義されています。

「サイトマップ」→「Accel Studio」→「アプリケーション一覧」で、「自動生成されたアプリケーション」カテゴリを選択します。

作成したアプリケーションを選択し、遷移したいカードにホバーをしてください。

表示されたURLアイコンをクリックすることで、URLがクリップボードにコピーされます。

画面URL (ID: im-bloommaker://routes/faq_app-faq-edit)
社内FAQ管理 FAQ編集画面
「社内FAQ管理」テンプレートから作成されたFAQ編集画面のルーティング定義です。

画面URL (ID: im-bloommaker://routes/faq_app-faq-list-admin)
社内FAQ管理 管理者用FAQ一覧画面
「社内FAQ管理」テンプレートから作成された管理者用FAQ一覧画面のルーティング定義です。

画面URL (ID: im-bloommaker://routes/faq_app-faq-list)
社内FAQ管理 FAQ一覧画面
「社内FAQ管理」テンプレートから作成されたFAQ一覧画面のルーティング定義です。

画面URL (ID: im-bloommaker://routes/faq_app-faq-refer)
社内FAQ管理 FAQ詳細画面
「社内FAQ管理」テンプレートから作成されたFAQ詳細画面のルーティング定義です。

APIのURL (ID: im-logic://routes/accel-studio-app/faq_app/PUT)
PUT accel-studio-app/faq_app

APIのURL (ID: im-logic://routes/accel-studio-app/faq_app/POST)
POST accel-studio-app/faq_app



コラム

取得したURLは、初期設定では「テナント管理者」または「Accel Studio管理者」ロールを持ったユーザのみアクセス可能です。任意のユーザに対して、利用を許可したい場合の設定方法は、「[Accel Studio アプリケーション管理機能 仕様書](#)」 - 「[Accel Studio アプリケーション認可設定](#)」をご確認ください。



コラム

作成したアプリケーションをグローバルメニューに追加したい場合は、グローバルナビ設定をご利用ください。
グローバルナビの設定方法は、「[ファーストステップガイド](#)」 - 「[管理者が一般ユーザ向けのメニューを作成する](#)」をご確認ください。

アプリケーションの画面イメージと操作方法

「社内FAQ管理」テンプレートから作成されるアプリケーションは2種類の利用者「管理者」「一般ユーザ」を想定しています。

管理者

管理者は、「カテゴリ」と「FAQ」の登録・編集・削除ができます。

以下の画面を利用します。

- [カテゴリ一覧画面](#)
- [カテゴリ登録画面](#)
- [カテゴリ編集画面](#)
- [管理者用FAQ一覧画面](#)
- [FAQ登録画面](#)
- [FAQ編集画面](#)

一般ユーザ

一般ユーザは、公開状態のFAQが参照できます。

非公開状態のFAQの参照やFAQ情報の登録・編集はできません。

以下の画面を利用します。

- [FAQ一覧画面](#)
- [FAQ参照画面](#)

認可設定

管理者用の画面と一般ユーザ用の画面で別々に画面が用意されているため、認可設定だけで管理者と参照者の制御ができます。

以下のリソースの認可を許可することで、認可サブジェクト対象者は一般ユーザとして「FAQ一覧画面」が利用できます。

リソース 公開URL

画面のURL {アプリケーション名} FAQ一覧画面

{アプリケーション名} FAQ詳細画面

APIのURL GET accel-studio-app/{IDの決定に利用する文字列}/list/open

GET accel-studio-app/{IDの決定に利用する文字列}/open_only

GET accel-studio-app/{IDの決定に利用する文字列}/category/valid/list



コラム

IDの決定に利用する文字列は、[アプリケーションの作成手順](#)の「IDの決定に利用する文字列」項目に指定した文字列です。

以下の画像では、例として「認証済みユーザ」に認可の許可をしています。

The screenshot shows a grid-based configuration tool for managing application permissions. The columns represent various roles such as Guest User, Registered User, Organization, and various Admin and Manager roles. The rows represent URLs and API endpoints. A specific row for '社内FAQ管理サンプル FAQ一覧画面' (Internal FAQ Management Sample FAQ List Page) has its '認証済みユーザ' (Authenticated User) column highlighted with a red border and a green checkmark, indicating that this role has permission to access the page.



コラム

認可設定については、「[Accel Studio アプリケーション管理機能 仕様書](#)」 - 「[Accel Studio アプリケーション認可設定](#)」をご確認ください。

カテゴリー一覧画面

「カテゴリー一覧画面」では、登録されたカテゴリーを閲覧できます。

カテゴリー情報の「ソートキー」の数値で昇順ソートされます。

カテゴリ名	カテゴリコード	メモ	ソートキー
環境・セットアップ関連	category1	intra-mart Accel Platform の開発環境やセットアップに関するカテゴリです。	1
システム・サポート要件	category2	intra-mart Accel Platform のシステム要件、サポート要件についてのカテゴリです。	2
アプリケーションサーバ（Resinなど）	category3	intra-mart Accel Platform のアプリケーションサーバについてのカテゴリです。	3
全般・その他	category4	intra-mart Accel Platform 全般の内容を扱うカテゴリです。	4
脆弱性	category5	intra-mart Accel Platform の脆弱性に関するカテゴリです。	5
IM-Workflow	category6	intra-mart Accel Platform の IM-Workflow に関するカテゴリです。	6
IM-LogicDesigner	category7	intra-mart Accel Platform の IM-LogicDesigner に関するカテゴリです。	7
IM-Juggling	category8	intra-mart Accel Platform の IM-Juggling に関するカテゴリです。	8
IMBox	category9	intra-mart Accel Platform の IMBox に関するカテゴリです。	9
ポータル	category10	intra-mart Accel Platform のポータルに関するカテゴリです。	10
開発関連	category11	intra-mart Accel Platform の開発関連に関するカテゴリです。	11
ジョブスケジューラ	category12	intra-mart Accel Platform のジョブスケジューラに関するカテゴリです。	12
テナント管理関連	category13	intra-mart Accel Platform のテナント管理関連に関するカテゴリです。	13
e Builder	category14	intra-mart Accel Extentions の e Builder に関するカテゴリです。	14
IM-ContentsSearch	category15	intra-mart Accel Extentions の IM-ContentsSearch に関するカテゴリです。	15
IM-Spreadsheet	category16	intra-mart Accel Extentions の IM-Spreadsheet に関するカテゴリです。	16
IM-PDF Designer	category17	intra-mart Accel Extentions の IM-PDF Designer に関するカテゴリです。	17
IM-FormaDesigner	category18	intra-mart Accel Extentions の IM-FormaDesigner に関するカテゴリです。	18
IM-EXP申請システム	category19	intra-mart Accel Extentions の IM-EXP申請システム に関するカテゴリです。	19
IM-ExApply	category20	intra-mart Accel Extentions の IM-ExApply に関するカテゴリです。	20
IM-AccelDB	category21	intra-mart Accel Extentions の IM-AccelDB に関するカテゴリです。	21
IM-BPM	category22		22
IM-BIS	category23		23

カテゴリには「有効」「無効」の状態があり、「有効なカテゴリのみ表示」チェックボックスを選択すると「有効」状態のカテゴリのみ表示されます。

カテゴリ名	カテゴリコード	メモ	ソートキー
システム・サポート要件	category2	intra-mart Accel Platform のシステム要件、サポート要件についてのカテゴリです。	2
アプリケーションサーバ（Resinなど）	category3	intra-mart Accel Platform のアプリケーションサーバについてのカテゴリです。	3
全般・その他	category4	intra-mart Accel Platform 全般の内容を扱うカテゴリです。	4
IM-Workflow	category6	intra-mart Accel Platform の IM-Workflow に関するカテゴリです。	6
IM-LogicDesigner	category7	intra-mart Accel Platform の IM-LogicDesigner に関するカテゴリです。	7
IM-Juggling	category8	intra-mart Accel Platform の IM-Juggling に関するカテゴリです。	8
IMBox	category9	intra-mart Accel Platform の IMBox に関するカテゴリです。	9
ポータル	category10	intra-mart Accel Platform のポータルに関するカテゴリです。	10
開発関連	category11	intra-mart Accel Platform の開発関連に関するカテゴリです。	11
ジョブスケジューラ	category12	intra-mart Accel Platform のジョブスケジューラに関するカテゴリです。	12
テナント管理関連	category13	intra-mart Accel Platform のテナント管理関連に関するカテゴリです。	13
e Builder	category14	intra-mart Accel Extentions の e Builder に関するカテゴリです。	14
IM-ContentsSearch	category15	intra-mart Accel Extentions の IM-ContentsSearch に関するカテゴリです。	15
IM-Spreadsheet	category16	intra-mart Accel Extentions の IM-Spreadsheet に関するカテゴリです。	16
IM-PDF Designer	category17	intra-mart Accel Extentions の IM-PDF Designer に関するカテゴリです。	17
IM-FormaDesigner	category18	intra-mart Accel Extentions の IM-FormaDesigner に関するカテゴリです。	18
IM-EXP申請システム	category19	intra-mart Accel Extentions の IM-EXP申請システム に関するカテゴリです。	19
IM-ExApply	category20	intra-mart Accel Extentions の IM-ExApply に関するカテゴリです。	20
IM-AccelDB	category21	intra-mart Accel Extentions の IM-AccelDB に関するカテゴリです。	21
intra-mart Accel Kaiden!	category24	intra-mart Accel Applications の intra-mart Accel Kaiden! に関するカテゴリです。	24
intra-mart Accel Collaboration	category25	intra-mart Accel Applications の intra-mart Accel Collaboration に関するカテゴリです。	25
intra-mart Accel Archiver	category26	intra-mart Accel Applications の intra-mart Accel Archiver に関するカテゴリです。	26
intra-mart Accel GroupMail	category27	intra-mart Accel Applications の intra-mart Accel GroupMail に関するカテゴリです。	27

画面上部、左側の  をマウスホバーすると [管理者用FAQ一覧画面](#) へ遷移するリンクが表示されます。

**在庫FAO管理サンプル
カテゴリー観**

有効なカテゴリのみ表示

+ 新規作成

カテゴリ名	カテゴリコード	メモ	ソートキー
システム・サポート案件	category2	intra-mart Accel Platform のシステム案件、サポート案件についてのカテゴリです。	2
アプリケーションサーバ（Resinなど）	category3	intra-mart Accel Platform のアプリケーションサーバについてのカテゴリです。	3
全般・その他	category4	intra-mart Accel Platform 全般の内容を扱うカテゴリです。	4
IM-Workflow	category6	intra-mart Accel Platform の IM-Workflow に関するカテゴリです。	6
IM-LogicDesigner	category7	intra-mart Accel Platform の IM-LogicDesigner に関するカテゴリです。	7
IM-Juggling	category8	intra-mart Accel Platform の IM-Juggling に関するカテゴリです。	8
IMBox	category9	intra-mart Accel Platform の IMBox に関するカテゴリです。	9
ポータル	category10	intra-mart Accel Platform のポータルに関するカテゴリです。	10
開発関連	category11	intra-mart Accel Platform の開発関連に関するカテゴリです。	11
ジョブスケジューラ	category12	intra-mart Accel Platform のジョブスケジューラに関するカテゴリです。	12
テナント管理関連	category13	intra-mart Accel Platform のテナント管理関連に関するカテゴリです。	13
e Builder	category14	intra-mart Accel Extentions の e Builder に関するカテゴリです。	14
IM-ContentsSearch	category15	intra-mart Accel Extentions の IM-ContentsSearch に関するカテゴリです。	15
IM-Spreadsheet	category16	intra-mart Accel Extentions の IM-Spreadsheet に関するカテゴリです。	16
IM-PDF Designer	category17	intra-mart Accel Extentions の IM-PDF Designer に関するカテゴリです。	17
IM-FormaDesigner	category18	intra-mart Accel Extentions の IM-FormaDesigner に関するカテゴリです。	18
IM-EX申請システム	category19	intra-mart Accel Extentions の IM-EX申請システム に関するカテゴリです。	19
IM-ExApply	category20	intra-mart Accel Extentions の IM-ExApply に関するカテゴリです。	20
IM-AccelDB	category21	intra-mart Accel Extentions の IM-AccelDB に関するカテゴリです。	21
intra-mart Accel Kaident	category24	intra-mart Accel Applications の intra-mart Accel Kaident に関するカテゴリです。	24
intra-mart Accel Collaboration	category25	intra-mart Accel Applications の intra-mart Accel Collaboration に関するカテゴリです。	25
intra-mart Accel Archiver	category26	intra-mart Accel Applications の intra-mart Accel Archiver に関するカテゴリです。	26
intra-mart Accel GroupMail	category27	intra-mart Accel Applications の intra-mart Accel GroupMail に関するカテゴリです。	27

前へ **1** 2 3 4 5 次へ

1 - 50 / 233

カテゴリ登録画面

「カテゴリ登録画面」では、カテゴリの登録ができます。

「カテゴリ一覧画面」の「新規作成」ボタンから「カテゴリ登録画面」に遷移できます。

**在庫FAO管理サンプル
カテゴリー観**

有効なカテゴリのみ表示

+ 新規作成

カテゴリ名	カテゴリコード	メモ	ソートキー
環境・セットアップ関連	category1	intra-mart Accel Platform の開発環境やセットアップに関するカテゴリです。	1
システム・サポート案件	category2	intra-mart Accel Platform のシステム案件、サポート案件についてのカテゴリです。	2
アプリケーションサーバ（Resinなど）	category3	intra-mart Accel Platform のアプリケーションサーバについてのカテゴリです。	3
全般・その他	category4	intra-mart Accel Platform 全般の内容を扱うカテゴリです。	4
熱属性	category5	intra-mart Accel Platform の熱属性に関するカテゴリです。	5
IM-Workflow	category6	intra-mart Accel Platform の IM-Workflow に関するカテゴリです。	6
IM-LogicDesigner	category7	intra-mart Accel Platform の IM-LogicDesigner に関するカテゴリです。	7
IM-Juggling	category8	intra-mart Accel Platform の IM-Juggling に関するカテゴリです。	8
IMBox	category9	intra-mart Accel Platform の IMBox に関するカテゴリです。	9
ポータル	category10	intra-mart Accel Platform のポータルに関するカテゴリです。	10
開発関連	category11	intra-mart Accel Platform の開発関連に関するカテゴリです。	11
ジョブスケジューラ	category12	intra-mart Accel Platform のジョブスケジューラに関するカテゴリです。	12
テナント管理関連	category13	intra-mart Accel Platform のテナント管理関連に関するカテゴリです。	13
e Builder	category14	intra-mart Accel Extentions の e Builder に関するカテゴリです。	14
IM-ContentsSearch	category15	intra-mart Accel Extentions の IM-ContentsSearch に関するカテゴリです。	15
IM-Spreadsheet	category16	intra-mart Accel Extentions の IM-Spreadsheet に関するカテゴリです。	16
IM-PDF Designer	category17	intra-mart Accel Extentions の IM-PDF Designer に関するカテゴリです。	17
IM-FormaDesigner	category18	intra-mart Accel Extentions の IM-FormaDesigner に関するカテゴリです。	18
IM-EX申請システム	category19	intra-mart Accel Extentions の IM-EX申請システム に関するカテゴリです。	19
IM-ExApply	category20	intra-mart Accel Extentions の IM-ExApply に関するカテゴリです。	20
IM-AccelDB	category21	intra-mart Accel Extentions の IM-AccelDB に関するカテゴリです。	21
IM-BPM	category22		22
IM-BIS	category23		23

前へ **1** 2 3 4 5 次へ

1 - 50 / 237

「カテゴリコード」は一意な文字列を入力してください。

「ソートキー」に指定した数値により、「カテゴリ一覧画面」のカテゴリは並び替えられます。

「カテゴリ編集画面」では、カテゴリ情報の編集ができます。

「カテゴリ一覧画面」で任意のカテゴリを選択すると、選択したカテゴリの「カテゴリ編集画面」に遷移できます。

「カテゴリの有効状態」を「無効」にした場合、「カテゴリ一覧画面」「管理者用FAQ一覧画面」でカテゴリ名に「無効」のアイコンが付きます。また、「無効」状態のカテゴリに所属するFAQは「FAQ一覧画面」に表示されません。

カテゴリ編集画面

「カテゴリ編集画面」では、カテゴリ情報の編集ができます。

「カテゴリ一覧画面」で任意のカテゴリを選択すると、選択したカテゴリの「カテゴリ編集画面」に遷移できます。

「カテゴリの有効状態」を「無効」にした場合、「カテゴリ一覧画面」「管理者用FAQ一覧画面」でカテゴリ名に「無効」のアイコンが付きます。また、「無効」状態のカテゴリに所属するFAQは「FAQ一覧画面」に表示されません。

「管理者用FAQ一覧画面」では、すべてのFAQを閲覧できます。

FAQが「非公開」または所属するカテゴリが「無効」状態の場合、カラムの背景が変わります。

管理者用FAQ一覧画面

「管理者用FAQ一覧画面」では、すべてのFAQを閲覧できます。

FAQが「非公開」または所属するカテゴリが「無効」状態の場合、カラムの背景が変わります。

FAQ一覧

FAQタイトル	カテゴリ名	更新者	更新日時
リンク集ポートレットの表示が遅い場合があります。	ポータル	tenant	2023/02/15 16:00
IM-WorkflowポートレットおよびAccel Collaborationポートレットをポータルに配置しても内容が表示されません。	ポータル	tenant	2023/02/15 16:00
TERASOLUNA Global Framework および TERASOLUNA Server Framework for Java (Rich版)において ClassLoader を操作可能な脆弱性(CVE-2022-43484)について	脆弱性	tenant	2023/02/15 16:00
IMBoxの画面表示時にエラーメッセージが表示され、IMBoxの機能を利用することができません。	IMBox	tenant	2023/02/15 16:00
拡張子 hprof ファイルについて教えてください。	環境・セットアップ関連	tenant	2023/02/15 15:59
Microsoft Web Platform Installer を使用しない Application Request Routing のインストール方法について	環境・セットアップ関連	tenant	2023/02/15 15:59
セッション管理モジュールを利用している環境で HazelcastSerializationException が発生します。	開発関連	tenant	2023/02/15 15:59
ジョブネットのインポートでジョブが2重に登録される場合があります。	ジョブスケジューラ	tenant	2023/02/14 14:29
IM-Juggling の WAR ファイル作成時のビルドウィザード操作が進められません。	IM-Juggling	tenant	2023/02/14 14:27
Date型の値から文字列に変換を行う際の日付フォーマットの年指定についてのご注意事項	IM-LogicDesigner	tenant	2023/02/14 14:26
申請ノードのアクション処理や後処理で「システム案件ID (imwSystemMaterialID)」を取得する方法はありますか?	IM-Workflow	tenant	2023/02/14 14:26
IM-Workflowとドキュメントワークフロー(BPW)は同一環境で利用できますか?	IM-Workflow	tenant	2023/02/14 14:25
申請ノードに独自に作成した処理対象者プラグインを設定することはできますか?	IM-Workflow	tenant	2023/02/14 14:25
IM-Workflow REST API は Basic 認証で利用できますか?	IM-Workflow	tenant	2023/02/14 14:24
IM-Workflow REST API を外部システムから呼び出す方法を教えてください。	IM-Workflow	tenant	2023/02/14 14:24

新規作成

FAQタイトル
公開状態
すべて ○ 公開 ○ 非公開
更新者
作成者
検索 クリア

前へ 1 2 3 4 5 次へ 1 - 50 / 231

カラム右端のアイコンからFAQの公開状態を変更できます。

FAQ一覧

FAQタイトル	カテゴリ名	更新者	更新日時
リンク集ポートレットの表示が遅い場合があります。	ポータル	tenant	2023/02/15 16:00
IM-WorkflowポートレットおよびAccel Collaborationポートレットをポータルに配置しても内容が表示されません。	ポータル	tenant	2023/02/15 16:00
TERASOLUNA Global Framework および TERASOLUNA Server Framework for Java (Rich版)において ClassLoader を操作可能な脆弱性(CVE-2022-43484)について	脆弱性	tenant	2023/02/15 16:00
IMBoxの画面表示時にエラーメッセージが表示され、IMBoxの機能を利用することができません。	IMBox	tenant	2023/02/15 16:00
拡張子 hprof ファイルについて教えてください。	環境・セットアップ関連	tenant	2023/02/15 15:59
Microsoft Web Platform Installer を使用しない Application Request Routing のインストール方法について	環境・セットアップ関連	tenant	2023/02/15 15:59
セッション管理モジュールを利用している環境で HazelcastSerializationException が発生します。	開発関連	tenant	2023/02/15 15:59
ジョブネットのインポートでジョブが2重に登録される場合があります。	ジョブスケジューラ	tenant	2023/02/14 14:29
IM-Juggling の WAR ファイル作成時のビルドウィザード操作が進められません。	IM-Juggling	tenant	2023/02/14 14:27
Date型の値から文字列に変換を行う際の日付フォーマットの年指定についてのご注意事項	IM-LogicDesigner	tenant	2023/02/14 14:26
申請ノードのアクション処理や後処理で「システム案件ID (imwSystemMaterialID)」を取得する方法はありますか?	IM-Workflow	tenant	2023/02/14 14:26
IM-Workflowとドキュメントワークフロー(BPW)は同一環境で利用できますか?	IM-Workflow	tenant	2023/02/14 14:25
申請ノードに独自に作成した処理対象者プラグインを設定することはできますか?	IM-Workflow	tenant	2023/02/14 14:25
IM-Workflow REST API は Basic 認証で利用できますか?	IM-Workflow	tenant	2023/02/14 14:24
IM-Workflow REST API を外部システムから呼び出す方法を教えてください。	IM-Workflow	tenant	2023/02/14 14:24

新規作成

FAQタイトル
公開状態
すべて ○ 公開 ○ 非公開
更新者
作成者
検索 クリア

前へ 1 2 3 4 5 次へ 1 - 50 / 231

画面上部、左側の  をマウスホバーすると カテゴリー一覧画面 へ遷移するリンクが表示されます。

FAQ一覧

FAQタイトル	カテゴリ名	更新者	更新日時
リンク集ポートレットの表示が選い場合があります。	ポータル	tenant	2023/02/15 16:00
IM-WorkflowポートレットおよびAccel Collaborationポートレットをポータルに配置しても内容が表示されません。	ポータル	tenant	2023/02/15 16:00
TERASOLINA Global Framework および TERASOLINA Server Framework for Java (Rich版)において ClassLoader を操作可能な脆弱性(CVE-2022-43484)について	脆弱性 無効	tenant	2023/02/15 16:00
IMBoxの画面表示時にエラーメッセージが表示され、IMBoxの機能を利用することができません。	IMBox	tenant	2023/02/15 16:00
拡張子 .hprof ファイルについて教えてください。	環境・セットアップ関連 無効	tenant	2023/02/15 15:59
Microsoft Web Platform Installer を使用しない Application Request Routing のインストール方法について	環境・セットアップ関連 無効	tenant	2023/02/15 15:59
セッション管理モジュールを利用している環境で HazelcastSerializationException が発生します。 非公開	開発関連	tenant	2023/02/15 15:59
ジョブネットのインポートでジョブが2重に登録される場合があります。	ジョブスケジューラ	tenant	2023/02/14 14:29
IM-Juggling の WAR ファイル作成時のビルドウィザード操作が進められません。	IM-Juggling	tenant	2023/02/14 14:27
Date型の値から文字列に変換を行う際の日付フォーマットの年指定についてのご注意事項	IM-LogicDesigner	tenant	2023/02/14 14:26
申請ノードのアクション処理や後処理で「システム案件ID (lmwSystemMatterId)」を取得する方法はありますか?	IM-Workflow	tenant	2023/02/14 14:26
IM-Workflowとドキュメントワークフロー(BPW)は同一環境で利用できますか?	IM-Workflow	tenant	2023/02/14 14:25
申請ノードに独自に作成した処理対象者プラグインを設定することはできますか?	IM-Workflow	tenant	2023/02/14 14:25
IM-Workflow REST API は Basic 認証で利用できますか?	IM-Workflow	tenant	2023/02/14 14:24
IM-Workflow REST API を外部システムから呼び出す方法を教えてください。	IM-Workflow	tenant	2023/02/14 14:24

新規作成

FAQタイトル
FAQ内容
カテゴリ
公開状態
更新者
作成者
検索 クリア

1 - 50 / 231

FAQ登録画面

「FAQ登録画面」では、FAQの登録ができます。

「管理者用FAQ一覧画面」の「新規作成」ボタンから「FAQ登録画面」に遷移できます。

FAQ一覧

FAQタイトル	カテゴリ名	更新者	更新日時
リンク集ポートレットの表示が選い場合があります。	ポータル	tenant	2023/02/15 16:00
IM-WorkflowポートレットおよびAccel Collaborationポートレットをポータルに配置しても内容が表示されません。	ポータル	tenant	2023/02/15 16:00
TERASOLINA Global Framework および TERASOLINA Server Framework for Java (Rich版)において ClassLoader を操作可能な脆弱性(CVE-2022-43484)について	脆弱性 無効	tenant	2023/02/15 16:00
IMBoxの画面表示時にエラーメッセージが表示され、IMBoxの機能を利用することができません。	IMBox	tenant	2023/02/15 16:00
拡張子 .hprof ファイルについて教えてください。	環境・セットアップ関連 無効	tenant	2023/02/15 15:59
Microsoft Web Platform Installer を使用しない Application Request Routing のインストール方法について	環境・セットアップ関連 無効	tenant	2023/02/15 15:59
セッション管理モジュールを利用している環境で HazelcastSerializationException が発生します。 非公開	開発関連	tenant	2023/02/15 15:59
ジョブネットのインポートでジョブが2重に登録される場合があります。	ジョブスケジューラ	tenant	2023/02/14 14:29
IM-Juggling の WAR ファイル作成時のビルドウィザード操作が進められません。	IM-Juggling	tenant	2023/02/14 14:27
Date型の値から文字列に変換を行う際の日付フォーマットの年指定についてのご注意事項	IM-LogicDesigner	tenant	2023/02/14 14:26
申請ノードのアクション処理や後処理で「システム案件ID (lmwSystemMatterId)」を取得する方法はありますか?	IM-Workflow	tenant	2023/02/14 14:26
IM-Workflowとドキュメントワークフロー(BPW)は同一環境で利用できますか?	IM-Workflow	tenant	2023/02/14 14:25
申請ノードに独自に作成した処理対象者プラグインを設定することはできますか?	IM-Workflow	tenant	2023/02/14 14:25
IM-Workflow REST API は Basic 認証で利用できますか?	IM-Workflow	tenant	2023/02/14 14:24
IM-Workflow REST API を外部システムから呼び出す方法を教えてください。	IM-Workflow	tenant	2023/02/14 14:24

新規作成

FAQタイトル
FAQ内容
カテゴリ
公開状態
更新者
作成者
検索 クリア

1 - 50 / 231

「公開状態」を「非公開」にした場合、「管理者用FAQ一覧画面」でFAQタイトルに「非公開」のアイコンが付きます。

また、「非公開」のFAQは「FAQ一覧画面」に表示されません。

FAQ編集画面

「FAQ編集画面」では、FAQ情報の編集ができます。

「管理者用FAQ一覧画面」で任意のFAQを選択すると、選択したFAQの「FAQ編集画面」に遷移できます。

画面右側には履歴・コメント機能が用意されています。

履歴コメントは閲覧者の参照ページには表示されません。

コメントを入力してください。

履歴 添付ファイル

i コラム

履歴・コメント機能については、「[履歴・コメントモジュールユーザ操作ガイド](#)」をご確認ください。

FAQ一覧画面

「FAQ一覧画面」では、「公開」状態かつ所属するカテゴリが「有効」状態のFAQのみ表示されます。

「非公開」状態のFAQの参照や、FAQ情報の登録・編集はできません。

FAQ一覧画面

FAQタイトル	カテゴリ名	更新者	更新日時
⑦ リンク集ポートレットの表示が遅い場合があります。	ポータル	tenant	2023/02/15 16:00
⑦ IM-WorkflowポートレットおよびAccel Collaborationポートレットをポータルに配置しても内容が表示されません。	ポータル	tenant	2023/02/15 16:00
⑦ IMBoxの画面表示時にエラーメッセージが表示され、IMBoxの機能を利用することができます。	IMBox	tenant	2023/02/15 16:00
⑦ ジョブネットのインポートでジョブが2重に登録される場合があります。	ジョブスケジューラ	tenant	2023/02/14 14:29
⑦ IM-Juggling の WAR ファイル作成時のビルドウィザード操作が進められません。	IM-Juggling	tenant	2023/02/14 14:27
⑦ Date型の値から文字列に変換を行う際の日付フォーマットの年指定についてのご注意事項	IM-LogicDesigner	tenant	2023/02/14 14:26
⑦ 申請ノードのアクション処理や後処理で「システム案件ID (imwSystemMatterID)」を取得する方法はありますか?	IM-Workflow	tenant	2023/02/14 14:26
⑦ IM-Workflowとドキュメントワークフロー(BPW)は同一環境で利用できますか	IM-Workflow	tenant	2023/02/14 14:25
⑦ 申請ノードに独自に作成した処理対象者プラグインを設定することはできますか?	IM-Workflow	tenant	2023/02/14 14:25
⑦ IM-Workflow REST API は Basic 認証で利用できますか?	IM-Workflow	tenant	2023/02/14 14:24
⑦ IM-Workflow REST API を外部システムから呼び出す方法を教えてください。	IM-Workflow	tenant	2023/02/14 14:24
⑦ 上位アップデートバージョンの環境からエクスポートしたものを、下	今井・その他の	tenant	2023/02/14 14:22

FAQ一覧画面

FAQ一覧画面では、FAQ情報の参照ができます。
 「FAQ一覧画面」で任意のFAQを選択すると、選択したFAQの「FAQ参照画面」に遷移できます。
 「FAQ参照画面」は「FAQ一覧画面」からのみ遷移できます。

FAQ詳細画面

⑦ リンク集ポートレットの表示が遅い場合があります。

【発生条件】
 システム管理者「ポータル設定」の「リンク集ポートレットICON表示」が「表示する」に設定されている場合
 (初期インストール時のデフォルト値)。

【原因】
 リンク集に設定されているURLからICON情報を取得します。
 この時に、URLにICON情報が存在しない場合に時間を要します。

【対応方法】
 システム管理者「ポータル設定」の「リンク集ポートレットICON表示」を「表示しない」に変更します。
 URLからICON情報を取得する処理が行われない事で事象を回避する事ができます。

カテゴリ
ポータル

作成日時: 2023/02/14 14:28 作成者: tenant
 更新日時: 2023/02/15 16:00 更新者: tenant

テンプレートの活用例

「社内FAQ管理」テンプレートを活用したアプリケーションの例をご紹介します。

例：ドキュメントのURLをカテゴリ分けして管理するアプリケーション

カテゴリをつけてマスタを管理するアプリケーションとして、弊社ドキュメントにカテゴリをつけて管理するアプリケーションを作成できます。

- 一覧テーブルの表示項目を減らし、URLの項目に変更しました。
- 「URL」列は「FAQタイトル」列のエレメントを参考に、ハイパリンクエレメントで作成できます。

ドキュメントの一覧

ドキュメントタイトル	カテゴリ名	URL	更新日時
IM-LogicDesigner ユーザ操作ガイド	IM-LogicDesigner	https://document.intra-m...	2023/02/15 14:25
IM-LogicDesigner仕様書	IM-LogicDesigner	https://document.intra-m...	2023/02/15 14:25
ユーザ操作ガイド	IM-BPM	https://document.intra-m...	2023/02/15 14:25
IM-BPM チュートリアルガイド	IM-BPM	https://document.intra-m...	2023/02/15 14:24
IM-Workflow ユーザ操作ガイド	IM-Workflow	https://document.intra-m...	2023/02/15 14:24
IM-Workflow 管理者操作ガイド	IM-Workflow	https://document.intra-m...	2023/02/15 14:24
IM-BloomMaker プログラミングガイド	IM-BloomMaker	https://document.intra-m...	2023/02/15 14:18
ViewCreator ユーザ操作ガイド	ViewCreator	https://document.intra-m...	2023/02/15 14:18
IM-BloomMaker チュートリアルガイド	IM-BloomMaker	https://document.intra-m...	2023/02/15 14:18
業務管理者 操作ガイド	IM-BIS	https://document.intra-m...	2023/02/15 14:18
IM-FormaDesigner / IM-BIS トラブルシューティング	IM-BIS	https://document.intra-m...	2023/02/15 14:15
IM-Workflow トラブルシューティング	IM-Workflow	https://document.intra-m...	2023/02/15 14:12

検索

次へ

1 - 15 / 15

休暇申請ワークフロー

このページでは「休暇申請ワークフロー」テンプレートの概要、アプリケーション作成手順、画面イメージや操作方法について解説します。

目次

- 「休暇申請ワークフロー」テンプレートとは
- 「休暇申請ワークフロー」テンプレートの利用方法
 - アプリケーションの作成手順
 - アプリケーションのアクセス手順
 - アプリケーションの画面イメージと操作方法

「休暇申請ワークフロー」テンプレートとは



「休暇申請ワークフロー」テンプレートは、休暇日をワークフローから申請したり、休假日の一覧を週間のカレンダーで閲覧できるアプリケーションです。

休暇申請はワークフローによる承認を必要とします。

2023/03/01 03/02 (木) 03/03 (金) 03/04 (土) 03/05 (日) 03/06 (月) 03/07 (火)

03/01 (水)	03/02 (木)	03/03 (金)	03/04 (土)	03/05 (日)	03/06 (月)	03/07 (火)
青柳辰巳 aoyagi	内山益男 maruyama	内山益男 maruyama	青柳辰巳 aoyagi	青柳辰巳 aoyagi	関根千香 sekine	大磯博文 ohiso
上田辰男 ueda	関根千香 sekine	青柳辰巳 aoyagi			寺田雅彦 terada	萩本禎子 hagimoto
林政義 hayashi	寺田雅彦 terada				吉川一哉 yoshikawa	生田一哉 ikuta
	吉川一哉 yoshikawa				青柳辰巳 aoyagi	片山聰 katayama
	青柳辰巳 aoyagi				青柳辰巳 aoyagi	青柳辰巳 aoyagi

i コラム

「休暇申請ワークフロー」テンプレートは2022 Spring(Eustoma)から利用できます。

「休暇申請ワークフロー」テンプレートの利用方法

「休暇申請ワークフロー」テンプレートを利用したアプリケーションの作成手順と「休暇申請ワークフロー」アプリケーションの操作方法をご紹介します。

アプリケーションの作成手順

「休暇申請ワークフロー」テンプレートを利用してアプリケーションを作成する手順についてご紹介します。

1. アプリケーション作成画面への遷移

Accel Studioの「業務テンプレート一覧」から「休暇申請ワークフロー」テンプレートを選択します。

Accel Studioの「業務テンプレート一覧」は、「サイトマップ」→「Accel Studio」→「業務テンプレート一覧」から遷移できます。

打刻アプリ
出退勤の打刻ができるアプリケーションを作成します。
次へ

在庫管理
バーコードを使用した在庫管理アプリケーションのテンプレートです。※このテンプレートはバーコード生成が含まれていない環境では利用できません。
次へ

タスク管理
タスクの詳細、担当者、レビュー、ステータスを管理するアプリケーションを作成するテンプレートです。
次へ

スプレッドシート回覧ワークフロー
スプレッドシートを使用した回覧を行うワークフローのテンプレートです。※このテンプレートにはIM-Spreadsheetが含まれていない環境では利用できません。
次へ

顧客管理
顧客情報と担当者情報を合わせて簡単に管理するためのアプリケーションのテンプレートです。
次へ

社内FAQ管理
社内でよくある質問とその回答を簡単に管理するためのアプリケーションのテンプレートです。
次へ

休暇申請ワークフロー
ワークフローで休暇申請を承認し、承認されたメンバーの休暇予定を旨で共有できるアプリケーションのテンプレートです。
次へ

自己紹介
チームメンバーのプロフィールを載せて共有するアプリケーションのテンプレートです。
次へ

メール配信ワークフロー
事前に登録した宛先にメールを配信するアプリケーションのテンプレートです。配信前にワークフローによる承認を行います。
次へ

SharePoint回覧ワークフロー
周知事項などの文書を、ワークフローで対象者に回覧させるアプリケーションです。回覧した文書、添付ファイルを、SharePointに自動保存します。※このテンプレートは「外部システム連携機能・Office 365連携」が含まれていない環境では利用できません。
次へ

2. アプリケーションのIDや名称などの設定

「休暇申請ワークフロー」テンプレートを選択し、アプリケーション情報の設定画面が表示されたら、アプリケーションのIDや名称などを設定します。

設定した基本情報は、各処理や画面の名称、IDなどに利用されます。

The screenshot shows the 'Leave Application Workflow - New Application' screen. The left sidebar lists categories like Top, Workflow, IM-BIS, Tenant Management, BPM, and Sample. The main area has a header 'Application Information' with a note about creating an application. Below it is a section for 'Assignment Data Definition' with a red border around the input field. Other sections include 'Leave Application Name' and 'Description'.

3. データベースのテーブルに利用する名称の定義

次に、作成するアプリケーションで扱うデータベースのテーブルに利用する名称を定義します。

「休暇申請ワークフロー」テンプレートでは、既存のテーブルはご利用いただけません。

ここでは、3つのテーブルの名称を設定します。

- ユーザ情報テーブル名

休暇の申請内容を含めたユーザ情報を保持するテーブルです。

- 休暇日テーブル名

申請された休暇の日付データを保持するテーブルです。

- 休暇区分マスターテーブル名

申請時に選択する休暇区分（年休・午前休など）のマスターデータを保持するテーブルです。

The screenshot shows the 'Leave Application Workflow - New Application' screen. The left sidebar lists categories like Top, Workflow, IM-BIS, Tenant Management, BPM, and Sample. The main area has a header 'Assignment Data Definition' with a note about creating an application. Below it are three sections for defining tables: 'User Information Table' (highlighted with a red border), 'Leave Day Table', and 'Leave Category Master Table'. At the bottom is a section for 'Workflow Information Input'.



テーブル情報に標準で設定されている各項目の表示名は、多言語化対応が行われ、各画面に表示されます。

新規で追加した項目については、多言語化されずに標準ロケールにのみ設定されます。

4. ワークフロー情報の入力

作成するアプリケーションで扱うワークフローの利用開始日、処理対象者を指定します。

The screenshot shows the 'Application Creation' screen for '休暇申請ワークフロー - 新規作成'. The left sidebar has icons for Home, Application, Star, Help, and Print. The main area has tabs for 'Application Information' (selected), 'Definition of Request Data', 'Workflow Information Input', and 'Other Information Specification'. The 'Workflow Information Input' tab is active, showing fields for 'Start Date' (2024/03/22), 'Handler Setting' (checkbox checked), and 'IM-Workflow Material Setting' (checkbox checked). Below these are sections for 'Other Information Specification' and 'Application Creation'.

1. 利用開始日

ワークフローの利用が可能となる日付を指定します。この項目は必須です。

2. 処理対象者の設定

「処理対象者を指定する」を選択すると、申請対象者と承認対象者をユーザまたはロールで指定できます。

セレクトボックスから「ユーザ」または「ロール」を選択し、「追加」から任意の処理対象者を指定します。

The screenshot shows the same 'Application Creation' screen as before, but with the 'Handler Setting' checkbox in the 'Handler Setting' section highlighted with a red box. The rest of the interface is identical to the first screenshot.

i コラム

申請対象者に指定されたユーザまたはロールを所持したユーザのワークフロー「申請一覧」画面に作成されたワークフローが表示されます。

アプリケーション作成時に処理対象者を指定していない場合、作成されたワークフローはどのユーザの「申請一覧」画面にも表示されません。

「申請一覧」画面は、「サイトマップ」→「ワークフロー」→「一覧」→「申請一覧」から遷移できます。

「申請一覧」画面については、「IM-Workflow ユーザ操作ガイド」 - 「申請一覧」をご確認ください。

3. IM-Workflow 資材の設定

ワークフローのコンテンツ定義、ルート定義、フロー定義の各IDを手動で入力する場合に利用します。

5. その他情報の指定

作成されるアプリケーションに利用されるリソースのIDやルーティング情報を手動で決定できます。

チェックを入れないことを推奨します。

6. アプリケーション作成開始

アプリケーションの基本情報と、テーブル名を入力したら「アプリケーション作成」ボタンをクリックしてください。

入力項目に不備が無ければ自動でアプリケーションの作成ができます。

アプリケーション作成

7. アプリケーション作成結果

アプリケーション作成が完了すると、ステータスが「COMPLETE」と表示されます。

テンプレートビルトジョブ - 詳細					
ビルトジョブID	8gq1bgcyjzipjh	テンプレート名	休暇申請ワークフロー		
ステータス	COMPLETE	作成者ユーザコード	tenant		
作成日時	2023/03/03 10:50:50				
出力日時	メッセージ				
2023/03/03 10:50:51	生成するリソースのIDを自動設定します。				
2023/03/03 10:50:51	生成する IM-Workflow リソースのIDを自動設定します。				
2023/03/03 10:50:52	一時ディレクトリに IM-LogicDesigner インポート資材を作成しました。				
2023/03/03 10:50:52	一時ディレクトリに IM-BloomMaker インポート資材を作成しました。				
2023/03/03 10:50:52	一時ディレクトリに IM-Workflow インポート資材を作成しました。				
2023/03/03 10:50:52	アプリケーションで利用するツールを軽量化しました。				
2023/03/03 10:50:52	CREATE TABLE "holiday_request_sample_user" ("user_data_id" VARCHAR(100), "user_cd" VARCHAR(100), "holiday_class" VARCHAR(100), "holiday_reason" VARCHAR(1000), "holiday_color" VARCHAR(100), "is_approved" INTEGER, "create_date" TIMESTAMP, "update_date" TIMESTAMP, PRIMARY KEY ("user_data_id")); CREATE TABLE "holiday_request_sample_day" ("user_data_id" VARCHAR(100), "holiday_date_id" VARCHAR(100), "holiday_date" TIMESTAMP, "is_deleted" INTEGER, "delete_reason" VARCHAR(1000), "delete_date" TIMESTAMP, "create_date" TIMESTAMP, "create_user" VARCHAR(100), "update_date" TIMESTAMP, "update_user" VARCHAR(100), PRIMARY KEY ("user_data_id", "holiday_date_id")); CREATE TABLE "holiday_request_sample_master" ("holiday_class" VARCHAR(100), "holiday_class_name" VARCHAR(100) NOT NULL, PRIMARY KEY ("holiday_class"))				
2023/03/03 10:50:52	アプリケーションで利用する休暇区分情報を初期登録しました。休暇区分情報をメンテナンスする場合は「マスタメンテナンス」テンプレートでテーブル名に「holiday_request_sample_master」を指定してアプリケーションを作成してください。				
2023/03/03 10:50:52	INSERT INTO "holiday_request_sample_master"("holiday_class", "holiday_class_name")VALUES ('absent_am', '午前休'); INSERT INTO "holiday_request_sample_master"("holiday_class", "holiday_class_name")VALUES ('absent_pm', '午後休')				
2023/03/03 10:50:52	自動生成された IM-LogicDesigner 資材をインポートしました。				
2023/03/03 10:50:58	自動生成された IM-BloomMaker 資材をインポートしました。				
2023/03/03 10:50:59	自動生成された IM-Workflow 資材をインポートしました。				
2023/03/03 10:50:59	作成された「休暇一覧画面」へはこちらの詳細アイコンから遷移できます。				
2023/03/03 10:50:59	申請権限のあるユーザーの「申請一覧」にリンクが追加されました。「申請一覧」へはこちらの詳細アイコンから遷移できます。				
2023/03/03 10:51:00	アプリケーションの作成が完了しました。				
2023/03/03 10:51:00	アプリケーション認可設定で テナント管理者 Accel Studio 管理者 にアクセス許可が設定されました。				



コラム

作成したアプリケーションは、初期設定では「テナント管理者」または「Accel Studio管理者」ロールを持ったユーザのみ利用できます。

任意のユーザに対して、利用を許可したい場合の設定方法は、「[Accel Studio アプリケーション管理機能仕様書](#)」 - 「[Accel Studio アプリケーション認可設定](#)」をご確認ください。

アプリケーションのアクセス手順

作成したアプリケーションへアクセスする方法をご紹介します。

「休暇申請ワークフロー」テンプレートから作成されるアプリケーションは、「休暇一覧画面」を起点として操作することを想定しています。

以下では「休暇一覧画面」へのアクセス手順について説明します。

- 「テンプレートビルトジョブ - 詳細」画面から遷移する
- 画面のURLを取得する



コラム

「休暇申請ワークフロー」テンプレートから作成されたワークフローは、アプリケーション作成時に指定した処理対象者の「申請一覧」画面に表示されます。

「申請一覧」画面は、「サイトマップ」→「ワークフロー」→「一覧」→「申請一覧」から遷移できます。

ワークフローのフロー名は、アプリケーション名と同様の文字列で作成されます。

「申請一覧」画面については、「[IM-Workflow ユーザ操作ガイド](#)」 - 「[申請一覧](#)」をご確認ください。

「テンプレートビルトジョブ - 詳細」画面から遷移する

「テンプレートビルトジョブ - 詳細」画面はアプリケーション作成完了後に表示されます。

「テンプレートビルトジョブ - 詳細」画面のステータスが「COMPLETE」と表示されたら、「作成された「休暇一覧画面」へはこちらの詳細アイコンから遷移できます。」の欄にある をクリックしてください。

アプリケーション作成
テンプレートビルトショップ・詳細

ビルトショットID	8gq1bgcyjipj9h	テンプレート名	休暇申請ワークフロー
ステータス	COMPLETE	作成者ユーザコード	tenant
作成日時	2023/03/03 10:50:50		
出力日時	メッセージ	詳細	
2023/03/03 10:50:51	生成するリソースのIDを自動設定します。		
2023/03/03 10:50:51	生成するIM-WorkflowリソースのIDを自動設定します。		
2023/03/03 10:50:52	一時ディレクトリにIM-LogicDesignerインポート資材を作成しました。		
2023/03/03 10:50:52	一時ディレクトリにIM-BloomMakerインポート資材を作成しました。		
2023/03/03 10:50:52	一時ディレクトリにIM-Workflowインポート資材を作成しました。		
2023/03/03 10:50:52	アプリケーションで利用するテーブルを新規作成しました。		
2023/03/03 10:50:52	CREATE TABLE "holiday_request_sample_user" ("user_data_id" VARCHAR(100), "user_cd" VARCHAR(100), "holiday_class" VARCHAR(100), "holiday_reason" VARCHAR(1000), "holiday_color" VARCHAR(100), "is_approved" INTEGER, "create_user" VARCHAR(100), "create_date" TIMESTAMP, "update_user" VARCHAR(100), "update_date" TIMESTAMP, PRIMARY KEY ("user_data_id")); CREATE TABLE "holiday_request_sample_day" ("user_data_id" VARCHAR(100), "holiday_date_id" VARCHAR(100), "holiday_date" TIMESTAMP, "is_deleted" INTEGER, "delete_reason" VARCHAR(1000), "delete_date" TIMESTAMP, "create_date" TIMESTAMP, "create_user" VARCHAR(100), "update_date" TIMESTAMP, "update_user" VARCHAR(100), PRIMARY KEY ("user_data_id", "holiday_date_id")); CREATE TABLE "holiday_request_sample_master" ("holiday_class" VARCHAR(100), "holiday_class_name" VARCHAR(100) NOT NULL, PRIMARY KEY ("holiday_class"))		
2023/03/03 10:50:52	アプリケーションで利用する休暇区分情報を初期登録しました。休暇区分情報をメンテナンスする場合は「マスターメンテナンス」テンプレートでテーブル名に「holiday_request_sample_master」を指定してアプリケーションを作成してください。		
2023/03/03 10:50:52	INSERT INTO "holiday_request_sample_master"("holiday_class", "holiday_class_name")VALUES ('yearly_leave' '年休'); INSERT INTO "holiday_request_sample_master"("holiday_class", "holiday_class_name")VALUES ('absent_am', '午前休');		
2023/03/03 10:50:52	自動生成されたIM-LogicDesigner資材をインポートしました。		
2023/03/03 10:50:58	自動生成されたIM-BloomMaker資材をインポートしました。		
2023/03/03 10:50:59	自動生成されたIM-Workflow資材をインポートしました。		
2023/03/03 10:50:59	作成された「休暇一覧画面」へはこちらの詳細アイコンから遷移できます。		
2023/03/03 10:50:59	申請権限のあるユーザの「申請一覧」にマークが追加されました。「申請一覧」へはこちらの詳細アイコンから遷移できます。		
2023/03/03 10:51:00	アプリケーションの作成が完了しました。		
2023/03/03 10:51:00	アプリケーション認可設定でテナント管理者Accel Studio管理者にアクセス許可が設定されました。		

i コラム

「テンプレートビルトショット - 詳細」画面は、「サイトマップ」→「Accel Studio」→「アプリケーション作成」→「テンプレートビルトショット」に遷移し、作成したアプリケーションの「詳細」をクリックすることで表示できます。

画面のURLを取得する

「休暇申請ワークフロー」テンプレートから作成したアプリケーションは「休暇申請ワークフロー画面」「休暇一覧画面」のそれぞれに画面URLが定義されています。

「サイトマップ」→「Accel Studio」→「アプリケーション一覧」で、「自動生成されたアプリケーション」カテゴリを選択します。作成したアプリケーションを選択し、遷移したいカードにマークをください。

表示されたURLアイコンをクリックすることで、URLがクリップボードにコピーされます。

アプリケーション管理
休暇申請ワークフロー - 詳細

ALL	画面	公開URL	ロジック	ワークフロー	データ定義		リソースを追加	
検索オプション							表示操作	リソース種別
<div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px;"> 画面コンテンツ (ID: im-bloommaker://contents/vacation_request_workflow-holiday-list) 休暇申請ワークフロー 休暇一覧画面 「休暇申請ワークフロー」テンプレートから作成された休暇一覧画面のコンテンツです。 tenant 0時間前 </div> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 画面コンテンツ (ID: im-bloommaker://contents/vacation_request_workflow-holiday-wf) 休暇申請ワークフロー 休暇申請WF画面 「休暇申請ワークフロー」テンプレートから作成された休暇申請WF画面のコンテンツです。 tenant 0時間前 </div> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 画面URL (ID: im-bloommaker://routes/vacation_request_workflow-holiday-list) 休暇申請ワークフロー 休暇一覧画面 「休暇申請ワークフロー」テンプレートから作成された休暇一覧画面のルーティング定義です。 tenant 0時間前 </div> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 画面URL (ID: im-bloommaker://routes/vacation_request_workflow-holiday-wf) 休暇申請ワークフロー 休暇申請WF画面 「休暇申請ワークフロー」テンプレートから作成された休暇申請WF画面のルーティング定義です。 tenant 0時間前 </div> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; margin-top: 10px;"> APIのURL (ID: im-logic://routes/accel-studio-app/vacation_request_workflow/list/user/GET) GET accel-studio-app/vacation_request_workflow/list/user tenant 0時間前 </div> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; margin-top: 10px;"> APIのURL (ID: im-logic://routes/accel-studio-app/vacation_request_workflow/list/weekly/GET) GET accel-studio-app/vacation_request_workflow/list/weekly tenant 0時間前 </div> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; margin-top: 10px;"> APIのURL (ID: im-logic://routes/accel-studio-app/vacation_request_workflow/refer/GET) tenant 0時間前 </div>								

i コラム

取得したURLは、初期設定では「テナント管理者」または「Accel Studio管理者」ロールを持ったユーザのみアクセス可能です。

任意のユーザに対して、利用を許可したい場合の設定方法は、「[Accel Studio アプリケーション管理機能 仕様書](#)」 - 「[Accel Studio アプリケーション認可設定](#)」をご確認ください。

i コラム

作成したアプリケーションをグローバルメニューに追加したい場合は、グローバルナビ設定をご利用ください。

グローバルナビの設定方法は、「[ファーストステップガイド](#)」 - 「[管理者が一般ユーザ向けのメニューを作成する](#)」をご確認ください。

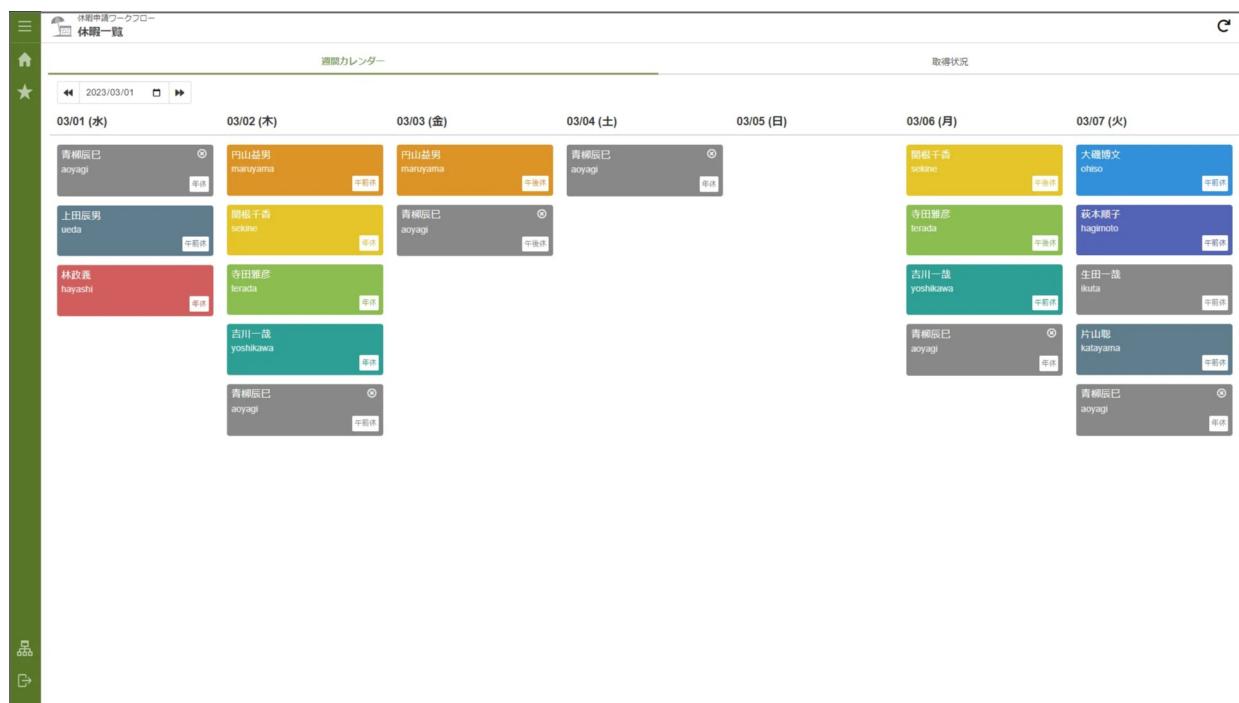
アプリケーションの画面イメージと操作方法

「休暇申請ワークフロー」テンプレートから作成されるアプリケーションは、「休暇一覧画面」を起点として操作することを想定しています。

休暇日をワークフローから申請し、承認されると、「[休暇一覧画面](#)」の対象日に申請者の休暇日カードが表示されます。

休暇一覧画面

「休暇一覧画面」では、「週間カレンダー」タブをクリックすることで週単位の休暇一覧表示に、「取得状況」タブをクリックすることでユーザごとの休暇一覧表示に切り替えることができます。



「週間カレンダー」タブでは、ワークフローで申請した休暇日が週単位で表示されます。

2023/03/01 ◀ ▶ 2023/03/07

03/01 (水)	03/02 (木)	03/03 (金)	03/04 (土)	03/05 (日)	03/06 (月)	03/07 (火)
青柳辰巳 aoyagi 午前休	内山益男 maruyama 午前休	内山益男 maruyama 午前休	青柳辰巳 aoyagi 午前休	青柳辰巳 aoyagi 午前休	青柳千香 sekine 午前休	大磯博文 ohiso 午前休
上田辰男 ueda 午前休	関根千香 sekine 午前休	青柳辰巳 aoyagi 午前休			寺田雅彦 terada 午前休	萩本禎子 hagimoto 午前休
林政義 hayashi 午前休	寺田雅彦 terada 午前休				吉川一哉 yoshikawa 午前休	生田一哉 ikuta 午前休
	吉川一哉 yoshikawa 午前休				青柳辰巳 aoyagi 午前休	片山聰 katayama 午前休
	青柳辰巳 aoyagi 午前休				青柳辰巳 aoyagi 午前休	青柳辰巳 aoyagi 午前休

休暇日カードをクリックすることで、選択した休暇日カードの詳細情報を閲覧できます。

2023/03/01 ◀ ▶ 2023/03/07

03/01 (水)	03/02 (木)	03/03 (金)	03/04 (土)	03/05 (日)	03/06 (月)	03/07 (火)
青柳辰巳 aoyagi 午前休	内山益男 maruyama 午前休	内山益男 maruyama 午前休	青柳辰巳 aoyagi 午前休	青柳辰巳 aoyagi 午前休	青柳千香 sekine 午前休	大磯博文 ohiso 午前休
上田辰男 ueda 午前休	関根千香 sekine 午前休	青柳辰巳 aoyagi 午前休			寺田雅彦 terada 午前休	萩本禎子 hagimoto 午前休
林政義 hayashi 午前休	寺田雅彦 terada 午前休				吉川一哉 yoshikawa 午前休	生田一哉 ikuta 午前休
	吉川一哉 yoshikawa 午前休				青柳辰巳 aoyagi 午前休	片山聰 katayama 午前休
	青柳辰巳 aoyagi 午前休				青柳辰巳 aoyagi 午前休	青柳辰巳 aoyagi 午前休

The screenshot shows a leave application interface. A central modal window titled "休暇情報 - 詳細" (Leave Information - Details) is displayed over a weekly calendar grid. The modal contains fields for "ユース名" (User Name), "日付" (Date), "休暇区分" (Leave Type), and "理由" (Reason). The reason field contains the text "私用のため、年休を取得します。" (For personal use, I will take annual leave).

03/01 (水)	03/02 (木)	03/03 (金)	03/04 (土)	03/05 (日)	03/06 (月)	03/07 (火)
青柳辰巳 aoyagi <small>年休</small>	円山益男 maruyama <small>午前休</small>	関根千香 sekine <small>午後休</small>	内山益男 maruyama <small>午後休</small>	青柳辰巳 (aoyagi) <small>年休</small>	関根千香 sekine <small>午後休</small>	大嶋博文 ohiso <small>午前休</small>
上田辰男 ueda <small>午前休</small>	関根千香 sekine <small>午後休</small>	寺田雅彦 terada <small>午前休</small>	寺田雅彦 terada <small>午後休</small>	寺田雅彦 terada <small>午後休</small>	萩本禎子 hagimoto <small>午前休</small>	吉川一哉 yoshikawa <small>午前休</small>
林政義 hayashi <small>年休</small>	吉川一哉 yoshikawa <small>午前休</small>	寺田雅彦 terada <small>午前休</small>	吉川一哉 yoshikawa <small>午前休</small>	吉川一哉 yoshikawa <small>午前休</small>	生田一哉 ikuta <small>午前休</small>	片山聰 katayama <small>午前休</small>
青柳辰巳 aoyagi <small>午前休</small>	青柳辰巳 aoyagi <small>午前休</small>	青柳辰巳 aoyagi <small>午前休</small>	青柳辰巳 aoyagi <small>午前休</small>	青柳辰巳 aoyagi <small>午前休</small>	片山聰 katayama <small>午前休</small>	青柳辰巳 aoyagi <small>午休</small>

また、休暇日カードの右上の×ボタンをクリックすることで、休暇日を取り下げられます。

The screenshot shows the same leave application interface as the previous one, but with a difference. The leave entry for "青柳辰巳 (aoyagi)" on March 4th has been deleted. The card is now empty and has a red box drawn around its top-right corner, where the close button was located.

03/01 (水)	03/02 (木)	03/03 (金)	03/04 (土)	03/05 (日)	03/06 (月)	03/07 (火)
青柳辰巳 aoyagi <small>年休</small>	円山益男 maruyama <small>午前休</small>	内山益男 maruyama <small>午後休</small>	内山益男 maruyama <small>午後休</small>	青柳辰巳 (aoyagi) <small>年休</small>	関根千香 sekine <small>午後休</small>	大嶋博文 ohiso <small>午前休</small>
上田辰男 ueda <small>午前休</small>	関根千香 sekine <small>午後休</small>	寺田雅彦 terada <small>午前休</small>	寺田雅彦 terada <small>午後休</small>	寺田雅彦 terada <small>午後休</small>	萩本禎子 hagimoto <small>午前休</small>	吉川一哉 yoshikawa <small>午前休</small>
林政義 hayashi <small>年休</small>	吉川一哉 yoshikawa <small>午前休</small>	寺田雅彦 terada <small>午前休</small>	吉川一哉 yoshikawa <small>午前休</small>	吉川一哉 yoshikawa <small>午前休</small>	生田一哉 ikuta <small>午前休</small>	片山聰 katayama <small>午前休</small>
青柳辰巳 aoyagi <small>午前休</small>	青柳辰巳 aoyagi <small>午前休</small>	青柳辰巳 aoyagi <small>午前休</small>	青柳辰巳 aoyagi <small>午前休</small>	青柳辰巳 aoyagi <small>午前休</small>	片山聰 katayama <small>午前休</small>	青柳辰巳 aoyagi <small>午休</small>

The screenshot shows a leave application interface. On the left, there's a calendar view for March 1st to 7th, 2023. A modal window titled "休暇情報 - 取り下げ" (Leave Information - Take Off) is open. It contains fields for "ユーザ名" (User Name), "対象日" (Target Date), "休暇区分" (Leave Type), "年休" (Annual Leave), "理由" (Reason), and "取り下げ理由" (Reason for Cancellation). Buttons for "キャンセル" (Cancel) and "取り下げる" (Cancel) are at the bottom. The background calendar shows various users taking different types of leave.

「取得状況」タブでは、ユーザごとの休暇取得一覧が表示されます。

検索条件で「ユーザ名」や「開始日」「終了日」を指定することで、特定の条件の休暇取得一覧も閲覧できます。

The screenshot shows a search results page for leave applications. On the left, a table lists leave entries with columns for "休暇日" (Leave Date), "休暇区分" (Leave Type), and "理由" (Reason). On the right, there's a search form with fields for "ユーザ名" (User Name), "開始日" (Start Date), "終了日" (End Date), and a checkbox for "取り下された休暇予定を含める" (Include canceled leave scheduled). Below the search form are buttons for "検索" (Search) and "クリア" (Clear). The search results table has a total of 213 entries. At the bottom, there are navigation buttons for "前へ" (Previous), page numbers 1 through 5, and "次へ" (Next).

また、「取り下された休暇予定を含める」にチェックをして検索すると、取り下された休假日が表示されます。

取り下げる休暇日の右端のアイコンをクリックすると、選択した休暇日の詳細を閲覧できます。

This screenshot shows the 'Leave Application Workflow' template in Accel Studio. The main window displays a leave application form with fields for 'User Name' (青柳辰巳), 'Start Date' (2022/04/01), 'End Date' (2023/03/31), and a checkbox for 'Include withdrawn applications'. Below this is a large text area for 'Reason' containing the text '私用のため、年休を取得します。' (For personal use, I will take a vacation). To the left is a search results table for leave applications, and to the right is a sidebar with a calendar.

休暇申請ワークフロー画面

「休暇申請ワークフロー」テンプレートから作成されるワークフローの申請画面について説明します。

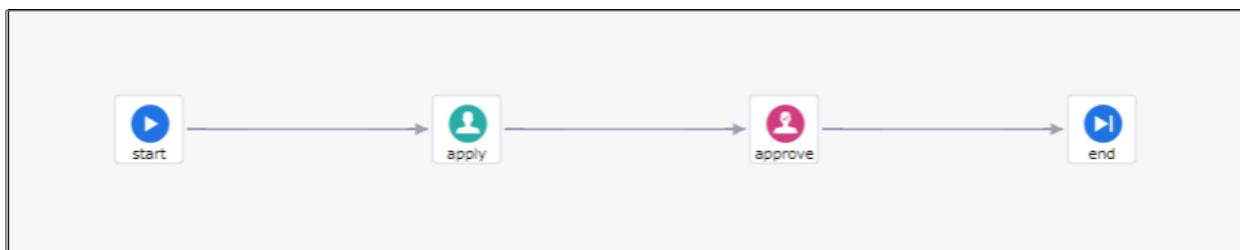
アプリケーション名と同様のフローネームで作成されたワークフローは、「申請一覧」画面から申請できます。

「申請一覧」画面は、「サイトマップ」→「ワークフロー」→「一覧」→「申請一覧」から遷移できます。

This screenshot shows the 'Leave Application Workflow' template in Accel Studio. It's a form-based application for leave requests. Key fields include 'Recipient' (青柳辰巳), 'Leave Application Date' (2022/04/01), 'Leave Type' (年休), and a large 'Reason' text area. There are also color-coded boxes for leave application status and a preview section showing the application details. At the bottom are 'Submit' and 'Save Draft' buttons.

「休暇申請ワークフロー」テンプレートから作成されるフローは「申請」と「承認」が用意されています。

ワークフローを「承認」すると休暇日カードが作成され、「[休暇一覧画面](#)」に表示されます。



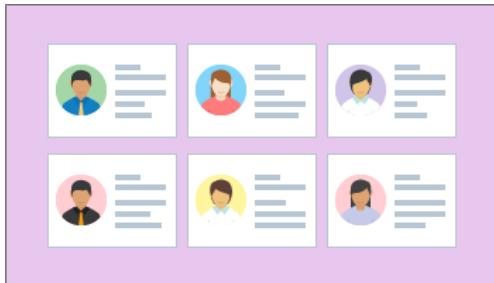
自己紹介

このページでは「自己紹介」テンプレートの概要、アプリケーション作成手順、画面イメージ、操作方法と活用例について解説します。

目次

- 「自己紹介」テンプレートとは
- 「自己紹介」テンプレートの利用方法
 - アプリケーションの作成手順
 - アプリケーションのアクセス手順
 - アプリケーションの画面イメージと操作方法
 - テンプレートの活用例

「自己紹介」テンプレートとは



「自己紹介」テンプレートは、チームメンバーのプロフィールを共有できるアプリケーションです。共通マスターに登録された所属組織や連絡先などを参照するほか、自己紹介文を登録・編集・参照できます。

サンプル課1 1 青柳辰巳 アオヤチ タツミ	サンプル課1 2 関根千香 セキネ チカ	サンプル課2 2 上田辰男 ウエダ タツオ
2022年度に入社しました青柳辰巳です。 よろしくお願ひいたします。 更新日時 2023/01/05 13:27	2021年度入社の関根千香です。 ぜひ仲良しくしてください。 更新日時 2023/01/05 13:22	2018年に入社しました。 サッカーが好きです。 更新日時 2023/01/05 13:19
サンプル課2 1 林政義 ハヤシ マサヨシ	サンプル課1 2 萩本順子 ハギモト シュンコ	サンプル部門0 1 円山益男 マルヤマ マスオ
大学では経済学を専攻していました。 ぜひ仲良しくしてください。 更新日時 2023/01/05 13:16	2019年に入社しました。 現在はサンプル課1 2に所属しています。 更新日時 2023/01/05 13:14	映画鑑賞が好きです。 お気軽にお声がけください。 更新日時 2023/01/05 13:11

コラム

「自己紹介」テンプレートは2022 Spring(Eustoma)から利用できます。

「自己紹介」テンプレートの利用方法

「自己紹介」テンプレートを利用したアプリケーションの作成手順と「自己紹介」アプリケーションの操作方法をご紹介します。

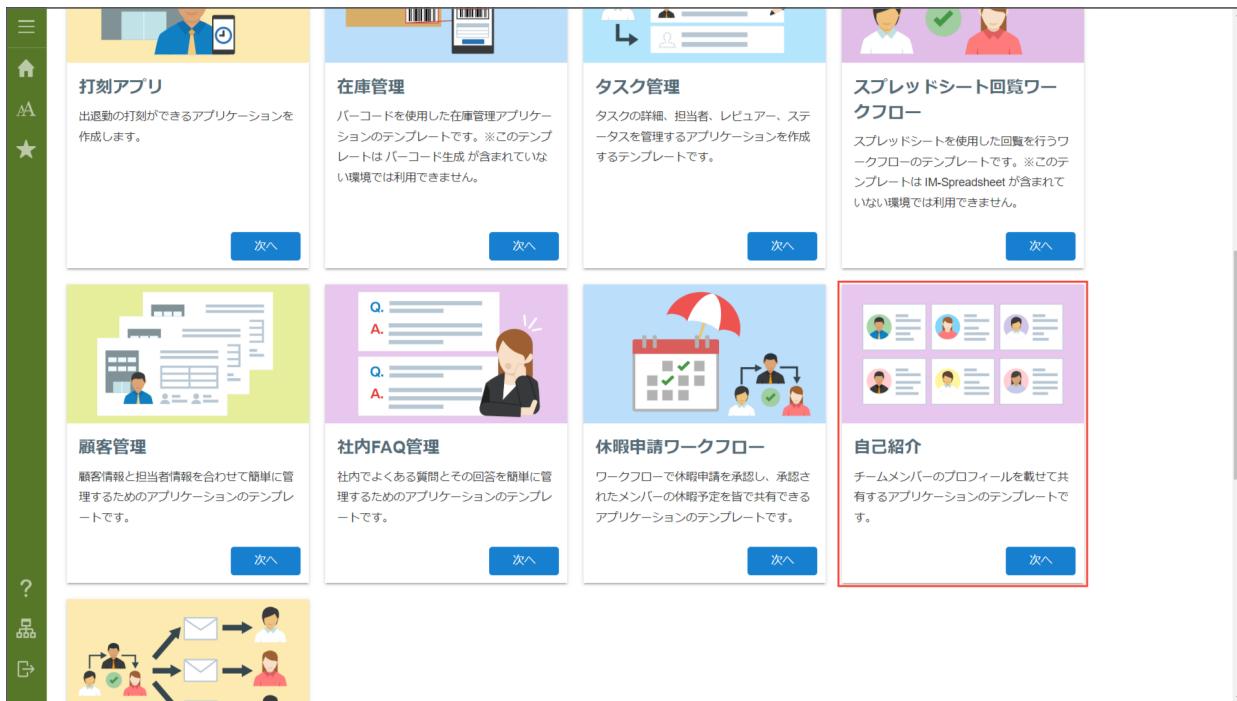
アプリケーションの作成手順

「自己紹介」テンプレートを利用してアプリケーションを作成する手順についてご紹介します。

1. アプリケーション作成画面への遷移

Accel Studioの「業務テンプレート一覧」から「自己紹介」テンプレートを選択します。

Accel Studioの「業務テンプレート一覧」は、「サイトマップ」→「Accel Studio」→「業務テンプレート一覧」から遷移できます。



2. アプリケーションのIDや名称などの設定

「自己紹介」テンプレートを選択し、アプリケーション情報の設定画面が表示されたら、アプリケーションのIDや名称などを設定します。設定した基本情報は、各処理や画面の名称、IDなどに利用されます。

The form has several sections:

- アプリケーション情報** (Application Information):
 - 説明: 「作成する資料をまとめて1つのアプリケーションとして登録します。作成するアプリケーション情報を入力してください。」
 - アプリケーションID*: 半角英数字、- (ハイphen)、_ (アンダースコア)で入力してください。
 - アプリケーション名*: (必填)
 - 説明 (オプション): (オプション)
- 扱うデータの定義** (Data Definition):
 - 説明: 「作成するアプリケーションで扱うデータを指定します。」
 - テーブル生成の設定:
 - テーブルを自動生成する
 - 自己紹介テーブル名*: ヘルプアイコンから入力規則を確認できます。
 - 自己紹介テーブル情報*:
 - + 追加
 - 既存名: _____
 - データ型: _____
 - 表示形式: _____

3. データベースのテーブルに利用する名称の定義

次に、作成するアプリケーションで扱うデータベースのテーブルに利用する名称を定義します。

ここでは、自己紹介カードの情報を保持するテーブルの名称を設定します。

なお、「自己紹介」テンプレートでは、既存のテーブルはご利用いただけません。

任意でテーブルにカラムを追加し、自己紹介カードの情報を追加できます。追加したカラムは自己紹介カードの情報として「編集画面」から編集できます。

The screenshot shows the 'Template Definition' section of the application creation interface. It includes fields for 'Template Name' (highlighted with a red box), 'Table Generation Settings' (checkbox for automatic generation), and a table for defining application tables. The table has columns for 'Physical Name', 'Display Name', 'Data Type', 'Format', and 'Primary Key'. A red box highlights the table definition area.



コラム

テーブル情報に標準で設定されている各項目の表示名は、多言語化対応が行われ、各画面に表示されます。
新規で追加した項目については、多言語化されずに標準ロケールにのみ設定されます。

4. その他情報の指定

作成されるアプリケーションに利用されるリソースのIDやルーティング情報を手動で決定できます。
チェックを入れないことを推奨します。

5. アプリケーション作成開始

アプリケーションの基本情報と、テーブル名を入力したら「アプリケーション作成」ボタンをクリックしてください。
入力項目に不備が無ければ自動でアプリケーションの作成ができます。

アプリケーション作成

6. アプリケーション作成結果

アプリケーション作成が完了すると、ステータスが「COMPLETE」と表示されます。

The screenshot shows the 'Build Job Details' screen. It displays the build job ID, template name, and status (COMPLETE). Below this, a log table shows the execution details, including the output time, message, and logs from the build process. The status 'COMPLETE' is highlighted with a red box.



コラム

作成したアプリケーションは、初期設定では「テナント管理者」または「Accel Studio管理者」ロールを持ったユーザのみ利用できます。

任意のユーザに対して、利用を許可したい場合の設定方法は、「[Accel Studio アプリケーション管理機能 仕様書](#)」 - 「[Accel Studio アプリケーション認可設定](#)」をご確認ください。

アプリケーションのアクセス手順

作成したアプリケーションへアクセスする方法をご紹介します。

「自己紹介」テンプレートから作成されるアプリケーションは、「一覧画面」を起点として操作することを想定しています。

以下では「一覧画面」へのアクセス手順について説明します。

- 「テンプレートビルトジョブ - 詳細」画面から遷移する
- [画面のURLを取得する](#)

「テンプレートビルトジョブ - 詳細」画面から遷移する

「テンプレートビルトジョブ - 詳細」画面はアプリケーション作成完了後に表示されます。

「テンプレートビルトジョブ - 詳細」画面のステータスが「COMPLETE」と表示されたら、「作成された「自己紹介一覧画面」へはこちらの詳細アイコンから遷移できます。」の欄にある[]をクリックしてください。

ビルトジョブID	8gnrx47ers60bc	テンプレート名	自己紹介
ステータス	COMPLETE	作成者ユーザコード	tenant
作成日時	2023/01/05 11:40:08		

出力日時	メッセージ	詳細
2023/01/05 11:40:09	生成するリソースのIDを自動設定します。	[]
2023/01/05 11:40:09	一時ディレクトリに IM-LogicDesigner インポート資材を作成しました。	[]
2023/01/05 11:40:09	一時ディレクトリに IM-BloomMaker インポート資材を作成しました。	[]
2023/01/05 11:40:09	アプリケーションで利用するテーブルを新規作成しました。	[]
2023/01/05 11:40:09	CREATE TABLE "test" ("user_cd" VARCHAR(100), "self_introduction" VARCHAR(1000), "color" VARCHAR(100), "create_user_cd" VARCHAR(100), "create_date" TIMESTAMP, "record_user_cd" VARCHAR(100), "record_date" TIMESTAMP, PRIMARY KEY ("user_cd"))	[]
2023/01/05 11:40:10	自動生成された IM-LogicDesigner 資材をインポートしました。	[]
2023/01/05 11:40:11	自動生成された IM-BloomMaker 資材をインポートしました。	[]
2023/01/05 11:40:11	作成された「自己紹介一覧画面」へはこちらの詳細アイコンから遷移できます。	[]
2023/01/05 11:40:12	アプリケーションの作成が完了しました。	[]
2023/01/05 11:40:12	アプリケーション認可設定で テナント管理者, Accel Studio 管理者 にアクセス許可が設定されました。	[]



コラム

「テンプレートビルトジョブ - 詳細」画面は、「サイトマップ」→「Accel Studio」→「アプリケーション作成」→「テンプレートビルトジョブ」に遷移し、作成したアプリケーションの「詳細」をクリックすることで表示できます。

画面のURLを取得する

「自己紹介」テンプレートから作成したアプリケーションは「登録画面」「一覧画面」「詳細画面」「編集画面」のそれぞれに画面URLが定義されています。

「サイトマップ」→「Accel Studio」→「アプリケーション一覧」で、「自動生成されたアプリケーション」カテゴリを選択します。

作成したアプリケーションを選択し、遷移したいカードにホバーをしてください。

表示されたURLアイコンをクリックすることで、URLがクリップボードにコピーされます。

The screenshot shows the Accel Studio Application Management interface. The left sidebar has icons for Home, Application Management, and Help. The main header includes a back arrow, application management icon, and the title '自己紹介 - 詳細'. The top navigation bar has tabs for ALL, 画面 (Screens), 公開URL (Public URL), ロジック (Logic), ワークフロー (Workflow), and データ定義 (Data Definition). On the right are filter, search, and resource addition buttons. A search bar contains '検索オプション' (Search Options) and a help icon. Below are two dropdown menus: '表示操作' (Display Operations) and 'リソース種別' (Resource Type).

Resource Type	Name	Description	Last Modified
画面	自己紹介 登録・編集・詳細画面	「自己紹介」テンプレートから作成された登録・編集・詳細画面のコンテンツです。	tenant 0時間前
画面	自己紹介 一覧画面	「自己紹介」テンプレートから作成された一覧画面のコンテンツです。	tenant 0時間前
画面URL	自己紹介 編集画面	「自己紹介」テンプレートから作成された編集画面のルーティング定義です。	tenant 0時間前
画面URL	自己紹介 一覧画面	「自己紹介」テンプレートから作成された一覧画面のルーティング定義です。	tenant 0時間前
画面URL	自己紹介 詳細画面	「自己紹介」テンプレートから作成された詳細画面のルーティング定義です。	tenant 0時間前
画面URL	自己紹介 登録画面	「自己紹介」テンプレートから作成された登録画面のルーティング定義です。	tenant 0時間前



コラム

取得したURLは、初期設定では「テナント管理者」または「Accel Studio管理者」ロールを持ったユーザのみアクセス可能です。任意のユーザに対して、利用を許可したい場合の設定方法は、「[Accel Studio アプリケーション管理機能 仕様書](#)」 - 「[Accel Studio アプリケーション認可設定](#)」をご確認ください。



コラム

作成したアプリケーションをグローバルメニューに追加したい場合は、グローバルナビ設定をご利用ください。グローバルナビの設定方法は、「[ファーストステップガイド](#)」 - 「[管理者が一般ユーザ向けのメニューを作成する](#)」をご確認ください。

アプリケーションの画面イメージと操作方法

「自己紹介」テンプレートから作成されるアプリケーションは、「一覧画面」を起点として操作することを想定しています。

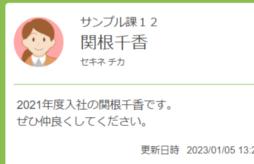
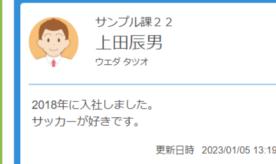
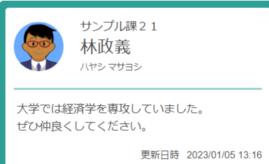
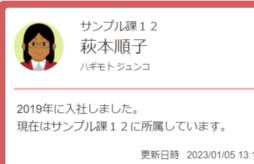
一覧画面

「一覧画面」では、各ユーザが登録した自己紹介カードを閲覧できます。

自己紹介
カード一覧

更新日時

自分のカードを編集

 サンプル課1 1 青柳辰巳 アオヤシ タツミ 2022年度に入社しました青柳辰巳です。 よろしくお願ひいたします。 更新日時 2023/01/05 13:27	 サンプル課1 2 関根千香 セキネ チカ 2021年度入社の関根千香です。 ぜひ仲良くしてください。 更新日時 2023/01/05 13:22	 サンプル課2 2 上田辰男 ウエダ タツオ 2018年に入社しました。 サッカーが好きです。 更新日時 2023/01/05 13:19
 サンプル課2 1 林政義 ハヤシ マサヨシ 大学では経済学を専攻していました。 ぜひ仲良くしてください。 更新日時 2023/01/05 13:16	 サンプル課1 2 萩本順子 ハギモト ジュンコ 2019年に入社しました。 現在はサンプル課1 2に所属しています。 更新日時 2023/01/05 13:14	 サンプル部門0 1 円山益男 マルヤマ マスオ 映画鑑賞が好きです。 お気軽にお声がけください。 更新日時 2023/01/05 13:11

ユーザ

所属部署
 主所属のみ対象とする
自己紹介文

 削除/無効ユーザを含めて表示

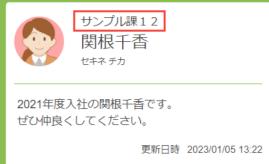
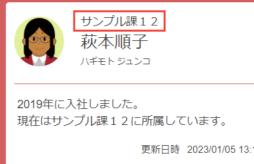
前へ 次へ 1 - 6 / 6

画面右側の絞り込み条件では、ユーザ、所属組織、自己紹介文から表示カードを絞り込みできます。
なお、アプリケーション作成時に任意で追加した項目での絞り込み機能は組み込まれていません。

自己紹介
カード一覧

更新日時

自分のカードを作成

 サンプル課1 2 関根千香 セキネ チカ 2021年度入社の関根千香です。 ぜひ仲良くしてください。 更新日時 2023/01/05 13:22	 サンプル課1 2 萩本順子 ハギモト ジュンコ 2019年に入社しました。 現在はサンプル課1 2に所属しています。 更新日時 2023/01/05 13:14
--	--

ユーザ

所属部署
 サンプル課1 2 主所属のみ対象とする
自己紹介文

 削除/無効ユーザを含めて表示

前へ 次へ 1 - 2 / 2

新規作成画面

「自分のカードを作成」ボタンから「新規作成画面」に遷移します。「新規作成画面」では、「自己紹介文」や「カードの色」の項目を設定できます。
アプリケーション作成時に追加した項目は、自己紹介文の下に表示されます。

自己紹介
カード一覧

更新日時

[+ 自己のカードを作成](#)



サンプル課 1
林政義
ハヤシ マサヨシ

大学では経済学を専攻していました。
趣味は読書と散歩です。

更新日時 2023/01/05 15:16



サンプル課 1 2
関根千香
セキネ チカ

2021年度入社の関根千香です。
ぜひ仲良くなれてください。

更新日時 2023/01/05 13:22



サンプル課 2 2
上田辰男
ウエダ タツオ

2018年に入社しました。
サッカーが好きです。

更新日時 2023/01/05 13:19



サンプル課 1 2
萩本順子
ハギモト シュンコ

2019年に入社しました。
現在はサンプル課 1 2に所属しています。

更新日時 2023/01/05 13:14



サンプル部門 0 1
円山益男
マルヤマ マスオ

映画鑑賞が好きです。
お気軽にお声がけください。

更新日時 2023/01/05 13:11

ユーザ

所属部署

主所属のみ対象とする

自己紹介文

削除/無効ユーザを含めて表示

前へ 1 次へ

1 - 5 / 5

← [自己紹介
カード - 新規作成](#)

青柳辰巳 (アオヤギ タツミ)
aoyagi

所属部署

サンプル課 1 1 主所属
サンプル課 2 1

メールアドレス

aoyagi@example.com

電話番号

000-0000-0000

内線番号

1234

自己紹介文

2022年度に入社しました青柳辰巳です。
よろしくお願いいたします。

生年月日
 2000/01/01

色

カードを作成後は「自分のカードを編集」ボタンに変わり、「編集画面」に遷移します。

自己紹介
カード一覧

更新日時

 サンプル課1 1 青柳辰巳 アオヤギ タツミ 2022年度に入社しました青柳辰巳です。 よろしくお願ひいたします。 更新日時 2023/01/05 15:18	 サンプル課1 2 林政義 ハヤシ マサヨシ 大学では経済学を専攻していました。 趣味は読書と散歩です。 更新日時 2023/01/05 15:16	 サンプル課1 2 関根千香 セキネ チカ 2021年度入社の関根千香です。 ぜひ仲良くしてください。 更新日時 2023/01/05 13:22
 サンプル課2 2 上田辰男 ウエダ タツオ 2018年に入社しました。 サッカーが好きです。 更新日時 2023/01/05 13:19	 サンプル課2 1 萩本順子 ハキモト シュンコ 2019年に入社しました。 現在はサンプル課1 2に所属しています。 更新日時 2023/01/05 13:14	 サンプル部門0 1 円山益男 マルヤマ マスオ 映画鑑賞が好きです。 お気軽にお声がけください。 更新日時 2023/01/05 13:11

ユーザ

所属部署

主所属のみ対象とする

自己紹介文

削除/無効ユーザを含めて表示

前へ 1 次へ

1 - 6 / 6

自己紹介
カード - 編集


青柳辰巳 (アオヤギ タツミ)
aoyagi
更新日時 : 2023/01/05 13:27

所属部署

サンプル課1 1 主所属
サンプル課2 1

メールアドレス

電話番号

内線番号

自己紹介文

生年月日

色

カード選択画面

自己紹介カードを選択すると、選択したユーザの「詳細画面」に遷移します。

自己紹介
カード - 詳細


関根千香 (セキネ チカ)
 sekine

更新日時 : 2023/01/05 13:22

所属部署

サンプル課 1 2 主所属

サンプル課 2 2

メールアドレス

sekine@example.com

電話番号

111-1111-1111

内線番号

5678

 自己紹介文

2021年度入社の関根千香です。
ぜひ仲良くしてください。

生年月日

1998/04/05

自身の自己紹介カードを選択した場合は「編集画面」に遷移します。

自己紹介
カード - 編集


青柳辰巳 (アオヤギ タツミ)
 aoyagi

更新日時 : 2023/01/05 13:27

所属部署

サンプル課 1 1 主所属

サンプル課 2 1

メールアドレス

aoyagi@example.com

電話番号

000-0000-0000

内線番号

1234

 自己紹介文

2022年度に入社しました青柳辰巳です。趣味はスポーツ観戦です。|
よろしくお騒がせいたします。

生年月日

2000/01/01

色

「自己紹介」テンプレートを活用したアプリケーションの例をご紹介します。

例：スキル管理アプリケーション

自己紹介欄に経験・スキルを記載することで、組織内の人材を検索できます。

特定の業務に詳しい人材とその連絡先を検索でき、コミュニケーションの活性化を促します。

The screenshot displays two main views of a skill management application.

Top View: Skill Card List

- Header:** カード一覧 (Card List)
- Search Bar:** 更新日時 (Last Update Date) and 検索 (Search) button.
- List:** Three cards representing profiles:
 - サンプル課 2 1 林政義**: 入社以来〇〇製品の販売を中心に行ってています。そのほかには△△製品。更新日時: 2023/01/05 15:02.
 - サンプル課 2 2 上田辰男**: 【経験】2018年に入社以来、〇〇製品の開発に携わっています。担当... 更新日時: 2023/01/05 15:01.
 - サンプル課 1 2 関根千香**: 2021年に入社しました。現在〇〇製品の開発を行っています。担当... 更新日時: 2023/01/05 15:00.
- Right Panel:** Search filters and search results.
 - ユーザ (User): フィールド (Field).
 - 所属部署 (Department): フィールド (Field).
 - 主所属のみ対象とする (Primary department only): チェックボックス.
 - 経験・スキル (Experience & Skills): フィールド (Field). This field has "〇〇製品" (Product A) selected, highlighted with a red border.
 - 削除/無効ユーザを含めて表示 (Include deleted/inactive users): チェックボックス.
 - 検索 (Search) and クリア (Clear) buttons.

Bottom View: Skill Card Detail View

- Header:** カード - 詳細 (Card - Details) with a back arrow.
- Profile:** 上田辰男 (ウエダ タツオ) ueda (Avatar).
- Information:** 更新日時: 2023/01/05 15:09.
- Section: 所属部署 (Department)**
 - サンプル課 2 2 (主所属) (Primary Department): サンプル課 1 2.
- Section: メールアドレス (Email Address)**: ueda@example.com
- Section: 電話番号 (Phone Number)**: 000-0000-0000
- Section: 内線番号 (Intranet Number)**: 1234
- Section: 経験・スキル (Experience & Skills)**
 - 経験 (Experience):** 2018年に入社以来、〇〇製品の開発に携わっています。特に△△機能に関しては注力して担当してきました。現在は××会社向けの××製品開発も行っています。
 - スキル (Skills):** Web開発に関する一般的な知識

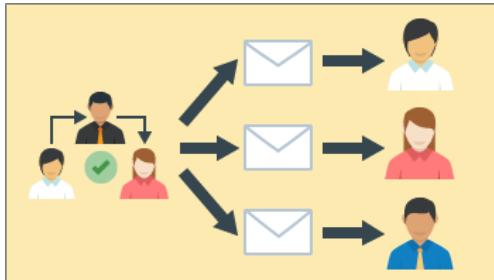
メール配信ワークフロー

このページでは「メール配信ワークフロー」テンプレートの概要、アプリケーション作成手順、画面イメージと操作方法について解説します。

目次

- 「メール配信ワークフロー」テンプレートとは
- 「メール配信ワークフロー」テンプレートの利用方法
 - アプリケーションの作成手順
 - アプリケーションのアクセス手順
 - アプリケーションの画面イメージと操作方法

「メール配信ワークフロー」テンプレートとは



「メール配信ワークフロー」テンプレートは、事前に登録した宛先や本文のテンプレートを利用してメールを配信できるアプリケーションです。メールの配信には、ワークフローの承認が必要です。

ワークフローの承認によるダブルチェックをすることで、メールの誤送信を防ぎます。



コラム

「メール配信ワークフロー」テンプレートは2022 Spring(Eustoma)から利用できます。

「メール配信ワークフロー」テンプレートの利用方法

「メール配信ワークフロー」テンプレートを利用したアプリケーションの作成手順と「メール配信ワークフロー」アプリケーションの操作方法をご紹介します。

アプリケーションの作成手順

「メール配信ワークフロー」テンプレートを利用してアプリケーションを作成する手順についてご紹介します。

1. アプリケーション作成画面への遷移

Accel Studioの「業務テンプレート一覧」から「メール配信ワークフロー」テンプレートを選択します。

Accel Studioの「業務テンプレート一覧」は、「サイトマップ」→「Accel Studio」→「業務テンプレート一覧」から遷移できます。



2. アプリケーションのIDや名称などの設定

「メール配信ワークフロー」テンプレートを選択し、アプリケーション情報の設定画面が表示されたら、アプリケーションのIDや名称などを設定します。

設定した基本情報は、各処理や画面の名称、IDなどに利用されます。

アプリケーション名*	メール配信ワークフロー
説明	周知事項などの文書を、ワークフローで対象者に回覧させるアプリケーションです。回覧した文書、添付ファイルを、SharePointに自動保存します。※このテンプレートは「外部システム連携機能・Office 365連携」が含まれていない環境では利用できません。
扱うデータの定義	<p>① 作成する資材をまとめて1つのアプリケーションとして登録します。 作成するアプリケーション情報を入力してください。</p> <p>アプリケーション名* (必填) 半角英数字、- (ハイフン) _ (アンダースコア) で入力してください。</p> <p>アプリケーション名* (必填)</p> <p>説明 (必填)</p> <p>② 作成するアプリケーションで扱うテーブル情報を申請画面情報を指定します。 宛先グループ情報、宛先グループ明細情報、テンプレート情報、配信情報、配信先明細情報を保持する5つのテーブルが必要です。 それぞれのテーブル名には異なるものを入力する必要があります。</p> <p>テーブル生成の設定 □ テーブルを自動生成する</p> <p>データベース種別 TENANT</p> <p>宛先グループテーブル名* (必填) ヘルプアイコンから入力規則を確認できます。</p>

3. データベースのテーブルに利用する名称の定義

次に、作成するアプリケーションで扱うデータベースのテーブルに利用する名称を定義します。

「メール配信ワークフロー」テンプレートでは、既存のテーブルはご利用いただけません。

ここでは、5つのテーブルの名称を設定します。

- 宛先グループテーブル名

メールを配信する宛先グループの情報を保持するテーブルです。

- 宛先グループ明細テーブル名

宛先グループに含まれる各宛先の明細情報を保持するテーブルです。

- 配信メール用テンプレートテーブル名

配信するメールのテンプレート情報を保持するテーブルです。

- 配信情報テーブル名

メールの配信情報を保持するテーブルです。

- 配信先明細テーブル名

メール配信時の各宛先の情報を保持するテーブルです。

① 作成するアプリケーションで使うワークフローの利用開始日と申請対象者、承認対象者を指定します。
また、利用されるIDを指定します。
指定した申請対象者に該当するユーザは、ワークフローの申請が可能になります。
指定した承認対象者に該当するユーザは、ワークフローの承認者になります。対象者のうち1名が承認した時点で案件は承認済となります。



コラム

テーブル情報に標準で設定されている各項目の表示名は、多言語化対応が行われ、各画面に表示されます。
新規で追加した項目については、多言語化されずに標準ロケールにのみ設定されます。

4. ワークフロー情報の入力

作成するアプリケーションで使うワークフローの利用開始日、処理対象者を指定します。

① 作成するアプリケーションで使うワークフローの利用開始日と申請対象者、承認対象者を指定します。
また、利用されるIDを指定します。
指定した申請対象者に該当するユーザは、ワークフローの申請が可能になります。
指定した承認対象者に該当するユーザは、ワークフローの承認者になります。対象者のうち1名が承認した時点で案件は承認済となります。

1. 利用開始日

ワークフローの利用が可能となる日付を指定します。この項目は必須です。

2. 処理対象者の設定

「処理対象者を指定する」を選択すると、申請対象者と承認対象者をユーザまたはロールで指定できます。
セレクトボックスから「ユーザ」または「ロール」を選択し、「追加」から任意の処理対象者を指定します。

The screenshot shows the 'Application Creation - Mail Workflow Template' screen in Accel Studio. It includes sections for application information, workflow details, and other settings. A note at the top right indicates that the application will be used to create a workflow template.



コラム

申請対象者に指定されたユーザまたはロールを所持したユーザのワークフロー「申請一覧」画面に作成されたワークフローが表示されます。
アプリケーション作成時に処理対象者を指定していない場合、作成されたワークフローはどのユーザの「申請一覧」画面にも表示されません。
「申請一覧」画面は、「サイトマップ」→「ワークフロー」→「一覧」→「申請一覧」から遷移できます。
「申請一覧」画面については、「IM-Workflow ユーザ操作ガイド」 - 「申請一覧」をご確認ください。

3. IM-Workflow資料の設定

ワークフローのコンテンツ定義、ルート定義、フロー定義の各IDを手動で入力する場合に利用します。

5. その他情報の指定

作成されるアプリケーションに利用されるリソースのIDやルーティング情報を手動で決定できます。
チェックを入れないことを推奨します。

6. アプリケーション作成開始

アプリケーションの基本情報と、テーブル名を入力したら「アプリケーション作成」ボタンをクリックしてください。
入力項目に不備が無ければ自動でアプリケーションの作成ができます。

アプリケーション作成

7. アプリケーション作成結果

アプリケーション作成が完了すると、ステータスが「COMPLETE」と表示されます。

アプリケーション作成
テンプレートビルトジョブ - 詳細

ビルトジョブID	8gpx7eb8e8nna9n	テンプレート名	メール配信ワークフロー
ステータス	COMPLETE	作成者ユーザコード	tenant
作成日時	2023/02/28 13:46:12		

出力日時 メッセージ

2023/02/28 13:46:15 生成するリソースのIDを自動設定しました。

2023/02/28 13:46:15 生成する IM-Workflow リソースのIDを自動設定しました。

2023/02/28 13:46:16 一時ディレクトリに IM-LogicDesigner インポート資材を作成しました。

2023/02/28 13:46:17 一時ディレクトリに IM-BloomMaker インポート資材を作成しました。

2023/02/28 13:46:17 一時ディレクトリに IM-Workflow インポート資材を作成しました。

2023/02/28 13:46:17 一時ディレクトリに IM-Workflow インポート資材を作成しました。

2023/02/28 13:46:17 アプリケーションで利用するテーブルを新規作成しました。

```
CREATE TABLE "email_delivery_sample_group" ("group_cd" VARCHAR(100), "group_name" VARCHAR(1000), "memo" VARCHAR(1000), "create_user_id" VARCHAR(100), "create_date" TIMESTAMP, "record_user_cd" VARCHAR(100), "record_date" TIMESTAMP, PRIMARY KEY ("group_cd")); CREATE TABLE "email_delivery_sample_group_d" ("address_id" VARCHAR(100), "group_cd" VARCHAR(100), "address_type" DECIMAL(10), "user_name" VARCHAR(1000), "small_address" VARCHAR(256), PRIMARY KEY ("address_id")); CREATE TABLE "email_delivery_sample_template" ("template_cd" VARCHAR(100), "template_name" VARCHAR(1000), "sender" VARCHAR(256), "subject" VARCHAR(1000), "mail_text" VARCHAR(1000), "create_user_id" VARCHAR(100), "create_date" TIMESTAMP, "record_user_cd" VARCHAR(100), "record_date" TIMESTAMP, PRIMARY KEY ("template_cd")); CREATE TABLE "email_delivery_sample_hist" ("user_data_id" VARCHAR(100), "group_cd" VARCHAR(100), "template_cd" VARCHAR(100), "sender" VARCHAR(256), "subject" VARCHAR(1000), "mail_text" VARCHAR(1000), "send_date" TIMESTAMP, PRIMARY KEY ("user_data_id")); CREATE TABLE "email_delivery_sample_his_d" ("user_data_id" VARCHAR(100), "address_type" DECIMAL(10), "user_name" VARCHAR(1000), "email_address" VARCHAR(256), PRIMARY KEY ("user_data_id"), "address_type");
```

2023/02/28 13:46:18 自動生成された IM-LogicDesigner 資材をインポートしました。

2023/02/28 13:46:33 自動生成された IM-BloomMaker 資材をインポートしました。

2023/02/28 13:46:33 自動生成された IM-Workflow 資材をインポートしました。

2023/02/28 13:46:33 作成された「宛先グループ一覧画面」へはこちらの詳細アイコンから遷移できます。宛先グループを作成すると配信申請が可能になります。

2023/02/28 13:46:33 申請権限のあるユーザの「申請一覧」にローが追加されました。「申請一覧」へはこちらの詳細アイコンから遷移できます。

2023/02/28 13:46:37 アプリケーションの作成が完了しました。

2023/02/28 13:46:37 アプリケーション認可設定で テナント管理者 Accel Studio 管理者 にアクセス許可が設定されました。



コラム

作成したアプリケーションは、初期設定では「テナント管理者」または「Accel Studio管理者」ロールを持ったユーザのみ利用できます。

任意のユーザに対して、利用を許可したい場合の設定方法は、「[Accel Studio アプリケーション管理機能 仕様書](#)」 - 「[Accel Studio アプリケーション認可設定](#)」をご確認ください。

アプリケーションのアクセス手順

作成したアプリケーションへアクセスする方法をご紹介します。

「メール配信ワークフロー」テンプレートから作成されるアプリケーションは、「宛先グループ一覧画面」を起点として操作することを想定しています。以下では「宛先グループ一覧画面」へのアクセス手順について説明します。

- 「テンプレートビルトジョブ - 詳細」画面から遷移する
- 画面のURLを取得する



コラム

「メール配信ワークフロー」テンプレートから作成されたワークフローは、アプリケーション作成時に指定した処理対象者の「申請一覧」画面に表示されます。

「申請一覧」画面は、「サイトマップ」→「ワークフロー」→「一覧」→「申請一覧」から遷移できます。

ワークフローのフロー名は、アプリケーション名と同様の文字列で作成されます。

「申請一覧」画面については、「[IM-Workflow ユーザ操作ガイド](#)」 - 「[申請一覧](#)」をご確認ください。

「テンプレートビルトジョブ - 詳細」画面から遷移する

「テンプレートビルトジョブ - 詳細」画面はアプリケーション作成完了後に表示されます。

「テンプレートビルトジョブ - 詳細」画面のステータスが「COMPLETE」と表示されたら、「作成された「宛先グループ一覧画面」へはこちらの詳細アイコンから遷移できます。」の欄にある をクリックしてください。

アプリケーション作成
テンプレートビルドジョブ・詳細

ビルドジョブID	8gpx7eb8e8hna9n	テンプレート名	メール配信ワークフロー
ステータス	COMPLETE	作成者ユーザコード	tenant
作成日時	2023/02/28 13:46:12		
出力日時 メッセージ 2023/02/28 13:46:15 生成するリソースのIDを自動設定します。 2023/02/28 13:46:15 生成するIM-WorkflowリソースのIDを自動設定します。 2023/02/28 13:46:16 一時ディレクトリにIM-LogicDesignerインポート資材を作成しました。 2023/02/28 13:46:17 一時ディレクトリにIM-BloomMakerインポート資材を作成しました。 2023/02/28 13:46:17 一時ディレクトリにIM-Workflowインポート資材を作成しました。 2023/02/28 13:46:17 アプリケーションで利用するテーブルを新規作成しました。 <pre>CREATE TABLE "email_delivery_sample_group" ("group_cd" VARCHAR(100), "group_name" VARCHAR(1000), "memo" VARCHAR(1000), "create_date" TIMESTAMP PRIMARY KEY ("group_cd")); CREATE TABLE "email_delivery_sample_group_d" ("address_id" VARCHAR(100), "group_cd" VARCHAR(100), "address_type" DECIMAL(10), "user_name" VARCHAR(1000), "user_data_id" VARCHAR(100), "user_data_type" DECIMAL(10), "send_date" DATE); CREATE TABLE "email_delivery_sample_template" ("template_cd" VARCHAR(100), "subject" VARCHAR(1000), "mail_text" VARCHAR(1000), "send_date" TIMESTAMP PRIMARY KEY ("user_data_id")); CREATE TABLE "email_delivery_sample_hs" ("user_data_id" VARCHAR(100), "group_cd" VARCHAR(100), "template_cd" VARCHAR(100), "sender" VARCHAR(256), "subject" VARCHAR(1000), "mail_text" VARCHAR(1000), "email_address" VARCHAR(256), PRIMARY KEY ("user_data_id", "address_type", "email_address"));</pre> 2023/02/28 13:46:18 自動生成されたIM-LogicDesigner資材をインポートしました。 2023/02/28 13:46:33 自動生成されたIM-BloomMaker資材をインポートしました。 2023/02/28 13:46:33 自動生成されたIM-Workflow資材をインポートしました。 2023/02/28 13:46:33 作成された「宛先グループ登録画面」へはこちらの詳細アイコンから遷移できます。発先グループを作成すると配信申請が可能になります。 2023/02/28 13:46:33 申請権限のあるユーザー、「申請一覧」にマークが追加されました。「申請一覧」へはこちらの詳細アイコンから遷移できます。 2023/02/28 13:46:37 アプリケーションの作成が完了しました。 2023/02/28 13:46:37 アプリケーション認可設定でテナント管理者Accel Studio管理者にアクセス許可が設定されました。			

i コラム

「テンプレートビルドジョブ - 詳細」画面は、「サイトマップ」→「Accel Studio」→「アプリケーション作成」→「テンプレートビルドジョブ」に遷移し、作成したアプリケーションの「詳細」をクリックすることで表示できます。

画面のURLを取得する

「メール配信ワークフロー」テンプレートから作成したアプリケーションはすべての画面に画面URLが定義されています。

「サイトマップ」→「Accel Studio」→「アプリケーション一覧」で、「自動生成されたアプリケーション」カテゴリを選択します。作成したアプリケーションを選択し、遷移したいカードにホバーをしてください。

表示されたURLアイコンをクリックすることで、URLがクリップボードにコピーされます。

アプリケーション管理
メール配信ワークフロー - 詳細

ALL	画面	公開URL	ロジック	ワークフロー	データ定義		+ リソースを追加
	画面URL (ID: im-bloommaker://routes/mail_distribution_workflow-address-register)					...	
	メール配信ワークフロー 宛先グループ登録画面					tenant 0時間前	
	「メール配信ワークフロー」テンプレートから作成された宛先グループ登録画面のルーティング定義です。						
	画面URL (ID: im-bloommaker://routes/mail_distribution_workflow-delivery-history-detail)					...	
	メール配信ワークフロー 配信履歴詳細画面					tenant 0時間前	
	「メール配信ワークフロー」テンプレートから作成された配信履歴詳細画面のルーティング定義です。						
	画面URL (ID: im-bloommaker://routes/mail_distribution_workflow-delivery-history-list)					...	
	メール配信ワークフロー 配信履歴一覧画面					tenant 0時間前	
	「メール配信ワークフロー」テンプレートから作成された配信履歴一覧画面のルーティング定義です。						
	画面URL (ID: im-bloommaker://routes/mail_distribution_workflow-template-edit)					...	
	メール配信ワークフロー メールテンプレート編集画面					tenant 0時間前	
	「メール配信ワークフロー」テンプレートから作成されたメールテンプレート編集画面のルーティング定義です。						
	画面URL (ID: im-bloommaker://routes/mail_distribution_workflow-template-list)					...	
	メール配信ワークフロー メールテンプレート一覧画面					tenant 0時間前	
	「メール配信ワークフロー」テンプレートから作成されたメールテンプレート一覧画面のルーティング定義です。						
	画面URL (ID: im-bloommaker://routes/mail_distribution_workflow-template-register)					...	
	メール配信ワークフロー メールテンプレート登録画面					tenant 0時間前	
	「メール配信ワークフロー」テンプレートから作成されたメールテンプレート登録画面のルーティング定義です。						
	画面URL (ID: im-bloommaker://routes/mail_distribution_workflow-wf)					...	
	メール配信ワークフロー メール配信WF画面					tenant 0時間前	
	「メール配信ワークフロー」テンプレートから作成されたメール配信WF画面のルーティング定義です。						

i コラム

取得したURLは、初期設定では「テナント管理者」または「Accel Studio管理者」ロールを持ったユーザのみアクセス可能です。

任意のユーザに対して、利用を許可したい場合の設定方法は、「[Accel Studio アプリケーション管理機能 仕様書](#)」 - 「[Accel Studio アプリケーション認可設定](#)」をご確認ください。

i コラム

作成したアプリケーションをグローバルメニューに追加したい場合は、グローバルナビ設定をご利用ください。

グローバルナビの設定方法は、「[ファーストステップガイド](#)」 - 「[管理者が一般ユーザ向けのメニューを作成する](#)」をご確認ください。

アプリケーションの画面イメージと操作方法

「メール配信ワークフロー」テンプレートから作成されるアプリケーションは、「宛先グループ」「メールテンプレート」を事前に登録し、メール配信時に宛先と本文に利用できます。

宛先グループ情報は[宛先グループ一覧画面](#)、メールテンプレート情報は[テンプレート一覧画面](#)を起点としています。

メールの配信はワークフローから申請し、承認されると指定した宛先にメールが配信されます。

[配信履歴一覧画面](#)から配信された内容を確認できます。

i コラム

メールの設定に関しては、「[設定ファイルリファレンス](#)」 - 「[メール設定](#)」をご確認ください。

宛先グループ一覧画面

宛先グループ一覧画面では、登録された宛先グループを閲覧できます。

グループ名	グループコード	備考	更新日時	更新者
■■社 ××担当 連絡用	group_016	xx社 ××担当への連絡時に利用するグループ	2023/02/28 15:59	関根千香
xx社 ▼▼担当 連絡用	group_015	xx社 ▼▼担当への連絡時に利用するグループ	2023/02/28 15:52	関根千香
△△社 ▼▼担当 連絡用	group_014	xx社 ▼▼担当への連絡時に利用するグループ	2023/02/28 15:38	青柳恵巳
xx社 △△チーム 連絡用	group_013	xx社 △△チームへの連絡時に利用するグループ	2023/02/28 15:36	青柳恵巳
xx社 ○○担当 連絡用	group_012	xx社 ○○担当への連絡時に利用するグループ	2023/02/28 15:33	青柳恵巳
xx社 ◎◎担当 連絡用	group_011	xx社 ◎◎担当への連絡時に利用するグループ	2023/02/28 15:32	青柳恵巳
■■ イベント 告知用	group_010	■■ イベントの告知用グループ	2023/02/28 15:29	tenant
△△チーム	group_009	△△チーム連絡用グループ	2023/02/28 15:26	林政義
▼▼チーム	group_008	▼▼チーム連絡用グループ	2023/02/28 15:26	tenant
△△チーム	group_007	△△チーム連絡用グループ	2023/02/28 15:23	上田康男
社内 ▲▲本部 定期連絡	group_006	▲▲本部の定期連絡配信時に利用するグループ	2023/02/28 15:21	青柳恵巳
社内 ◎◎本部 定期連絡	group_005	◎◎本部の定期連絡配信時に利用するグループ	2023/02/28 15:21	青柳恵巳
社内 ○○本部 定期連絡	group_004	○○本部の定期連絡配信時に利用するグループ	2023/02/28 15:21	tenant
社内 定期連絡	group_003	定期連絡配信時に利用するグループ	2023/02/28 15:16	上田康男
xx社 ▲▲ 連絡用	group_002	▲▲ の連絡時に利用するグループ	2023/02/28 15:14	林政義
○○社 xx 連絡用	group_001	xx 連絡用のグループ	2023/02/28 15:13	青柳恵巳
sample_group	group_034	sample	2023/02/28 0:00	tenant
sample_group	group_035	sample	2023/02/28 0:00	tenant

ページナビゲーション: 前へ 1 2 3 4 5 次へ

検索ボックス: グループ名, グループコード, 備考
検索ボタン: 検索, クリア

画面上部、左側の をマウスホバーすると [テンプレート一覧画面](#)、[配信履歴一覧画面](#) へ遷移するリンクが表示されます。

メール配達ワークフロー
宛先グループ一覧

+ 新規作成

グループ名	グループコード	備考	更新日時	更新者
■■社 ××担当 連絡用	group_016	××社 ××担当への連絡時に利用するグループ	2023/02/28 15:59	関根千香
××社 ▼▼担当 連絡用	group_015	××社 ▼▼担当への連絡時に利用するグループ	2023/02/28 15:52	関根千香
△△社 ▼▼担当 連絡用	group_014	△△社 ▼▼担当への連絡時に利用するグループ	2023/02/28 15:38	青柳恵巳
××社 △△チーム 連絡用	group_013	××社 △△チームへの連絡時に利用するグループ	2023/02/28 15:36	青柳恵巳
××社 ○○担当 連絡用	group_012	××社 ○○担当への連絡時に利用するグループ	2023/02/28 15:33	青柳恵巳
××社 ◎◎担当 連絡用	group_011	××社 ◎◎担当への連絡時に利用するグループ	2023/02/28 15:32	青柳恵巳
■■ イベント 告知用	group_010	■■ イベントの告知用グループ	2023/02/28 15:29	tenant
▽▽チーム	group_009	▽▽チーム連絡用グループ	2023/02/28 15:26	林政義
▼▼チーム	group_008	▼▼チーム連絡用グループ	2023/02/28 15:26	tenant
△△チーム	group_007	△△チーム連絡用グループ	2023/02/28 15:23	上田康男
社内 ▲▲本部 定期連絡	group_006	▲▲本部の定期連絡配信時に利用するグループ	2023/02/28 15:21	青柳恵巳
社内 ◎◎本部 定期連絡	group_005	◎◎本部の定期連絡配信時に利用するグループ	2023/02/28 15:21	青柳恵巳
社内 ○○本部 定期連絡	group_004	○○本部の定期連絡配信時に利用するグループ	2023/02/28 15:21	tenant
社内 定期連絡	group_003	定期連絡配信時に利用するグループ	2023/02/28 15:16	上田康男
××社 ▲▲連絡用	group_002	▲▲の連絡時に利用するグループ	2023/02/28 15:14	林政義
○○社 xx 連絡用	group_001	xx 配信用のグループ	2023/02/28 15:13	青柳恵巳
sample_group	group_034	sample	2023/02/28 0:00	tenant
sample_group	group_033	sample	2023/02/28 0:00	tenant

1 - 50 / 230

宛先グループ登録画面

「宛先グループ登録画面」では、宛先グループの登録ができます。

「宛先グループ一覧画面」の「新規作成」ボタンから「宛先グループ登録画面」に遷移できます。

メール配達ワークフロー
宛先グループ一覧

+ 新規作成

グループ名	グループコード	備考	更新日時	更新者
■■社 ××担当 連絡用	group_016	××社 ××担当への連絡時に利用するグループ	2023/02/28 15:59	関根千香
××社 ▼▼担当 連絡用	group_015	××社 ▼▼担当への連絡時に利用するグループ	2023/02/28 15:52	関根千香
△△社 ▼▼担当 連絡用	group_014	△△社 ▼▼担当への連絡時に利用するグループ	2023/02/28 15:38	青柳恵巳
××社 △△チーム 連絡用	group_013	××社 △△チームへの連絡時に利用するグループ	2023/02/28 15:36	青柳恵巳
××社 ○○担当 連絡用	group_012	××社 ○○担当への連絡時に利用するグループ	2023/02/28 15:33	青柳恵巳
××社 ◎◎担当 連絡用	group_011	××社 ◎◎担当への連絡時に利用するグループ	2023/02/28 15:32	青柳恵巳
■■ イベント 告知用	group_010	■■ イベントの告知用グループ	2023/02/28 15:29	tenant
▽▽チーム	group_009	▽▽チーム連絡用グループ	2023/02/28 15:26	林政義
▼▼チーム	group_008	▼▼チーム連絡用グループ	2023/02/28 15:26	tenant
△△チーム	group_007	△△チーム連絡用グループ	2023/02/28 15:23	上田康男
社内 ▲▲本部 定期連絡	group_006	▲▲本部の定期連絡配信時に利用するグループ	2023/02/28 15:21	青柳恵巳
社内 ◎◎本部 定期連絡	group_005	◎◎本部の定期連絡配信時に利用するグループ	2023/02/28 15:21	青柳恵巳
社内 ○○本部 定期連絡	group_004	○○本部の定期連絡配信時に利用するグループ	2023/02/28 15:21	tenant
社内 定期連絡	group_003	定期連絡配信時に利用するグループ	2023/02/28 15:16	上田康男
××社 ▲▲連絡用	group_002	▲▲の連絡時に利用するグループ	2023/02/28 15:14	林政義
○○社 xx 連絡用	group_001	xx 配信用のグループ	2023/02/28 15:13	青柳恵巳
sample_group	group_034	sample	2023/02/28 0:00	tenant
sample_group	group_033	sample	2023/02/28 0:00	tenant

1 - 50 / 230

宛先グループは「宛先」「CC」「BCC」を登録できます。

登録した宛先グループは、ワークフローの申請時に利用します。

「宛先グループ編集」画面

宛先グループ編集画面では、宛先グループの編集ができます。

宛先グループ一覧画面で任意の宛先グループを選択すると、選択した宛先グループの「宛先グループ編集画面」に遷移できます。

グループ名	グループコード	備考	更新日時	更新者
■■社 xx担当連絡用	group_016	xx社 xx担当への連絡時に利用するグループ	2023/02/28 15:59	関根千香
xx社 ▼▼担当連絡用	group_015	xx社 ▼▼担当への連絡時に利用するグループ	2023/02/28 15:52	関根千香
△△社 ▼▼担当連絡用	group_014	△△社 ▼▼担当への連絡時に利用するグループ	2023/02/28 15:38	青柳恵巳
xx社 △△チーム連絡用	group_013	xx社 △△チームへの連絡時に利用するグループ	2023/02/28 15:36	青柳恵巳
xx社 ○○担当連絡用	group_012	xx社 ○○担当への連絡時に利用するグループ	2023/02/28 15:33	青柳恵巳
xx社 ◎◎担当連絡用	group_011	xx社 ◎◎担当への連絡時に利用するグループ	2023/02/28 15:32	青柳恵巳
■■イベント告知用	group_010	■■イベントの告知用グループ	2023/02/28 15:29	tenant
△△チーム	group_009	△△チーム連絡用グループ	2023/02/28 15:26	林政義
▼▼チーム	group_008	▼▼チーム連絡用グループ	2023/02/28 15:26	tenant
△△チーム	group_007	△△チーム連絡用グループ	2023/02/28 15:23	上田廣男
社内 ▲▲本部定期連絡	group_006	▲▲本部の定期連絡配信時に利用するグループ	2023/02/28 15:21	青柳恵巳
社内 ◎◎本部定期連絡	group_005	◎◎本部の定期連絡配信時に利用するグループ	2023/02/28 15:21	青柳恵巳
社内 ○○本部定期連絡	group_004	○○本部の定期連絡配信時に利用するグループ	2023/02/28 15:21	tenant
社内 定期連絡	group_003	定期連絡配信時に利用するグループ	2023/02/28 15:16	上田廣男
xx社 ▲▲連絡用	group_002	▲▲の連絡時に利用するグループ	2023/02/28 15:14	林政義
○○社 xx連絡用	group_001	xx連絡用のグループ	2023/02/28 15:13	青柳恵巳
sample_group	group_034	sample	2023/02/28 0:00	tenant
sample_group	group_035	sample	2023/02/28 0:00	tenant

「宛名」「メールアドレス」欄は絞り込みできます。

グループコード
group_016

グループ名
■■社 xx担当 連絡用

備考
xx社 xx担当への連絡時に利用するグループ

宛先*	CC	BCC
宛先を追加	ユーザ選択	件数: 4
宛名*	メールアドレス*	
Y 茨巳	aoyagi@example.com	×
萩本康子	hagimoto@example.com	×
原田浩二	harada@example.com	×
林政義	hayashi@example.com	×

宛先 * 1 CC 2 BCC 0

[宛先を追加](#) [ユーザ選択](#) 件数: 4

宛名* メールアドレス*

Y 茨巳 aoyagi@example.com

更新 刪除

テンプレート一覧画面

テンプレート一覧画面では、登録されたテンプレートを閲覧できます。

+ 新規作成

テンプレート名	テンプレートコード	件名	備考	更新日時
○○社 xx連絡用	template_001	xx のお知らせ	○○社 xxに関する連絡用のテンプレート	2023/03/02 15:36
共有	template_019	【共有】	共有事項用のテンプレート	2023/02/28 21:00
臨時メンテナンス	template_018	【メンテナンスのお知らせ】	臨時メンテナンスのお知らせ用のテンプレート	2023/02/28 20:50
定期メンテナンス	template_017	【メンテナンスのお知らせ】	定期メンテナンスのお知らせ用のテンプレート	2023/02/28 20:20
○○社 xx 用 ▲▲	template_016		○○社のxx、▲▲用テンプレート	2023/02/28 20:11
▼▼連絡用	template_015	【連絡】	▼▼連絡用テンプレート	2023/02/28 20:08
○△連絡用	template_014	【連絡】	○△連絡用テンプレート	2023/02/28 19:38
■■チーム連絡	template_013	【共有】	■■チーム連絡	2023/02/28 19:08
▲▲チーム連絡	template_012	【共有】	▲▲チーム連絡	2023/02/28 18:08
○○社 xx担当 通知用	template_011		○○社 xx担当連絡用のテンプレート	2023/02/28 17:08
○○社 通知用	template_010	【○○のご案内】	○○社の通知用テンプレート	2023/02/28 16:53
xx	template_009	【xxのご連絡】	xx連絡用	2023/02/28 16:50
▲▲社 xx担当 通知用	template_008		▲▲社 xx担当連絡用のテンプレート	2023/02/28 16:36
xx	template_007	【xxのご連絡】	xx連絡用	2023/02/28 16:26
◇◇	template_006	【◇◇のご連絡】	◇◇連絡用	2023/02/28 16:16
▽▽イベント 告知用	template_005	▽▽イベントのご連絡	▽▽イベントの告知用テンプレート	2023/02/28 16:00
▲▲	template_004	【▲▲のご連絡】	▲▲連絡用	2023/02/28 15:58
xxチーム連絡	template_003		xxチーム用	2023/02/28 15:50
全体連絡用	template_002	【全社連絡】	全体連絡用のテンプレート	2023/02/28 15:39
sample_name	template_034	sample	sample_memo	2023/02/28 0:00
sample_name	template_020	sample	sample_memo	2023/02/28 0:00
sample_name	template_033	sample	sample_memo	2023/02/28 0:00
sample_name	template_050	sample	sample_memo	2023/02/28 0:00

検索 クリア

画面上部、左側の をマウスホバーすると [配信履歴一覧画面](#)、[宛先グループ一覧画面](#) へ遷移するリンクが表示されます。

テンプレート一覧

テンプレート名	テンプレートコード	件名	備考	更新日時
○○社 xx連絡用	template_001	xxのお知らせ	○○社 xxに関する連絡用のテンプレート	2023/03/02 15:36
共有	template_019	【共有】	共有事務用のテンプレート	2023/02/28 21:00
臨時メンテナンス	template_018	【メンテナンスのお知らせ】	臨時メンテナンスのお知らせ用のテンプレート	2023/02/28 20:50
定期メンテナンス	template_017	【メンテナンスのお知らせ】	定期メンテナンスのお知らせ用のテンプレート	2023/02/28 20:20
○○社 xx 用 ▲▲	template_016		○○社のxx、▲▲用テンプレート	2023/02/28 20:11
▼▼連絡用	template_015	【連絡】	▼▼連絡用テンプレート	2023/02/28 20:08
○○連絡用	template_014	【連絡】	○○連絡用テンプレート	2023/02/28 19:38
■■チーム連絡	template_013	【共有】	■■チーム連絡	2023/02/28 19:08
▲▲チーム連絡	template_012	【共有】	▲▲チーム連絡	2023/02/28 18:08
○○社 cc担当 通知用	template_011		○○社 cc担当連絡用のテンプレート	2023/02/28 17:08
○○社 通知用	template_010	【△△のご案内】	○○社の通知用テンプレート	2023/02/28 16:53
xx	template_009	【xxのご連絡】	xx連絡用	2023/02/28 16:50
▲▲社 cc担当 通知用	template_008		▲▲社 cc担当連絡用のテンプレート	2023/02/28 16:36
xx	template_007	【xxのご連絡】	xx連絡用	2023/02/28 16:26
△△	template_006	【△△のご連絡】	△△連絡用	2023/02/28 16:16
▽▽イベント 告知用	template_005	▽▽イベントのご連絡	▽▽イベントの告知用テンプレート	2023/02/28 16:00
▲▲	template_004	【▲▲のご連絡】	▲▲連絡用	2023/02/28 15:58
xxチーム連絡	template_003		xxチーム用	2023/02/28 15:50
全体連絡用	template_002	【全社連絡】	全体連絡用のテンプレート	2023/02/28 15:39
sample_name	template_034	sample	sample_memo	2023/02/28 0:00
sample_name	template_020	sample	sample_memo	2023/02/28 0:00
sample_name	template_033	sample	sample_memo	2023/02/28 0:00
sample_name	template_050	sample	sample_memo	2023/02/28 0:00

1 - 50 / 230

テンプレート登録画面

テンプレート登録画面では、テンプレートの登録ができます。

「テンプレート一覧画面」の「新規作成」ボタンから「テンプレート一覧画面」に遷移できます。

テンプレート一覧

テンプレート名	テンプレートコード	件名	備考	更新日時
○○社 xx連絡用	template_001	xxのお知らせ	○○社 xxに関する連絡用のテンプレート	2023/03/02 15:36
共有	template_019	【共有】	共有事務用のテンプレート	2023/02/28 21:00
臨時メンテナンス	template_018	【メンテナンスのお知らせ】	臨時メンテナンスのお知らせ用のテンプレート	2023/02/28 20:50
定期メンテナンス	template_017	【メンテナンスのお知らせ】	定期メンテナンスのお知らせ用のテンプレート	2023/02/28 20:20
○○社 xx 用 ▲▲	template_016		○○社のxx、▲▲用テンプレート	2023/02/28 20:11
▼▼連絡用	template_015	【連絡】	▼▼連絡用テンプレート	2023/02/28 20:08
○○連絡用	template_014	【連絡】	○○連絡用テンプレート	2023/02/28 19:38
■■チーム連絡	template_013	【共有】	■■チーム連絡	2023/02/28 19:08
▲▲チーム連絡	template_012	【共有】	▲▲チーム連絡	2023/02/28 18:08
○○社 cc担当 通知用	template_011		○○社 cc担当連絡用のテンプレート	2023/02/28 17:08
○○社 通知用	template_010	【△△のご案内】	○○社の通知用テンプレート	2023/02/28 16:53
xx	template_009	【xxのご連絡】	xx連絡用	2023/02/28 16:50
▲▲社 cc担当 通知用	template_008		▲▲社 cc担当連絡用のテンプレート	2023/02/28 16:36
xx	template_007	【xxのご連絡】	xx連絡用	2023/02/28 16:26
△△	template_006	【△△のご連絡】	△△連絡用	2023/02/28 16:16
▽▽イベント 告知用	template_005	▽▽イベントのご連絡	▽▽イベントの告知用テンプレート	2023/02/28 16:00
▲▲	template_004	【▲▲のご連絡】	▲▲連絡用	2023/02/28 15:58
xxチーム連絡	template_003		xxチーム用	2023/02/28 15:50
全体連絡用	template_002	【全社連絡】	全体連絡用のテンプレート	2023/02/28 15:39
sample_name	template_034	sample	sample_memo	2023/02/28 0:00
sample_name	template_020	sample	sample_memo	2023/02/28 0:00
sample_name	template_033	sample	sample_memo	2023/02/28 0:00
sample_name	template_050	sample	sample_memo	2023/02/28 0:00

1 - 50 / 230

「本文」に置換文字「%user_name%」を配置すると、メール配信時に「宛名」で置換されます。

165

テンプレートコード*

テンプレート名*

配信元メールアドレス*

件名*

本文*

本文に置換文字 %user_name% を記載すると、メール配信時に宛先グループの宛名に置換されます。
例：%user_name% 様へお知らせ

備考

登録

テンプレート編集画面

テンプレート編集画面では、テンプレートの編集ができます。

「テンプレート一覧画面」で任意のテンプレートを選択すると、選択したテンプレートの「テンプレート編集画面」に遷移できます。

+ 新規作成

テンプレート名	テンプレートコード	件名	備考	更新日時
○○社 xx連絡用	template_001	xx のお知らせ	○○社 xxに関する連絡用のテンプレート	2023/03/02 15:36
共有	template_019	【共有】	共有事項用のテンプレート	2023/02/28 21:00
臨時メンテナンス	template_018	【メンテナンスのお知らせ】	臨時メンテナンスのお知らせ用のテンプレート	2023/02/28 20:50
定期メンテナンス	template_017	【メンテナンスのお知らせ】	定期メンテナンスのお知らせ用のテンプレート	2023/02/28 20:20
○○社 xx 用 ▲▲	template_016		○○社のxx、▲▲用テンプレート	2023/02/28 20:11
▼▼連絡用	template_015	【連絡】	▼▼連絡用テンプレート	2023/02/28 20:08
◎◎連絡用	template_014	【連絡】	◎◎連絡用テンプレート	2023/02/28 19:38
■■チーム連絡	template_013	【共有】	■■チーム連絡	2023/02/28 19:08
▲▲チーム連絡	template_012	【共有】	▲▲チーム連絡	2023/02/28 18:08
○○社 ==担当 通知用	template_011		○○社 ==担当連絡用のテンプレート	2023/02/28 17:08
○○社 通知用	template_010	【○○のご案内】	○○社の通知用テンプレート	2023/02/28 16:53
xx	template_009	【xxのご連絡】	xx連絡用	2023/02/28 16:50
▲▲社 ==担当 通知用	template_008		▲▲社 ==担当連絡用のテンプレート	2023/02/28 16:36
xx	template_007	【xxのご連絡】	xx連絡用	2023/02/28 16:26
◇◇	template_006	【◇◇のご連絡】	◇◇連絡用	2023/02/28 16:16
▽▽イベント 告知用	template_005	▽▽イベントのご連絡	▽▽イベントの告知用テンプレート	2023/02/28 16:00
▲▲	template_004	【▲▲のご連絡】	▲▲連絡用	2023/02/28 15:58
xxチーム連絡	template_003		xxチーム用	2023/02/28 15:50
全体連絡用	template_002	【全社連絡】	全体連絡用のテンプレート	2023/02/28 15:39
sample_name	template_034	sample	sample_memo	2023/02/28 0:00
sample_name	template_020	sample	sample_memo	2023/02/28 0:00
sample_name	template_033	sample	sample_memo	2023/02/28 0:00
sample_name	template_050	sample	sample_memo	2023/02/28 0:00

検索 クリア

前へ 1 2 3 4 5 次へ

メール配信ワークフロー
テンプレート・編集

「*」は必須項目です。

テンプレートコード	template_001
テンプレート名*	○○社 xx連絡用
配信元メールアドレス*	from@example.com
件名*	xxのお知らせ
本文*	○○社 %user_name% 様 平素より ▲▲ をご利用いただきまして、誠にありがとうございます。 △△ の xxxx をお知らせいたします。 ▽▽▽ よりご確認ください。 どうぞよろしくお願ひいたします。
本文に置換文字 %user_name% を記述すると、メール配信時に宛先グループの宛名に置換されます。 例: %user_name% 様へお知らせ	
備考	○○社 xxに関する連絡用のテンプレート

作成日時: 2023/02/28 15:02 作成者: tenant (tenant)
更新日時: 2023/03/02 15:36 更新者: tenant (tenant)

[更新](#) [削除](#)

配信履歴一覧画面

配信履歴一覧画面では、ワークフローを通じて配信されたメールの履歴を閲覧できます。

メール配信ワークフロー
配信履歴一覧

件名	宛先グループ名	配信日時	配信元メールアドレス	本文
○○のご連絡	■■社 xx担当 連絡用	2023/02/28 15:50	from@example.com	○○社 %user_name% 様 平素より ▲▲ をご利用いただきまして、誠にありがとうございます。 △△ の xxxx をお知らせいたします。 ▽▽▽ よりご確認ください。 どうぞよろしくお願ひいたします。
xxのお知らせ	社内 定期連絡	2023/02/27 15:40	aoyagi@example.com	xxが更新されました。 下記よりxxをご確認ください。 https://xxxxxxxxxx よろしくお願ひいたします。
xxのお知らせ	社内 定期連絡	2023/02/27 14:40	aoyagi@example.com	xxが更新されました。 下記よりxxをご確認ください。 https://yyyyyyyyyy よろしくお願ひいたします。
【共有】 ▲▲のご連絡	社内 ○○本部 定期連絡	2023/02/27 14:10	ueda@example.com	▲▲について共有いたします。 ▲▲をご確認ください。
xxのお知らせ	社内 定期連絡	2023/02/27 14:00	aoyagi@example.com	xxが更新されました。 下記よりxxをご確認ください。 https://zzzzzzzzzz よろしくお願ひいたします。
▽▽イベントのご連絡	■■ イベント 告知用	2023/02/27 14:00	tenant@example.com	平素より ▲▲ をご利用いただきまして、誠にありがとうございます。 △△ の xxxx をお知らせいたします。
sample	○○社 xx 連絡用	2023/02/20 0:00	from@example.com	sample
sample	○○社 xx 連絡用	2023/02/20 0:00	from@example.com	sample
sample	○○社 xx 連絡用	2023/02/20 0:00	from@example.com	sample

配信内容

件名
宛先グループ名
配信日
年/月/日 年 - 月/日
配信元メールアドレス
本文
宛先 (TO/CC/BCC)

検索 クリア

前へ [1](#) [2](#) [3](#) [4](#) [5](#) 次へ

1 - 50 / 232

画面上部、左側の  をマウスホバーすると [テンプレート一覧画面](#)、[宛先グループ一覧画面](#) へ遷移するリンクが表示されます。

メール配信ワークフロー
配信履歴一覧

件名	宛先グループ名	配信日時	配信元メールアドレス	本文
xxのご連絡	■社 xx担当 連絡用	2023/02/28 15:50	from@example.com	○○社 %user_name% 様 平素より ▲▲ をご利用いただきまして、誠にありがとうございます。 ◇◇ の xxxx をお知らせいたします。 △△△ よりご確認ください。 どうぞよろしくお願ひいたします。
xxのお知らせ	社内 定期連絡	2023/02/27 15:40	aoyagi@example.com	xxが更新されました。 下記よりxxをご確認ください。 https://xxxxxxxxxx よろしくお願ひいたします。
xxのお知らせ	社内 定期連絡	2023/02/27 14:40	aoyagi@example.com	xxが更新されました。 下記よりxxをご確認ください。 https://yyyyyyyyyy よろしくお願ひいたします。
【共有】 ▲▲のご連絡	社内 ○○本部 定期連絡	2023/02/27 14:10	ueda@example.com	▲▲について共有いたします。△ △▲をご確認ください。 よろしくお願ひいたします。
xxのお知らせ	社内 定期連絡	2023/02/27 14:00	aoyagi@example.com	xxが更新されました。 下記よりxxをご確認ください。 https://zzzzzzzzzz よろしくお願ひいたします。
▽▽イベントのご連絡	■■ イベント 告知用	2023/02/27 14:00	tenant@example.com	平素より ▲▲ をご利用いただきまして、誠にありがとうございます。 ◇◇ の xxxx をお知らせいたします。
sample	○○社 xx 連絡用	2023/02/20 0:00	from@example.com	sample
sample	○○社 xx 連絡用	2023/02/20 0:00	from@example.com	sample
sample	○○社 xx 連絡用	2023/02/20 0:00	from@example.com	sample

1 - 50 / 232

配信履歴詳細画面

配信履歴詳細画面では、ワークフローを通じて配信されたメールの内容を閲覧できます。

「配信履歴一覧画面」で任意の配信履歴を選択すると、選択した配信履歴の「配信履歴編集画面」に遷移できます。

メール配信ワークフロー
配信履歴一覧

件名	宛先グループ名	配信日時	配信元メールアドレス	本文
xxのご連絡	■社 xx担当 連絡用	2023/02/28 15:50	from@example.com	○○社 %user_name% 様 平素より ▲▲ をご利用いただきまして、誠にありがとうございます。 ◇◇ の xxxx をお知らせいたします。 △△△ よりご確認ください。 どうぞよろしくお願ひいたします。
xxのお知らせ	社内 定期連絡	2023/02/27 15:40	aoyagi@example.com	xxが更新されました。 下記よりxxをご確認ください。 https://xxxxxxxxxx よろしくお願ひいたします。
xxのお知らせ	社内 定期連絡	2023/02/27 14:40	aoyagi@example.com	xxが更新されました。 下記よりxxをご確認ください。 https://yyyyyyyyyy よろしくお願ひいたします。
【共有】 ▲▲のご連絡	社内 ○○本部 定期連絡	2023/02/27 14:10	ueda@example.com	▲▲について共有いたします。△ △▲をご確認ください。 よろしくお願ひいたします。
xxのお知らせ	社内 定期連絡	2023/02/27 14:00	aoyagi@example.com	xxが更新されました。 下記よりxxをご確認ください。 https://zzzzzzzzzz よろしくお願ひいたします。
▽▽イベントのご連絡	■■ イベント 告知用	2023/02/27 14:00	tenant@example.com	平素より ▲▲ をご利用いただきまして、誠にありがとうございます。 ◇◇ の xxxx をお知らせいたします。
sample	○○社 xx 連絡用	2023/02/20 0:00	from@example.com	sample
sample	○○社 xx 連絡用	2023/02/20 0:00	from@example.com	sample
sample	○○社 xx 連絡用	2023/02/20 0:00	from@example.com	sample

1 - 50 / 232

xx のお知らせ

配信元メールアドレス: from@example.com

配信日時: 2023/03/01 14:33

宛先グループ: ■社 xx担当連絡用

宛先 4 CC 2 BCC 0

宛名 メールアドレス

青柳泰巳 aoyagi@example.com

萩本雅子 hagimoto@example.com

原田浩二 harada@example.com

林政義 hayashi@example.com

本文

○○社 %user_name% 様
平素より ▲▲ をご利用いただきまして、誠にありがとうございます。
△△ の ▲▲ をお知らせいたします。
▽▽▽ よりご確認ください。
どうぞよろしくお願いいたします。

ワークフロー申請画面

「メール配信ワークフロー」テンプレートから作成されるワークフローの申請画面について説明します。

アプリケーション名と同様のフロー名で作成されたワークフローは、「申請一覧」画面から申請できます。

「申請一覧」画面は、「サイトマップ」→「ワークフロー」→「一覧」→「申請一覧」から遷移できます。

メール配信ワークフロー

メール配信 - 申請

['' は必須項目です。]

宛先グループ*

送信先ユーザー範囲

テンプレート

配信元メールアドレス*

件名*

本文* プレビュー

本文に置換文字 %user_name% を記載すると、メール配信時に宛先グループの宛名に置換されます。
宛先グループを設定することで、プレビュー画面で置換後の状態を確認できます。
例: %user_name% 様へお知らせ

申請 一時保存

宛先グループとテンプレートを選択し、配信するメールの内容を記載します。

「宛先グループ」「テンプレート」を選択するとダイアログが表示され、登録済みの「宛先グループ」「テンプレート」が選択できます。

The screenshot shows a modal dialog titled '宛先グループ選択' (Recipient Group Selection). It lists several recipient groups with their names, descriptions, and update information. The groups include 'xx社 xx担当 連絡用 group_016', 'xx社 ▼▼担当 連絡用 group_015', '△△社 ▼▼担当 連絡用 group_014', 'xx社 △△チーム連絡用 group_013', and 'xx社 ○○担当 連絡用 group_012'. At the bottom, there are buttons for '戻る' (Back), '次へ' (Next), and '閉じる' (Close).

「本文」に置換文字「%user_name%」を配置すると、メール配信時に「宛名」で置換されます。

「プレビュー」タブで置換後の文字列を確認できます。

プレビュー時には宛先グループ内で一番上の宛先に設定された「宛名」で置換されて表示されます。

実際に配信されるメールには、宛先ごとの「宛名」が置換されて配信されます。

The screenshot shows the 'Recipient Group Selection' dialog and its preview results. In the dialog, the search bar contains '■■社 xx担当 連絡用'. Below it, the '送信先ユーザー覧' (Recipient User List) shows five users: 青柳辰巳 (aoyagi@example.com), 萩本順子 (hagimoto@example.com), 原田浩二 (harada@example.com), and 林政義 (hayashi@example.com). The '件名' (Subject) field is set to 'xx のお知らせ'. The '本文' (Text) tab is selected, showing the template text: '〇〇社 %user_name% 様 平素より ▲▲ をご利用いただきまして、誠にありがとうございます。 ◇◇ の ◇◇ をお知らせいたします。 ▽▽▽ よりご確認ください。 どうぞよろしくお願ひいたします。'. The 'プレビュー' (Preview) tab is also shown, displaying the same text with the placeholder '%user_name%' replaced by '〇〇社 青柳辰巳 様'.

「メール配信ワークフロー」テンプレートから作成されるフローは「申請」と「承認」が用意されています。

ワークフローを「承認」すると、メールが配信されます。



オプションテンプレート

作成したアプリケーションに機能を追加できるテンプレートです。

このテンプレートからアプリケーションを作成することも可能です。

※ 基本的な機能を含まないため Accel Studio での開発経験がある方向けのテンプレートです。

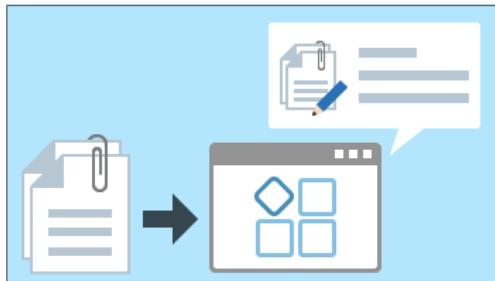
ファイルアップロード

このページでは「ファイルアップロード」テンプレートの概要、アプリケーションへの追加方法について解説します。

目次

- 「ファイルアップロード」テンプレートとは
- チュートリアル
 - 「ファイルアップロード」機能の追加手順
 - IM-BloomMaker資材の編集（単一ファイルアップロードの場合）
 - IM-BloomMaker資材の編集（複数ファイルアップロードの場合）
 - 「ファイルアップロード」機能の使用例
- 「ファイルアップロード」テンプレートから作成される資材
 - ファイル情報登録・更新・削除処理
 - ファイル情報一括削除処理
 - ファイル情報一覧取得処理

「ファイルアップロード」テンプレートとは



このテンプレートは、IM-BloomMakerの「ファイルアップロード」エレメントを利用した「ファイルアップロード」処理を提供します。

このテンプレートでは、IM-BloomMakerの資材は作成されません。

「ファイルアップロード」機能を利用するためには、このテンプレートから作成された処理を、「ファイルアップロード」機能を追加したいIM-BloomMakerのコンテンツから呼び出す必要があります。



コラム

「ファイルアップロード」テンプレートは2022 Winter(Freesia)から利用できます。

「ファイルアップロード」機能を追加した際のイメージは、以下の通りです。

追加手順の詳細については、「チュートリアル」で紹介します。

チュートリアル

ここでは、「マスタメンテナンス」テンプレートから作成されたアプリケーションへ「ファイルアップロード」機能を追加する手順について紹介します。



コラム

紹介した手順通りではなくとも、「ファイルアップロード」機能を追加することは可能です。

「ファイルアップロード」機能の追加手順

1. 「既存アプリケーションの更新」画面への遷移

「アプリケーション管理」画面の「テンプレートからリソースを追加する」をクリックします。

The screenshot shows the 'Application Management' interface. On the left, there's a sidebar with navigation links like 'Top', 'Workflow', 'IM-BIS', 'Template Management', 'BPM', and 'Sample'. The main area has a title 'テンプレートからリソースを追加' and a sub-section '画面 URL の更新'. It lists several items with icons and names, such as '【チュートリアル】ファイルアップロード 登録・参照画面' and '【チュートリアル】ファイルアップロード 一覧画面'. At the top right, there's a blue button labeled '+ リソースを追加' with a dropdown arrow, which is highlighted with a red box.

「業務テンプレート一覧」が表示されるので、「ファイルアップロード」テンプレートを選択します。

オプションテンプレート

作成したアプリケーションに機能を追加します。
このテンプレートからアプリケーションを作成することも可能です。
※ 基本的な機能を含まないため Accel Studio での開発経験がある方向けのテンプレートです。

- ファイルアップロード**: IM-BloomMaker のファイルアップロードエレメントを利用した、ファイルアップロード処理を作成します。このテンプレートでは画面資材は作成されません。
- CSVインポート**: CSV形式のファイルをインポートする処理を作成します。このテンプレートでは画面資材は作成されません。
- CSVエクスポート**: CSV形式でファイルをエクスポートする処理を作成します。このテンプレートでは画面資材は作成されません。

2. IDの決定に利用する文字列の設定

「既存アプリケーションの更新」画面が表示されたら、「IDの決定に利用する文字列」を設定します。

「IDの決定に利用する文字列」は、各処理やIDなどに利用されます。

既存アプリケーションの更新
ファイルアップロード・リソースの追加

アプリケーション情報*

扱うデータの定義*

その他情報の指定*

扱うデータの定義

① 作成するアプリケーションで扱うデータを指定します。
ファイル情報を保持するテーブルが必要です。

テーブル生成の設定 ②
 テーブルを自動生成する

データベース種別 ②
 TENANT
 SHARED

ファイル情報テーブル名* ②
ヘルプアイコンから入力規則を確認できます。

その他情報の指定

① このテンプレートでは、IM-LogicDesigner のリソースを新規作成し、アプリケーションを作成します。
IM-LogicDesigner で利用される各種IDやルーティング情報などを自動で決定するかを指定します。
自動で決定する場合は、「IDの決定に利用する文字列」が含まれた文字列が指定されます。

IM-LogicDesigner資料の設定 ②
 リソースのIDやルーティング情報を手動で決定する

IDの決定に利用する文字列* ②
半角英数字、- (ハイフン)、_ (アンダースコア) で入力してください。
app_007

既存アプリケーションの更新



コラム

「既存アプリケーションの更新」画面では、既存アプリケーションの基本情報が自動入力されます。
なお、アプリケーションIDとアプリケーション名は変更できません。

3. 利用するデータベース種別とテーブルの名称の設定

次に、利用するデータベース種別とテーブルの名称を設定します。

なお、「ファイルアップロード」テンプレートでは、新規にテーブルを作成する必要があります。

既存アプリケーションの更新

ファイルアップロード・リソースの追加

既存アプリケーションの更新

データベース種別 TENANT SHARED

ファイル情報テーブル名

その他の情報の指定

IM-LogicDesigner資料の設定 リソースのIDやルーティング情報を手動で決定する IDの決定に利用する文字列

既存アプリケーションの更新

4. 既存アプリケーションの更新

アプリケーションの基本情報とテーブル情報を設定した後、「既存アプリケーションの更新」ボタンをクリックしてください。

入力項目に不備が無ければ、自動で既存アプリケーションの更新が行われます。

既存アプリケーションの更新

5. 既存アプリケーションの更新結果

アプリケーションの更新が完了すると、ステータスが「COMPLETE」と表示されます。

テンプレートビルトジョブ・詳細

ビルトジョブID	8gtpcbgkohuhbc	テンプレート名	ファイルアップロード
ステータス	COMPLETE	作成者ユーザコード	default
作成日時	2022/11/16 9:37:03		

出力日時 メッセージ

2022/11/16 9:37:03	テンプレートをビルドし、「【チュートリアル】ファイルアップロード」(アプリケーションID: tutorial_file_upload)にリソースを追加します。
2022/11/16 9:37:04	個別に指定されたリソースのIDを利用します。
2022/11/16 9:37:04	一時ディレクトリに IM-LogicDesigner インポート資料を作成しました。
2022/11/16 9:37:04	アプリケーションで利用するテーブルを新規作成しました。
2022/11/16 9:37:04	CREATE TABLE tutorial_file_upload_table (file_id VARCHAR(100), file_key VARCHAR(128), business_key VARCHAR(1000), create_user_cd VARCHAR(100), create_date TIMESTAMP, record_user_cd VARCHAR(100), record_date TIMESTAMP, note VARCHAR(1000), PRIMARY KEY (file_id))
2022/11/16 9:37:04	自動生成された IM-LogicDesigner 資料をインポートしました。
2022/11/16 9:37:04	アプリケーションにテンプレートから生成されたリソースを追加しました。

IM-BloomMaker資料の編集（単一ファイルアップロードの場合）

「ファイルアップロード」機能を追加するために、IM-BloomMaker資料の編集を行います。

「アプリケーション管理」画面の「【チュートリアル】ファイルアップロード 登録・編集・参照画面」を選択してください。

The screenshot shows the Accel Studio interface for the 'File Upload' template. The left sidebar includes links for Top, Workflow, IM-BIS, Tenant Management, BPM, and Sample. The main content area displays the template details with tabs for ALL, 画面 (selected), 公開URL, ロジック, ワークフロー, データ定義, ユーティリティ, and ドキュメント. A search bar at the top right allows filtering by '画面コンテンツ' and 'クエリのデータ参照'. Below the search bar are two sections: one for '【チュートリアル】ファイルアップロード 登録・編集・参照画面' and another for '【チュートリアル】ファイルアップロード 一覧画面'. Both sections include a note about being created from the 'マスタメンテナンス' template. On the right side, there are four boxes titled '画面URLの更新' showing log entries for different URLs related to the template's creation and modification.

注意

画像のアプリケーションは、「マスタメンテナンス」テンプレートのアプリケーション名に「【チュートリアル】ファイルアップロード」と入力して作成されたアプリケーションの例です。

「デザイン編集」画面が表示されたら、以下の手順でコンテンツを編集します。

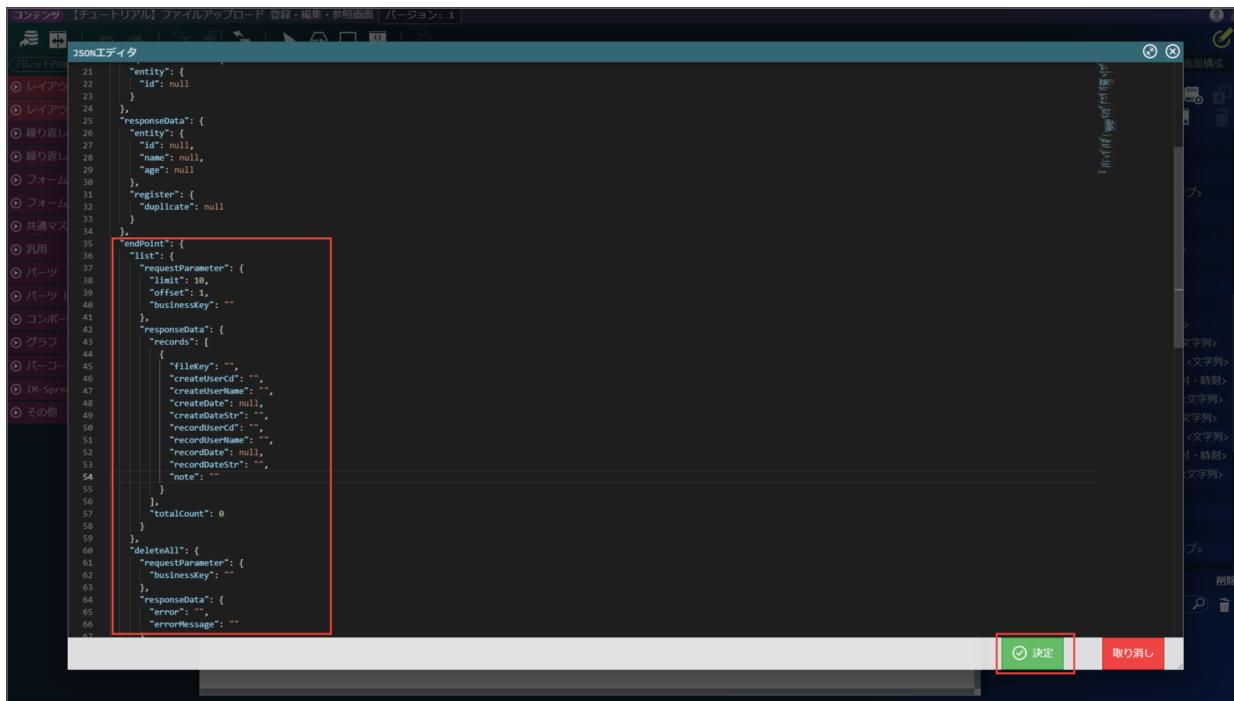
コラム

コンテンツの編集作業中は、編集した内容を保存するために、こまめに「デザイン編集」画面左上の「上書き保存」をクリックすることを推奨します。

1. 変数の作成

「変数」タブから「JSON形式で編集」アイコンをクリックして、\$variable 配下に以下の変数を追加してください。

```
"endPoint": {
  "list": {
    "requestParameter": {
      "limit": 10,
      "offset": 1,
      "businessKey": ""
    },
    "responseData": {
      "records": [
        {
          "fileKey": "",
          "createUserCd": "",
          "createUserName": "",
          "createDate": null,
          "createDateStr": "",
          "recordUserCd": "",
          "recordUserName": "",
          "recordDate": null,
          "recordDateStr": "",
          "note": ""
        }
      ],
      "totalCount": 0
    }
  },
  "deleteAll": {
    "requestParameter": {
      "businessKey": ""
    },
    "responseData": {
      "error": "",
      "errorMessage": ""
    }
  },
  "crud": {
    "requestParameter": {
      "records": [
        {
          "fileKey": "",
          "note": ""
        }
      ],
      "businessKey": ""
    },
    "responseData": {
      "error": "",
      "errorMessage": ""
    }
  }
}
```



```

21 "entity": {
22   "id": null
23 }
24 },
25 "responseData": {
26   "entity": {
27     "id": null,
28     "name": null,
29     "age": null
30   },
31   "register": {
32     "duplicate": null
33   }
34 },
35 "endPoint": {
36   "list": {
37     "requestParameter": {
38       "limit": 10,
39       "offset": 1,
40       "businessKey": ""
41     },
42     "responseData": {
43       "records": [
44         {
45           "fileKey": "",
46           "createUserCd": "",
47           "createUserName": "",
48           "createDate": null,
49           "recordUserCd": "",
50           "recordUserName": "",
51           "recordDate": null,
52           "recordDateStr": "",
53           "note": ""
54         }
55       ],
56       "totalCount": 0
57     }
58   },
59   "deleteAll": {
60     "requestParameter": {
61       "businessKey": ""
62     },
63     "responseData": {
64       "error": "",
65       "errorMessage": ""
66     }
67   }
68 }
69

```

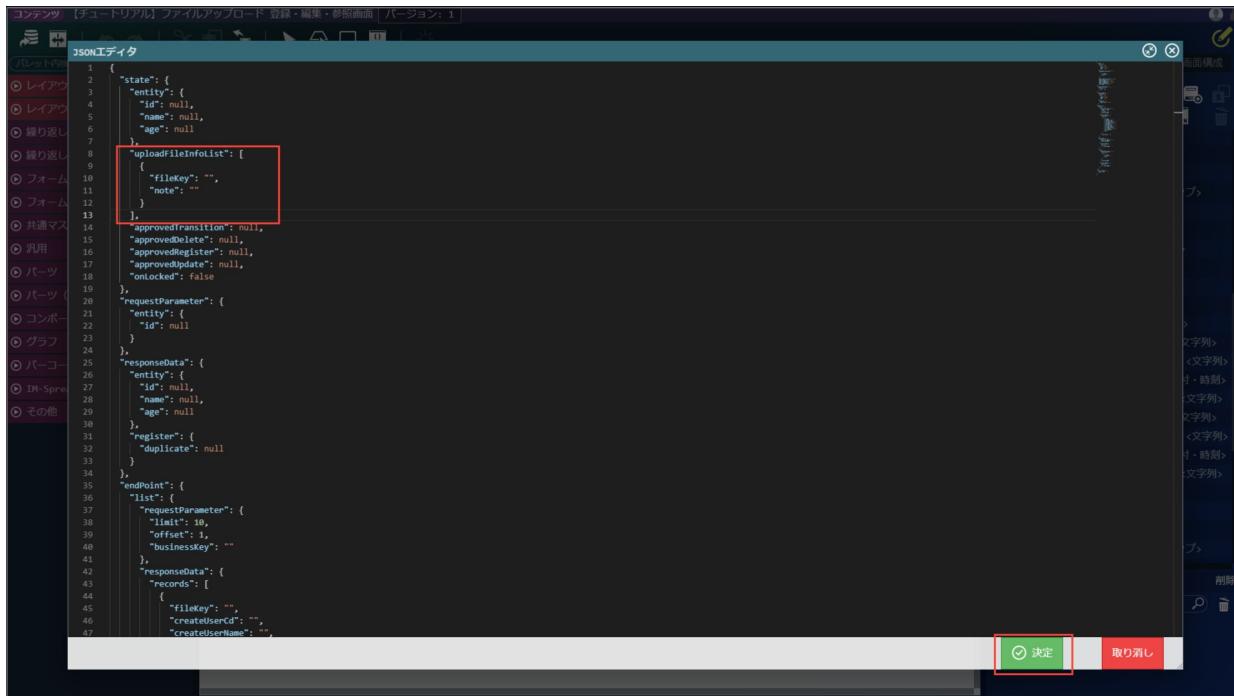


注意

追加した変数 createDate と recordDate については、「値の型」を「マップ」から「日付・時刻」に変更してください。

次に、もう一度「JSON形式で編集」アイコンをクリックして、\$variable.state 配下に以下の変数を追加してください。

```
"uploadFileInfoList": [
  {
    "fileKey": "",
    "note": ""
  }
]
```



```

1 {
2   "state": {
3     "entity": {
4       "id": null,
5       "name": null,
6       "age": null
7     },
8     "uploadFileInfoList": [
9       {
10         "fileKey": "",
11         "note": ""
12       }
13     ],
14     "approveFunction": null,
15     "approveCreateDate": null,
16     "approveRegister": null,
17     "approveUpdate": null,
18     "onLocked": false
19   },
20   "requestParameter": {
21     "entity": {
22       "id": null
23     }
24   },
25   "responseData": {
26     "entity": {
27       "id": null,
28       "name": null,
29       "age": null
30     },
31     "register": {
32       "duplicate": null
33     }
34   },
35   "endPoint": {
36     "list": {
37       "requestParameter": {
38         "limit": 10,
39         "offset": 1,
40         "businessKey": ""
41       },
42       "responseData": {
43         "records": [
44           {
45             "fileKey": "",
46             "createUserCd": "",
47             "createUserName": ""
48           }
49         ],
50         "totalCount": 0
51       }
52     }
53   }
54 }
55

```

2. 新規アクションの追加

1. Save Upload File アクション

アクション名には「Save Upload File」と入力してください。

「標準」から「変数〇に〇を代入する」アクションアイテムを配置して、以下のように設定してください。

項目	指定する値	備考
変数値1	\$variable.endPoint.crud.requestParameter.records	
変数値2	\$variable.state.uploadFileInfoList	プルダウンから「変数値」を選択してください。

「標準」から「変数〇に〇を代入する」アクションアイテムを配置して、以下のように設定してください。

項目	指定する値	備考
変数値1	\$variable.endPoint.crud.requestParameter.businessKey	
変数値2	\$variable.state.entity. (主キー)	プルダウンから「変数値」を選択してください。



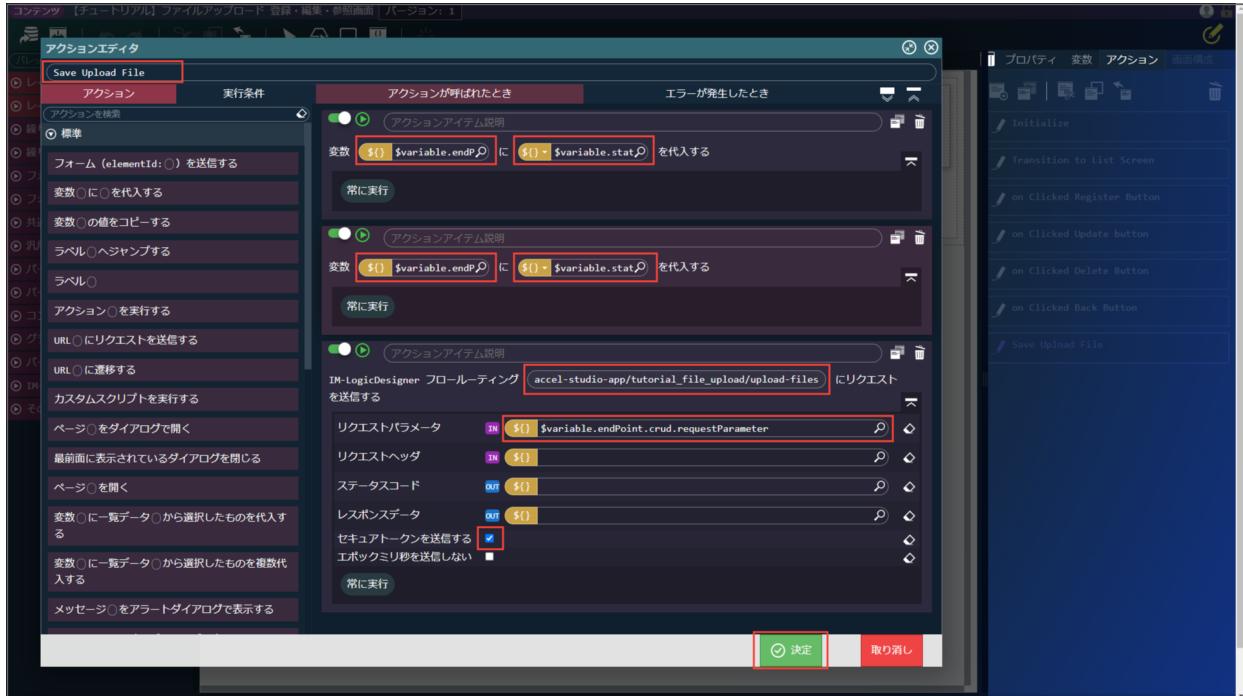
注意

主キーが複数ある場合は、「変数〇に〇を代入する」アクションアイテムの代わりに、「カスタムスクリプトを実行する」アクションアイテムを配置して、以下のカスタムスクリプトを入力してください。

```
$variable.endPoint.crud.requestParameter.businessKey = $variable.state.entity. (主キー1) + $variable.state.entity. (主キー2);
```

「IM-LogicDesigner」から「IM-LogicDesigner フローリーティング〇にリクエストを送信する」アクションアイテムを配置して、以下のように設定してください。

項目	指定する値	備考
ルーティング	accel-studio-app/{IDの決定に利用する文字列}/upload-files	「ファイル情報登録・更新・削除処理」で検索してください。
リクエストパラメータ	\$variable.endPoint.crud.requestParameter	
セキュアトークンを送信	チェックを入れる	



アクションアイテムの設定後、「決定」をクリックしてアクションを保存してください。

2. Load Upload File Table アクション

アクション名には「Load Upload File Table」と入力してください。

「標準」から「変数〇に〇を代入する」アクションアイテムを配置して、以下のように設定してください。

項目	指定する値	備考
変数値1	\$variable.endPoint.list.requestParameter.businessKey	
変数値2	\$variable.state.entity. (主キー)	プルダウンから「変数値」を選択してください。



注意

主キーが複数ある場合は、「変数〇に〇を代入する」アクションアイテムの代わりに、「カスタムスクリプトを実行する」アクションアイテムを配置して、以下のカスタムスクリプトを入力してください。

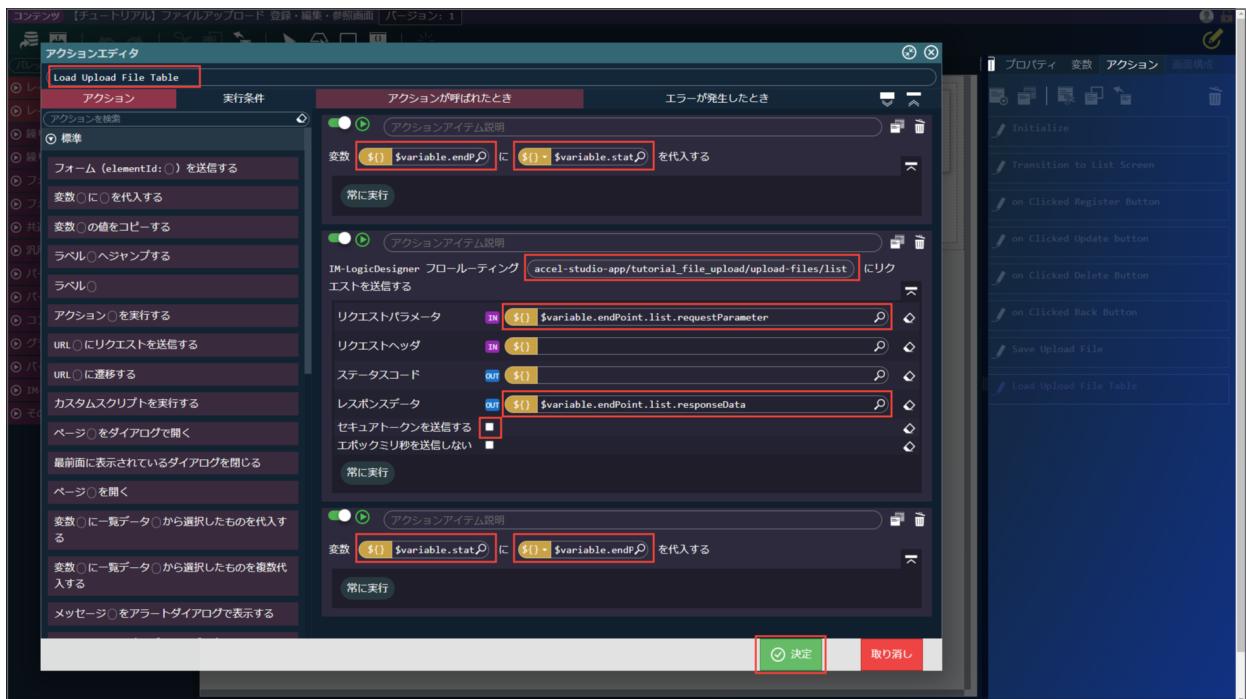
```
$variable.endPoint.list.requestParameter.businessKey = $variable.state.entity. (主キー1) + $variable.state.entity. (主キー2);
```

「IM-LogicDesigner」から「IM-LogicDesigner フローラーティング〇にリクエストを送信する」アクションアイテムを配置して、以下のように設定してください。

項目	指定する値	備考
ルーティング	accel-studio-app/{IDの決定に利用する文字列}/upload-files/list	「ファイル情報一覧取得処理」で検索してください。
リクエストパラメータ	\$variable.endPoint.list.requestParameter	
レスポンスデータ	\$variable.endPoint.list.responseData	
セキュアトークンを送信する	チェックを入れない	

「標準」から「変数〇に〇を代入する」アクションアイテムを配置して、以下のように設定してください。

項目	指定する値	備考
変数値1	\$variable.state.uploadFileInfoList	
変数値2	\$variable.endPoint.list.responseData.records	プルダウンから「変数値」を選択してください。



アクションアイテムの設定後、「決定」をクリックしてアクションを保存してください。

3. Delete All Upload File アクション

アクション名には「Delete All Upload File」と入力してください。

「標準」から「変数〇に〇を代入する」アクションアイテムを配置して、以下のように設定してください。

項目	指定する値	備考
変数値1	\$variable.endPoint.deleteAll.requestParameter.businessKey	
変数値2	\$variable.state.entity.（主キー）	プルダウンから「変数値」を選択してください。



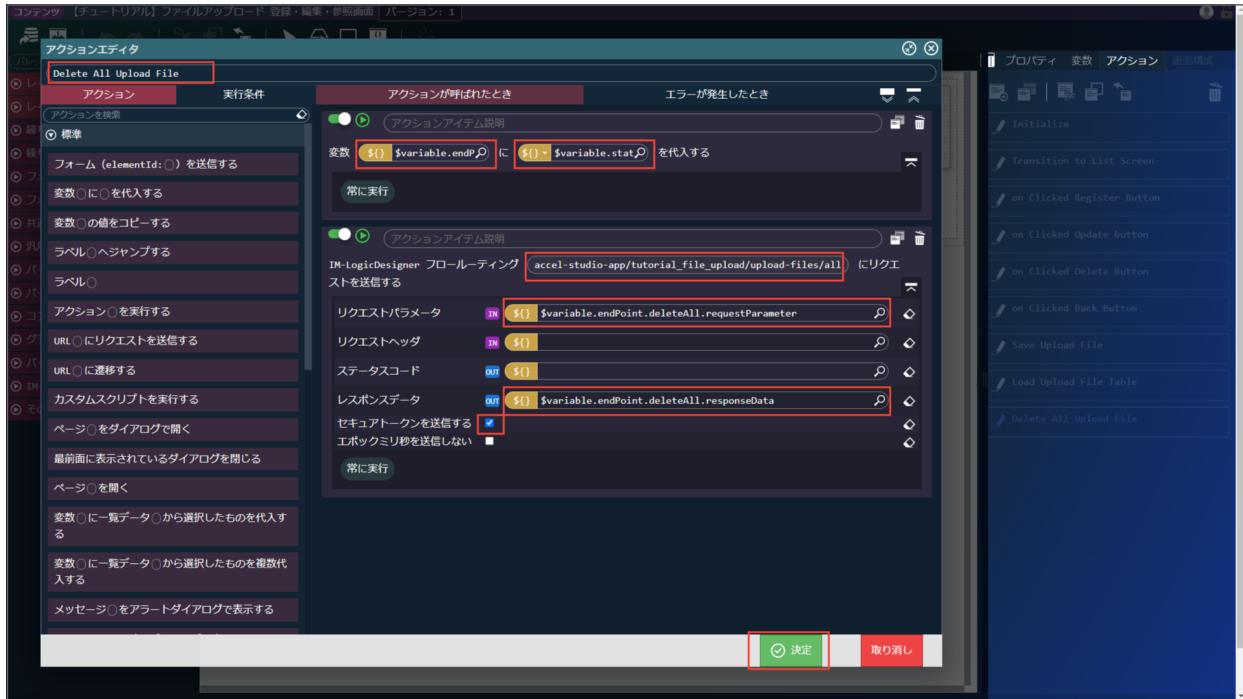
注意

主キーが複数ある場合は、「変数〇に〇を代入する」アクションアイテムの代わりに、「カスタムスクリプトを実行する」アクションアイテムを配置して、以下のカスタムスクリプトを入力してください。

```
$variable.endPoint.deleteAll.requestParameter.businessKey = $variable.state.entity.（主キー1） + $variable.state.entity.（主キー2）;
```

「IM-LogicDesigner」から「IM-LogicDesigner フローリーティング〇にリクエストを送信する」アクションアイテムを配置して、以下のように設定してください。

項目	指定する値	備考
ルーティング	accel-studio-app/{IDの決定に利用する文字列}/upload-files/all	「ファイル情報一括削除処理」で検索してください。
リクエストパラメータ	\$variable.endPoint.deleteAll.requestParameter	
レスポンスデータ	\$variable.endPoint.deleteAll.responseData	
セキュアトークンを送信する	チェックを入れる	



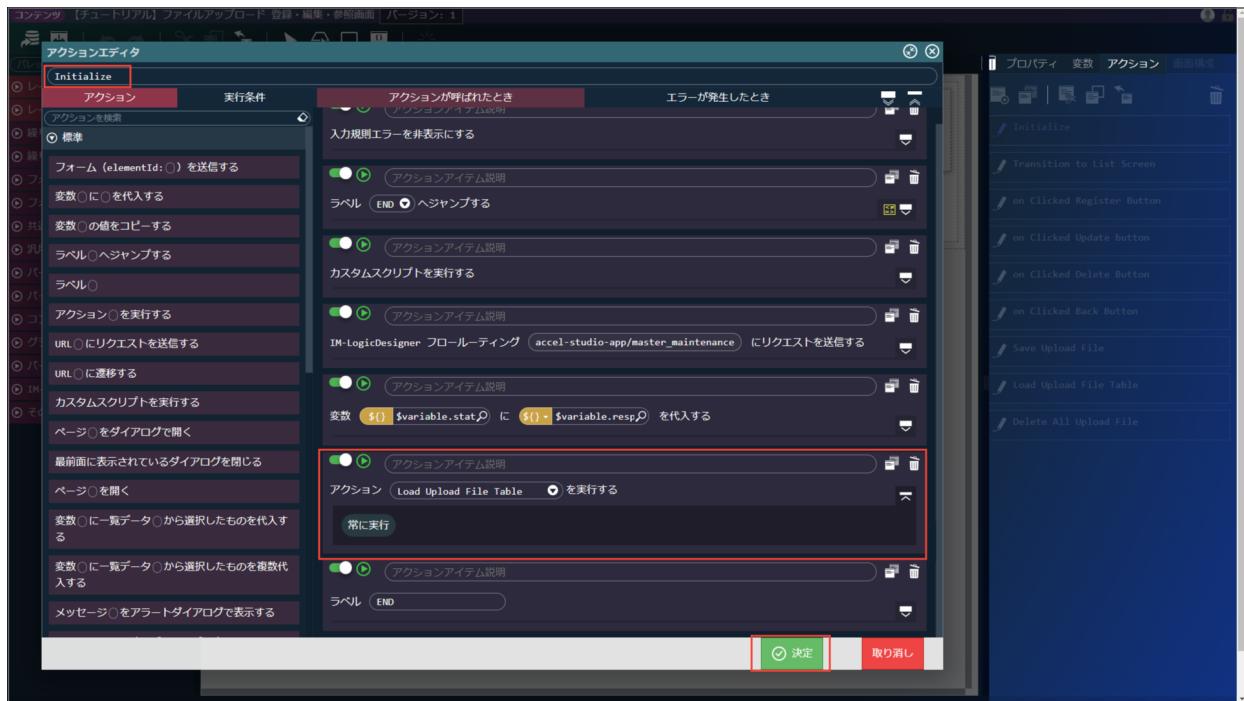
アクションアイテムの設定後、「決定」をクリックしてアクションを保存してください。

3. 既存アクションの編集

1. Initialize アクション

「標準」から「アクション〇を実行する」アクションアイテムを選択し、「ラベル END」のひとつ前に配置します。

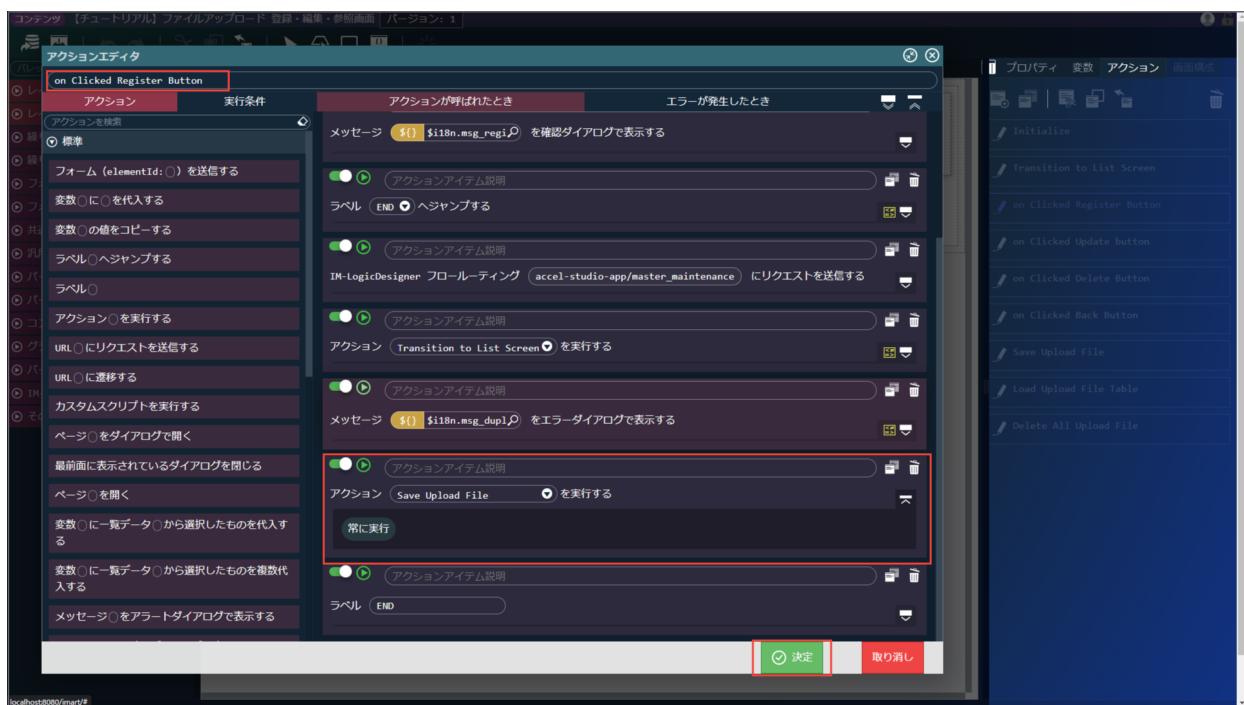
プルダウンから「Load Upload File Table」を選択してください。



アクションアイテムの設定後、「決定」をクリックしてアクションを保存してください。

2. on Clicked Register Button アクション

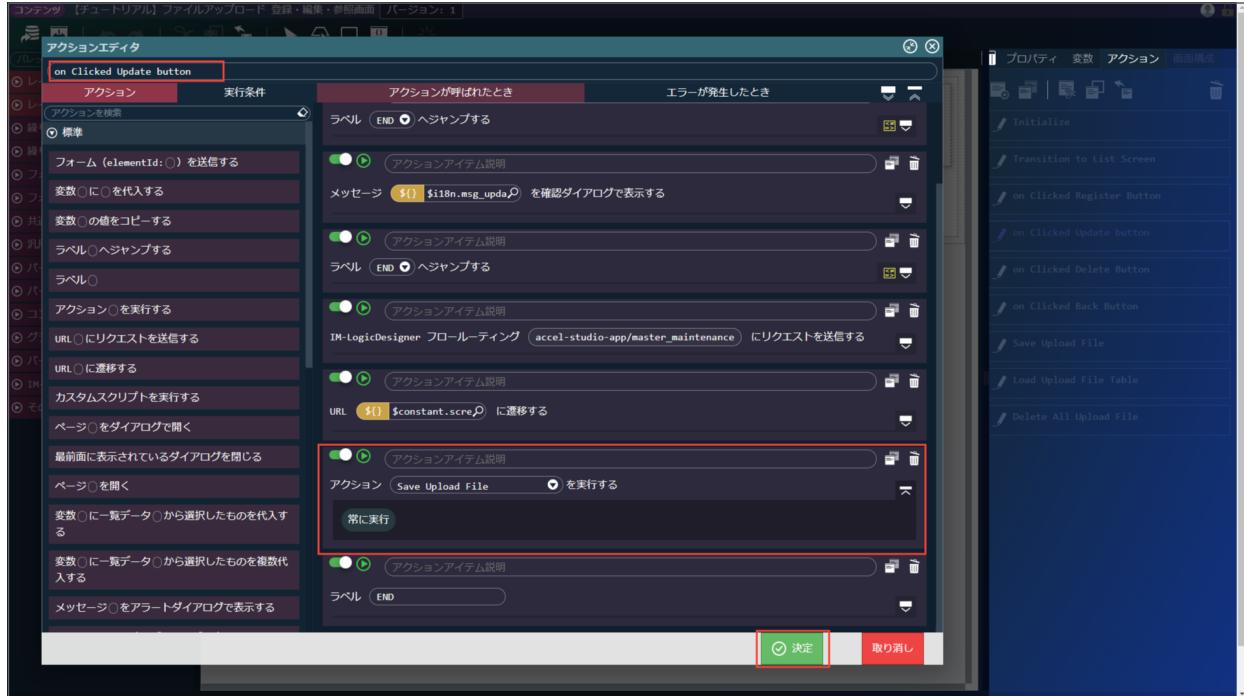
「標準」から「アクション〇を実行する」アクションアイテムを選択し、「ラベル END」のひとつ前に配置します。プルダウンから「Save Upload File」を選択してください。



アクションアイテムの設定後、「決定」をクリックしてアクションを保存してください。

3. on Clicked Update button アクション

「標準」から「アクション〇を実行する」アクションアイテムを選択し、「ラベル END」のひとつ前に配置します。プルダウンから「Save Upload File」を選択してください。

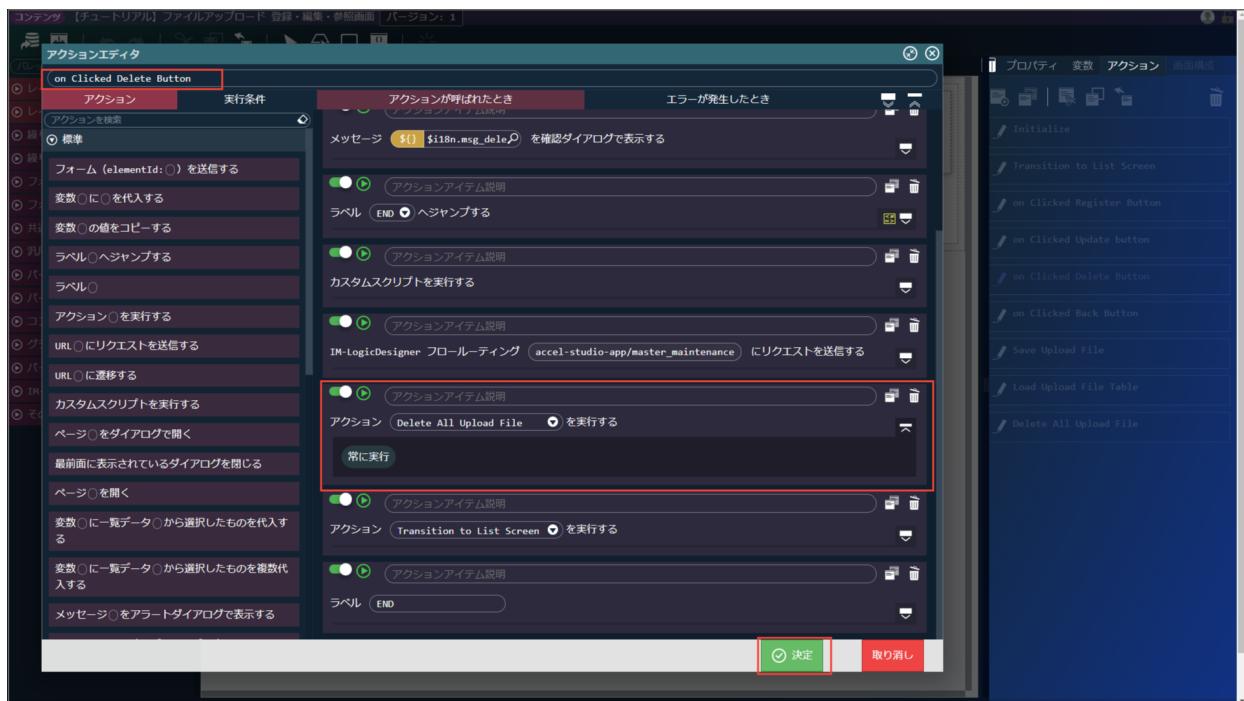


アクションアイテムの設定後、「決定」をクリックしてアクションを保存してください。

4. on Clicked Delete Button アクション

「標準」から「アクション○を実行する」アクションアイテムを選択し、「アクション Transition to List Screen を実行する」のひとつ前に配置します。

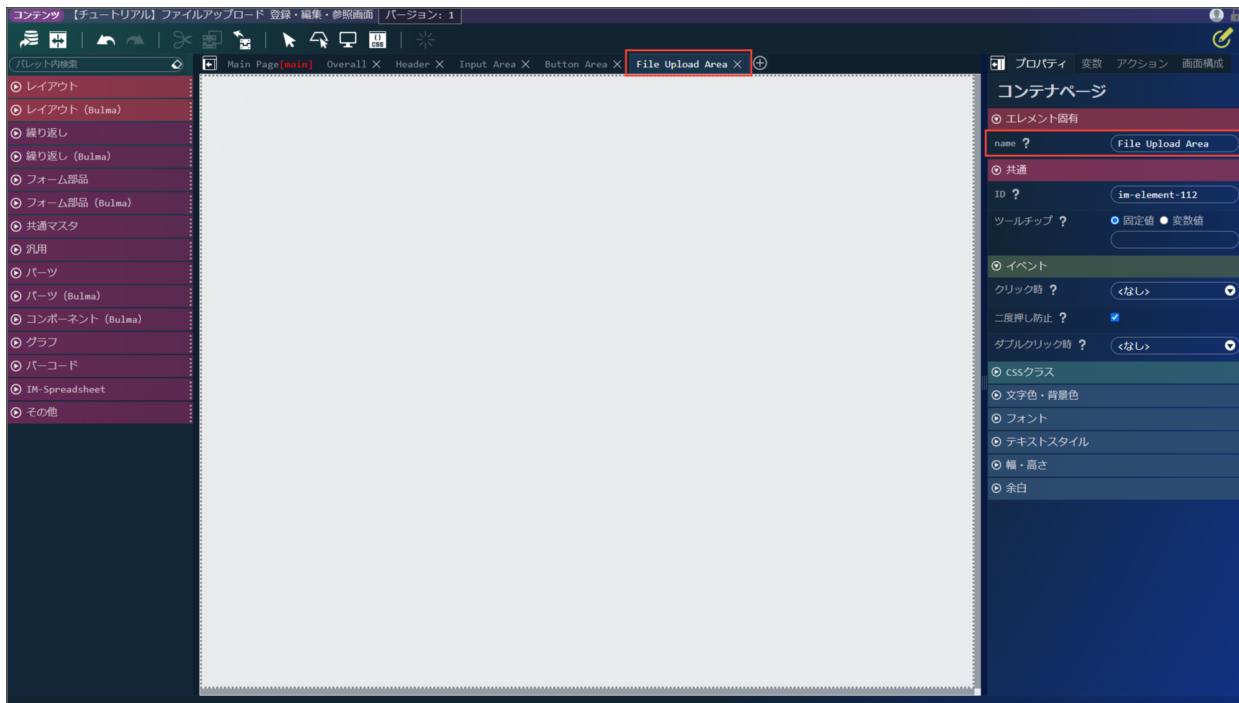
プルダウンから「Delete All Upload File」を選択してください。



アクションアイテムの設定後、「決定」をクリックしてアクションを保存してください。

4. コンテナページの追加

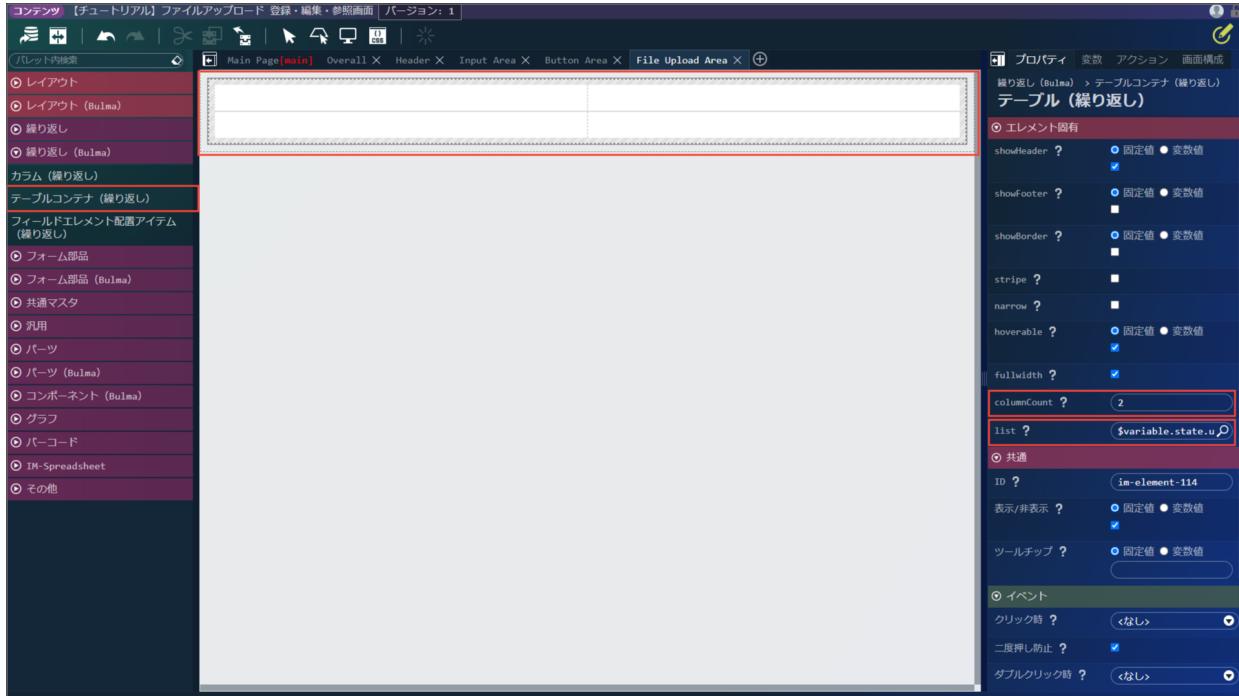
新規にコンテナページを追加し、「コンテナページ」のエレメント固有の「name」には「File Upload Area」と入力してください。



5. テーブルの追加

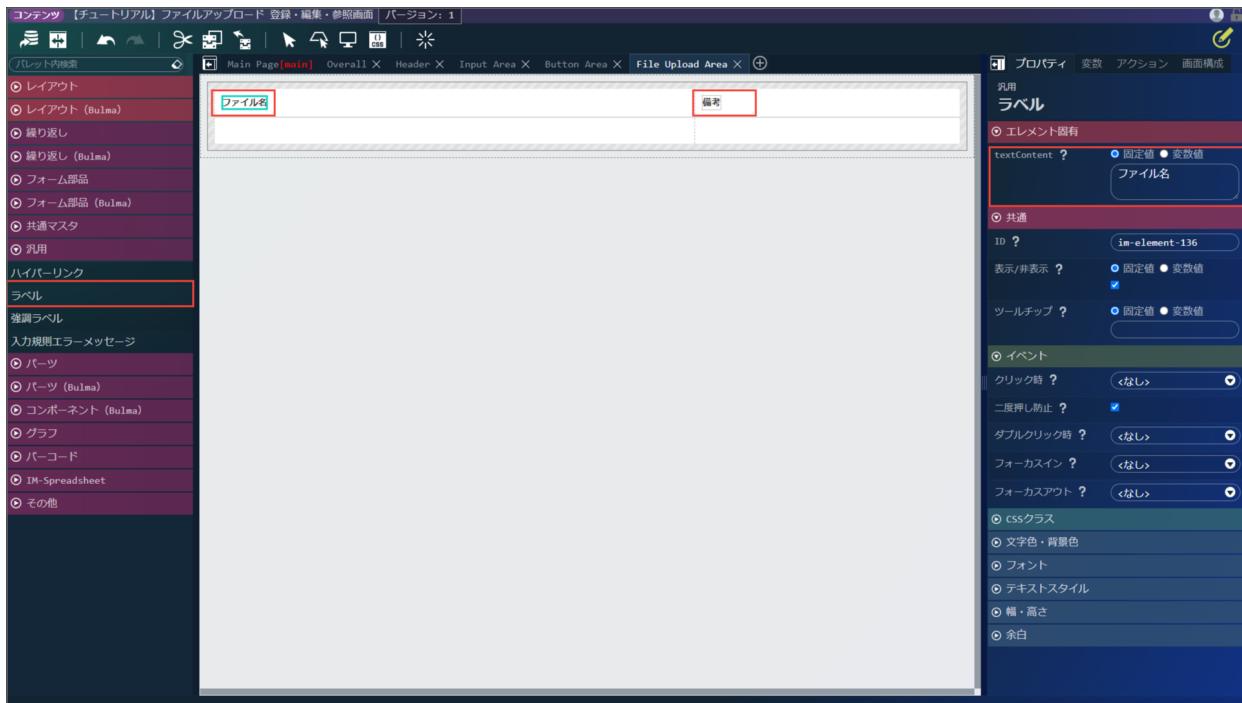
コンテナページの作成後、「繰り返し（Bulma）」から「テーブルコンテナ（繰り返し）」エレメントを配置してください。
「テーブル（繰り返し）」のエレメント固有のプロパティは以下のように設定してください。

プロパティ	指定する値
columnCount	2
list	\$variable.state.uploadFileInfoList



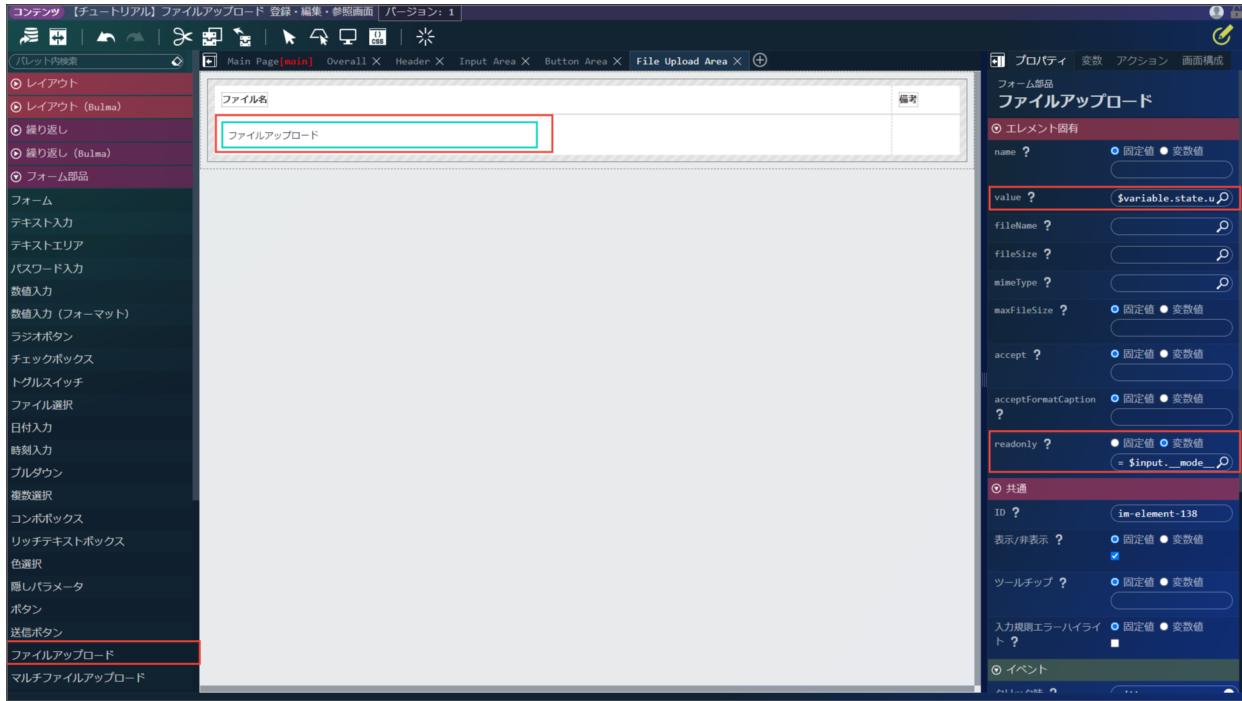
次に、「汎用」から「ラベル」エレメントを選択し、画像のように「テーブルヘッダセル」内に配置してください。

「ラベル」のエレメント固有の「textContent」には「固定値」でそれぞれ「ファイル名」と「備考」を入力してください。

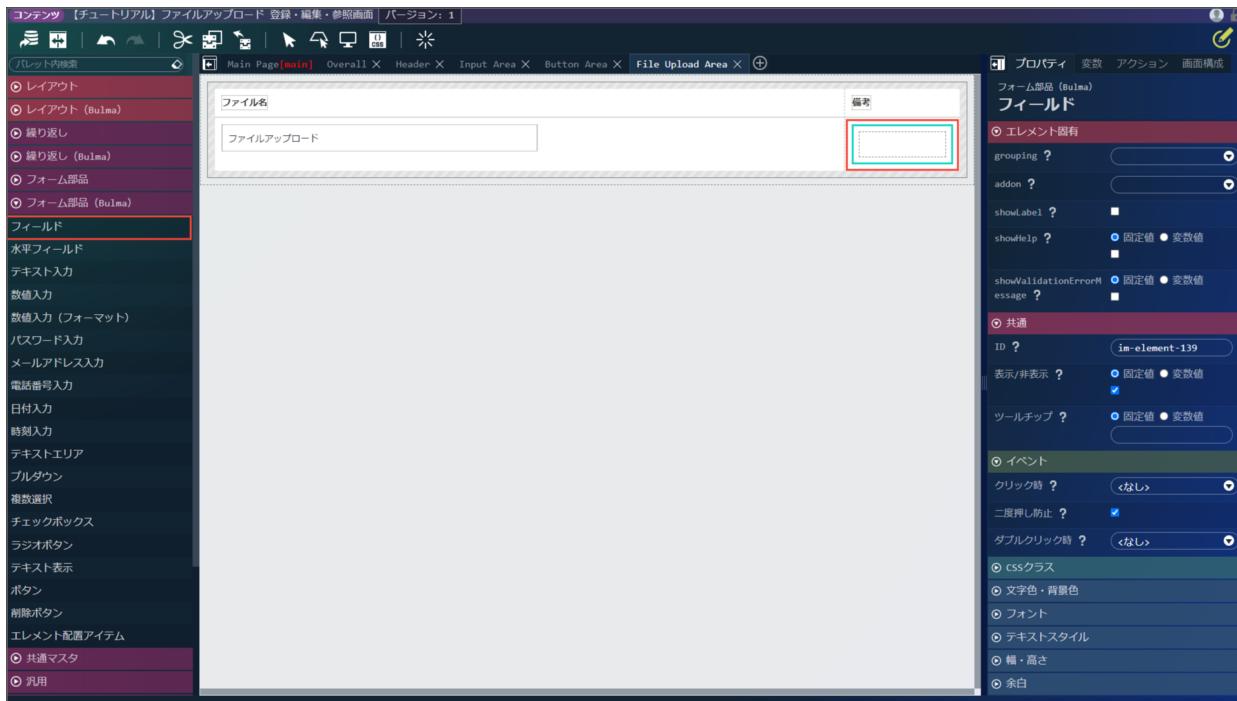


次に、「フォーム部品」から「ファイルアップロード」エレメントを選択し、画像のように「テーブルセル」内に配置してください。
「ファイルアップロード」のエレメント固有のプロパティは以下のように設定してください。

プロパティ	指定する値	備考
value	\$variable.state.uploadFileInfoList[\$index].fileKey	
readonly	= \$input._mode_ == \$constant.mode.refer	変数値を選択してください。



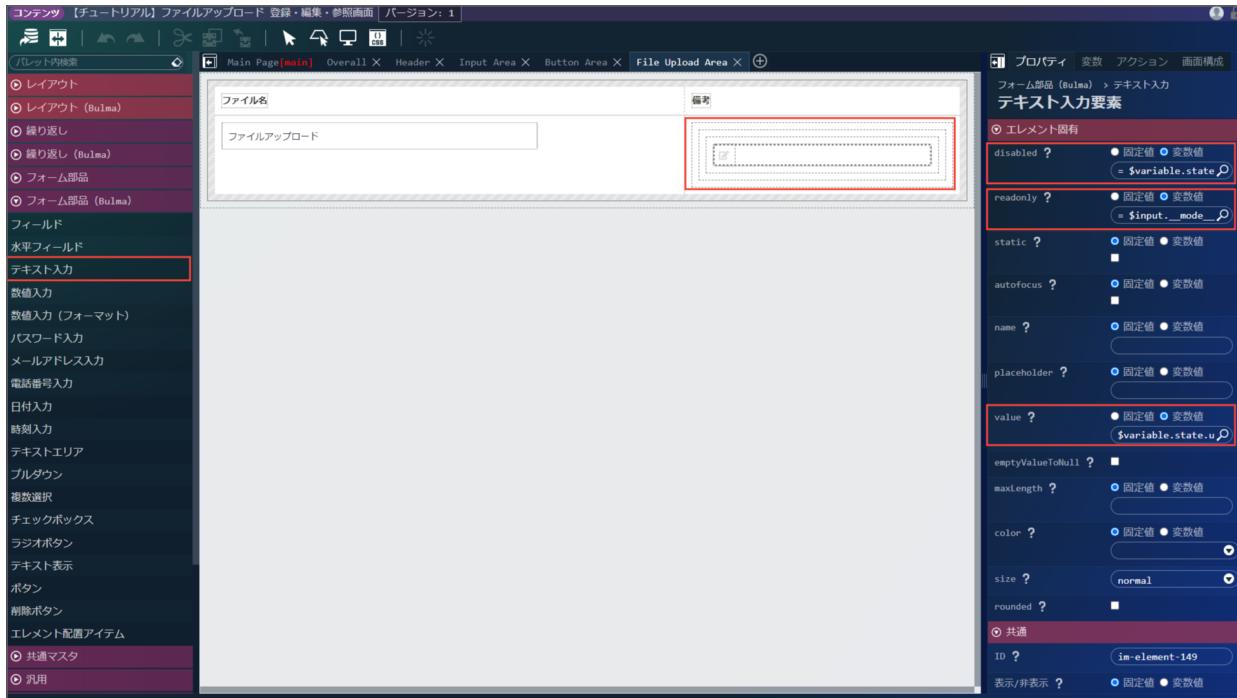
次に、「フォーム部品 (Bulma)」から「フィールド」エレメントを選び、画像のように「テーブルセル」内に配置してください。



「フィールド」エレメントを配置した後、「フォーム部品（Bulma）」から「テキスト入力」エレメントを選択し、画像のように「フィールド」内に配置してください。

「テキスト入力要素」のエレメント固有のプロパティは以下のように設定してください。

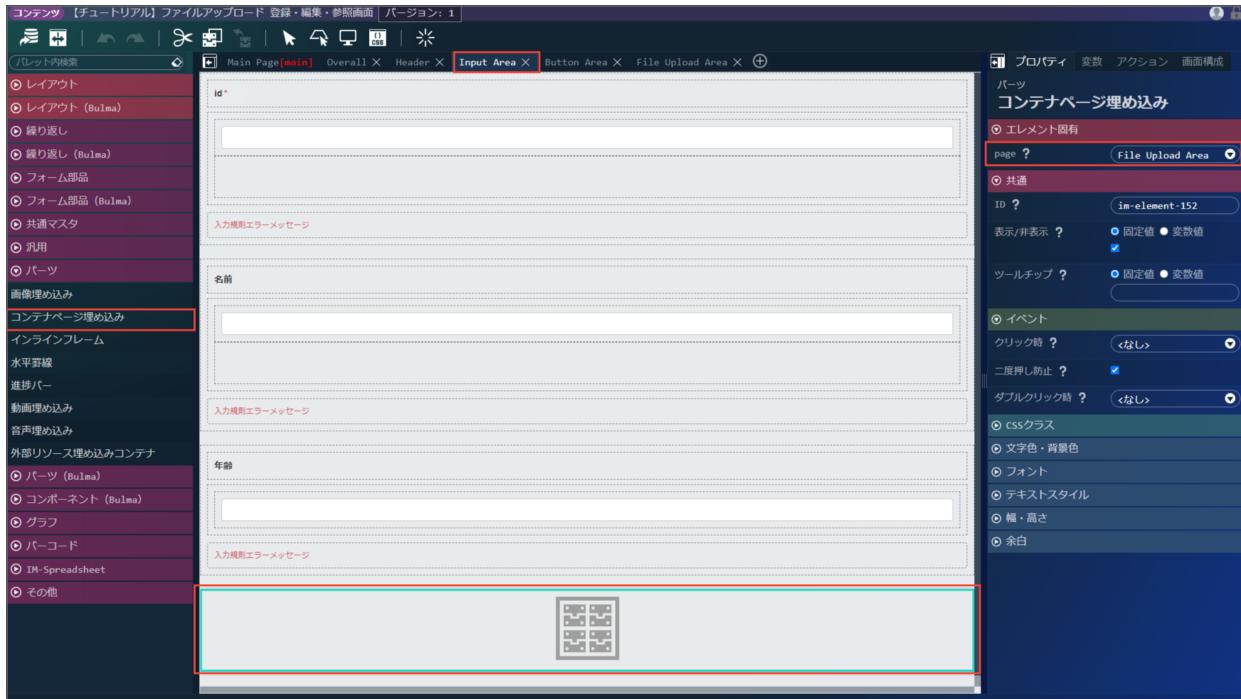
プロパティ	指定する値	備考
disabled	= \$variable.state.uploadFileInfoList[\$index].fileKey == null	変数値を選択してください。
readonly	= \$input._mode_ == \$constant.mode.refer	変数値を選択してください。
value	\$variable.state.uploadFileInfoList[\$index].note	変数値を選択してください。



6. 追加したコンテナページの配置

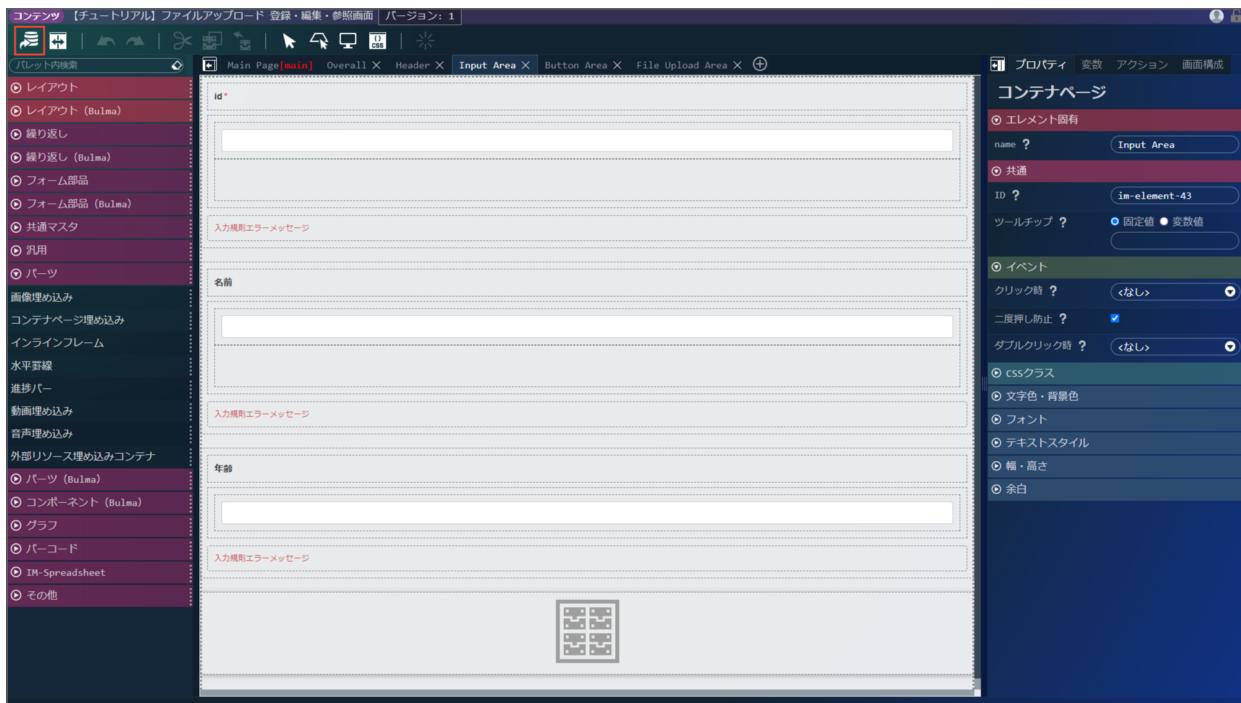
「パーツ」から「コンテナページ埋め込み」エレメントをコンテナ「Input Area」に配置してください。

「コンテナページ埋め込み」エレメントの「page」には、作成した「File Upload Area」を指定してください。



7. 編集内容の保存

最後に編集内容の保存を行います。画面左上の「上書き保存」をクリックしてください。



IM-BloomMaker資材の編集（複数ファイルアップロードの場合）

「ファイルアップロード」テンプレートは、複数ファイルアップロードに対応しています。

ファイルごとに備考欄を用意する都合上、「マルチファイルアップロード」エレメントではなく、「ファイルアップロード」エレメントを繰り返し利用することで実装します。

実装例として、「【チュートリアル】ファイルアップロード 登録・編集・参照画面」から、複数ファイルアップロードできるようにする手順を紹介します。

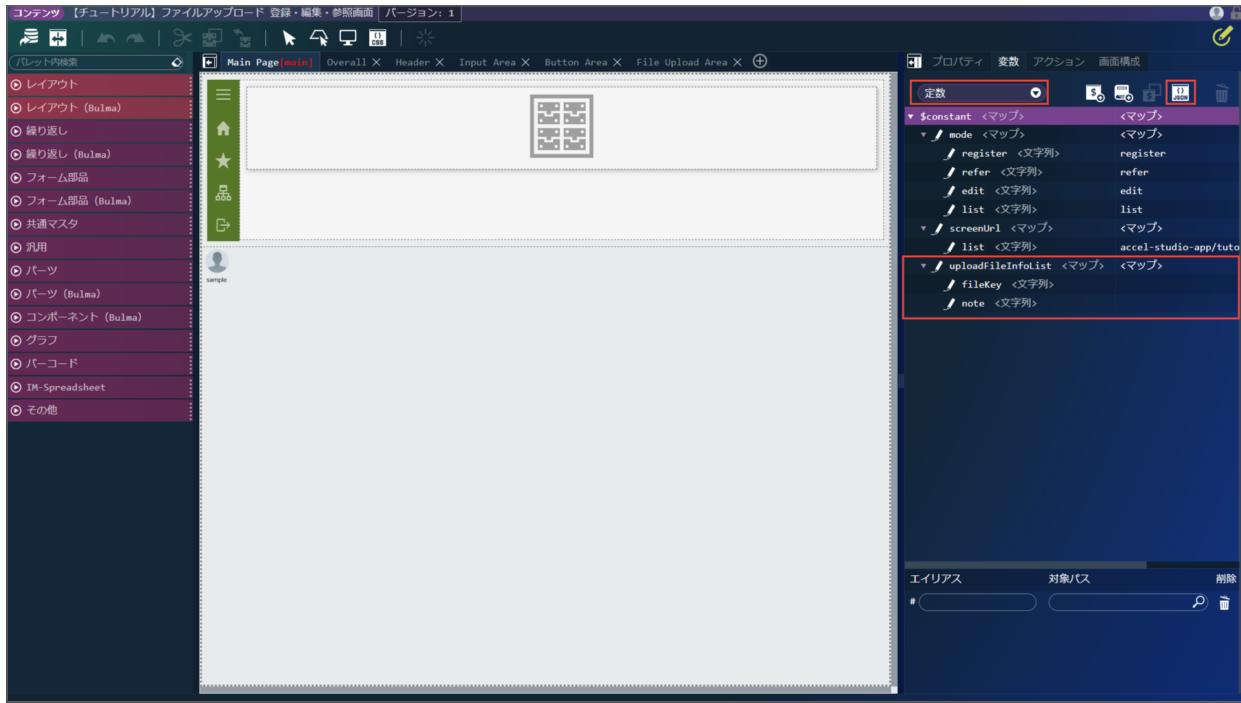
1. 事前準備

IM-BloomMaker資材の編集（単一ファイルアップロードの場合）までを完了させてください。

2. 定数の作成

「変数」タブからプルダウンで「定数」を選択し、「JSON形式で編集」アイコンから \$constant 配下に以下の定数を追加してください。

```
"uploadFileInfoList": {
  "fileKey": "",
  "note": ""
}
```



3. 新規アクションの追加

1. Adjust File Upload Element アクション

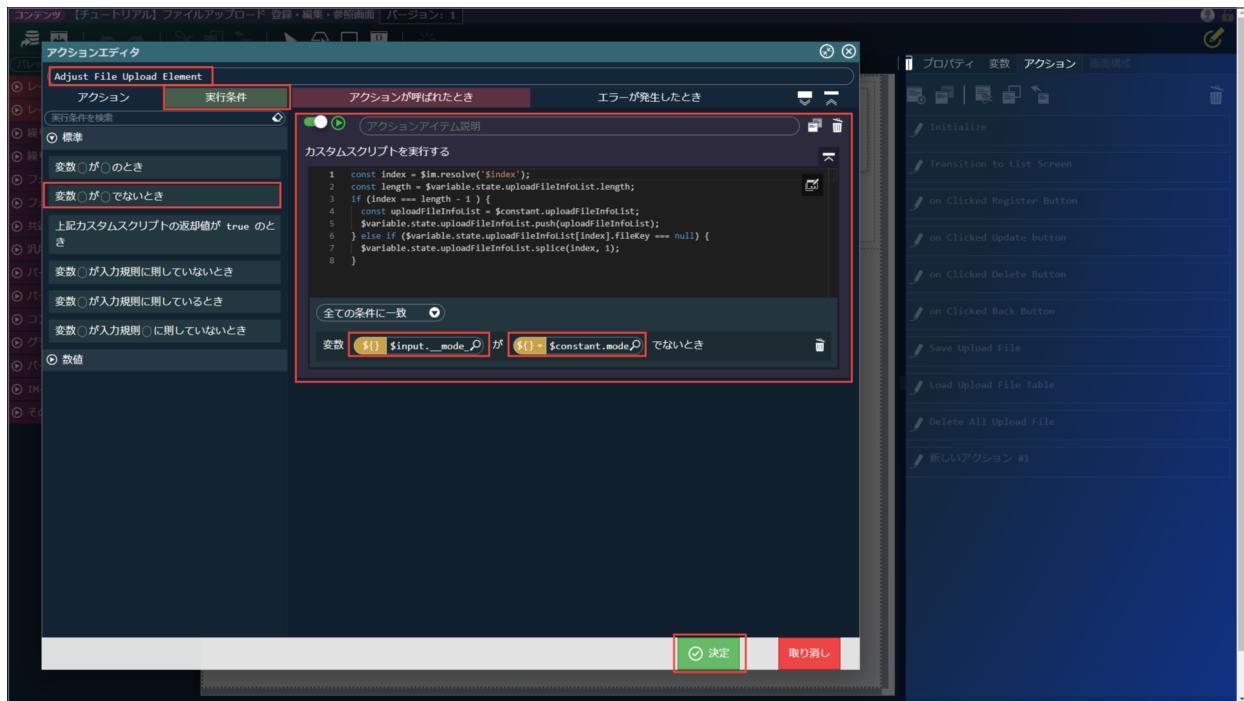
アクション名には「Adjust File Upload Element」と入力してください。

「標準」から「カスタムスクリプトを実行する」アクションアイテムを配置して、以下のカスタムスクリプトを入力してください。

```
const index = $im.resolve('$index');
const length = $variable.state.uploadFileInfoList.length;
if (index === length - 1) {
  const uploadFileInfoList = $constant.uploadFileInfoList;
  $variable.state.uploadFileInfoList.push(uploadFileInfoList);
} else if ($variable.state.uploadFileInfoList[index].fileKey === null) {
  $variable.state.uploadFileInfoList.splice(index, 1);
}
```

「実行条件」内の「標準」から「変数〇が〇でないとき」を配置して、以下のように設定してください。

項目	指定する値	備考
変数値1	\$input.__mode__	
変数値2	\$constant.mode.refer	プルダウンから「変数値」を選択してください。



アクションアイテムの設定後、「決定」をクリックしてアクションを保存してください。

4. 既存アクションの編集

1. Load Upload File Table アクション

「標準」から「カスタムスクリプトを実行する」アクションアイテムを配置して、以下のカスタムスクリプトを入力してください。
配置する位置は「Load Upload File Table」アクション内の最後です。

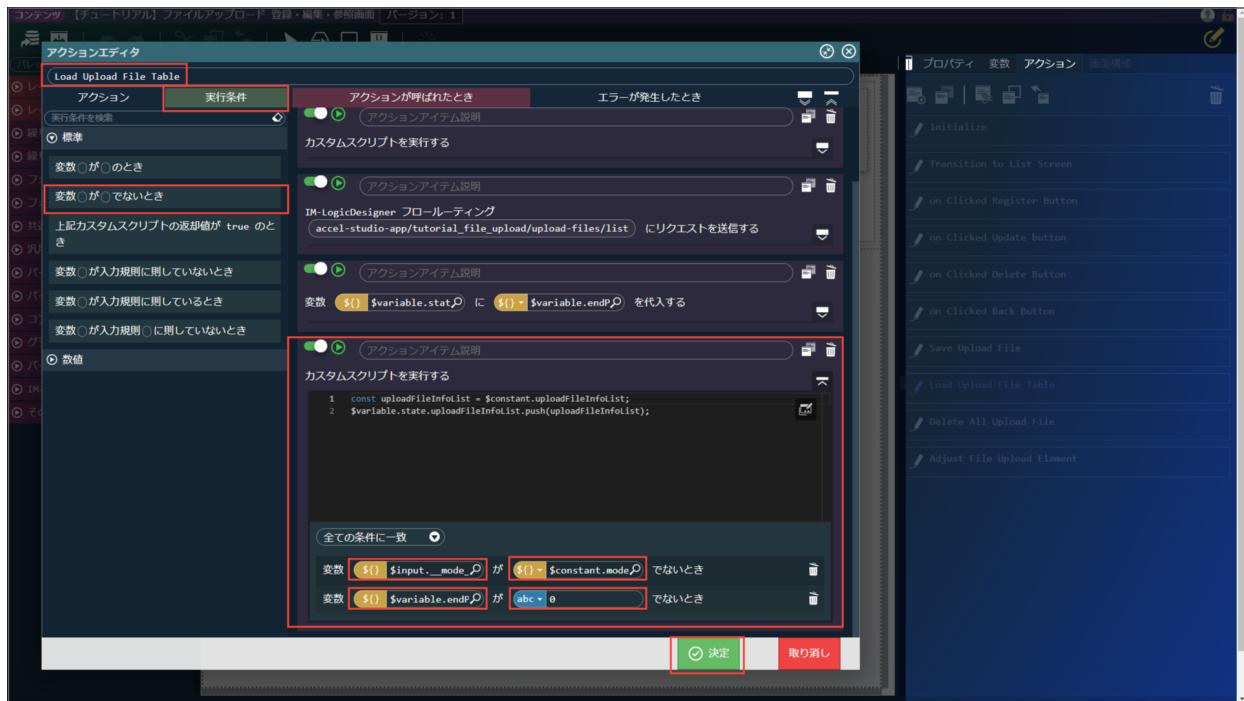
```
const uploadFileInfoList = $constant.uploadFileInfoList;
$variable.state.uploadFileInfoList.push(uploadFileInfoList);
```

「実行条件」内の「標準」から「変数〇が〇でないとき」を配置して、以下のように設定してください。

項目	指定する値	備考
変数値1	\$input.__mode__	
変数値2	\$constant.mode.refer	プルダウンから「変数値」を選択してください。

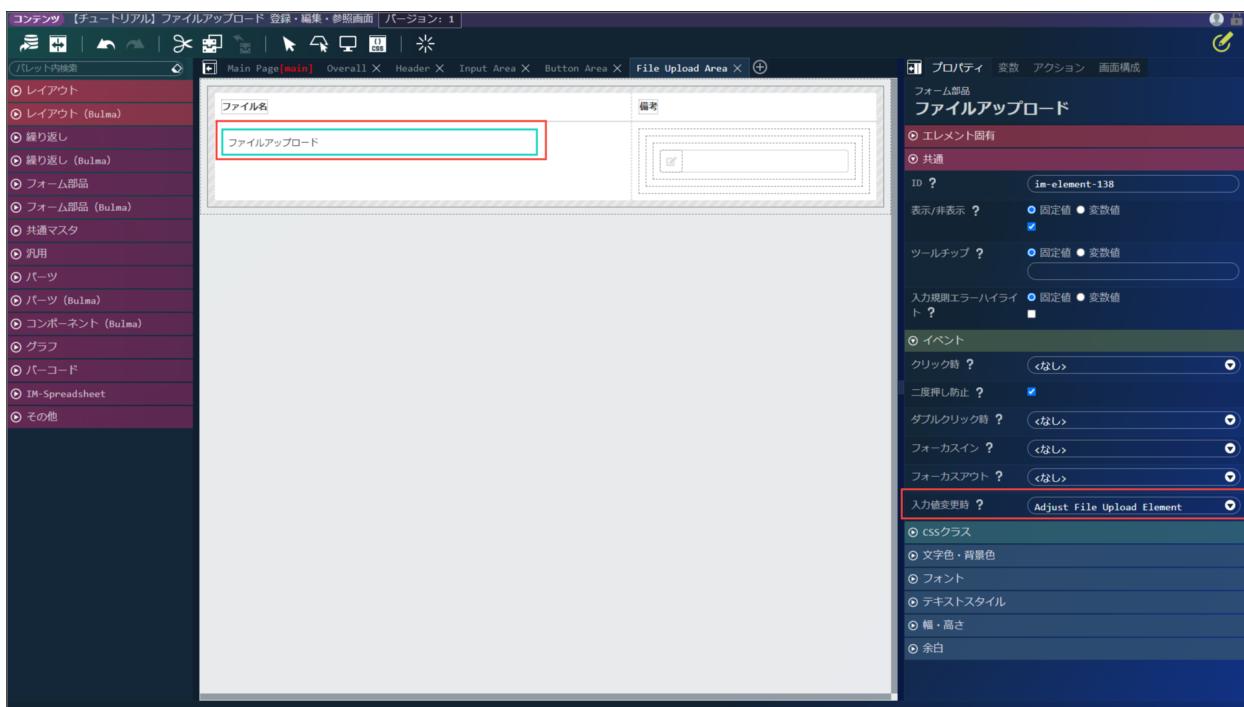
「実行条件」内の「標準」から「変数〇が〇でないとき」を配置して、以下のように設定してください。

項目	指定する値	備考
変数値1	\$variable.endPoint.list.responseData.totalCount	
変数値2	0	プルダウンから「固定値」を選択してください。



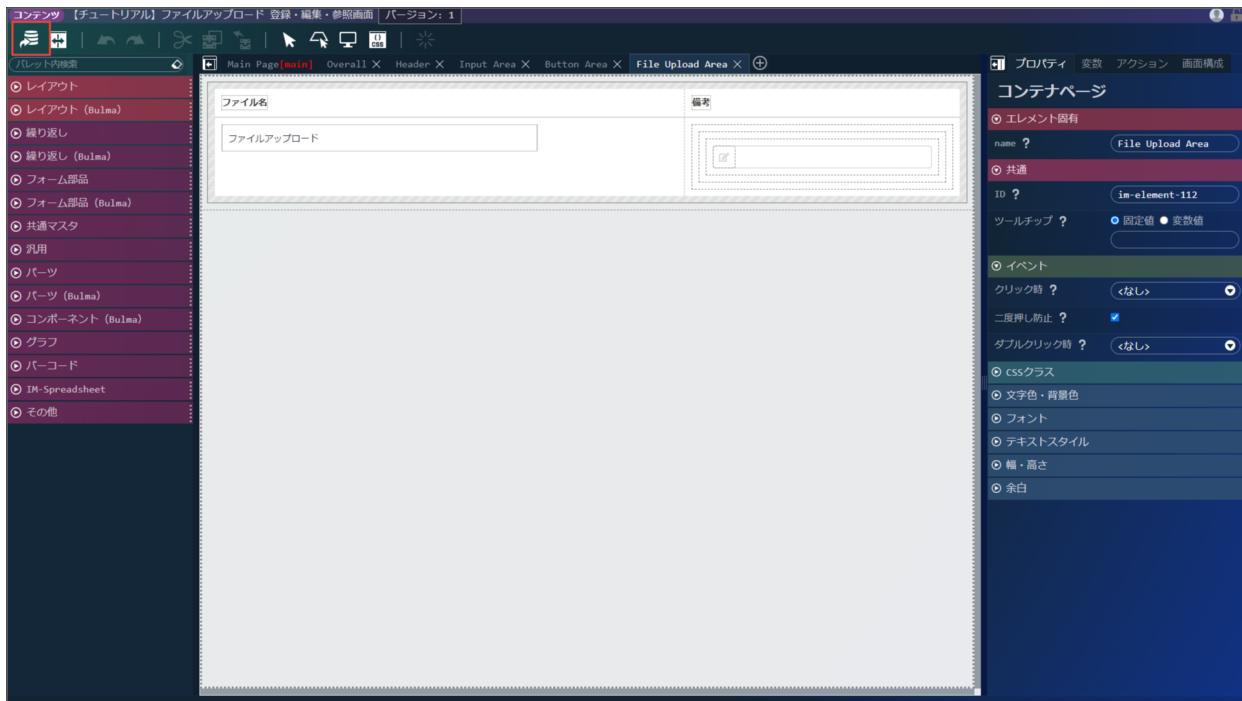
5. アクションの紐付け

「ファイルアップロード」のイベントの「入力値変更時」に、先ほど作成したアクション「Adjust File Upload Element」を設定してください。



6. 編集内容の保存

最後に編集内容の保存を行います。画面左上の「上書き保存」をクリックしてください。



「ファイルアップロード」機能の使用例

チュートリアルで追加した「ファイルアップロード」機能の使用例を紹介します。



コラム

アプリケーションの認可設定については、「[Accel Studioのテンプレート](#)」を参照してください。

登録画面

「登録画面」では、ファイルをアップロードし、備考に任意の文字列を入力できます。

「登録」ボタンをクリックすると、ファイルの情報が登録されます。

詳細画面

「詳細画面」では、アップロードされたファイルの情報を確認できます。

アップロードされたファイルをクリックすると、ファイルをダウンロードできます。

The screenshot shows the 'Edit' (編集) screen of the Accel Studio application. The form contains the following fields:

- ID**: aoyagi (必填)
- 名前**: 青柳原巳
- 年齢**: 32
- ファイル名**: サンプル画像.png (28.8KB)
- 備考**: アップロードされたファイルです。

編集画面

「編集画面」では、登録されているファイルの情報を編集できます。

「更新」ボタンをクリックすると、編集したファイルの情報で更新されます。

「削除」ボタンをクリックすると、画面に登録されている情報と一緒にアップロードされたファイルの情報も削除されます。

The screenshot shows the 'Edit' (編集) screen of the Accel Studio application. The form is identical to the previous one, but now includes two buttons at the bottom:

- 更新** (Update) button (highlighted in blue)
- 削除** (Delete) button (highlighted in red)

「ファイルアップロード」テンプレートから作成される資材

「ファイルアップロード」テンプレートからは、アップロードするファイルに関する処理が作成されます。

処理はIM-LogicDesignerで作成されます。

ファイル情報登録・更新・削除処理

入力に指定した businessKey に紐付くファイル情報をこの入力値で上書き登録をします。

そのため、businessKey に既にアップロードしたファイルが登録されており、同一の businessKey に対して追加登録（登録済みの情報を維持）したい場合は登録済みの fileKey も入力値に含めてリクエストに送信してください。

逆にファイルを削除したい場合は、削除したいファイルの fileKey を削除した入力値でリクエストを送信してください。

ルーティングURL

accel-studio-app/{IDの決定に利用する文字列}/upload_files

i コラム

REST APIとして利用するためのURLについては、「IM-LogicDesigner仕様書」 - 「ルート・HTTPメソッドに一致するフロールーティング情報の取得」を参照してください。

メソッド

PUT

入力値

```
{
  "records": [
    {
      "fileKey": "",
      "note": ""
    }
  ],
  "businessKey": ""
}
```

変数名	型	説明
records	map	登録・更新・削除するファイル情報を格納する配列です。
fileKey	string	登録・更新・削除するファイルを一意に特定するキーを指定します。
note	string	備考です。
businessKey	string	登録・更新・削除するときに利用される値です。添付ファイルを利用する画面毎に一意の値となるように指定することを推奨します。

i コラム

fileKeyにはIM-BloomMakerの「ファイルアップロード」のエレメント固有の value に指定した値を設定してください。
詳細については、「IM-BloomMaker for Accel Platform ユーザ操作ガイド」 - 「ファイルアップロード」を参照してください。

出力値

```
{
  "error": false,
  "errorMessage": ""
}
```

変数名	型	説明
error	boolean	エラーが発生した場合、true が格納されます。
errorMessage	string	エラーが発生した場合、エラー内容のメッセージが格納されます。

i コラム

このロジックフローには出力値は存在しませんが、エラー終了タスクを使用しているため、エラーが発生した場合には、errorとerrorMessageが返却されます。
エラーハンドリングの詳細については、「IM-LogicDesigner チュートリアルガイド」 - 「処理結果情報の詳細」を参照してください。

ファイル情報一括削除処理

指定した businessKey に紐付けられているファイル情報を全て削除します。

ルーティングURL

```
accel-studio-app/{IDの決定に利用する文字列}/upload_files
```

i コラム

REST APIとして利用するためのURLについては、「IM-LogicDesigner仕様書」 - 「ルート・HTTPメソッドに一致するフロールーティング情報の取得」を参照してください。

メソッド

DELETE

入力値

```
{
  "businessKey": ""
}
```

変数名	型	説明
businessKey	string	一括削除するときに利用される値です。添付ファイルを利用する画面毎に一意の値となるように指定することを推奨します。

出力値

```
{
  "error": false,
  "errorMessage": ""
}
```

変数名	型	説明
error	boolean	エラーが発生した場合、true が格納されます。
errorMessage	string	エラーが発生した場合、エラー内容のメッセージが格納されます。

コラム

このロジックフローには出力値は存在しませんが、エラー終了タスクを使用しているため、エラーが発生した場合には、error と errorMessage が返却されます。

エラーハンドリングの詳細については、「IM-LogicDesigner チュートリアルガイド」 - 「処理結果情報の詳細」を参照してください。

ファイル情報一覧取得処理

指定した businessKey に紐付けられているファイル情報を取得します。

ルーティングURL

```
accel-studio-app/{IDの決定に利用する文字列}/upload_files/list
```

コラム

REST APIとして利用するためのURLについては、「IM-LogicDesigner仕様書」 - 「ルート・HTTPメソッドに一致するフロールーティング情報の取得」を参照してください。

メソッド

```
GET
```

入力値

```
{
  "businessKey": "",
  "limit": 0,
  "offset": 1
}
```

変数名	型	説明
businessKey	string	一覧取得するときに利用される値です。添付ファイルを利用する画面毎に一意の値となるように指定することを推奨します。
limit	integer	取得するデータの最大件数です。（0以上。0の場合、offset以降の全件）
offset	integer	取得するデータの開始位置です。（1以上）

出力値

```
{
  "records": [
    {
      "fileKey": "",
      "createUserCd": "",
      "createUserName": "",
      "createDate": null,
      "createDateStr": "",
      "recordUserCd": "",
      "recordUserName": "",
      "recordDate": null,
      "recordDateStr": "",
      "note": ""
    }
  ],
  "totalCount": 0
}
```

変数名	型	説明
records	map	取得したファイル情報を格納する配列です。
fileKey	string	登録済みのファイルを一意に特定するキーを指定します。
createUserCd	string	作成者ユーザコードです。
createUserName	string	作成者ユーザ名です。
createDate	date	作成日（日付型）です。
createDateStr	string	作成日（文字列型）です。
recordUserCd	string	更新者ユーザコードです。
recordUserName	string	更新者ユーザ名です。
recordDate	date	更新日（日付型）です。
recordDateStr	string	更新日（文字列型）です。
note	string	備考です。
totalCount	integer	総件数です。

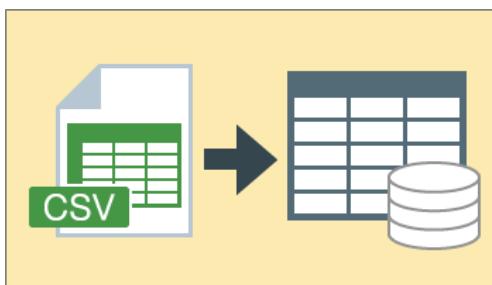
CSVインポート

このページでは「CSVインポート」テンプレートの概要、アプリケーションへの追加方法について解説します。

目次

- 「CSVインポート」テンプレートとは
- チュートリアル
 - 「CSVインポート」機能の追加手順
 - IM-BloomMaker資材の編集
 - 「CSVインポート」機能の使用例
- 「CSVインポート」テンプレートから作成される資材
 - CSVインポート処理
 - 「CSVインポート」テンプレートから作成される処理について

「CSVインポート」テンプレートとは



このテンプレートは、CSV形式のファイルをインポートする処理を提供します。

このテンプレートでは、IM-BloomMakerの資材は作成されません。

このテンプレートから作成された処理をIM-BloomMaker等の画面資材と組み合わせて、活用していただくことができます。



コラム

「CSVインポート」テンプレートは2022 Winter(Freesia)から利用可能です。



コラム

「CSVインポート」テンプレートから作成された処理は、単一のテーブルにのみ対応しています。

「CSVインポート」機能を追加した際のイメージは、以下の通りです。

User	User Name	Age	編集	詳細
aoyag	青柳原巳	24		
hayas	林政義	30		
ueda	上田原男	27		

追加手順の詳細については、「チュートリアル」で紹介します。

チュートリアル

ここでは、「マスタメンテナンス」テンプレートから作成されたアプリケーションへ「CSVインポート」機能を追加する手順について紹介します。



コラム

紹介した手順通りではなくとも、「CSVインポート」機能を追加することは可能です。

「CSVインポート」機能の追加手順

1. 「既存アプリケーションの更新」画面への遷移

「アプリケーション管理」画面の「テンプレートからリソースを追加する」をクリックします。

The screenshot shows the 'Application Management' section of the intra-mart Accel Studio interface. A red box highlights the 'Resource Addition' button (+リソースを追加) in the top right corner of the main content area. Below it, a search bar contains the text 'テンプレートからリソース追加'. The main content area displays a list of application components, including '画面' (Screen), '公開URL' (Public URL), 'ロジック' (Logic), 'データ走査' (Data Scan), 'ユーティリティ' (Utility), and 'ドキュメント' (Document). Each item has a 'tenant 0時間前' (tenant 0 hours ago) timestamp next to it. On the right side, there are three sections titled '画面URLの更新' (Update Screen URL), '画面URLの更新' (Update Screen URL), and '画面URLの更新' (Update Screen URL), each listing a specific route and its details.

「業務テンプレート一覧」が表示されるので、「CSVインポート」テンプレートを選択します。

This screenshot shows the 'Business Template List' screen. It features a grid of four cards, each representing a different template. The fourth card, labeled 'CSVインポート' (CSV Import), is highlighted with a red box. Below the grid, there's a section titled 'オプションテンプレート' (Option Template) with three sub-options: 'ファイルアップロード' (File Upload), 'CSVインポート' (CSV Import), and 'CSVエクスポート' (CSV Export). Each sub-option has a detailed description and a 'Next' (次へ) button at the bottom.

2. IDの決定に利用する文字列の設定

「既存アプリケーションの更新」画面が表示されたら、「IDの決定に利用する文字列」を設定します。

「IDの決定に利用する文字列」は、各処理やIDなどに利用されます。

既存アプリケーションの更新
CSVインポート - リソースの追加

作成されたビジネスロジックを利用してCSVファイルのインポートを実行すると、指定したテーブルのデータが全て上書きされるため、ご注意ください。

テーブル生成の設定 ②
 テーブルを自動生成する

データベース種別 ②
 TENANT
 SHARED

テーブル名 ②
ヘルプアイコンから入力規則を確認できます。

テーブル情報 ②

物理名	データ型	主キー	必須	削除
app_100				

その他情報の指定

① このテンプレートでは、IM-LogicDesigner のリソースを新規作成し、アプリケーションを作成します。
IM-LogicDesigner で利用される各種IDやルーティング情報などを自動で決定するかを指定します。
自動で決定する場合は、「IDの決定に利用する文字列」が含まれた文字列が指定されます。

IM-LogicDesigner 資材の設定 ②
 リソースのIDやルーティング情報を手動で決定する

IDの決定に利用する文字列 ②
半角英数字、- (ハイフン)、_ (アンダースコア) で入力してください。

app_100

既存アプリケーションの更新



コラム

「既存アプリケーションの更新」画面では、既存アプリケーションの基本情報が自動入力されます。
なお、アプリケーションIDとアプリケーション名は変更できません。

3. 利用するデータベース種別とテーブルの名称の設定

次に、利用するデータベース種別とテーブルの名称を設定します。

なお、「CSVインポート」テンプレートでは、既存のテーブルを利用します。

既存アプリケーションの更新
CSVインポート - リソースの追加

作成するアプリケーションで扱うデータを指定します。
指定了したテーブルにCSVファイルのデータをインポートするビジネスロジックが作成されます。
作成されたビジネスロジックを利用してCSVファイルのインポートを実行すると、指定したテーブルのデータが全て上書きされるため、ご注意ください。

テーブル生成の設定 ②
 テーブルを自動生成する

データベース種別 ②
 TENANT
 SHARED

テーブル名 ②
ヘルプアイコンから入力規則を確認できます。

テーブル情報 ②

物理名	データ型	主キー	必須	削除
app_100				

その他情報の指定

① このテンプレートでは、IM-LogicDesigner のリソースを新規作成し、アプリケーションを作成します。
IM-LogicDesigner で利用される各種IDやルーティング情報などを自動で決定するかを指定します。
自動で決定する場合は、「IDの決定に利用する文字列」が含まれた文字列が指定されます。

既存アプリケーションの更新

4. 既存アプリケーションの更新

アプリケーションの基本情報とテーブル情報を設定した後、「既存アプリケーションの更新」ボタンをクリックしてください。
入力項目に不備が無ければ、自動で既存アプリケーションの更新が行われます。

既存アプリケーションの更新

5. 既存アプリケーションの更新結果

アプリケーションの更新が完了すると、ステータスが「COMPLETE」と表示されます。

The screenshot shows the 'Template Build Job - Details' page. Key information displayed includes:

- ビルドジョブID:** 8gfr7c9nbo4w14b
- ステータス:** COMPLETE (highlighted with a red box)
- テンプレート名:** tenant
- 作成者ユーザコード:** tenant
- CSVインポート:** tenant
- 作成日時:** 2022/11/15 14:19:10
- 出力日時:** メッセージ (2022/11/15 14:19:10) - テンプレートをビルドし、「【チュートリアル】 CSVインポート」(アプリケーションID: tutorial_todo_app)にリソースを追加します。
- 操作:** 詳細 (link)

IM-BloomMaker資料の編集

「CSVインポート」機能を追加するために、IM-BloomMaker資料の編集を行います。

「アプリケーション管理」画面の「【チュートリアル】 CSVインポート一覧画面」を選択してください。

The screenshot shows the 'Application Management' interface with the following details:

- ルーティング名:** 【チュートリアル】 CSV インポート 登録・編集・参照画面
- ルーティングID:** app_01-edit
- メソッド:** GET
- 公開URL:** accel-studio-app/app_01/edit
- 権限設定:** 編集画面を開く
- 実行ユーザー:** tenant 处理実行日: 2025/03/21 0:52:25
- 画面URLの更新:** 【チュートリアル】 CSV インポート 一覧画面
- ルーティング名:** 【チュートリアル】 CSV インポート 一覧画面
- ルーティングID:** app_01-list
- メソッド:** GET
- 公開URL:** accel-studio-app/app_01/list
- 権限設定:** 編集画面を開く
- 実行ユーザー:** tenant 处理実行日: 2025/03/21 0:52:16
- 画面URLの更新:** 【チュートリアル】 CSV インポート 参照画面
- ルーティング名:** 【チュートリアル】 CSV インポート 参照画面
- ルーティングID:** app_01-refer
- メソッド:** GET
- 公開URL:** accel-studio-app/app_01/refer
- 権限設定:** 編集画面を開く
- 実行ユーザー:** tenant 处理実行日: 2025/03/21 0:52:04
- 画面URLの更新:** 【チュートリアル】 CSV インポート 登録画面
- ルーティング名:** 【チュートリアル】 CSV インポート 登録画面
- ルーティングID:** app_01-create
- メソッド:** POST
- 公開URL:** accel-studio-app/app_01/create
- 権限設定:** 編集画面を開く

注意

画像のアプリケーションは、「マスタメンテナンス」テンプレートのアプリケーション名に「【チュートリアル】 CSVインポート」と入力して作成されたアプリケーションの例です。

「デザイン編集」画面が表示されたら、以下の手順でコンテンツを編集します。

コラム

コンテンツの編集作業中は、編集した内容を保存するために、こまめに「デザイン編集」画面左上の「上書き保存」をクリックすることを推奨します。

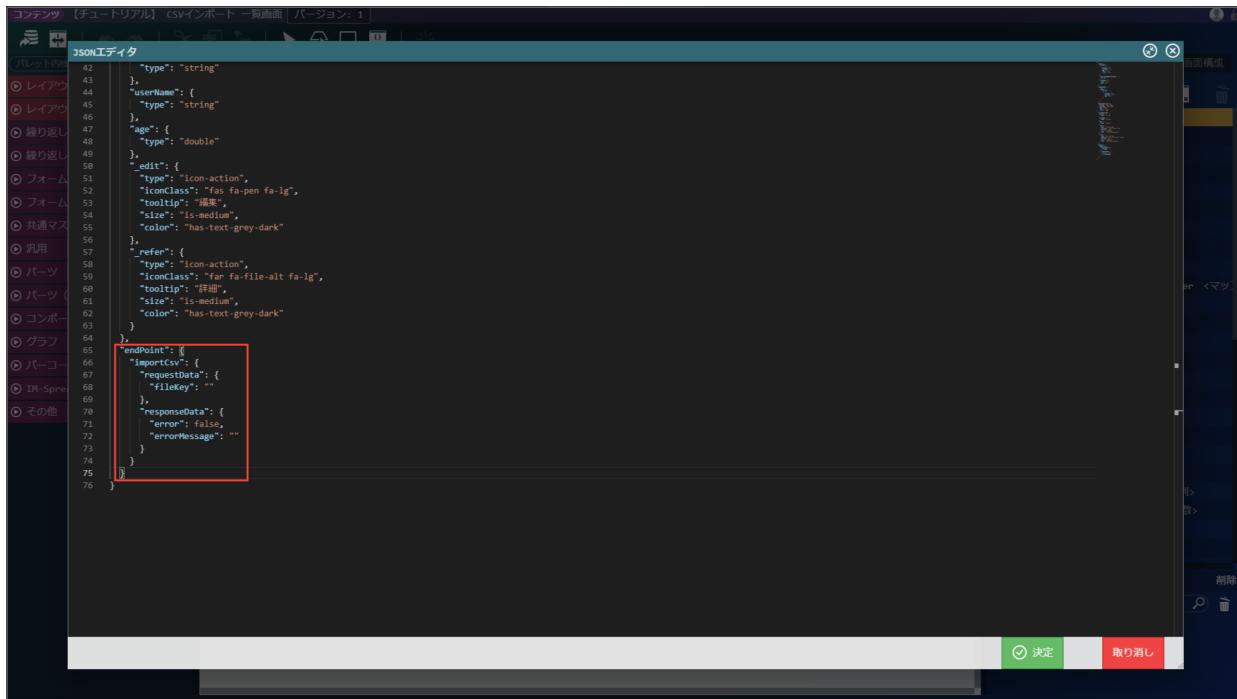
1. 変数・定数の作成

「変数」タブから「JSON形式で編集」アイコンをクリックして、\$variable 配下に以下の変数を追加してください。

```

"endPoint": {
  "importCsv": {
    "requestData": {
      "fileKey": ""
    },
    "responseData": {
      "error": false,
      "errorMessage": ""
    }
  }
}
}

```

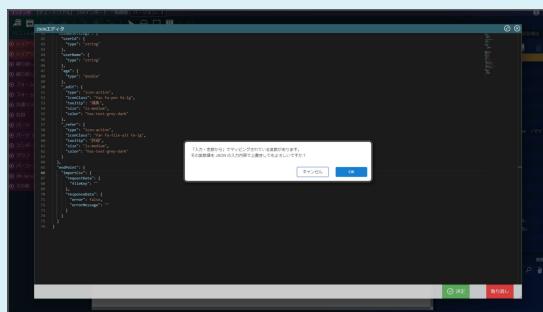


コラム

本チュートリアルでは実装の簡易化のために、JSONエディタでの変数の追加方法を紹介しています。

JSONエディタ上から変数を追加する場合、確認ダイアログが表示され「OK」をクリックすると、テーブルヘッダ用の多言語変数の紐付けが外れます。

多言語変数の紐付けを維持したい場合は、JSONエディタではなく、変数タブの「新規作成」ボタンから変数を追加してください。

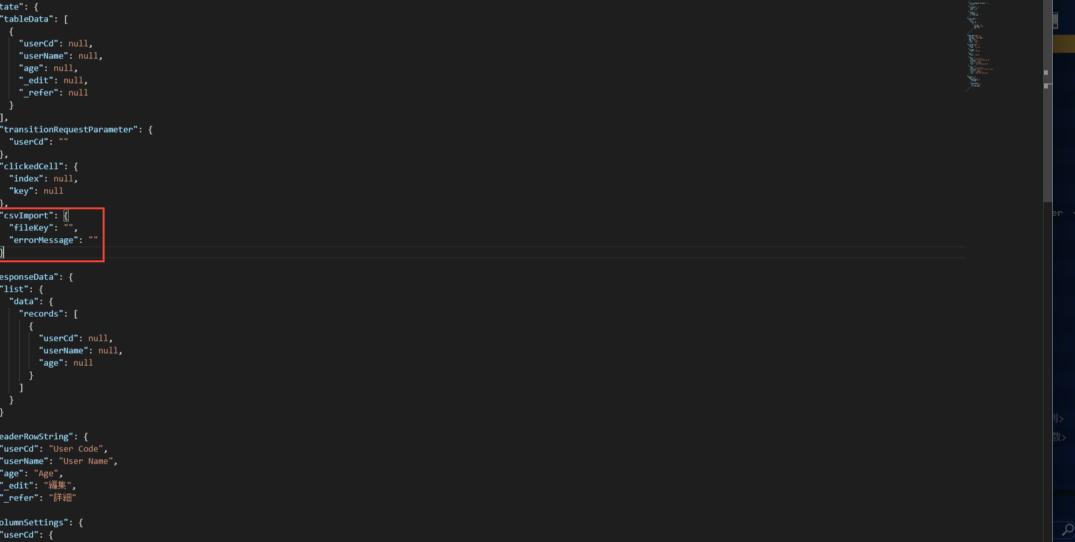


次に、もう一度「JSON形式で編集」アイコンをクリックして、\$variable.state 配下に以下の変数を追加してください。

```

"csvImport": {
  "fileKey": "",
  "errorMessage": ""
}

```



The screenshot shows a JSON editor interface with a large JSON tree on the left and a preview pane on the right. A red box highlights the 'csvImport' field in the JSON structure.

```
1 {  
2     "state": {  
3         "tableData": [  
4             {  
5                 "userCd": null,  
6                 "userName": null,  
7                 "age": null,  
8                 "edit": null,  
9                 "refer": null  
10            }  
11        ],  
12        "transitionRequestParameter": {  
13            "userCd": ""  
14        },  
15        "clickedCell": {  
16            "index": null,  
17            "key": null  
18        },  
19        "csvImport": []  
20    },  
21    "fileKey": "",  
22    "errorMessage": ""  
23},  
24    "responseData": {  
25        "list": {  
26            "data": {  
27                "records": [  
28                    {  
29                        "userCd": null,  
30                        "userName": null,  
31                        "age": null  
32                    }  
33                ]  
34            }  
35        }  
36    },  
37    "headerRowString": {  
38        "userCd": "User Code",  
39        "userName": "User Name",  
40        "age": "Age",  
41        "edit": "編集",  
42        "refer": "詳細"  
43    },  
44    "columnSettings": {  
45        "userCd": {  
46            "type": "string"  
47        },  
48    }  
49}
```

次に、「変数」タブからプルダウンで「定数」を選択し、「JSON形式で編集」アイコンから \$constant 配下に以下の定数を追加してください。

"msgImportCsvSuccess": "Import CSV successful."

コンテンツ [チュートリアル] csvインポート一覧画面 バージョン: 1

JSONエディタ

```
1 {
2     "mode": {
3         "register": "register",
4         "refer": "refer",
5         "edit": "edit",
6         "list": "list"
7     },
8     "screenUrl": {
9         "register": "accel-studio-app/tutorial_todo_app/register",
10        "edit": "accel-studio-app/tutorial_todo_app/edit",
11        "refer": "accel-studio-app/tutorial_todo_app/refer"
12    },
13    "iconKey": {
14        "edit": "_edit",
15        "refer": "_refer"
16    }
17    "msgImportCsvSuccess": "Import CSV successful."
18 }
```

削除 削除

決定 取り消し

i コラム

本チュートリアルでは実装の簡易化のために、定数で用意していますが、作成されたアプリケーションを複数のロケールで利用される場合は、多言語変数を使用してください。

2. 新規アクションの追加

1. Import CSV アクション

アクション名には「Import CSV」と入力してください。

「標準」から「変数○に○を代入する」アクションアイテムを配置して、以下のように設定してください。

項目	指定する値	備考
変数名1	\$variable.endPoint.importCsv.requestData.fileKey	

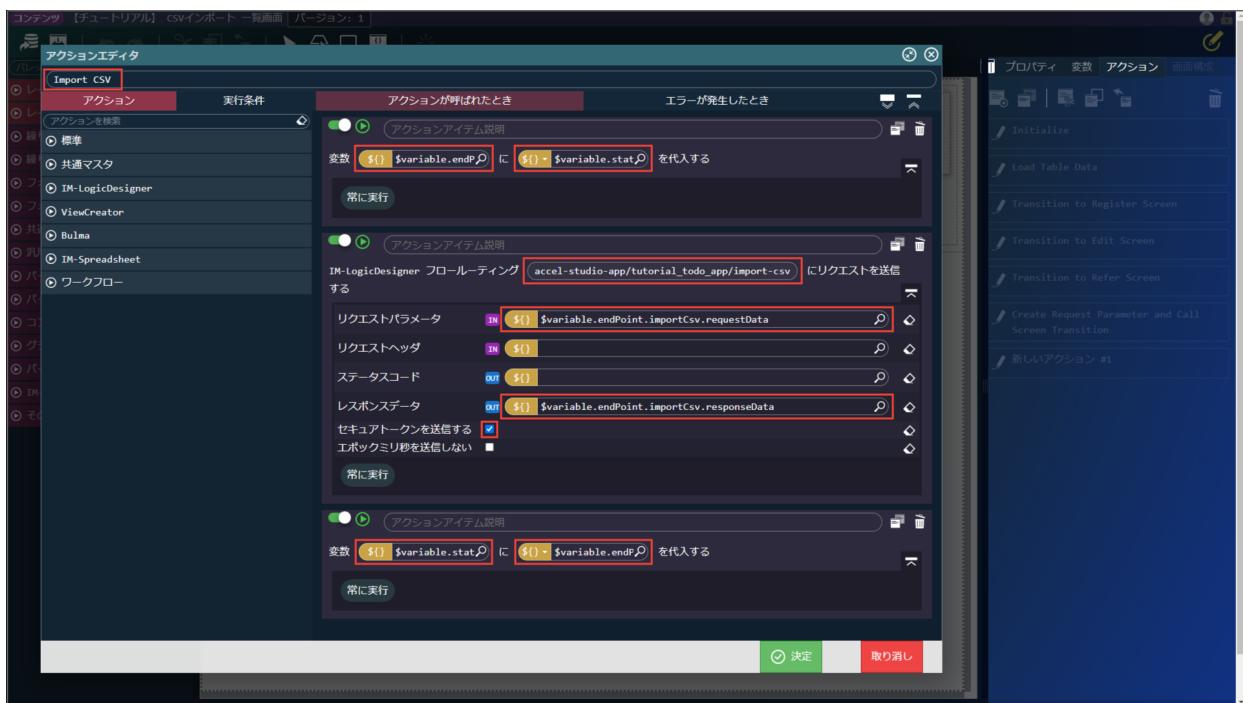
項目	指定する値	備考
変数値2	\$variable.state.csvImport.fileKey	プルダウンから「変数値」を選択してください。

「IM-LogicDesigner」から「IM-LogicDesigner フロールーティング○にリクエストを送信する」アクションアイテムを配置して、以下のように設定してください。

項目	指定する値	備考
ルーティング	accel-studio-app/{IDの決定に利用する文字列}/import-csv	「CSVインポート処理」で検索してください。
リクエストパラメータ	\$variable.endPoint.importCsv.requestData	
レスポンスデータ	\$variable.endPoint.importCsv.responseData	
セキュアトークンを送信する	チェックを入れる	

「標準」から「変数○に○を代入する」アクションアイテムを配置して、以下のように設定してください。

項目	指定する値	備考
変数値1	\$variable.state.csvImport.errorMessage	
変数値2	\$variable.endPoint.importCsv.responseData.errorMessage	プルダウンから「変数値」を選択してください。



「標準」から「メッセージをエラーダイアログで表示する」アクションアイテムを配置して、以下のように設定してください。

項目	指定する値
変数値	\$variable.state.csvImport.errorMessage

「実行条件」内の「標準」から「変数○が○でないとき」を配置して、以下のように設定してください。

項目	指定する値	備考
変数値1	\$variable.state.csvImport.errorMessage	
変数値2	\$env.const.null	プルダウンから「変数値」を選択してください。

「標準」から「アクション○を実行する」アクションアイテムを配置して、プルダウンから「Load Table Data」を選択してください。

「実行条件」内の「標準」から「変数〇が〇のとき」を配置して、以下のように設定してください。

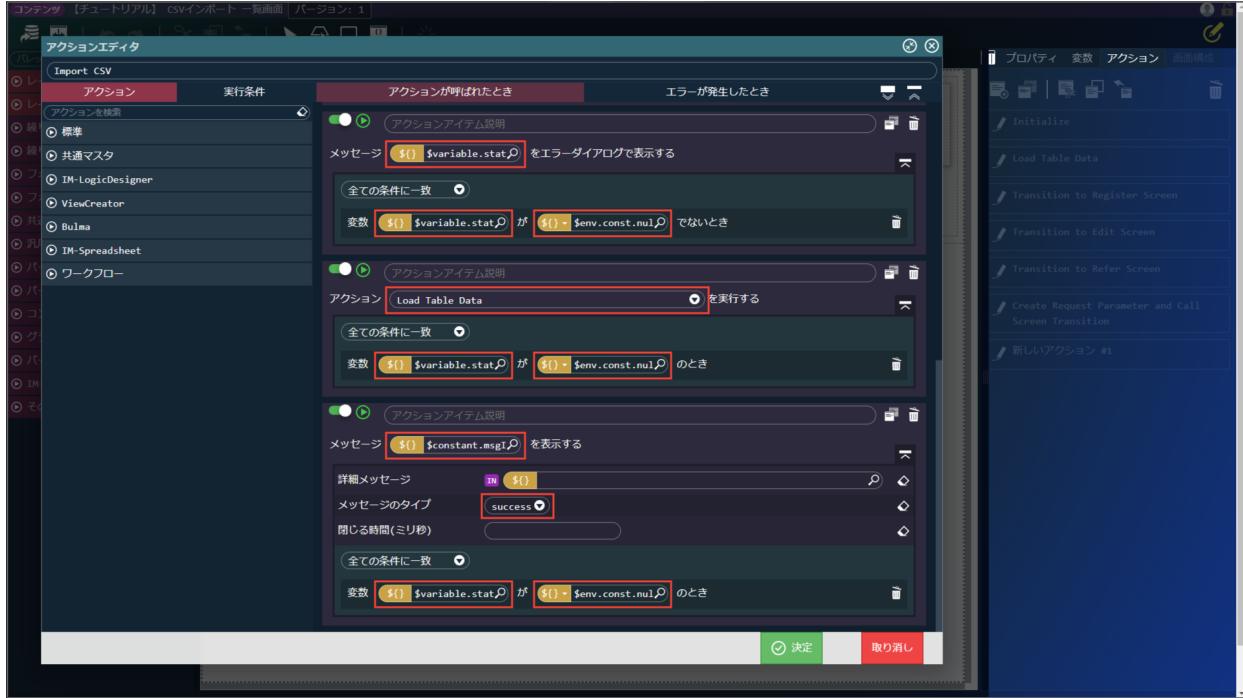
項目	指定する値	備考
変数値1	\$variable.state.csvImport.errorMessage	
変数値2	\$env.const.null	プルダウンから「変数値」を選択してください。

「Bulma」から「メッセージ〇を表示する」アクションアイテムを配置して、以下のように設定してください。

項目	指定する値
変数値	\$constant.msgImportCsvSuccess
メッセージのタイプ	success

「実行条件」内の「標準」から「変数〇が〇のとき」を配置して、以下のように設定してください。

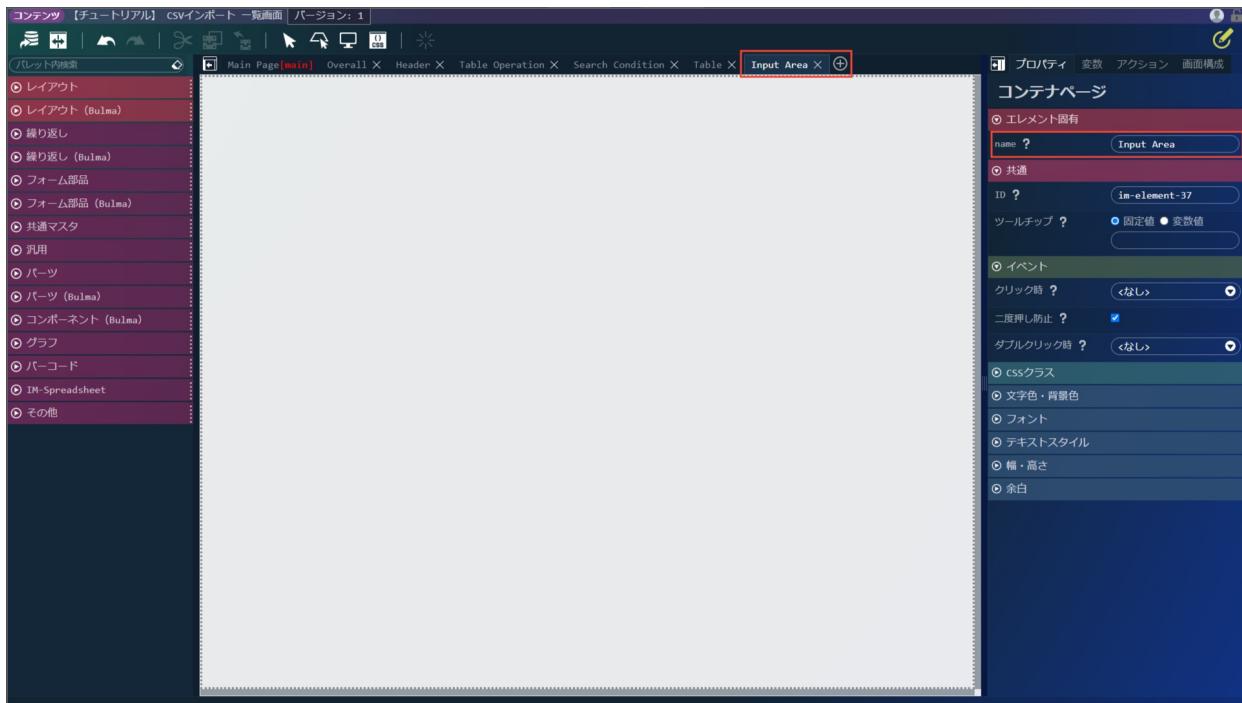
項目	指定する値	備考
変数値1	\$variable.state.csvImport.errorMessage	
変数値2	\$env.const.null	プルダウンから「変数値」を選択してください。



アクションアイテムの設定後、「決定」をクリックしてアクションを保存してください。

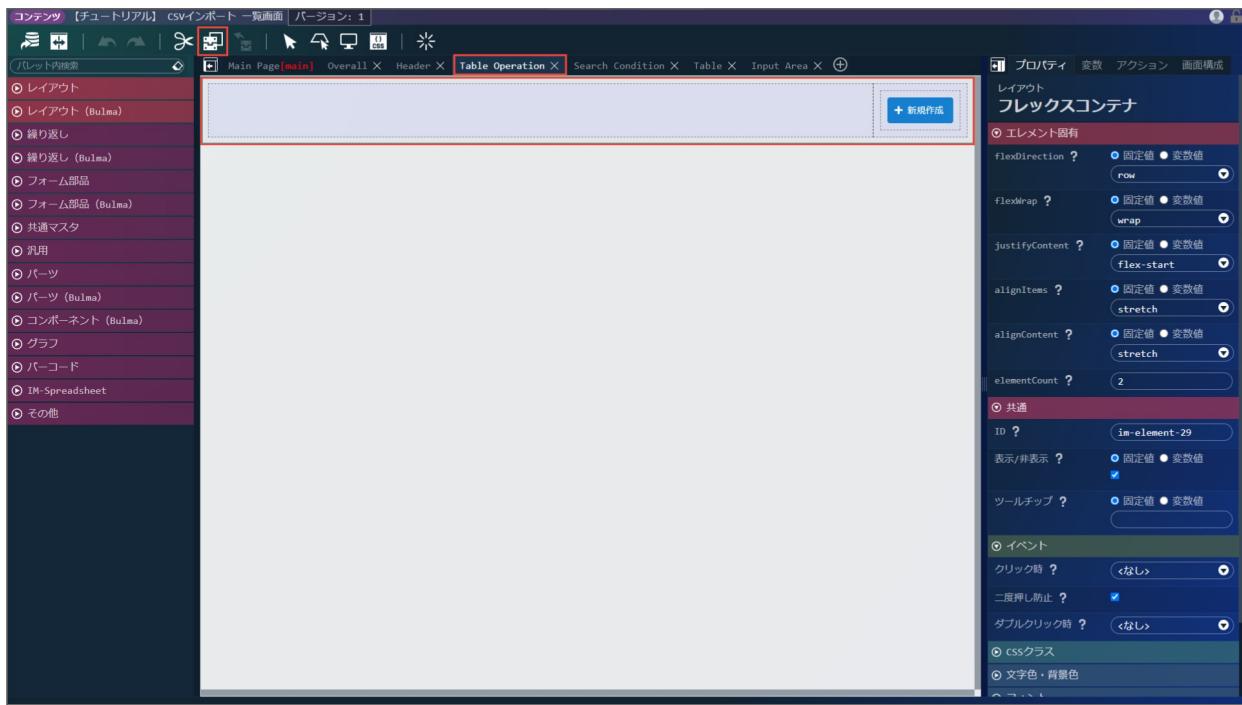
3. コンテナページの追加

新規にコンテナページを追加し、「コンテナページ」のエレメント固有の「name」には「Input Area」と入力してください。

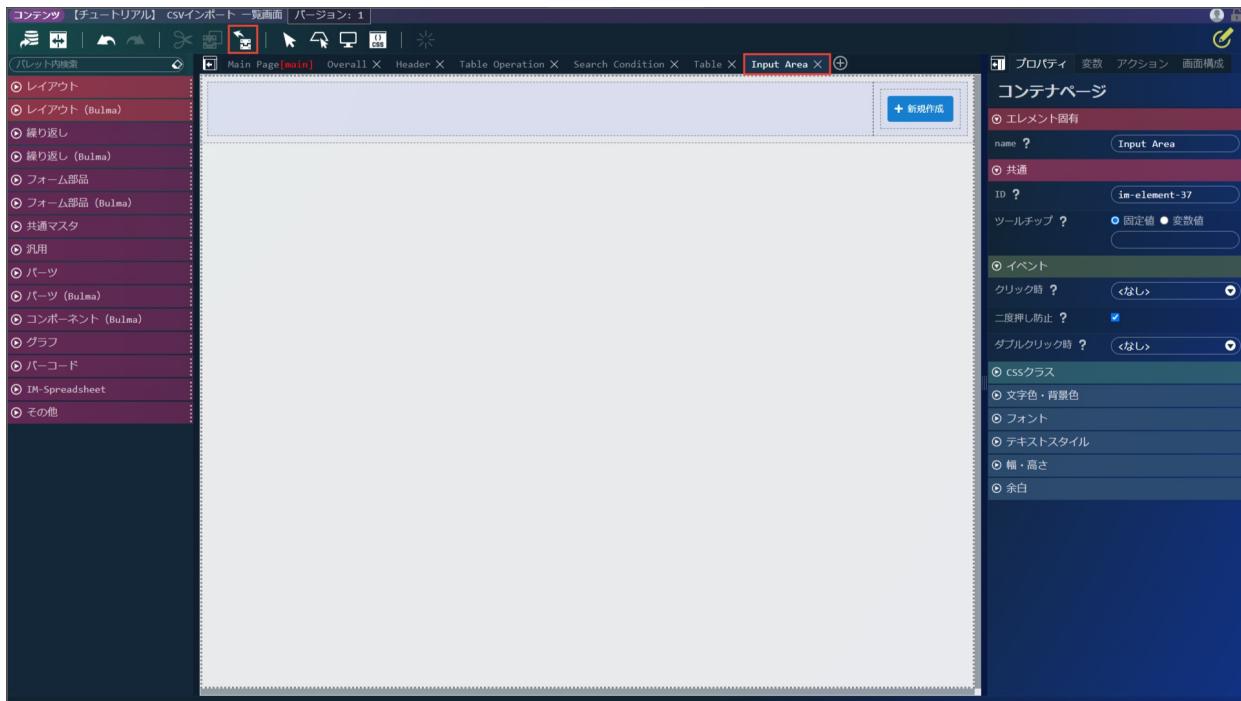


4. 既存エレメントのコピー

コンテナ「Table Operation」の「フレックスコンテナ」を選択した状態で、「コピー」をクリックしてください。



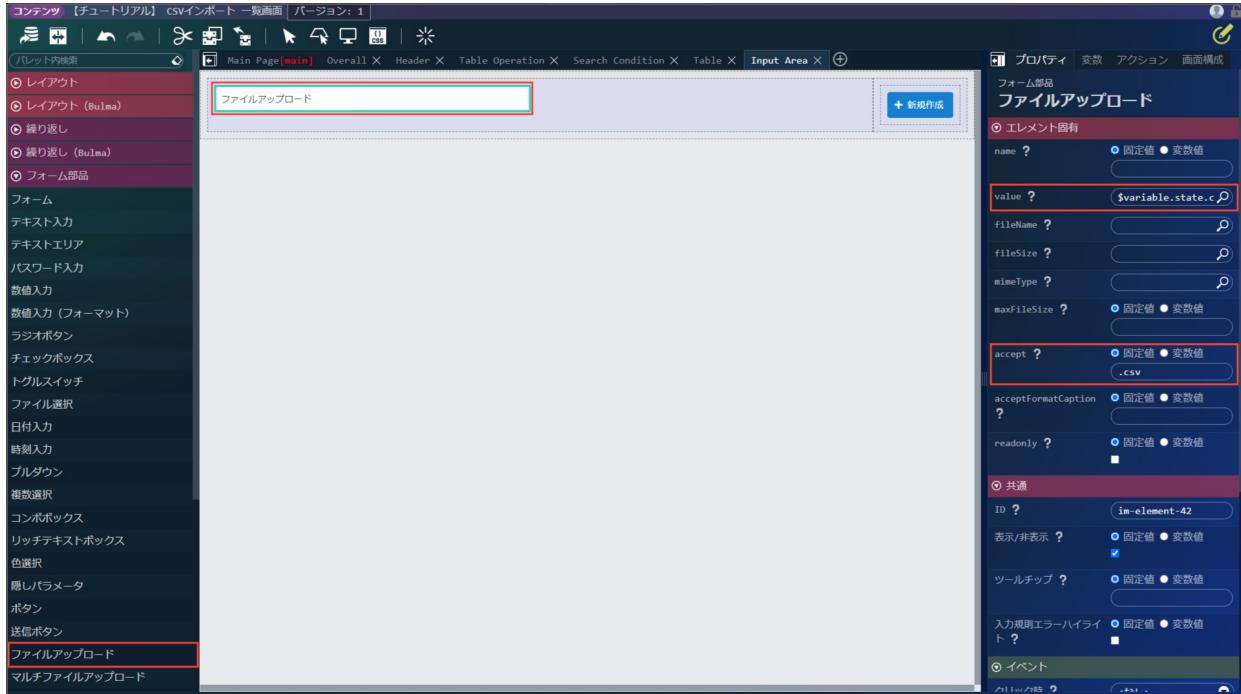
その後、先ほど作成したコンテナ「Input Area」に、コピーしたエレメントを貼り付けてください。



5. コピーしたエレメントの編集

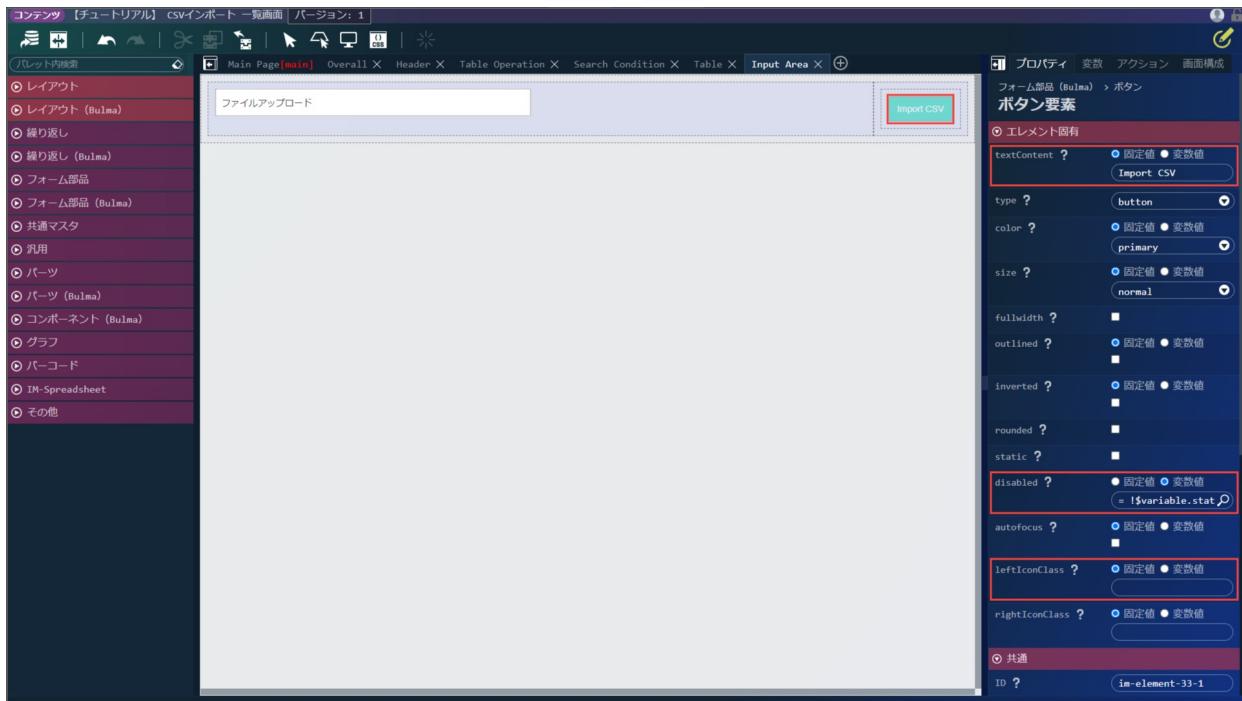
左の「フレックスアイテム」に、「フォーム部品」から「ファイルアップロード」エレメントを配置してください。
「ファイルアップロード」のエレメント固有には以下を設定してください。

プロパティ	指定する値
value	\$variable.state.csvImport.fileKey
accept	.CSV

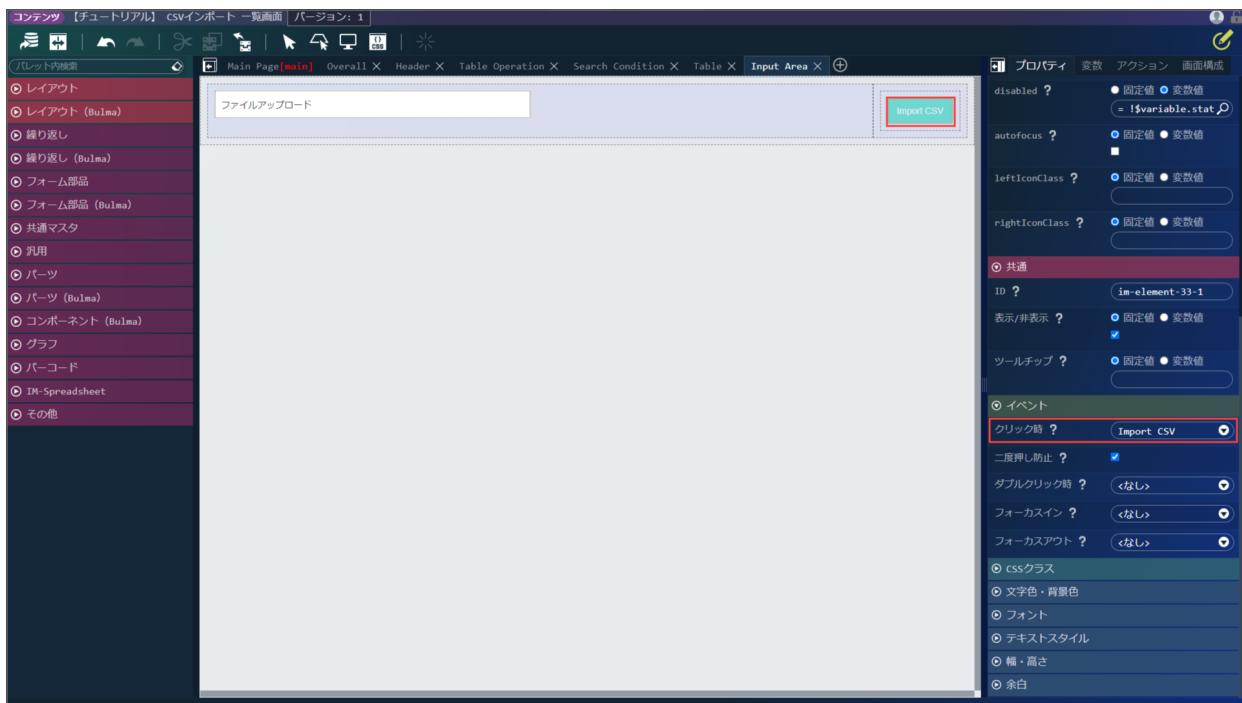


右の「フレックスアイテム」内の「ボタン要素」のエレメント固有には以下を設定してください。

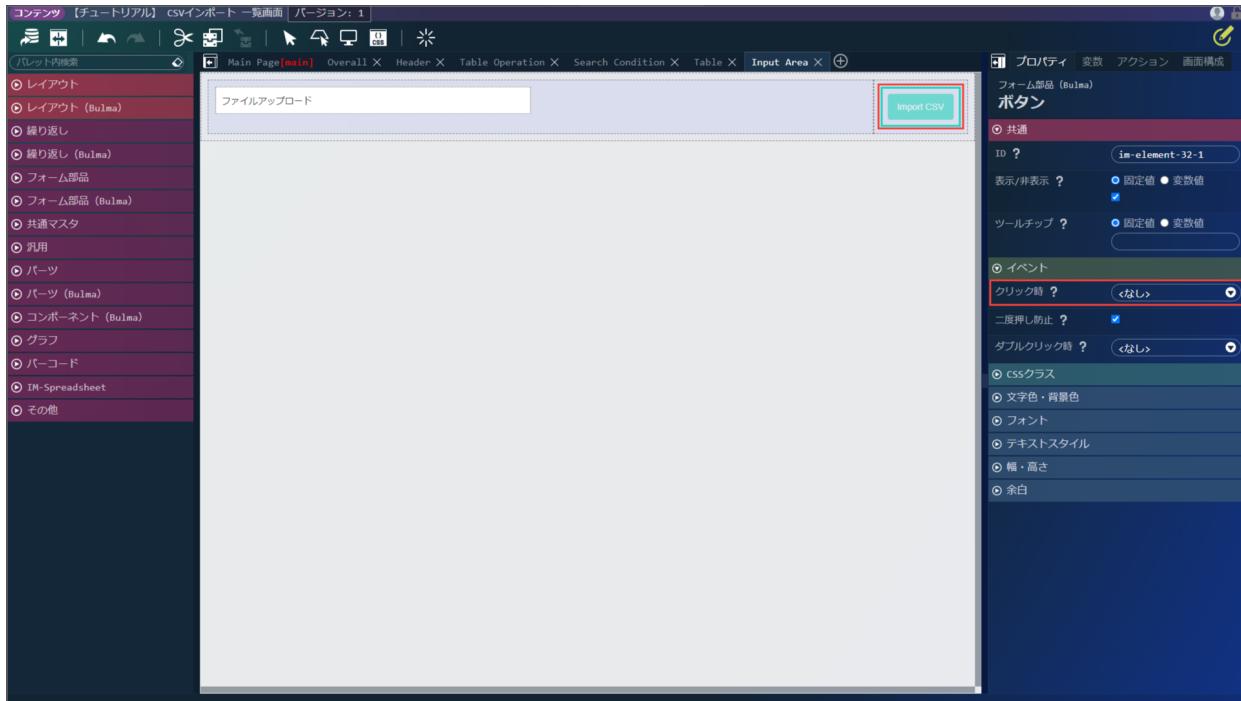
プロパティ	指定する値	備考
textContent	Import CSV	固定値を選択してください。
disabled	= !\$variable.state.csvImport.fileKey	変数値を選択してください。
leftIconClass	空欄	元々設定されていた「fas fa-plus」を削除してください。



「ボタン要素」のイベントの「クリック時」には先ほど作成したアクション「Import CSV」を設定してください。



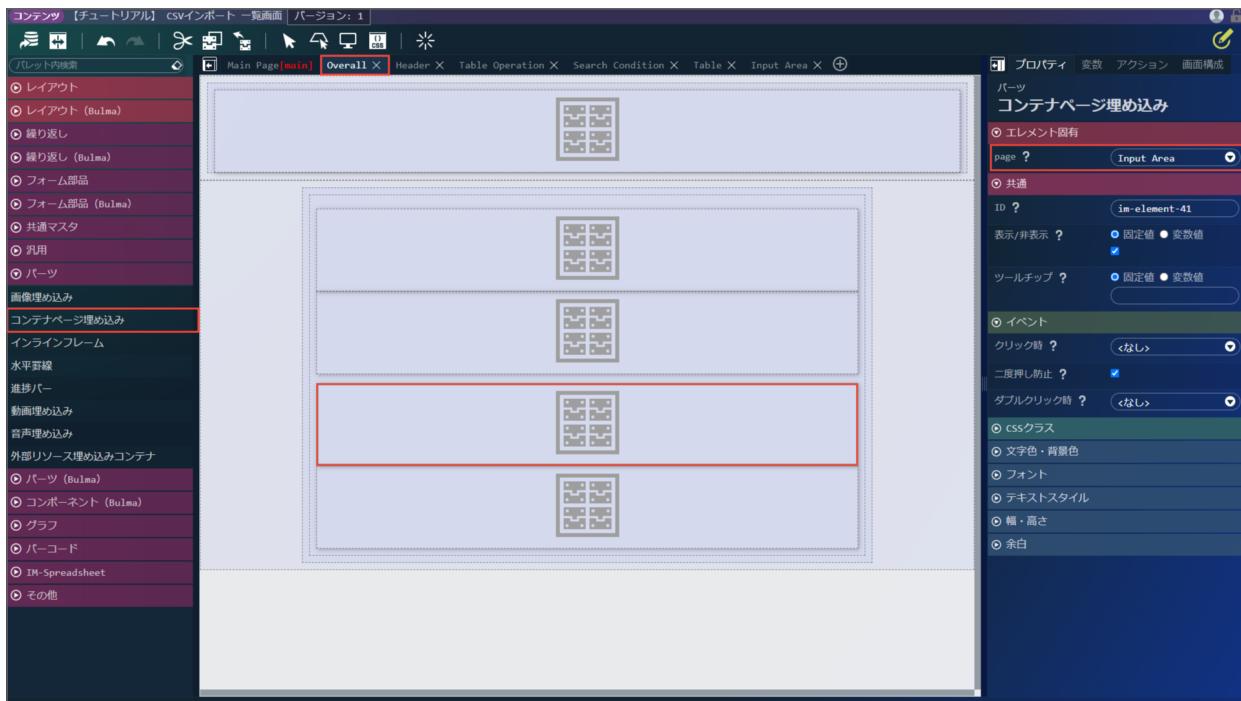
「ボタン」のイベントの「クリック時」に設定されている「Transition to Register Screen」アクションを「なし」に変更してください。



6. 追加したコンテナページの配置

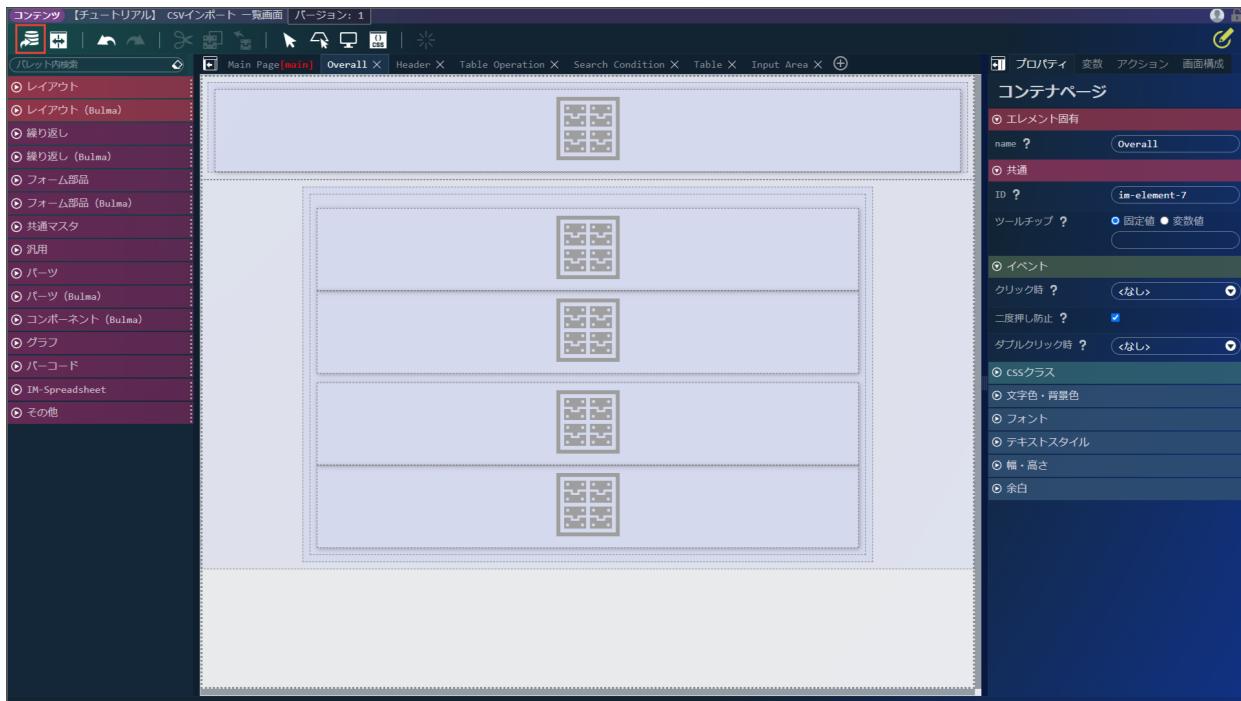
「パーツ」から「コンテナページ埋め込み」エレメントをコンテナ「Overall」に配置してください。

「コンテナページ埋め込み」エレメントの「page」には、作成した「Input Area」を指定してください。



7. 編集内容の保存

最後に編集内容の保存を行います。画面左上の「上書き保存」をクリックしてください。



「CSVインポート」機能の使用例

チュートリアルで追加した「CSVインポート」機能の使用例を紹介します。



コラム

アプリケーションの認可設定については、「[Accel Studioのテンプレート](#)」を参照してください。

一覧画面

「一覧画面」では、CSVファイルをインポートできます。

「ファイルアップロード」エレメントをクリックし、CSVファイルを選択した後、「Import CSV」ボタンをクリックするとインポートが実行されます。

User	User Name	Age	編集	詳細
aoyag	青柳原巳	24		
hayas	林政義	30		
ueda	上田原男	27		

「CSVインポート」テンプレートから作成される資材

「CSVインポート」テンプレートは、CSVファイルをインポートし アプリケーション作成時に指定したテーブルへデータを登録する処理が作成されます。

処理はIM-LogicDesignerで作成されます。

accel-studio-app/{IDの決定に利用する文字列}/import-csv

i コラム

REST APIとして利用するためのURLについては、「IM-LogicDesigner仕様書」 - 「ルート・HTTPメソッドに一致するフロールーティング情報の取得」を参照してください。

メソッド

POST

入力値

```
{  
  "fileKey": ""  
}
```

変数名	型	説明
-----	---	----

fileKey	string	インポートするCSVファイルを一意に特定するキーを指定します。
---------	--------	---------------------------------

i コラム

fileKeyにはIM-BloomMakerの「ファイルアップロード」のエレメント固有のvalueに指定した値を設定してください。
詳細については、「IM-BloomMaker for Accel Platform ユーザ操作ガイド」 - 「ファイルアップロード」を参照してください。

出力値

```
{  
  "error": false,  
  "errorMessage": ""  
}
```

変数名	型	説明
-----	---	----

error	boolean	エラーが発生した場合、trueが格納されます。
-------	---------	-------------------------

errorMessage	string	エラーが発生した場合、エラー内容のメッセージが格納されます。
--------------	--------	--------------------------------

i コラム

エラーハンドリングの詳細については、「IM-LogicDesignerチュートリアルガイド」 - 「処理結果情報の詳細」を参照してください。

「CSVインポート」テンプレートから作成される処理について

「CSVインポート」テンプレートではユーザ定義(CSV Fetch)を利用しています。

ユーザ定義(CSV Fetch)の詳細については、下記を参照してください。

「IM-LogicDesigner仕様書」 - 「ユーザ定義(CSV Fetch)の詳細」

「IM-LogicDesignerチュートリアルガイド」 - 「CSV Fetch 入力値/出力値」

CSVエクスポート

このページでは「CSVエクスポート」テンプレートの概要、アプリケーションへの追加方法について解説します。

目次

- 「CSVエクスポート」テンプレートとは
- チュートリアル
 - 「CSVエクスポート」機能の追加手順
 - IM-BloomMaker資材の編集
 - 「CSVエクスポート」機能の使用例
- 「CSVエクスポート」テンプレートから作成される資材
 - CSVエクスポート処理

「CSVエクスポート」テンプレートとは



このテンプレートは、CSV形式のファイルでエクスポートする処理を提供します。

このテンプレートでは、IM-BloomMakerの資材は作成されません。

このテンプレートから作成された処理をIM-BloomMaker等の画面資材と組み合わせて、活用していただくことができます。



コラム

「CSVエクスポート」テンプレートは2022 Winter(Freesia)から利用可能です。



コラム

「CSVエクスポート」テンプレートから作成された処理は、単一のテーブルにのみ対応しています。

「CSVエクスポート」機能を追加した際のイメージは、以下の通りです。

編集	User Code	User Name	Age	詳細
	aoyagi	青柳辰巳	24	
	hayashi	林政義	30	
	ueda	上田辰男	27	

追加手順の詳細については、「チュートリアル」で紹介します。

チュートリアル

ここでは「マスタメンテナンス」テンプレートから作成されたアプリケーションへ「CSVエクスポート」機能を追加する手順について紹介します。



コラム

紹介した手順通りではなくても、「CSVエクスポート」機能を追加することは可能です。

「CSVエクスポート」機能の追加手順

1. 「既存アプリケーションの更新」画面への遷移

「アプリケーション管理」画面の「テンプレートからリソースを追加する」をクリックします。

The screenshot shows the 'Template Management' section of the Accel Studio interface. A red box highlights the 'テンプレートからリソース追加' (Add resources from template) button in the top right corner of the main content area.

「業務テンプレート一覧」が表示されるので、「CSVエクスポート」テンプレートを選択します。

The screenshot shows the 'Application Template Selection' wizard. The 'CSV Export Template' is selected and highlighted with a red box. The wizard consists of several steps: 'Template for Application', 'Template for Application', 'Template for Shared Member', 'Template for Application', 'Application Template', 'File Upload', 'CSV Import', and 'CSV Export'. Each step has a 'Next' button at the bottom right.

2. IDの決定に利用する文字列の設定

「既存アプリケーションの更新」画面が表示されたら、「IDの決定に利用する文字列」を設定します。

「IDの決定に利用する文字列」は、各処理やIDなどに利用されます。

The screenshot shows the 'CSV Export - Resource Addition' configuration screen. It includes sections for Application Information, Extraction Data Definition, and Other Information. A red box highlights the 'Table Name' input field under the 'Table Definition' section.



コラム

「既存アプリケーションの更新」画面では、既存アプリケーションの基本情報が自動入力されます。
なお、アプリケーションIDとアプリケーション名は変更できません。

3. 利用するデータベース種別とテーブルの名称の設定

次に、利用するデータベース種別とテーブルの名称を設定します。

なお、「CSVエクスポート」テンプレートでは、既存のテーブルを利用します。

The screenshot shows the 'CSV Export - Resource Addition' configuration screen. A red box highlights the 'Table Type' selection ('TENANT') and another red box highlights the 'Table Name' input field under the 'Table Definition' section.

4. 既存アプリケーションの更新

アプリケーションの基本情報とテーブル情報を設定した後、「既存アプリケーションの更新」ボタンをクリックしてください。

入力項目に不備が無ければ、自動で既存アプリケーションの更新が行われます。

既存アプリケーションの更新

5. 既存アプリケーションの更新結果

アプリケーションの更新が完了すると、ステータスが「COMPLETE」と表示されます。

The screenshot shows the 'Template Build Job - Details' screen. At the top, there is a header with the application name 'intra-mart' and a user icon. Below the header, there is a search bar labeled 'メニューを検索' and a breadcrumb navigation path: 'Top > Workflow > IM-BIS > テナント管理 > サンプル'. The main content area displays a table with the following data:

ビルドジョブID	ステータス	テンプレート名	CSVエクスポート
8glskl2gh605y4b	● COMPLETE	作成者ユーザコード	tenant
作成日時	2022/11/16 13:17:42		
出力日時	メッセージ	詳細	
2022/11/16 13:17:42	テンプレートをビルドし、「【チュートリアル】 CSVエクスポート」(アプリケーションID: tutorial_todo_app)にリソースを追加します。		
2022/11/16 13:17:42	生成するリソースのIDを自動設定します。		
2022/11/16 13:17:42	一時ディレクトリに IM-LogicDesigner インポート資材を作成しました。		
2022/11/16 13:17:42	自動生成された IM-LogicDesigner 資材をインポートしました。		
2022/11/16 13:17:42	アプリケーションにテンプレートから生成されたリソースを追加しました。		
2022/11/16 13:17:42	アプリケーション認可設定でテナント管理者 Accel Studio 管理者にアクセス許可が設定されました。		

IM-BloomMaker資料の編集

「CSVエクスポート」機能を追加するために、IM-BloomMaker資料の編集を行います。

「アプリケーション管理」画面の「【チュートリアル】 CSVエクスポート 一覧画面」を選択してください。

The screenshot shows the '【チュートリアル】 CSVエクスポート - 詳細' screen. The left sidebar lists various application categories: Top, Workflow, IM-BIS, テナント管理, BPM, and サンプル. The main content area displays a table of CSV export templates. One specific template, '【チュートリアル】 CSVエクスポート 一覧画面', is highlighted with a red box. The right side of the screen shows a detailed view of this template's configuration, including its URL and execution history.



注意

画像のアプリケーションは、「マスタメンテナンス」テンプレートのアプリケーション名に「【チュートリアル】 CSVエクスポート」と入力して作成されたアプリケーションの例です。

「デザイン編集」画面が表示されたら、以下の手順でコンテンツを編集します。

コラム

コンテンツの編集作業中は、編集した内容を保存するために、こまめに「デザイン編集」画面左上の「上書き保存」をクリックすることを推奨します。

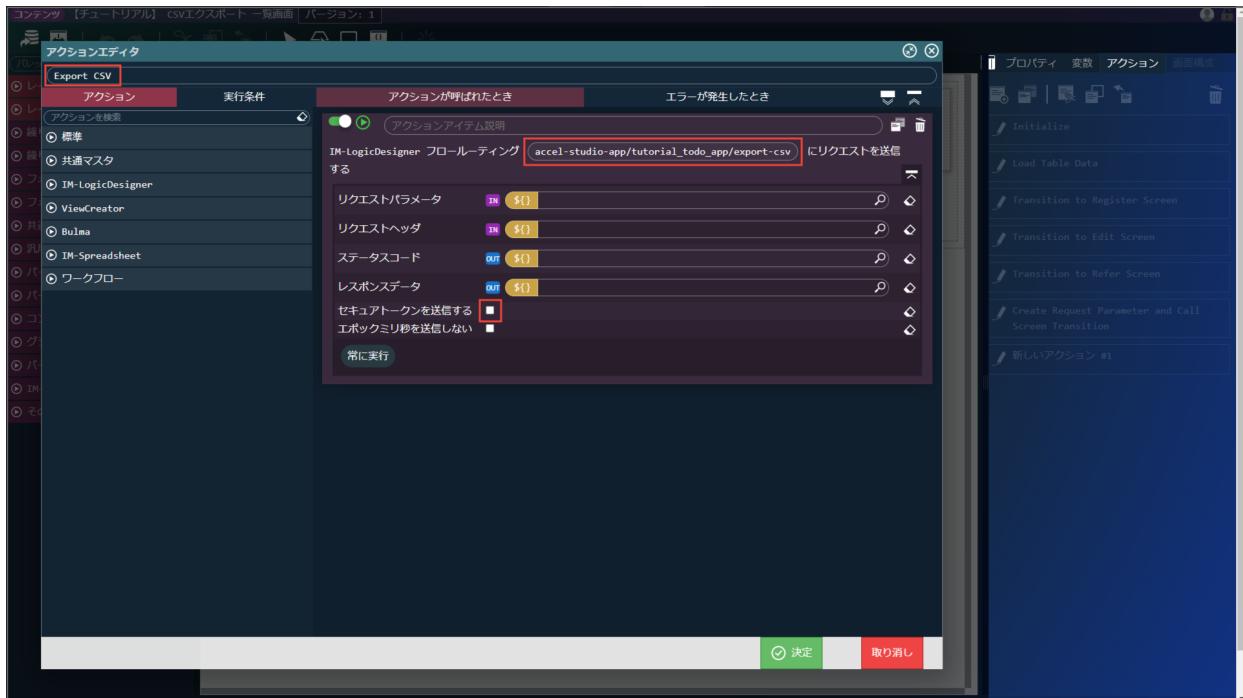
1. 新規アクションの追加

1. Export CSV アクション

アクション名には「Export CSV」と入力してください。

「IM-LogicDesigner」から「IM-LogicDesigner フロールーティング○にリクエストを送信する」アクションアイテムを配置して、以下のよ

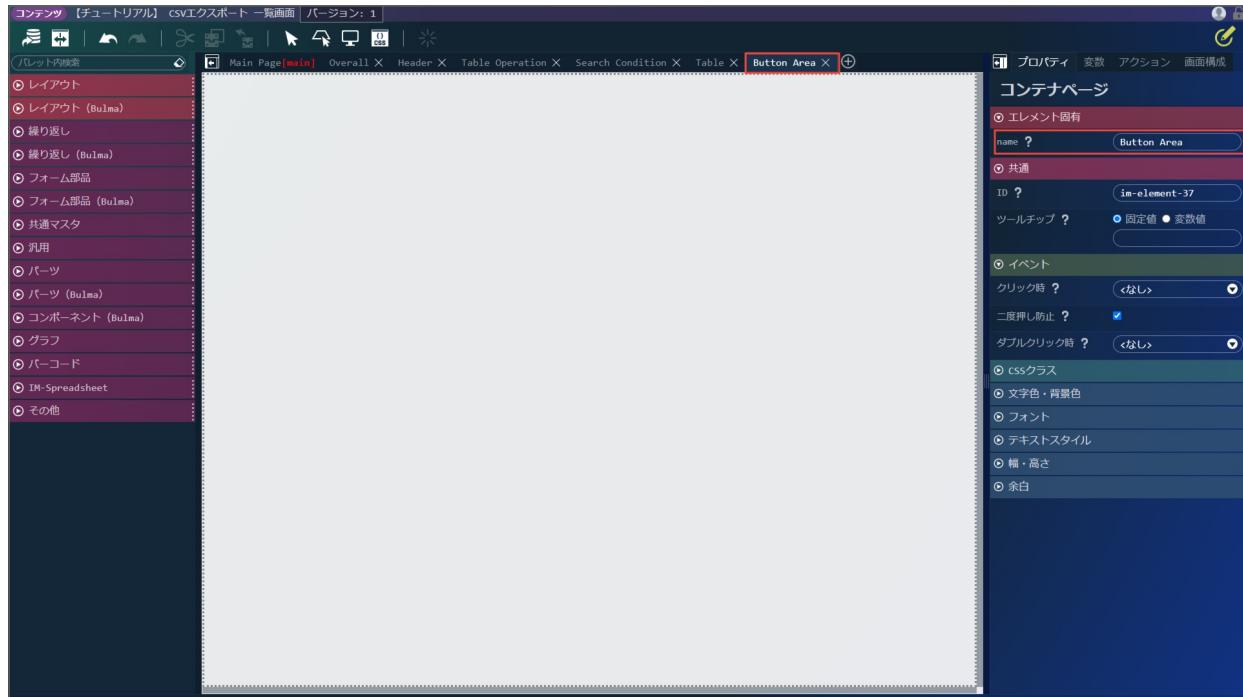
項目	指定する値	備考
ルーティング	accel-studio-app/{IDの決定に利用する文字列}/export-csv	「CSVエクスポート処理」で検索してください。
セキュアトークンを送信する	チェックを入れない	



アクションアイテムの設定後、「決定」をクリックしてアクションを保存してください。

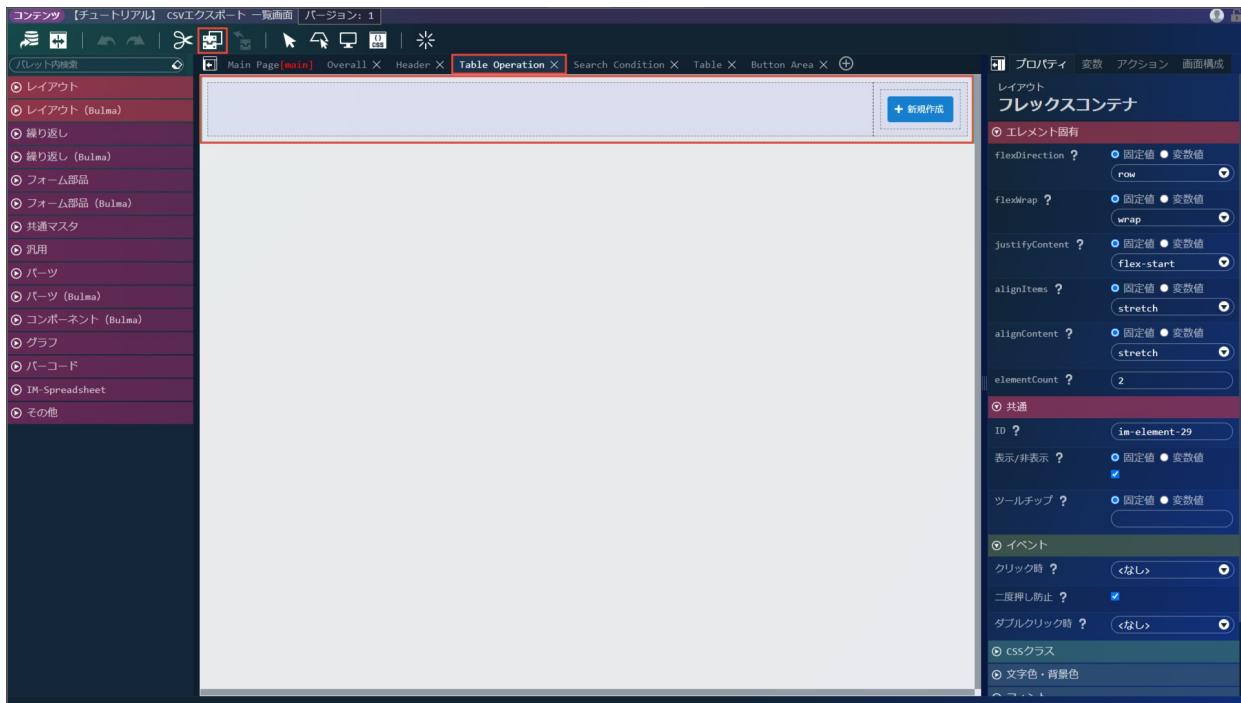
2. コンテナページの追加

新規にコンテナページを追加し、「フレックスコンテナ」のエレメント固有の「name」には「Button Area」と入力してください。

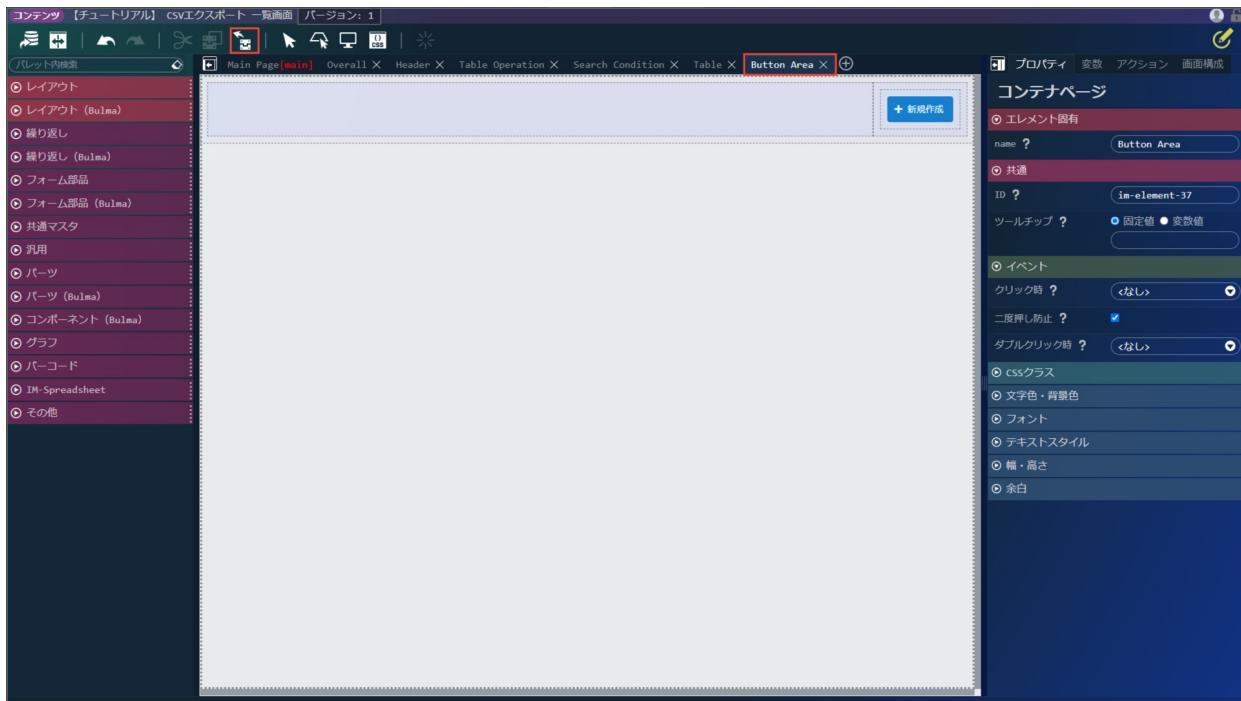


3. 既存エレメントのコピー

コンテナ「Table Operation」の「フレックスコンテナ」を選択した状態で、「コピー」をクリックしてください。



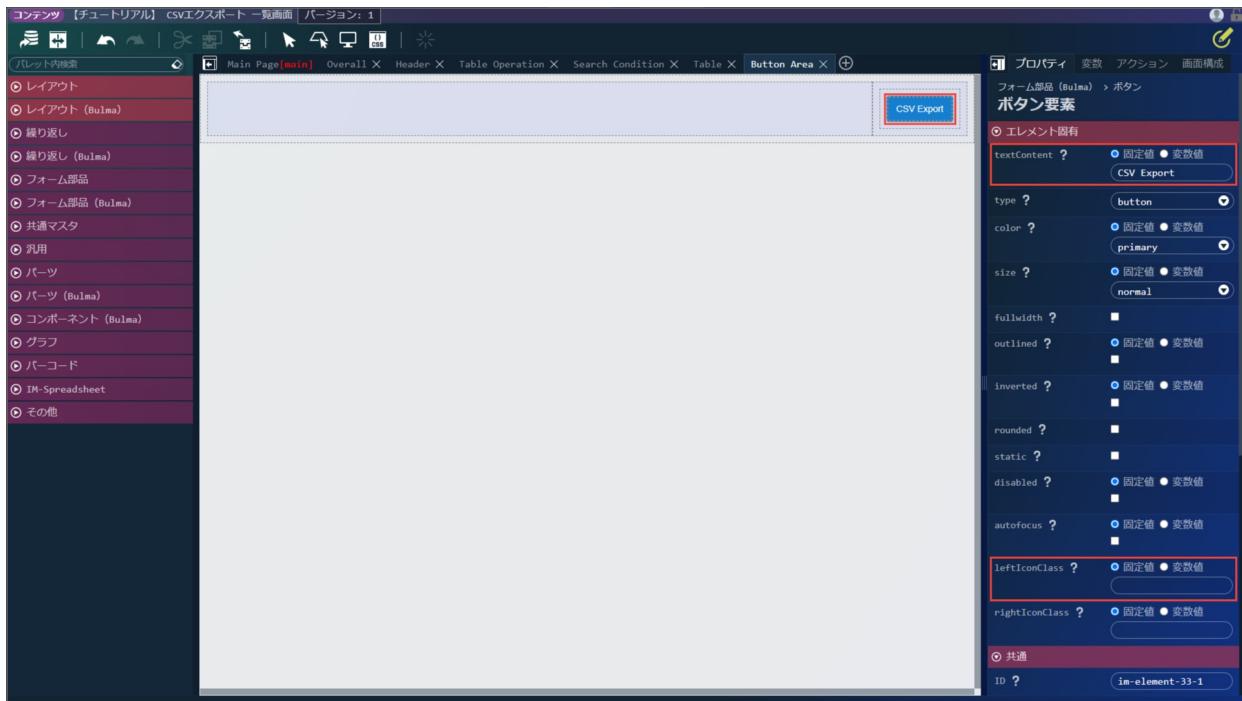
その後、先ほど作成したコンテナ「Button Area」に、コピーしたエレメントを貼り付けてください。



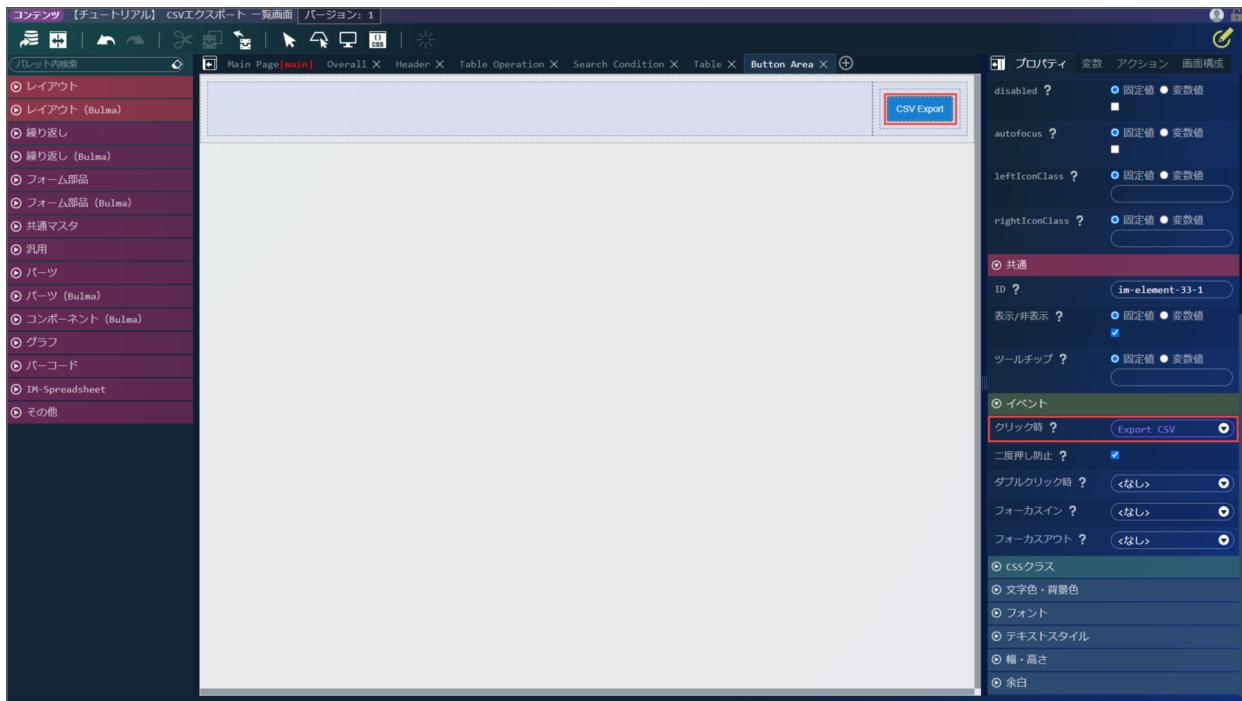
4. コピーしたエレメントの編集

右の「フレックスアイテム」内の「ボタン要素」のエレメント固有には以下を設定してください。

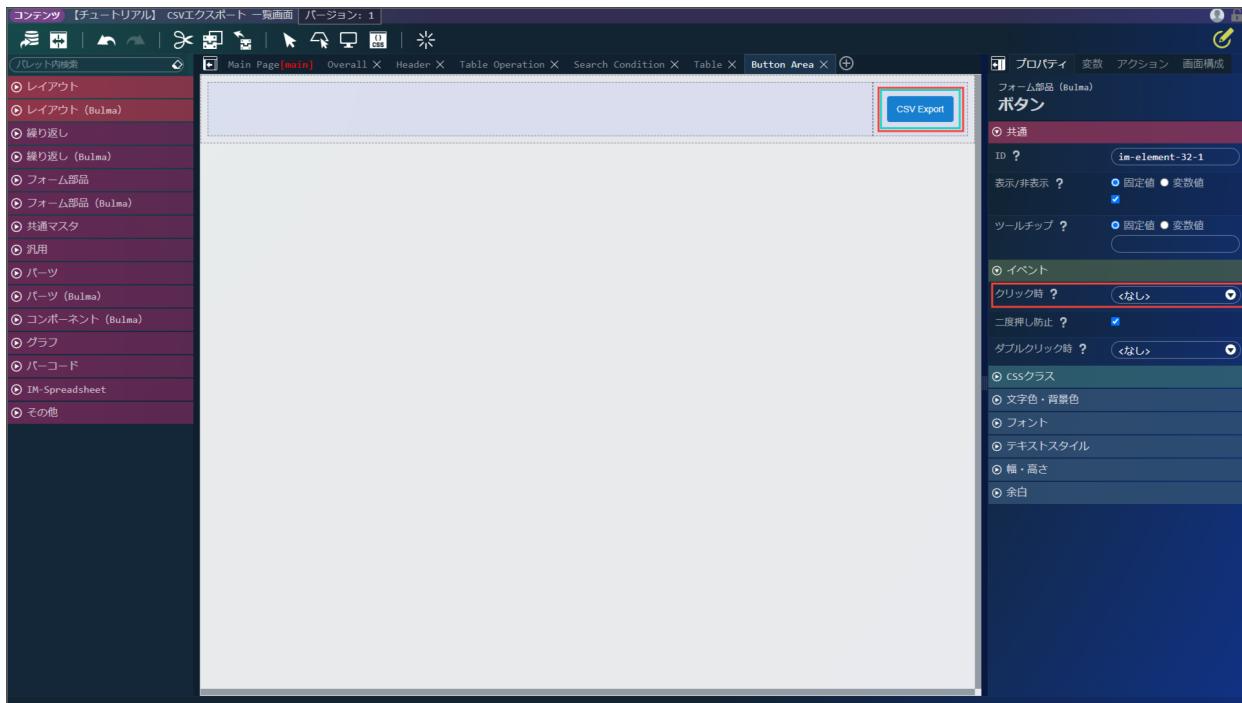
プロパティ	指定する値	備考
textContent	CSV Export	
leftIconClass	空欄	元々設定されていた「fas fa-plus」を削除してください。



「ボタン要素」のイベントの「クリック時」には先ほど作成した「Export CSV」を設定してください。



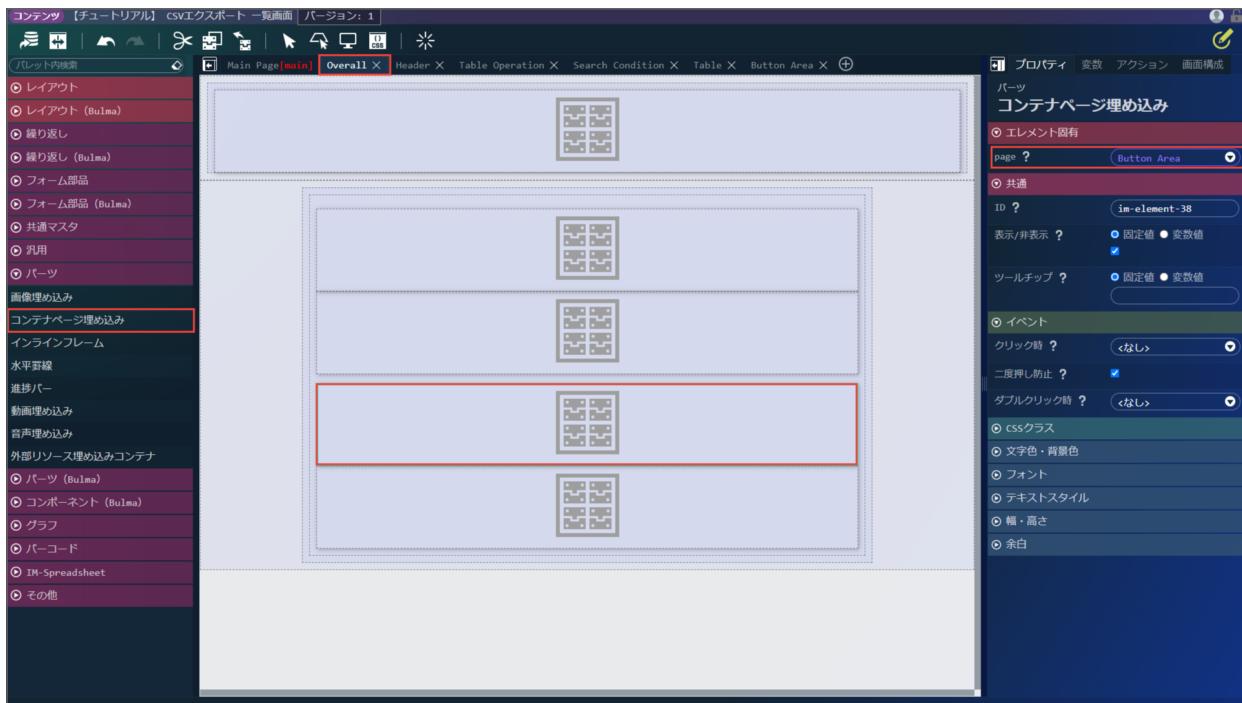
「ボタン」のイベントの「クリック時」に設定されている「Transition to Register Screen」アクションを「なし」に変更してください。



5. 追加したコンテナページの配置

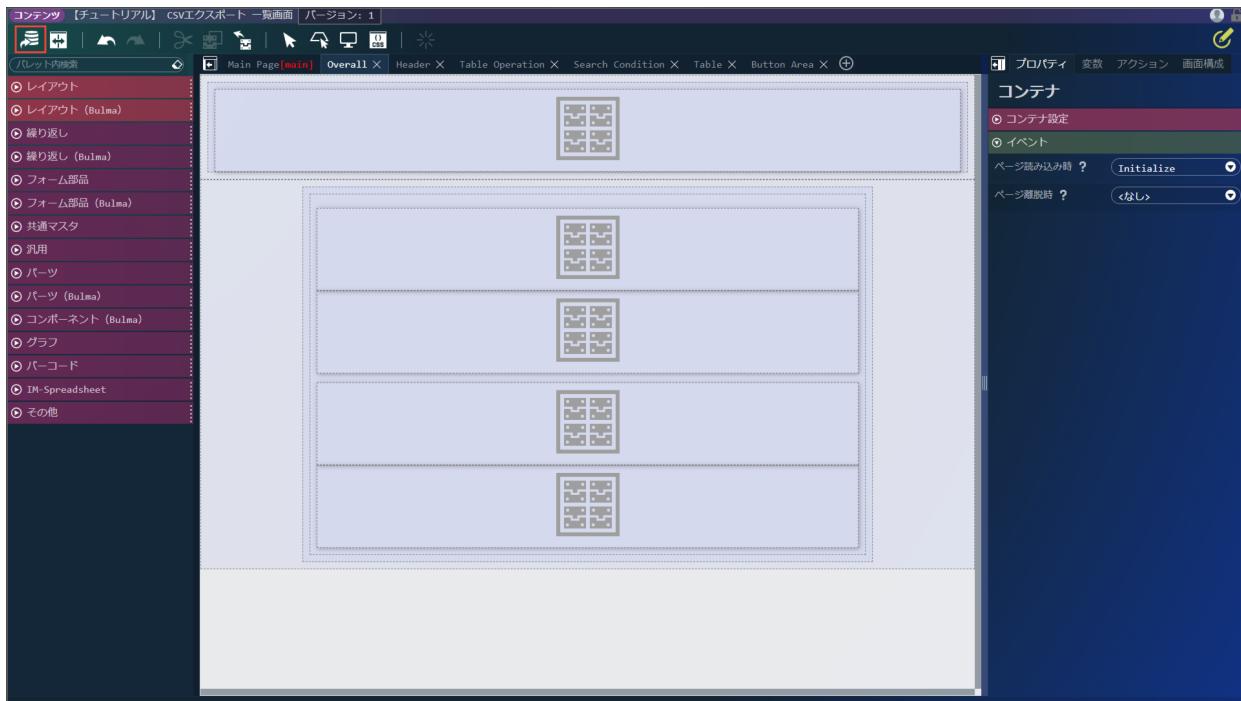
「パーツ」から「コンテナページ埋め込み」エレメントをコンテナ「Overall」に配置してください。

「コンテナ埋め込みページ」のエレメント固有の「page」には、作成した「Button Area」を指定してください。



6. 編集内容の保存

最後に編集内容の保存を行います。画面左上の「上書き保存」をクリックしてください。



「CSVエクスポート」機能の使用例

チュートリアルで追加した「CSVエクスポート」機能の使用例をご紹介します。



アプリケーションの認可設定については、「[Accel Studioのテンプレート](#)」を参照してください。

一覧画面

「一覧画面」では、CSVファイルをエクスポートできます。
「CSV Export」ボタンをクリックすると、CSVファイルがダウンロードされます。

編集	User Code	User Name	Age	詳細
	aoyagi	青柳 慶巳	24	
	hayashi	林 誠義	30	
	ueda	上田 厥男	27	

「CSVエクスポート」テンプレートから作成される資材

「CSVエクスポート」テンプレートは、アプリケーション作成時に指定したテーブルのデータをCSVファイルとしてエクスポートする処理が作成されます。

処理はIM-LogicDesignerで作成されます。

accel-studio-app/{IDの決定に利用する文字列}/export-csv

i コラム

REST APIとして利用するためのURLについては、「IM-LogicDesigner仕様書」 - 「ルート・HTTPメソッドに一致するフロールーティング情報の取得」を参照してください。

メソッド

GET

入力値

無し

出力値

```
{  
  "body": ""  
}
```

変数名	型	説明
body	binary	エクスポートされるCSVファイルのデータです。

i コラム

CSVエクスポート処理のレスポンス種別は「ファイルダウンロード」です。

レスポンス種別「ファイルダウンロード」の詳細は「IM-LogicDesigner仕様書」 - 「ロジックフローの出力データの返却 ファイルダウンロード」を参照してください。

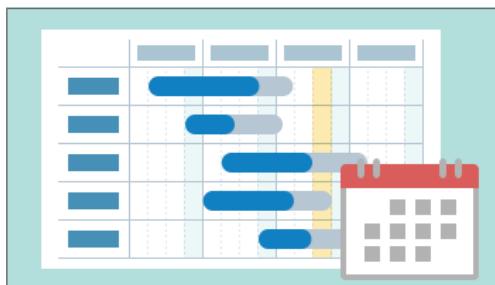
ガントチャート

このページでは「ガントチャート」テンプレートの概要、アプリケーション作成手順、画面イメージ、操作方法と活用例について解説します。

目次

- 「ガントチャート」テンプレートとは
- 「ガントチャート」テンプレートの利用方法
 - アプリケーションの作成手順
 - アプリケーションのアクセス手順
 - アプリケーションの画面イメージと操作方法
- 「ガントチャート」テンプレートから作成される資材
 - ガントチャート画面
 - 一覧取得処理

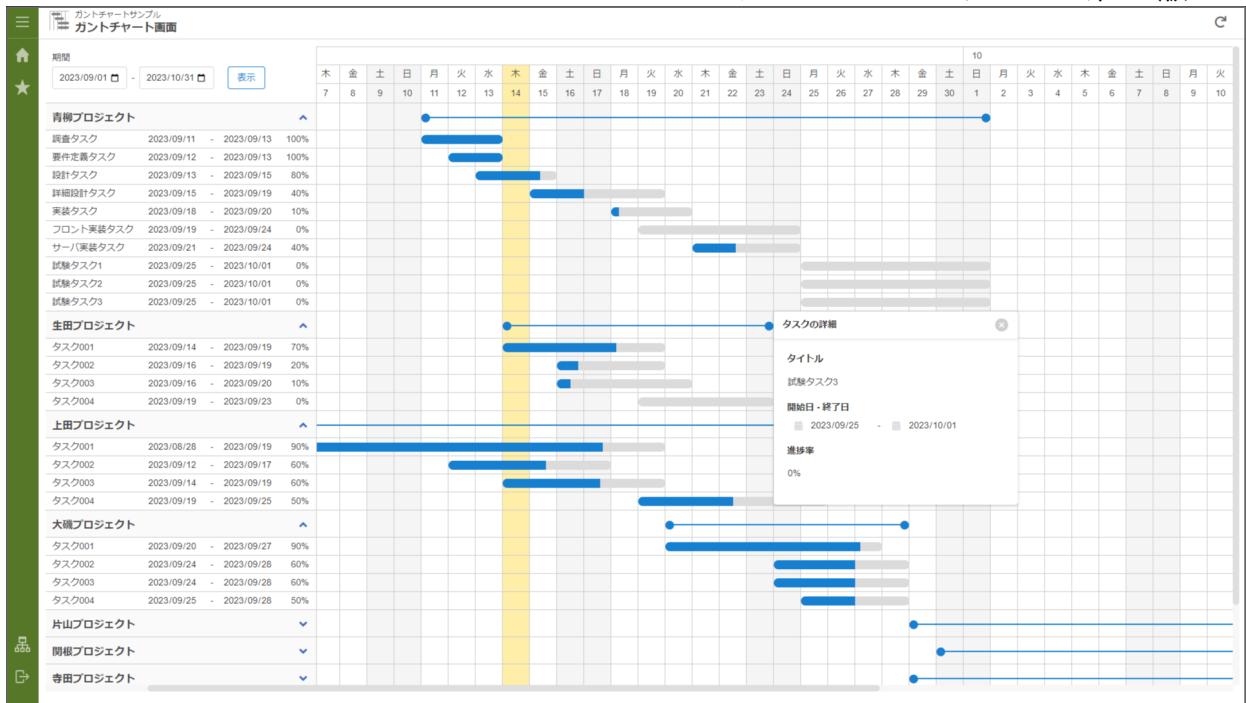
「ガントチャート」テンプレートとは



「ガントチャート」テンプレートは、指定した開始日・終了日をもとにガントチャートを表示するテンプレートです。

タスク管理ツールなどで作成したデータに、このテンプレートから作成したアプリケーションを併せる形で利用できます。

テーブルからデータを取得したり、外部APIを実行してデータを取得するなど、状況に合わせてIM-LogicDesignerのフロー定義を編集してください。
アプリケーション作成時点ではサンプルデータを生成するIM-LogicDesignerのユーザ定義が配置されています。



i コラム

表示するデータの作成、編集を行う処理は「ガントチャート」テンプレートに含まれていません。

i コラム

「ガントチャート」テンプレートは2023 Autumn(Hollyhock) から利用できます。

「ガントチャート」テンプレートの利用方法

「ガントチャート」テンプレートを利用してアプリケーションの作成手順と「ガントチャート」画面の操作方法をご紹介します。

アプリケーションの作成手順

「ガントチャート」テンプレートを利用してアプリケーションを作成する手順についてご紹介します。

1. アプリケーション作成画面への遷移

Accel Studioの「業務テンプレート一覧」から「ガントチャート」テンプレートを選択します。

Accel Studioの「業務テンプレート一覧」は、「サイトマップ」→「Accel Studio」→「業務テンプレート一覧」から遷移できます。



2. アプリケーションのIDや名称などの設定

intra-mart Accel Platform — Accel Studio テンプレートカタログ 第10版 2025-10-01

「ガントチャート」テンプレートを選択し、アプリケーション情報の設定画面が表示されたら、アプリケーションのIDや名称などを設定します。

設定した基本情報は、各処理や画面の名称、IDなどに利用されます。

アプリケーションID^{*} #英数字、- (ハイフン)、_ (アンダースコア)で入力してください。

アプリケーション名^{*}

説明

3. その他情報の指定

作成されるアプリケーションに利用されるリソースのIDやルーティング情報を手動で決定できます。

チェックを入れないことを推奨します。

4. アプリケーション作成開始

アプリケーションの基本情報を入力したら「アプリケーション作成」ボタンをクリックしてください。

入力項目に不備が無ければ自動でアプリケーションの作成ができます。

アプリケーション作成

5. アプリケーション作成結果

アプリケーション作成が完了すると、ステータスが「COMPLETE」と表示されます。

ビルトジョブID	8gx577ictx3chw	テンプレート名	ガントチャート
ステータス	COMPLETE	作成者ユーザコード	tenant
作成日時	2023/09/14 19:59:46	詳細	
出力日時	メッセージ		
2023/09/14 19:59:47	生成するリソースのIDを自動設定します。		
2023/09/14 19:59:47	一時ディレクトリに IM-LogicDesigner インポート資材を作成しました。		
2023/09/14 19:59:47	一時ディレクトリに IM-BloomMaker インポート資材を作成しました。		
2023/09/14 19:59:47	自動生成された IM-LogicDesigner 資材をインポートしました。		
2023/09/14 19:59:47	自動生成された IM-BloomMaker 資材をインポートしました。		
2023/09/14 19:59:47	作成された「ガントチャート画面」へはこちらの詳細アイコンから遷移できます。		
2023/09/14 19:59:47	アプリケーションの作成が完了しました。		
2023/09/14 19:59:48	アプリケーション認可設定で テナント管理者 Accel Studio 管理者にアクセス許可が設定されました。		



コラム

作成したアプリケーションは、初期設定では「テナント管理者」または「Accel Studio管理者」ロールを持ったユーザのみ利用できます。

任意のユーザに対して、利用を許可したい場合の設定方法は、「[Accel Studio アプリケーション管理機能 仕様書](#)」 - 「[Accel Studio アプリケーション認可設定](#)」をご確認ください。

intra-mart Accel Platform — Accel Studio テンプレートカタログ 第10版 2025-10-01

作成したガントチャート画面へアクセスする方法をご紹介します。

- 「テンプレートビルジョブ - 詳細」画面から遷移する
- 画面のURLを取得する

「テンプレートビルジョブ - 詳細」画面から遷移する

「テンプレートビルジョブ - 詳細」画面はアプリケーション作成完了後に表示されます。

「テンプレートビルジョブ - 詳細」画面のステータスが「COMPLETE」と表示されたら、「作成された「ガントチャート画面」へはこちらの詳細アイコンから遷移できます。」の欄にある  をクリックしてください。



The screenshot shows the 'Template Build Job - Details' screen. At the top, there's a summary table with columns for 'Build Job ID', 'Status' (显示为 'COMPLETE'), 'Template Name' (显示为 'tenant'), and 'Gantt Chart' (显示为 'tenant'). Below this is a log table showing build logs. One entry in the log table is highlighted with a red box and a copy icon, indicating it can be copied.

コラム

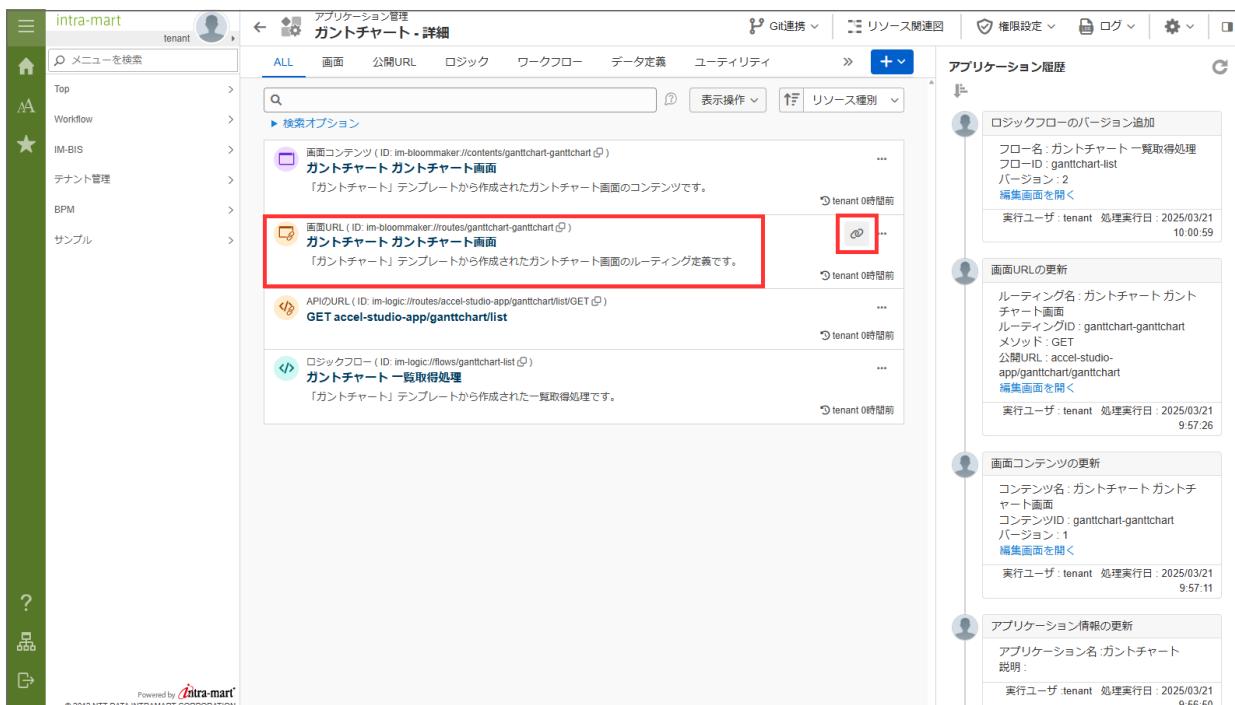
「テンプレートビルジョブ - 詳細」画面は、「サイトマップ」→「Accel Studio」→「アプリケーション作成」→「テンプレートビルジョブ」に遷移し、作成したアプリケーションの「詳細」をクリックすることで表示できます。

画面のURLを取得する

「ガントチャート」テンプレートから作成したガントチャート画面は画面URLが定義されています。

「サイトマップ」→「Accel Studio」→「アプリケーション一覧」で、「自動生成されたアプリケーション」カテゴリを選択します。
作成したアプリケーションを選択し、遷移したいカードにホバーしてください。

表示されたURLアイコンをクリックすることで、URLがクリップボードにコピーされます。



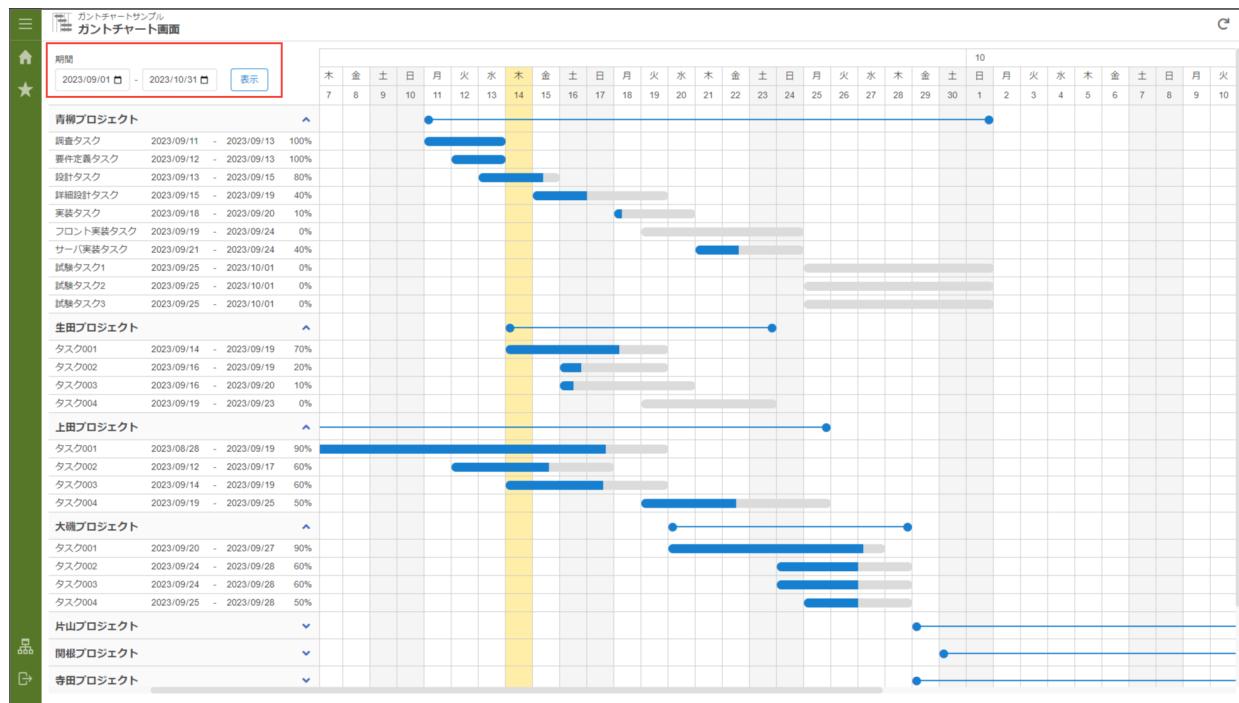
The screenshot shows the 'Application Management' interface. On the left is a sidebar with categories like Top, Workflow, IM-BIS, Tenant Management, BPM, and Sample. The main area shows a list of applications. One application, 'Gantt Chart Gantt Chart', is selected and highlighted with a red box and a copy icon. To the right, there's a panel titled 'Application History' showing recent operations such as 'Log-in Flow Version Addition' and 'Gantt Chart URL Update'. The bottom of the screen shows a footer with the NTT DATA INTRAMART logo and copyright information.

ガントチャート画面の要素について説明します。

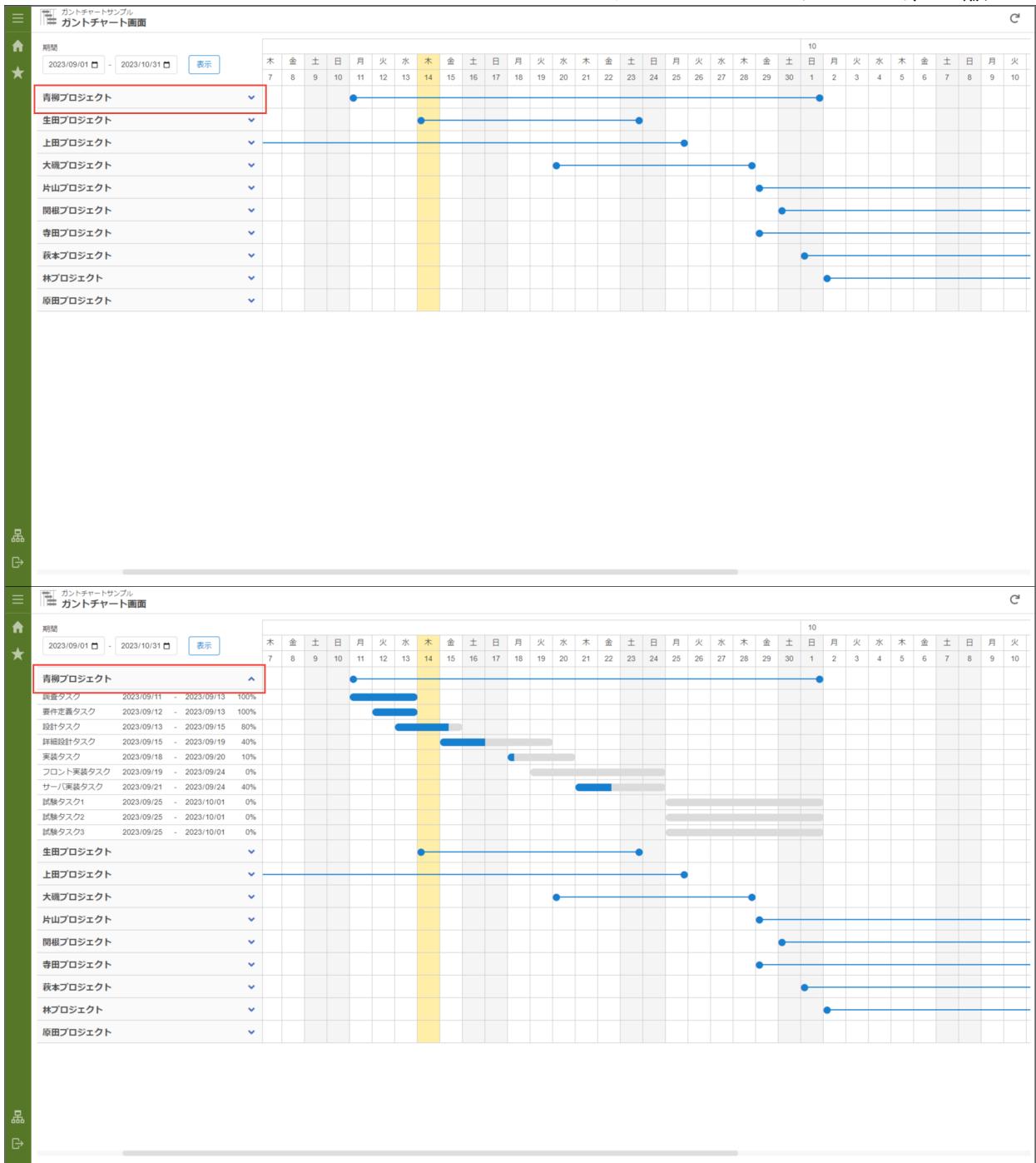
- タスク
作業単位を表します。タスクID、タスク名、開始日、終了日、進捗率を持ちます。
開始日、終了日を元にガントチャート画面にタスクのバーが表示されます。
タスクのバーは進捗率の表現をしており、青色の割合で表現されます。
- グループ
タスクをまとめるカテゴリです。
グループの中にグループを含めることはできません。

ガントチャート画面

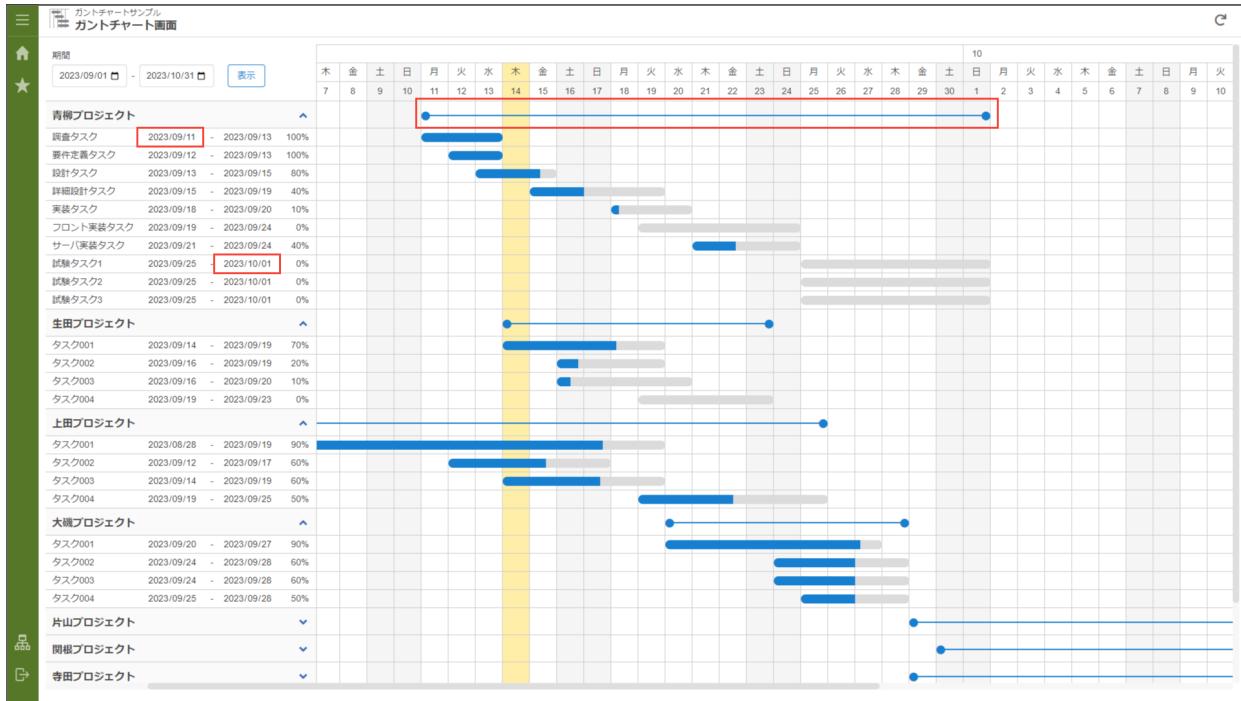
「ガントチャート画面」は表示期間に指定した開始日から終了日の期間を表示します。



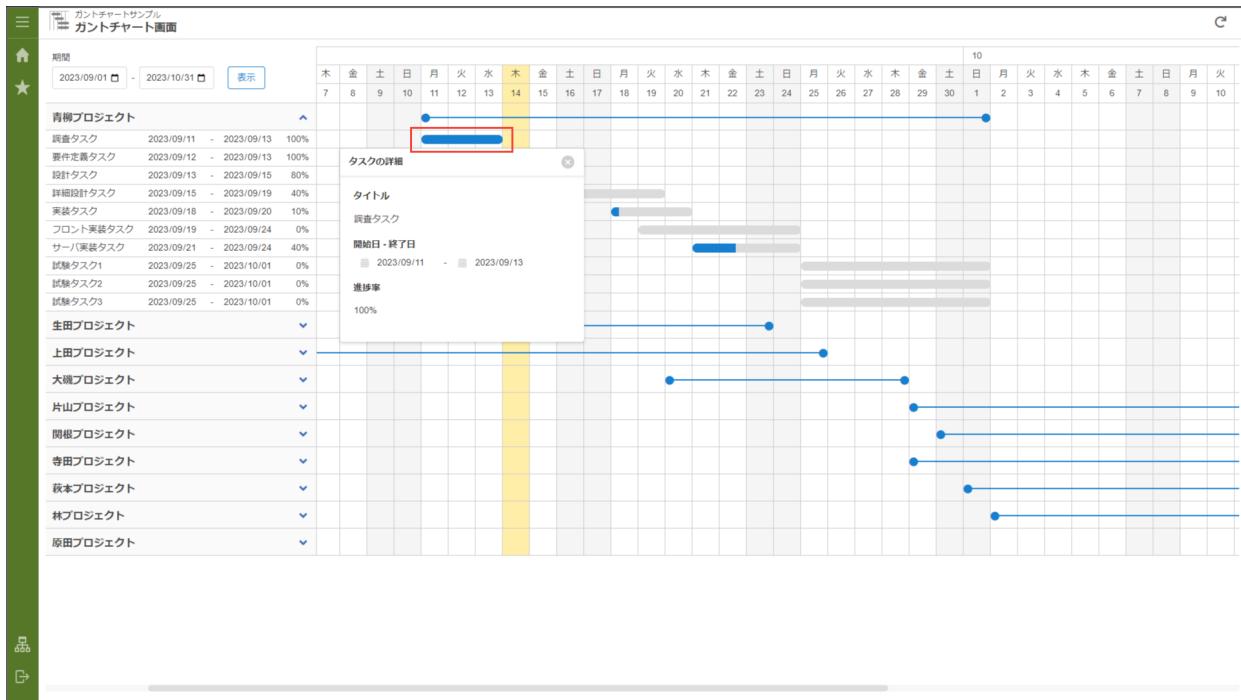
グループ名をクリックするとタスクの一覧が表示されます。



グループの行に表示されている線は、グループ内のタスクの最も早い開始日と最も遅い終了日を表示しています。



タスクのバーをクリックすると詳細を確認できます。



「ガントチャート」テンプレートから作成される資材

「ガントチャート」テンプレートからは、ガントチャートを表示する画面と、タスク情報を取得する処理が作成されます。画面はIM-BloomMaker、処理はIM-LogicDesignerで作成されます。

ガントチャート画面

ガントチャート画面の IM-BloomMaker画面コンテンツです。

画面のURL

- ルーティング

```
{ベースURL}/accel-studio-app/{IDの決定に利用する文字列}/ganttchart
```



コラム

ベースURLは環境に合わせて適宜変更してください。



コラム

画面のURLは [画面のURLを取得する](#) から取得できます。

- メソッド

GET

画面コンテンツ

クエリパラメータを使用できます。

表示期間を指定して画面にアクセスできます。

クエリパラメータの指定がない場合、現在日時の月初めから1ヶ月後の月末までの期間が表示されます。

以下は2023年1月1日から2023年9月30日を指定して画面にアクセスするクエリパラメータの例です。

```
{ベースURL}/accel-studio-app/{IDの決定に利用する文字列}/ganttchart?startDate=2023-01-01&endDate=2023-09-30
```

変数名	型	説明
startDate	string	表示開始日です。 yyyy-MM-dd形式の文字列を指定してください。
endDate	string	表示終了日です。 yyyy-MM-dd形式の文字列を指定してください。



コラム

ベースURLは環境に合わせて適宜変更してください。

一覧取得処理

ガントチャート表示するタスクの一覧を取得する処理です。

ユーザ定義「ガントチャート サンプルデータ生成」はサンプルデータを生成しています。

このユーザ定義を削除して、用途に合ったフローを作成してください。

データは出力値に合わせて整形し、「終了」タスクにマッピングしてください。

出力値の詳細は「[出力値](#)」をご確認ください。

APIのURL

- ルーティング

accel-studio-app/{IDの決定に利用する文字列}/list



コラム

REST APIとして利用するためのURLについては、「[IM-LogicDesigner仕様書](#)」 - 「ルート・HTTPメソッドに一致するフロールーティング情報の取得」をご確認ください。

- メソッド

GET

入力値

なし

出力値

```
{
  "ganttDataList": [
    {
      "groupName": "",
      "taskList": [
        {
          "id": "",
          "name": "",
          "startDate": null,
          "endDate": null,
          "progress": 0
        }
      ]
    }
  ]
}
```

変数名	型	説明
ganttDataList	object[]	ガントチャート表示するデータを持つオブジェクトの配列です。
groupName	string	グループに表示される名前です。
taskList	object[]	グループに表示されるタスクの配列です。
id	string	タスクのIDです。
name	string	タスクの名前です。
startDate	date	タスクの開始日です。
endDate	date	タスクの終了日です。
progress	integer	タスクの進捗率です。

Accel Studio アプリケーション作成 アシスタント のテンプレートに関する仕様について説明します。



コラム

Accel Studio アプリケーション作成 アシスタント は 2025 Spring(Kamille) から利用可能です。

アシスタント自動補完機能は、作りたいアプリケーションの概要やデータ構成を入力することで、アシスタントが適切なテンプレートを提案し、アプリケーションの作成に必要な入力項目を補完する機能です。
テンプレートによって補完対象、対象外の入力項目が異なります。

アシスタントに関する詳細については、「[Accel Studio アプリケーション管理機能 仕様書](#)」 - 「[アプリケーション作成 アシスタント](#)」をご確認ください。

- マスタメンテナンス
 - アシスタント自動補完機能の利用条件
 - 自動補完できる入力項目
 - 自動補完できない入力項目
- シンプルなワークフロー
 - アシスタント自動補完機能の利用条件
 - 自動補完できる入力項目
 - 自動補完できない入力項目
- スプレッドシート型一覧
 - アシスタント自動補完機能の利用条件
 - 自動補完できる入力項目
 - 自動補完できない入力項目
- 空のアプリケーション
 - アシスタント自動補完機能の利用条件
 - 自動補完できる入力項目
 - 自動補完できない入力項目



コラム

補完対象外の項目について

各補完対象外の入力項目は、アシスタントの回答から自動補完されませんが、手動で入力項目の追記や修正することができます。

マスタメンテナンス

アシスタント自動補完機能の利用条件

アシスタントの自動補完機能は、「新しくエンティティを作成」のみ利用できます。

「既存のエンティティを選択」、「Excelファイルを利用」はアシスタントの自動補完機能を利用できません。

シェアードデータベースは自動補完の対象外です。シェアードデータベースを利用する場合は、データベース種別と接続IDを手動で編集してください。

自動補完できる入力項目

以下の入力項目はアシスタントによる自動補完の対象です。

- アプリケーション情報
 - アプリケーションID
 - アプリケーション名
 - 説明
- 扱うデータの定義
 - 基本情報
 - エンティティID
 - エンティティ名
 - 登録先エンティティカテゴリ
 - エンティティに紐づくテーブル名
- 項目設定
 - 辞書項目ID *
 - 辞書項目名（論理名）
 - データ型

- 変数名
- Database設定
 - 物理名
 - 論理名
 - 最大桁数
 - 小数桁数
- 表示形式
- 主キー
- 必須
- 明細データの利用指定
 - 明細データの利用数
- 扱う明細データの定義 (1~5)
 - 基本情報
 - エンティティID
 - エンティティ名
 - 項目設定
 - 辞書項目ID *
 - 辞書項目名（論理名）
 - データ型
 - 変数名
 - Database設定
 - 物理名
 - 論理名
 - 最大桁数
 - 小数桁数
 - 表示形式
 - 必須

* 自動補完された辞書項目IDが既に環境に存在する場合、環境の辞書項目情報を優先し、項目として利用します。

自動補完できない入力項目

以下の入力項目はアシスタントによる自動補完の対象外です。

- 扱うデータの定義
 - 基本情報
 - 登録先エンティティカテゴリ
 - データベース種別
 - 接続ID
 - 主キーの自動採番設定
 - 項目設定
 - 登録先辞書項目カテゴリ
 - 列挙型
 - 制約
 - 検索条件
- 扱う明細データの定義 (1~5)
 - 基本情報
 - 登録先エンティティカテゴリ
 - データベース種別
 - 接続ID
 - 項目設定
 - 登録先辞書項目カテゴリ
 - 列挙型
 - 制約

- その他情報の指定
 - IM-LogicDesigner, IM-BloomMaker資材の設定
 - IDの決定に利用する文字列
- ビジネスロジック定義情報
 - 各リソースのID
- アプリ画面定義情報
 - 各リソースのID

シンプルなワークフロー

アシスタント自動補完機能の利用条件

シェアードデータベースは自動補完の対象外です。シェアードデータベースを利用する場合は、データベース種別と接続IDを手動で編集してください。

自動補完できる入力項目

以下の入力項目はアシスタントによる自動補完の対象です。

- アプリケーション情報
 - アプリケーションID
 - アプリケーション名
 - 説明
- 扱うデータの定義
 - 基本情報
 - エンティティID
 - エンティティ名
 - 登録先エンティティカテゴリ
 - エンティティに紐づくテーブル名
 - 項目設定
 - 辞書項目ID *
 - 辞書項目名（論理名）
 - データ型
 - 変数名
 - Database設定
 - 物理名
 - 論理名
 - 最大桁数
 - 小数桁数
 - 表示形式
 - 必須
 - 明細データの利用指定
 - 明細データの利用数
 - 扱う明細データの定義（1～5）
 - 基本情報
 - エンティティID
 - エンティティ名
 - 項目設定
 - 辞書項目ID *
 - 辞書項目名（論理名）
 - データ型
 - 変数名
 - Database設定
 - 物理名

- 論理名
- 最大桁数
- 小数桁数
- 表示形式
- 必須

※ 自動補完された辞書項目IDが既に環境に存在する場合、環境の辞書項目情報を優先し、項目として利用します。

自動補完できない入力項目

以下の入力項目はアシスタントによる自動補完の対象外です。

- 扱うデータの定義
 - 基本情報
 - 登録先エンティティカテゴリ
 - データベース種別
 - 接続ID
 - 主キーの自動採番設定
 - 項目設定
 - 列挙型
 - 制約
 - 検索条件
 - 扱う明細データの定義（1～5）
 - 基本情報
 - 登録先エンティティカテゴリ
 - データベース種別
 - 接続ID
 - 項目設定
 - 登録先辞書項目カテゴリ
 - 列挙型
 - 制約
- ワークフロー情報の入力
 - ルートの作成方法
 - 利用開始日
 - 処理対象者の設定
 - IM-Workflow資材の設定
 - 添付ファイル設定
 - 承認時の添付ファイル設定
- その他情報の指定
 - IM-LogicDesigner, IM-BloomMaker資材の設定
 - IDの決定に利用する文字列
- ビジネスロジック定義情報
 - 各リソースのID
- アプリ画面定義情報
 - 各リソースのID

スプレッドシート型一覧

アシスタント自動補完機能の利用条件

アシスタントの自動補完機能は、「新しくエンティティを作成」のみ利用できます。

「既存のエンティティを選択」はアシスタントの自動補完機能を利用できません。

シェアードデータベースは自動補完の対象外です。シェアードデータベースを利用する場合は、データベース種別と接続IDを手動で編集してください。

以下の入力項目はアシスタントによる自動補完の対象です。

- アプリケーション情報
 - アプリケーションID
 - アプリケーション名
 - 説明
- 扱うデータの定義
 - 基本情報
 - エンティティID
 - エンティティ名
 - 登録先エンティティカテゴリ
 - エンティティに紐づくテーブル名
 - 項目設定
 - 辞書項目ID *
 - 辞書項目名（論理名）
 - データ型
 - 変数名
 - Database設定
 - 物理名
 - 論理名
 - 最大桁数
 - 小数桁数
 - 表示形式
 - 主キー
 - 必須

* 自動補完された辞書項目IDが既に環境に存在する場合、環境の辞書項目情報を優先し、項目として利用します。

自動補完できない入力項目

以下の入力項目はアシスタントによる自動補完の対象外です。

- 扱うデータの定義
 - 基本情報
 - 登録先エンティティカテゴリ
 - データベース種別
 - 接続ID
 - 主キーの自動採番設定
 - 項目設定
 - 登録先辞書項目カテゴリ
 - 制約
- その他情報の指定
 - IM-LogicDesigner, IM-BloomMaker資材の設定
 - IDの決定に利用する文字列
- ビジネスロジック定義情報
 - 各リソースのID
- アプリ画面定義情報
 - 各リソースのID

空のアプリケーション

アシスタント自動補完機能の利用条件

- 利用条件の制限はありません。

自動補完できる入力項目

以下の入力項目はアシスタントによる自動補完の対象です。

- アプリケーション情報
 - アプリケーションID
 - アプリケーション名
 - 説明

自動補完できない入力項目

自動補完できない入力項目はありません。

IM-BloomMaker前処理

Accel Studioのテンプレートで利用しているIM-BloomMaker画面では、以下のようなJava前処理プログラムを利用しています。

ユーザコンテンツの権限確認

IM-Workflowを利用したテンプレートの画面では、Java前処理プログラムを利用してユーザの権限を確認しています。

詳細については、「[IM-Workflow 仕様書](#)」 - 「[ユーザコンテンツの権限チェック](#)」を参照してください。



コラム

このJava前処理プログラムは、以下のテンプレートの画面で利用されています。

- ベーステンプレート
 - シンプルなワークフロー
- サンプルアプリケーション
 - スプレッドシート型一覧
 - 休暇申請ワークフロー
 - メール配信ワークフロー
 - SharePoint回覧ワークフロー
 - Adobe Acrobat Sign連携標準テンプレート

画面種別の判別処理

登録・編集・参照画面といった画面種別が存在するテンプレートでは、Java前処理プログラムを利用して、画面種別を判別しています。

判別した結果は、IM-BloomMakerの入力値 `$input._mode_` に対して以下のような値で設定されます。

画面種別	<code>\$input._mode_</code> の 値
登録画面	register
編集画面	edit
参照画面	refer



コラム

このJava前処理プログラムは、以下のテンプレートの画面で利用されています。

- ベーステンプレート
 - マスタメンテナンス
- サンプルアプリケーション
 - メール配信ワークフロー
 - 在庫管理
 - タスク管理
 - 顧客管理
 - 社内FAQ管理
 - 自己紹介
 - メール配信ワークフロー
 - 伝言メモ
 - 安否確認